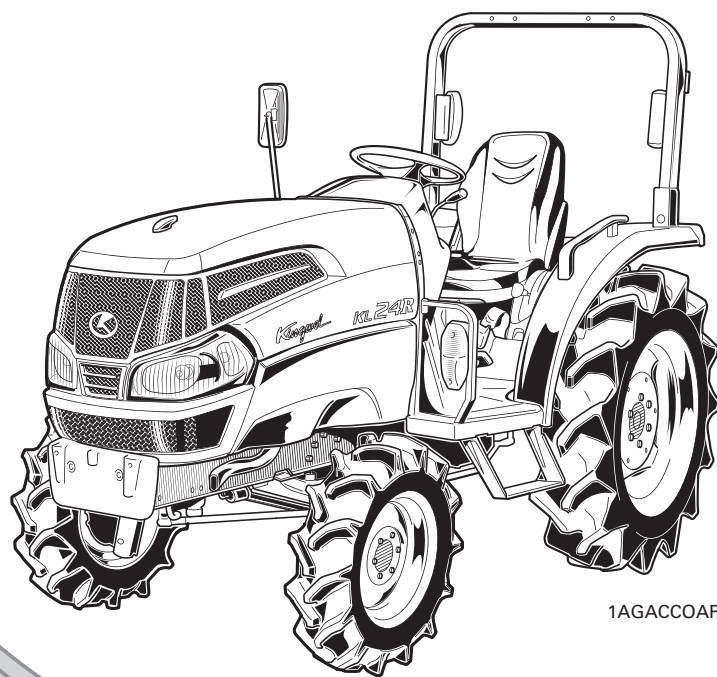
クボタトラクタ

取扱説明書

KL 24R(H)・26R・27R(H)
28R・31R(H)・34R(H)

OPERATOR'S MANUAL

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですので良く理解して戴き誤操作のないようご注意ください。

	注意マーク
	火気厳禁
	燃料（残量）
	グロー
	バッテリ充電異常
	エンジン水温
	シートベルト
	メンテナンス

	ホーン
	ハザードランプ
	方向指示器
	ヘッドライト（下向）
	ヘッドライト（上向）
	シャトル（前後進切換）
	アクセル高
	アクセル低
	3 点リンク（上げ）
	3 点リンク（下げ）
	作業灯（フロントサイド）
	作業灯（前）
	作業灯（後）
	ワイパ（前）
	ワイパ（後）

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品が優れた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになった後必ず大切に保存し，分からないことがあったときには取出してお読みください。なお，製品の仕様変更などにより，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの購入先に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

表示	意味
	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。
	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。
	注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。
重要	注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。
補足	その他，使用上役立つ補足説明を示します。

仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買上げの製品の仕様をお確めのうえ，お間違いのないようお願いいたします。
なお，説明は KL24R を基本とし，KL24R と取扱いが異なる場合はその都度追加説明してあります。

- エンジン出力（PS）によって……………… KL24R 仕様，KL26R 仕様，KL27R 仕様
  KL28R 仕様，KL31R 仕様，KL34R 仕様
- 走行速度（ギヤ比）によって…………… ハイスピード［高速走行］（H）仕様
- ミッション形式によって
  ノンクラッチトランスミッション……… U シフト（F）仕様
  マニュアルトランスミッション………… マニュアルシフト仕様
- PTO クラッチ付……………………………… あんしん PTO（N）仕様
- 安全キャブ付き……………………………… 安全キャブ仕様
  安全フレーム付き ………………………… 安全フレーム仕様
- モンロ・オート付き……………………… MA 仕様
- モンロ・オート / ドラフト付き………… MAD 仕様（パワクロ仕様のみ）
- パワクロ仕様………………………………… PC 仕様
  （PC2：ハイラグ，PC3：幅狭）

本書の見方

この取扱説明書には，次のようなトラクタを使ってわからないことがあった時や便利な機能が簡単に調べられる「困ったときには」のページを設けています。
1．困ったこと，やりたいことから関連する項目が調べられる目次
2．レバー・スイッチの名称がわからなくてもイラストから関連する項目が
 調べられるイラスト目次

わからないことがあった時には，本書を有効にご活用いただき，機械の性能を最大限に発揮させてください。

※本文中で使われている電子メッセージは，実際の表示と異なりますが，表示される
 内容は同じです。

目　次

⚠安全に作業するために

安全キャブ，安全フレームについて......1
運転前に......2
始動時に......3
運転時に......3
作業機使用時に......6
道路走行時に......7
駐車，格納時に......8
点検・給油・整備時に......8
パワクロ仕様の場合......11
運転時に......11
あゆみ板使用時に......12
表示ラベルと貼付け位置......13
表示ラベルの手入れ......18

サービスと保証／小型特殊自動車としての取扱い

サービスと保証......1
小型特殊自動車としての取扱い......3

運転のしかた

運転前の点検......5
エンジンの始動と停止......6
始動のしかた......6
停止のしかた......10
キースイッチ......11
寒冷時の暖機運転......12
バッテリあがりの処置......13
ならし運転......13
運転席周りの調節......14
シート......14
シートベルトホルダ......14
安全キャブ・安全フレームとシートベルトについて......15
チルトステアリングハンドル......16
バックミラー......16
灯火類の操作......17
ヘッドライトスイッチ......17
ウインカスイッチ......17
ハザードスイッチ......18
ホーンボタン......18
フロントサイド作業灯......18
バックランプ......19
ブレーキランプ......19
車幅灯・尾灯......19
外部電源・信号取出端子......19
走行装置の取扱い......21
発進・走行......21
停車・駐車......22
ブレーキペダル......23
クラッチペダル......24
各変速レバーの取扱い......24
クリープレバー......25
マニュアルシフト仕様......26
U シフト (F) 仕様......27
走行モード切換スイッチ......31
アクセルレバーとアクセルペダル......33
駐車ブレーキの解除のしかた......33
燃料給油時の便利な機能と装置......33
満タンお知らせブザーの取扱い......33
カンタン給油台の使い方......34
電子メータパネルの取扱い......35
電子メータ......35
表示の切換え......36
燃料計......40
水温計......40
エンジン回転計......40
電子メータメッセージのリセット法......41
機能選択表示......41
機能選択表示方法......42
メンテナンス表示......42
作業条件メモ......43
時刻合わせ設定と表示・非表示......44
燃費表示......45
状況に応じた操作......46
デフロックの使い方......46
旋回のしかた......46
坂道での運転......46
ほ場への出入り時の注意......47
道路走行中の注意......48
トラックへの積み・降ろし......49
パワーステアリングの取扱い......50
パワクロ仕様の運転のしかた......51
ローダ作業......52

作業のしかた

作業機昇降装置......53
油圧（ポジションコントロール）レバー......53
三点リンク高さ規制ダイヤル......53
ポンパレバー......54
オートアップスイッチ......56
バックアップスイッチ......57
作業機落下速度の調整......58
三点リンク......59
ロアーリンク取付け穴の選択......60
トップリンク......61
チェックチェーン......62
作業機を取付けないときの注意......62
オートワイヤの収納......62
けん引ヒッチ（別売）......63
けん引フック......63
PTO......64
PTO 変速レバー......64
PTO 軸カバー，PTO 軸キャップ......64

目　次

あんしん PTO スイッチ［N 仕様］.......... 65
モンローマチックオートの取扱い［MA・MAD 仕様］............................ 68
各部の名称 68
ワンタッチ耕うんモードスイッチ 69
3P 切換スイッチ........................ 71
モンロスイッチ 71
切換スイッチ 74
モンロ角度調節ダイヤル 75
オートスイッチ［MA 仕様］.............. 75
オートスイッチ［MAD 仕様］............. 76
耕深調節ダイヤル 77
モンロ手動スイッチ 78
作業機の取扱い 78
オートドラフトの取扱い［MAD 仕様］.... 79
各部の名称 79
ドラフトストッパピン 80
オートスイッチ 80
モンロ手動スイッチ 80
耕深調節ダイヤル 81
3P 切換スイッチ........................ 81
モンロスイッチ 81
モンロ角度調節ダイヤル 82
切換スイッチ 82
ワンタッチ耕うんモードスイッチ 82
タイヤ・ウエイト 83
タイヤの空気圧 83
輪距の調整 83
ウエイト（オプション）................ 86
一般的な耕うん要領 87
隣接耕うんのしかた 87
一うねおき耕うんのしかた 87
トラクタの方向転換のしかた 87

安全キャブ装備品の取扱い

ドア・窓の開閉とロック 88
ドア 88
リヤウインド 89
クォータウインド 89
ルームランプ 89
ワイパ 90
フロントワイパ・ウォッシャスイッチ 90
リヤワイパ・ウォッシャスイッチ 90
寒冷時のワイパの使用 90
作業灯 90
作業灯スイッチ 90
サンバイザ 91
ルームミラー 92
オートエアコン 92
空気の流れ 92
風向調整 93
コントロールパネル 93
ヒータ使用上の注意 94
AM / FM ラジオ付き CD プレーヤの取扱い 95
共通部の操作のしかた.................. 95
ラジオを聴くには...................... 97
CD を聴くには 98
取扱い上の注意........................ 99
お問合わせ............................ 100
AM / FM ラジオ付き CD プレーヤ本体の外し方 100
アンテナ.............................. 101
インプルメントの装着 101
インプルメント用操作ボックスの取付... 101

トラクタの簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について 102
洗車時の注意 102
定期点検箇所一覧表 104
給油（水）一覧表 106
トラクタの給油（水）.................. 106
推奨オイル・グリース一覧表 107
エンジンオイル・ミッションオイル..... 107
グリース.............................. 107
ボンネットの開閉及びサイドカバーの外し方.................................. 108
ボンネットの開閉...................... 108
サイドカバーの取り外し................ 108
フロントカバーの取り外し.............. 108
日常点検 109
前日の異常箇所........................ 109
トラクタの周りを歩いて................ 109
エンジンオイルの量及び汚れ............ 109
ミッションオイルの量及び汚れ.......... 110
冷却水の量............................ 110
バキュエータバルブの清掃.............. 111
ワイヤハーネス，バッテリ (+) コードの点検・交換.............................. 111
燃料フィルタの水，沈殿物の点検....... 112
タイヤの空気圧，及び摩耗，損傷....... 112
防虫網の清掃.......................... 113
ブレーキペダルの遊び・点検........... 113
駐車ブレーキの作動点検............... 114
クラッチペダルの遊び・点検........... 114
メータ・ランプ類の作動............... 114
燃料の補給........................... 116
コンデンサ用防虫網の清掃............. 117
エンジンの始動確認................... 117
日常点検（パワクロ仕様のみ）....... 117
日常点検箇所一覧..................... 117
ゴムクローラの張り調整............... 118
30 時間ごとの点検・整備 118
グリースの注入....................... 118
50 時間ごとの点検・整備 119
グリースの注入....................... 119
エンジン始動システムの点検........... 120
タイヤ取付けボルトの点検............. 120
クラッチハウジングの水抜き........... 120

パワーステアリングホースの点検 121
燃料ホースの点検 121
100 時間ごとの点検・整備 122
エンジンオイルの交換 122
エンジンの排気の状態 122
エキゾーストパイプ及びマフラの状態 ... 122
バッテリ電解液の点検 123
エアクリーナエレメントの清掃 125
ファンベルトの点検・調整 125
クラッチペダルの点検・調整 126
ブレーキペダルの点検・調整 126
200 時間ごとの点検・整備 127
エンジンオイルフィルタカートリッジの交換 127
ラジエータホースの点検 127
油圧オイルフィルタカートリッジの交換 . 127
ステアリングジョイント部の点検 128
トーイン調整・タイロッドの点検 128
室内エアフィルタの清掃 129
外気フィルタの清掃 129
エアコンコンデンサの詰まり 130
エアコンベルトの張り 130
転輪・遊輪のオイルシール点検 131
300 時間ごとの点検・整備 131
前車軸ケースオイルの交換 131
400 時間ごとの点検・整備 132
ミッションオイルの交換 132
燃料フィルタエレメントの清掃・交換 ... 132
600 時間ごとの点検・整備 133
前部デフケース前後遊びの調整 133
800 時間ごとの点検・整備 133
エンジンバルブクリアランスの点検 133
1 年ごとの点検・整備................ 133
エアクリーナエレメントの交換 133
ヒータ配管，ウォータホースの点検 133
エアコン配管，ホースの点検 133
2 年ごとの点検・整備................ 134
冷却水の交換 134
ラジエータの洗浄 135
ラジエータホースの交換 135
パワーステアリングホースの交換 135
燃料ホースの交換 135
メインシリンダホースの交換 135
モンローシリンダホースの交換 135
必要に応じた点検・整備.............. 136
燃料の空気抜きのしかた 136
ヒューズの交換 136
スローブローヒューズの交換 137
ランプ類の交換 137
ホーン接点のグリース塗布 137
注油 137
ウォッシャ液の補充 137
冷媒（ガス）量の点検 138
スプロケットの交換手順 138
ゴムクローラの交換手順 139
格納. 139
長期格納時の手入れ. 139
不調と処置 141
エンジンの不調と処置. 141
モンローオート（ドラフト）・AD 倍速・U シフト（F）仕様の故障と処置. 142
AM / FM ラジオ付き CD プレーヤの不調と処置 148

付表

主要諸元 149
トラクタの主要諸元. 149
走行速度表. 152
標準付属品. 157
主な消耗部品一覧表 158
パワクロ仕様足回り交換部品一覧表 ... 160
アタッチメント一覧表 161
インプルメント一覧表 164
センサリンク取付要領 167
作業ごとの一般的な調整要領 168
オートドラフトコントロールによる作業要領［MAD 仕様］. 170
インプルメントの大きさの上限について 171
検査成績表 172

索引

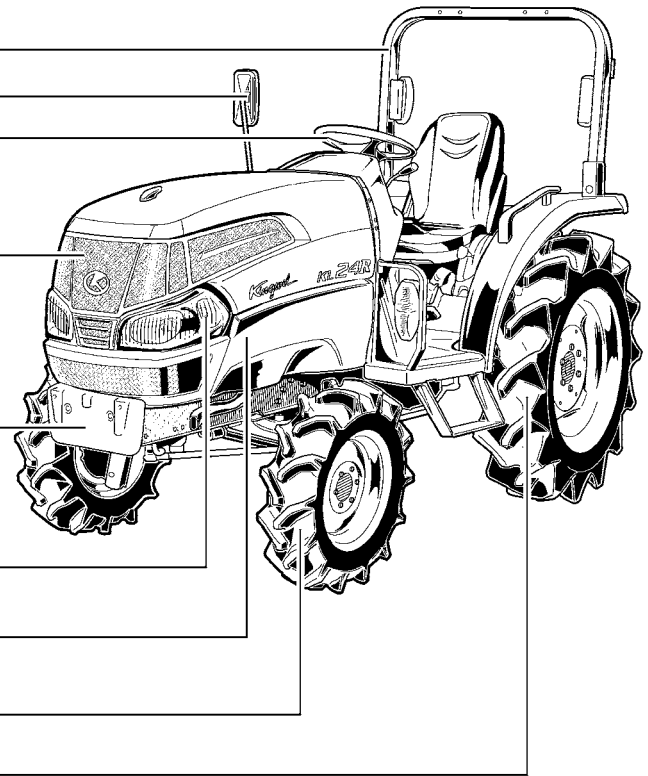
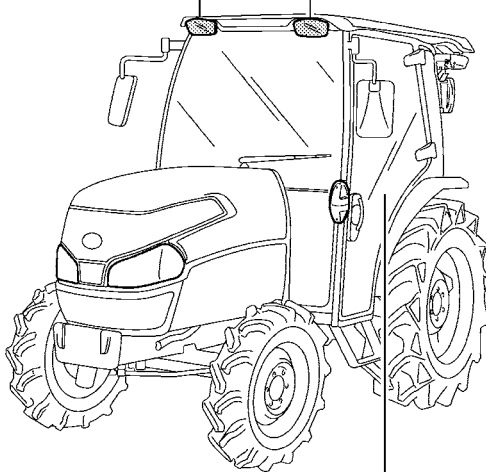
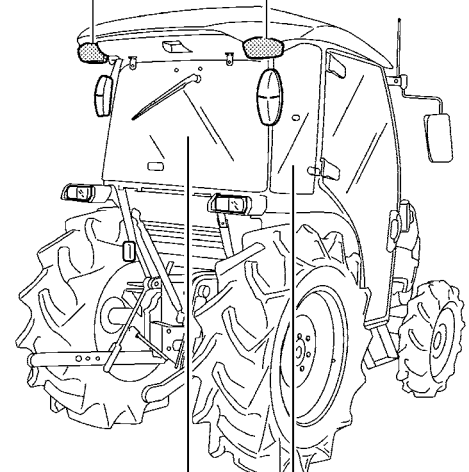
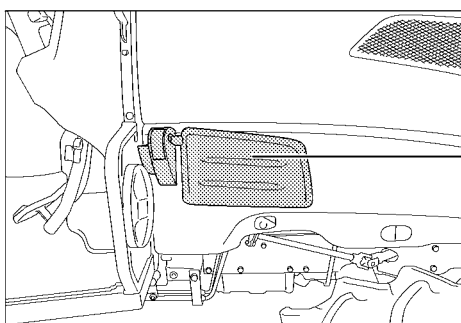
索引. 176

困ったときには

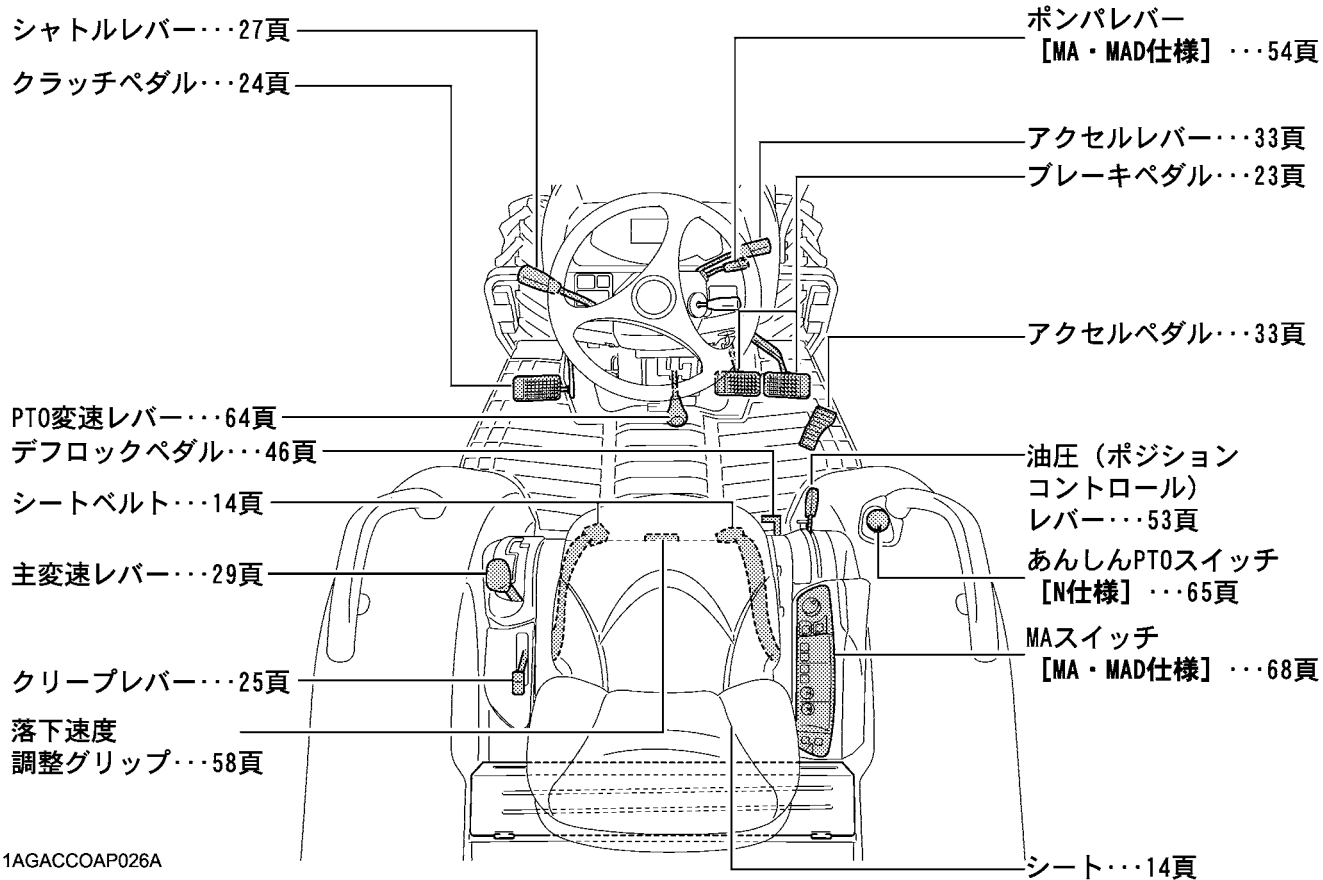
こんな時には…

	目的，場面	項目	参照ページ
エンジン始動時に	電子メータにメッセージが表示された時には	表示の切換え	36
	スタータモータが回らない	エンジンの始動と停止	6
	エンジンの調子が悪い	エンジンの不調と処置	141
道路走行時に	高速走行するには	クリープレバー	25
	2WD，4WD，倍速を切換えたい	走行モード切換スイッチ	31
作業時に	作業に適切な速度は	各変速レバーの取扱い	24
	一般的な耕うん要領は	一般的な耕うん要領	87
	ほ場作業時の設定を簡単に行なうには	ワンタッチ耕うんモードスイッチ	69
	ほ場作業時の設定を変更したい	ワンタッチ耕うんモードスイッチ	69
	モンローオートの一般的な調整要領が知りたい	作業ごとの一般的な調整要領	168
	傾斜地でモンローマチックを使用したい	モンロスイッチ	71
	ロータリカバーを上げた状態でオートを使いたい	オートスイッチ	75
	オートからドラフトに切換えるには	ドラフトストッパピン	80
	スリップした時には	デフロックの使い方	46
	電子メータにメッセージが表示された時には	電子メータ，不調と処置	35，142
	ロータリを上げた時，ロータリを止めるには	あんしんPTOスイッチ	65
	インプルメントを取付けるには	ロアーリンク取付け穴の選択	60
	前輪の前を照らしたい	フロントサイド作業灯	18
	作業灯を点灯させるには	作業灯スイッチ	90
	作業機の上げ高さを規制したい	三点リンク高さ規制ダイヤル	53
	旋回時，自動的にロータリを上げたい	オートアップスイッチ	56
	後進時，自動的にロータリを上げたい	バックアップスイッチ	57
メンテナンス時に	燃料補給時に便利な機能は	満タンお知らせブザーの取扱い	33
	パワクロメンテナンス項目は	パワクロの日常点検 スプロケット，ゴムクローラの交換	117，138
	日常点検ですべきことは	日常点検	109
	オイル量を知りたい	給油（水）一覧表	106
	電球が切れた時には	主な消耗部品一覧表	158
その他	ラジオを聴くには	ラジオを聴くには	97
	CDを聴くには	CDを聴くには	98
	フロントガラスの曇りをとりたい	デフロスト	93
	内気循環／外気導入を切換えたい	コントロールパネル	93

■外観

安全フレーム・・・・・・・・・・・・・15頁
バックミラー・・・・・・・・・・・・・16頁
ハンドル・・・・・・・・・・・・・・・16頁
フロントカバー・・・・・・・・・・・108頁
ウエイト（オプション）・・・・86頁
フロントサイド作業灯・・・・・18頁
サイドカバー・・・・・・・・・・・・・108頁
前輪タイヤ・・・・・・・・・・・・・・83頁
後輪タイヤ・・・・・・・・・・・・・・83頁
1AGACCOAP001A
作業灯（前）・・・90頁
作業灯（後）・・・90頁
ドア・・・88頁
1AGACCHAP004D
リヤウインド・・・・・・・89頁
クォータウインド・・・89頁
1AGACCHAP005A
カンタン給油台・・・34頁
1AGACCOAP106A

■操作レバー・ペダル［KL24R・27R・31R・34R・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R-PC］

シャトルレバー･･･27頁
クラッチペダル･･･24頁
PTO変速レバー･･･64頁
デフロックペダル･･･46頁
シートベルト･･･14頁
主変速レバー･･･29頁
クリープレバー･･･25頁
落下速度
調整グリップ･･･58頁

ポンパレバー
［MA・MAD仕様］･･･54頁
アクセルレバー･･･33頁
ブレーキペダル･･･23頁
アクセルペダル･･･33頁
油圧（ポジション
コントロール）
レバー･･･53頁
あんしんPTOスイッチ
［N仕様］･･･65頁
MAスイッチ
［MA・MAD仕様］･･･68頁
シート･･･14頁

1AGACCOAP026A

［マニュアルシフト仕様］

■操作レバー・ペダル［KL24RH・27RH・31RH・34RH・34RH-PC］

■スイッチ

ウインカパイロットランプ･･･17頁

ウインカパイロットランプ･･･17頁

フロントサイド
作業灯スイッチ･･･18頁

ハザードスイッチ･･･18頁

表示切換スイッチ･･･36頁

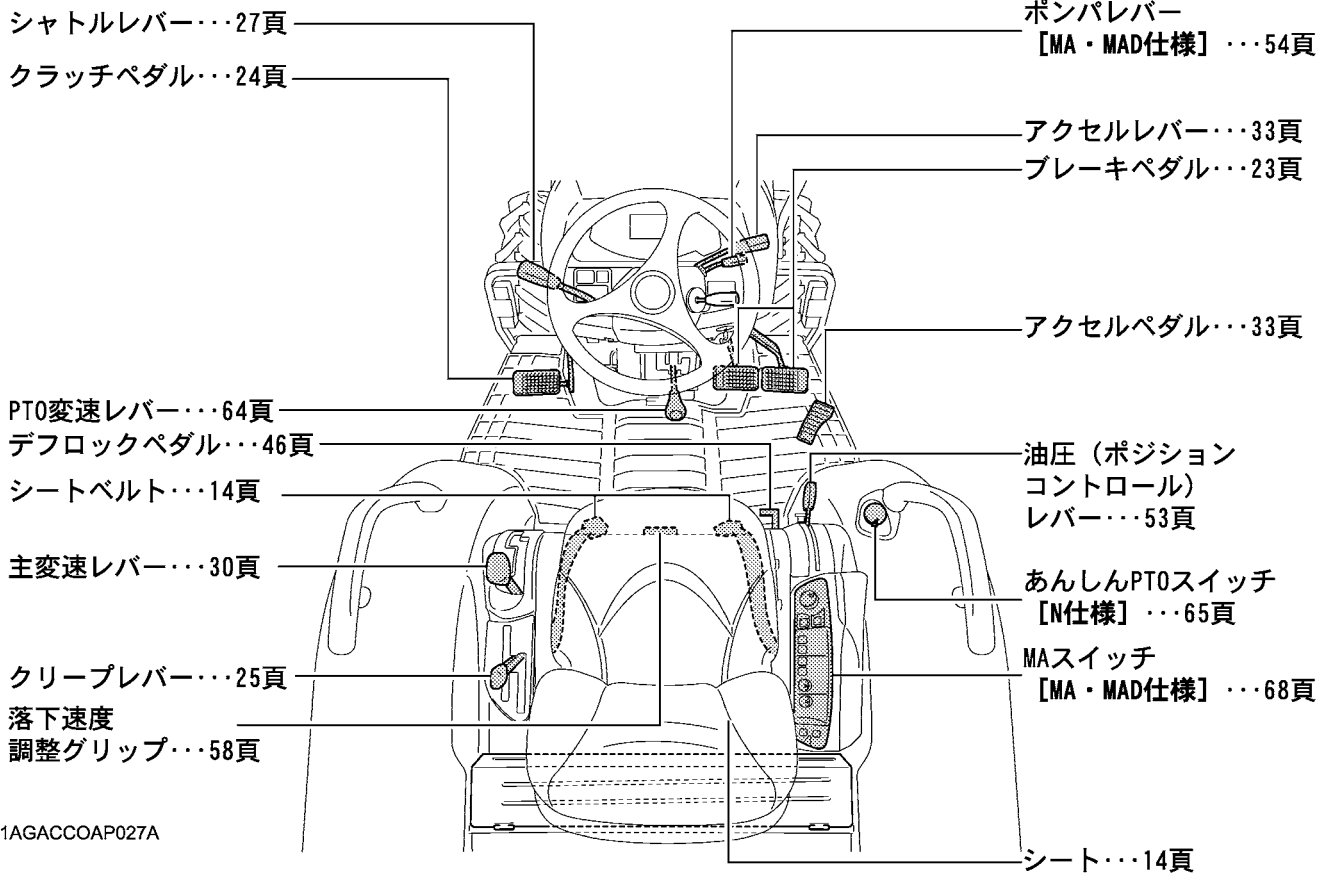
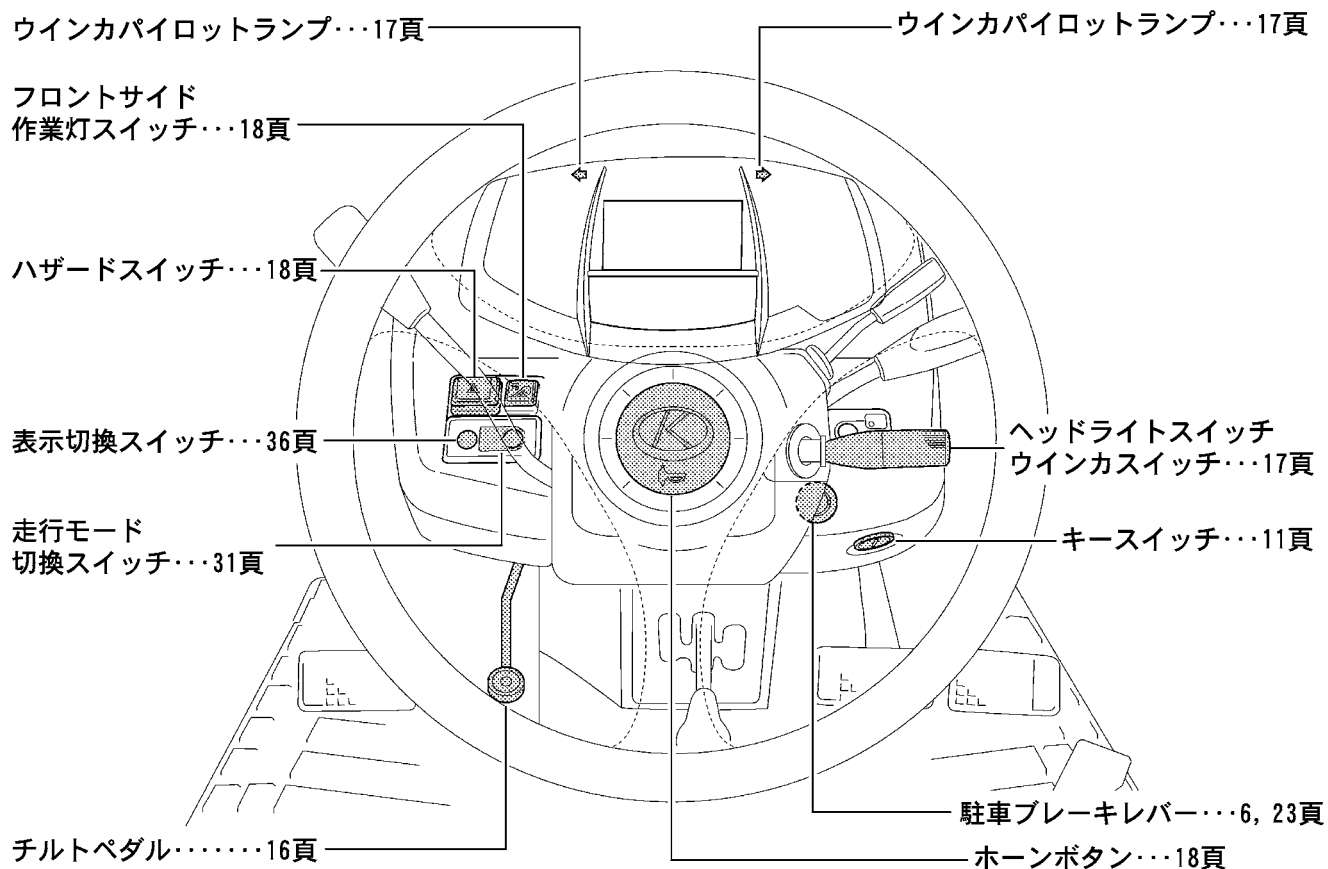
ヘッドライトスイッチ
ウインカスイッチ･･･17頁

走行モード
切換スイッチ･･･31頁

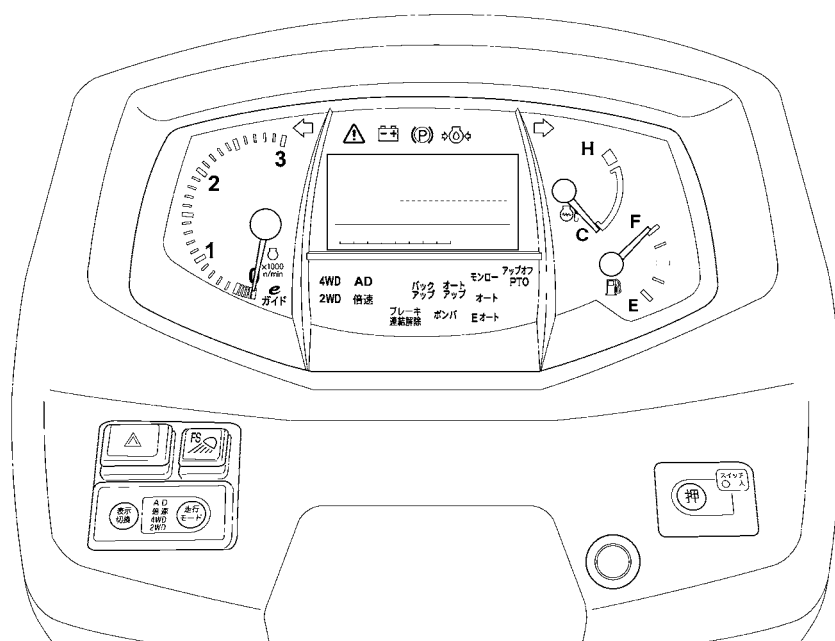
キースイッチ･･･11頁

駐車ブレーキレバー･･･6，23頁

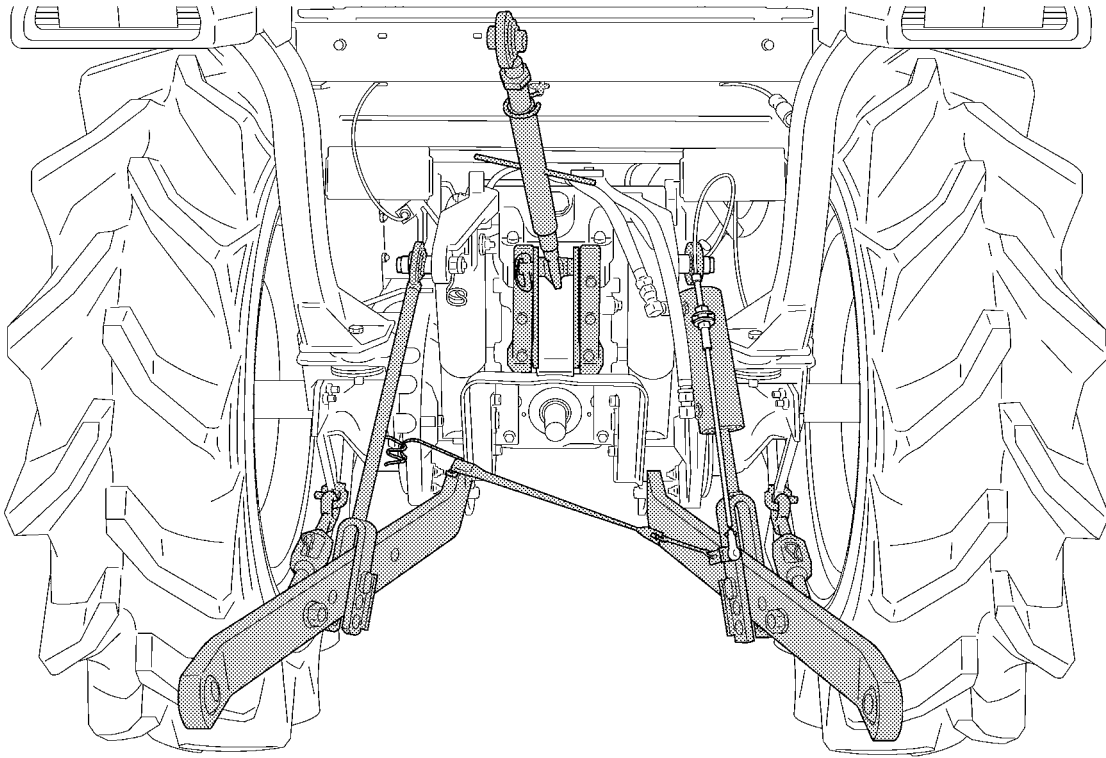
チルトペダル･･････16頁

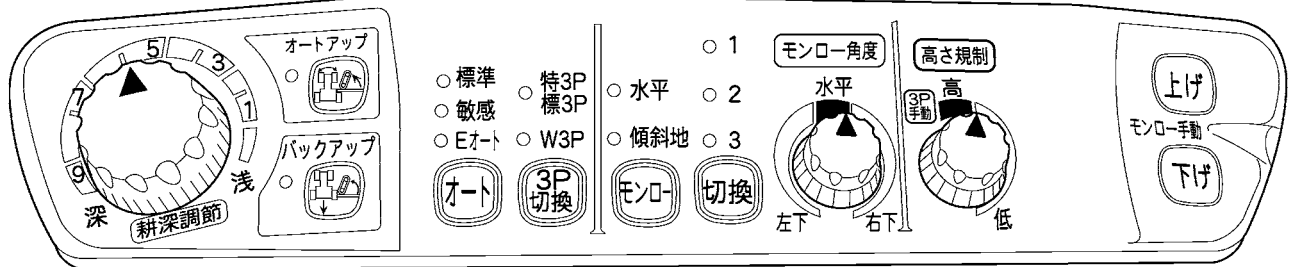
ホーンボタン･･･18頁

1AGACCOAP031A

■電子メータ

詳細は［電子メータ］の項35頁参照

1AGACCOAP032A

■三点リンク

詳細は［三点リンク］の項59頁参照

■モンロー操作パネル

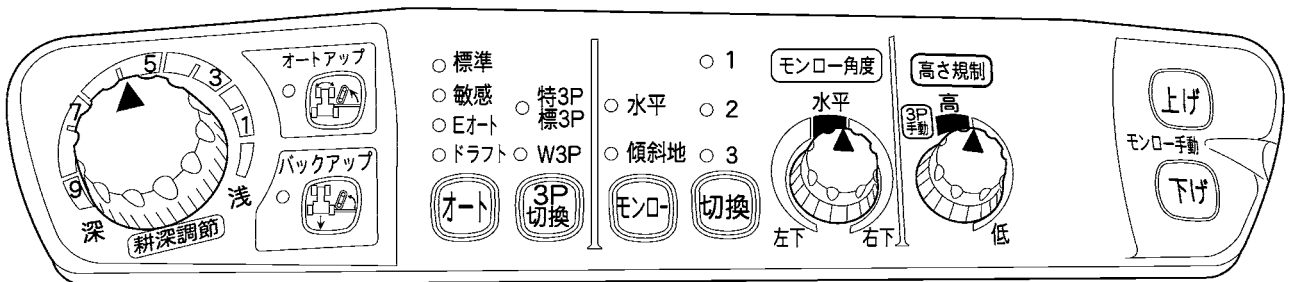
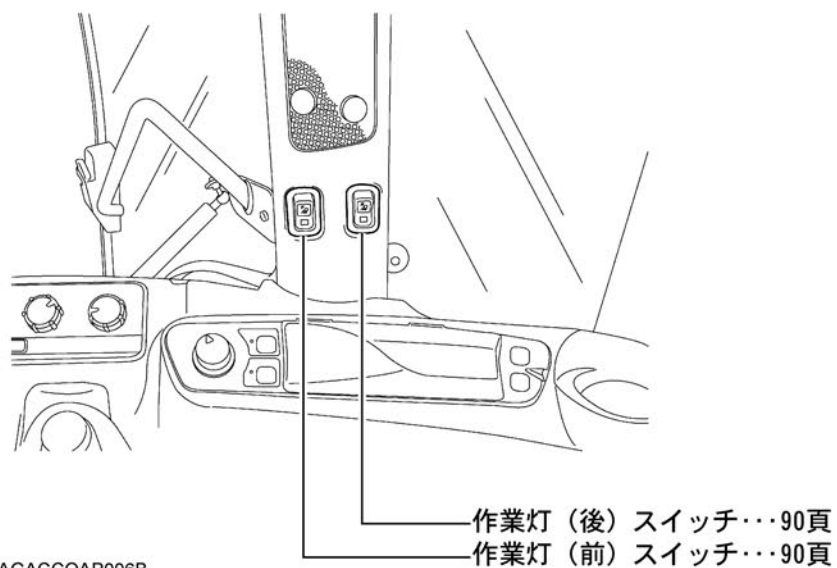
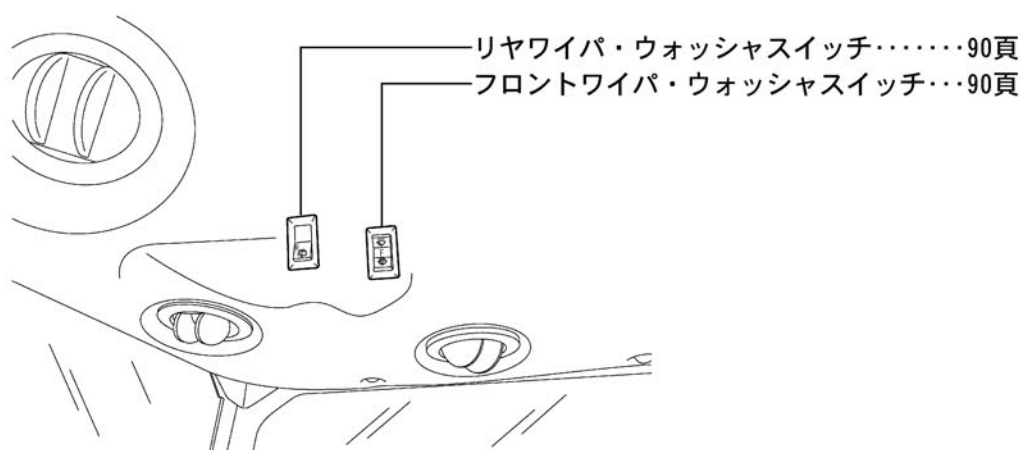
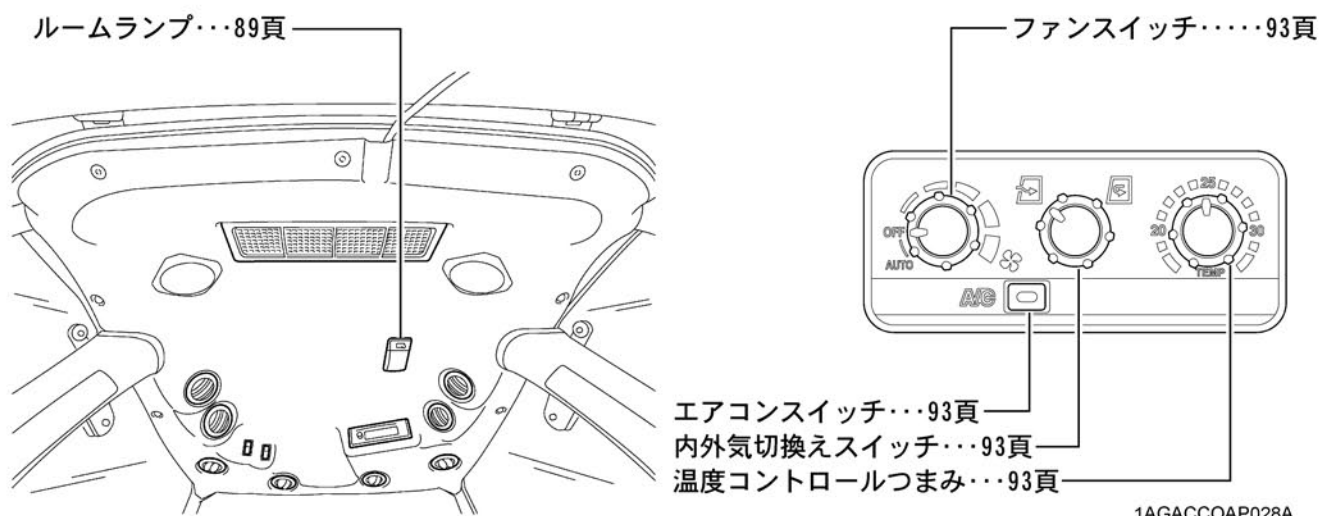
詳細は［モンローマチックオートの取扱い］の項68頁参照

1AGACCOAP029A

［MAD仕様］

詳細は［オートドラフトの取扱い［MAD仕様］］の項79頁参照

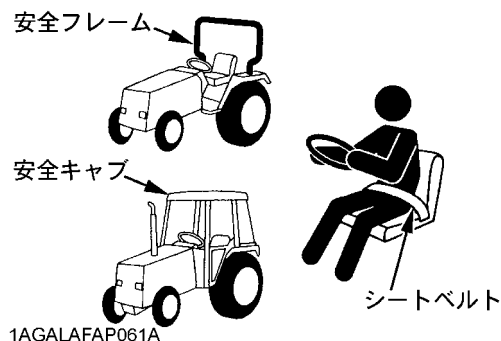
1AGACCOAP030A

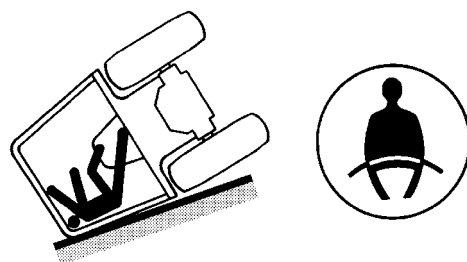
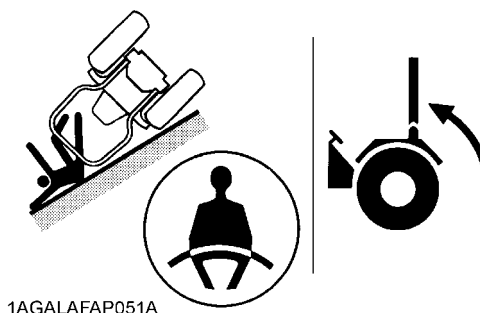
■安全キャブ操作スイッチ
ルームランプ・・・89頁
ファンスイッチ・・・・・93頁
OFF
AUTO
A/C
20
25
30
TEMP
エアコンスイッチ・・・93頁
内外気切換えスイッチ・・・93頁
温度コントロールつまみ・・・93頁
1AGACCOAP028A
リヤワイパ・ウォッシャスイッチ・・・・・・・90頁
フロントワイパ・ウォッシャスイッチ・・・90頁
作業灯（後）スイッチ・・・90頁
作業灯（前）スイッチ・・・90頁
1AGACCOAP006B

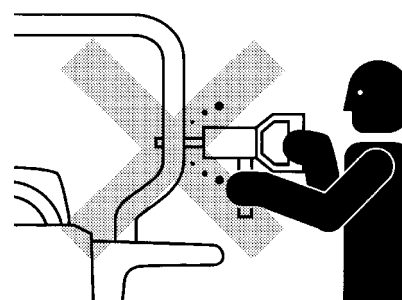
▲ 安全に作業するために　必ず読んでください

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で▲危険・▲警告・▲注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

安全キャブ，安全フレームについて

安全キャブ，安全フレームは，万一トラクタが転倒したとき事故の被害を軽減するものであって，転倒事故を防止するものではありません。
注意事項を守って，安全運転を心がけてください。

1AGALAFAP061A

1. 運転時は安全キャブ又は安全フレームとシートベルトを常に使用するようにしてください。

1AGALAFAP050A

2. 安全フレームを取外して運転しないでください。
3. 納屋への出入り等，安全フレームが当たる場合を除き，運転時はいつも安全フレームを立て，確実にロックして使ってください。
   安全フレームを折りたたんだ状態では，万一トラクタが転倒したとき，安全フレームの役目をしません。
4. 安全フレームを立てたときは，運転時シートベルトを常に使用してください。折りたたんだ状態では，シートベルトを使用しないでください。
5. 安全フレームを折りたたんだり，立てたりするときは，平坦な場所で，必ず作業機を地面に降ろし，エンジンを停止し，駐車ブレーキをかけてから行なってください。

1AGALAFAP051A

6. 安全キャブ又は安全フレームを改造しないでください。又，強度に影響する破損，曲がりなどが発生した場合，交換してください。

1AGALAFAP034B

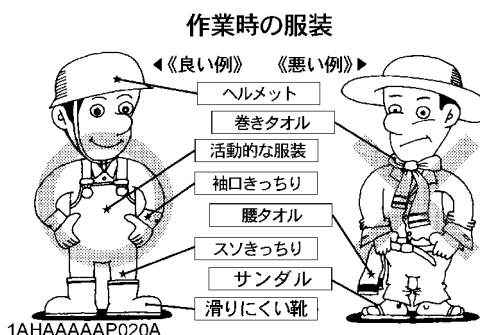
運転前に

1. トラクタを動かす前に，トラクタ及び装着している作業機の取扱説明書と機械に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み，理解した上で運転してください。
2. トラクタ，作業機を他人に貸すとき，又，運転させるときは，事前に運転のしかたを教え，本書を読ませてください。
3. 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には絶対運転させないでください。
4. 飲酒時や体調が悪いとき，病気や妊娠しているときは，トラクタを運転しないでください。

1AGALAFAP035A

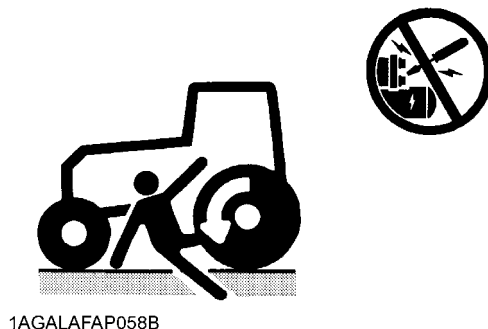
5. ダブダブの衣服やかさばった衣服を着用しないでください。
   回転部分や操縦装置にひっかかり事故の原因になります。
   安全のため，ヘルメット，滑りにくい靴を着用し，必要に応じて安全靴，保護めがねや手袋などを使ってください。
6. トラクタを改造しないでください。改造すると，トラクタの機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながります。
7. 安全カバー類を外した状態でトラクタ，作業機を使用しないでください。
   紛失したり損傷した部品は交換してください。
   ブレーキ，クラッチ，ステアリングや安全装置などの日常点検を行ない摩耗や損傷している部品があれば，交換してください。
   又，定期的にボルトやナットがゆるんでいないか点検してください。（詳細は **［トラクタの簡単な手入れと処置］** の章参照）
8. トラクタは常に清掃しておいてください。
   バッテリ，配線，マフラやエンジン周辺部にゴミや燃料の付着などがあると火災の原因になります。

作業時の服装

◀《良い例》　《悪い例》▶
ヘルメット
巻きタオル
活動的な服装
袖口きっちり
腰タオル
スソきっちり
サンダル
滑りにくい靴

1AHAAAAAP020A

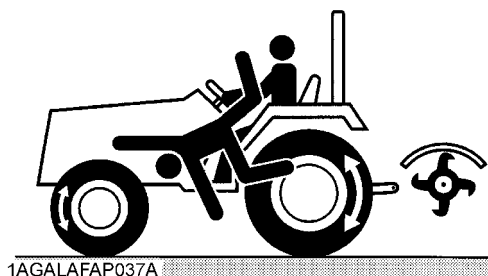
始動時に

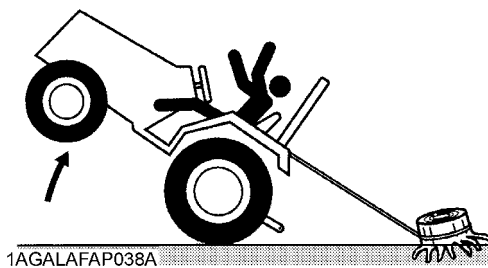
1. エンジンを始動する前に，必ずシートに座り，シャトルレバー・PTO 変速レバーが **［中立］** かどうか，あんしん PTO スイッチが **［切］** かどうか（**N 仕様**），また駐車ブレーキが掛かっているかを確認してください。
2. 地上に立ってエンジンを始動したり，スタータ端子や安全スイッチを直結してエンジンを始動しないでください。
   トラクタが突然動き出すおそれがあります。

1AGALAFAP058B

3. トラクタを始動，運転するときは前後左右をよく確認し，付近に人（特に子供）を近づけないでください。もし変速ギヤーが入っていると車体が動いたりロータリが回転したりして事故になるおそれがあります。又，安全キャブや安全フレームに当たる障害物がないかも確認してください。

1AGALAFAP036C

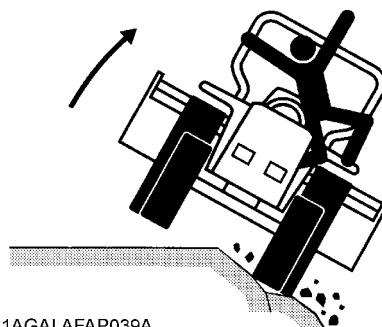
運転時に

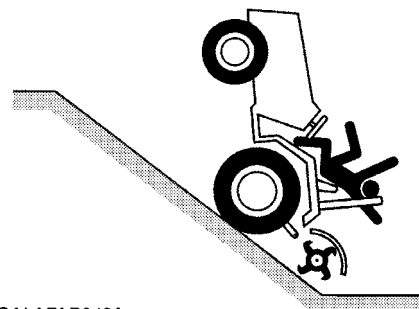
1. 子供はもちろん運転者以外の人を乗せてトラクタを運転しないでください。
   又，必ずシートに座って運転してください。

1AGALAFAP037A

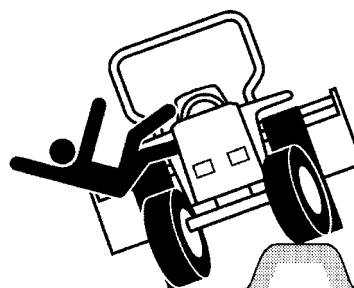
2. けん引作業には，けん引ヒッチ（別売）を用い，絶対に車軸やトップリンクブラケットなどで引張らないでください。
   トラクタの破損や転覆の原因となります。

1AGALAFAP038A

3. 換気が不十分な所では，暖機運転や作業はしないでください。
排気ガスにより一酸化炭素中毒のおそれがあります。

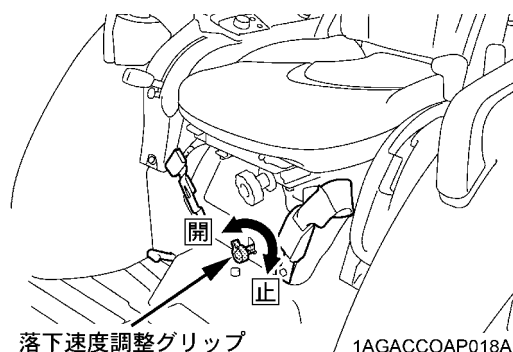
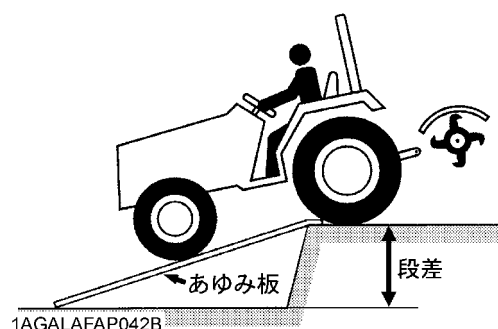
1AGALAFAP052A

4. 溝や穴の近く，路肩などトラクタの重みでくずれやすい所では運転しないでください。
また，草の繁ったところや水たまりなどには，隠れて見えない窪地がある場合があり，トラクタが落ち込むと転倒することがあります。そういう所は必ずトラクタから降りて確認してください。

1AGALAFAP039A

5. 溝やぬかるんだ所から前進で脱出したり，急な坂を前進で登るとトラクタが後方に転覆する危険があります。このような所では，バックで運転してください。
6. 共同で作業をするときは，声をかけあって，お互いにしようとしていることを知らせてください。

1AGALAFAP040A

7. ほ場の出入りなどで，急傾斜の上り降りや溝越えは，低速にして直角に進行してください。その際，必ず左右のブレーキペダルを**［連結］**し，デフロックの解除を確認してください。

1AGALAFAP041A

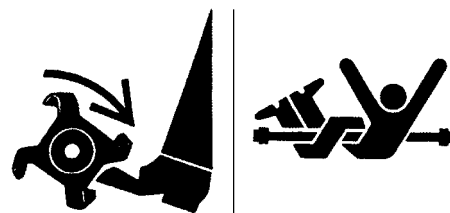
8. ほ場外では，落下速度調整グリップで油圧ロック（停止）をして作業機の落下を防止してください。
［遅い］方向に締めきるとロック（停止）します。

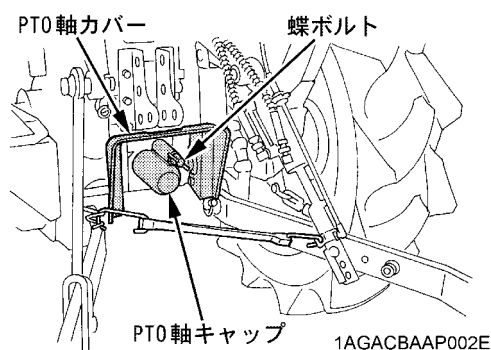
1AGACCOAP018A

9. ほ場の出入りなどで，高低差の大きい急傾斜の登り降りや，溝越えが必要な場合，あゆみ板を使用し，確実に固定してから低速で行なってください。
あゆみ板は段差の４倍以上の長さのものを使用してください。
10. 急な坂道・車両への積込み積降ろし・ほ場への出入り・畦の乗越えなどでは途中で変速すると危険ですので，あらかじめ安全な遅い変速位置に入れて運転してください。

1AGALAFAP042B

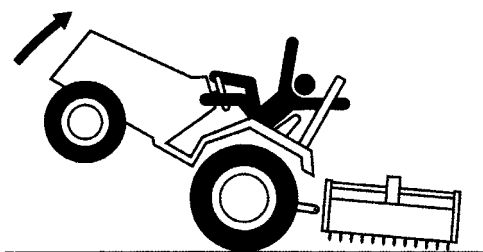
11. ほ場以外や高速走行時，倍速ターン及びAD倍速ターンを使用すると，旋回時急に回り事故を引起こすおそれがあります。
必ず走行モード切換スイッチを**［2WD］**又は**［4WD］**に切換えてください。

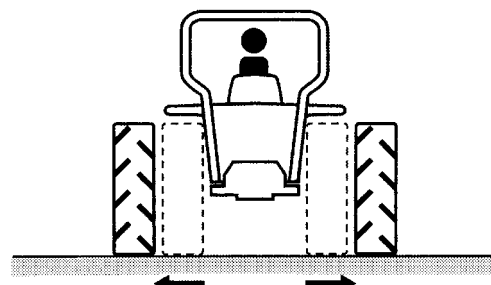
1AGALAFAP059A

作業機使用時に

1. 作業機の着脱は，平坦で安全な場所で行なってください。
2. トラクタから降りるときや，ロータリなどPTO作業機の装着・取外し・調整・掃除又は修理をするときは，作業機が完全に止まるまで待ってください。

1AGALAFAP054A

3. PTO を使用しないときは，PTO 軸キャップを装着しておいてください。
4. PTO 軸カバーは常に取付けておいてください。
5. PTO 作業機は，その作業機で定められた PTO 回転以上で使用しないでください。
   機械の破損や人身事故のおそれがあります。

1AGACBAAP002E

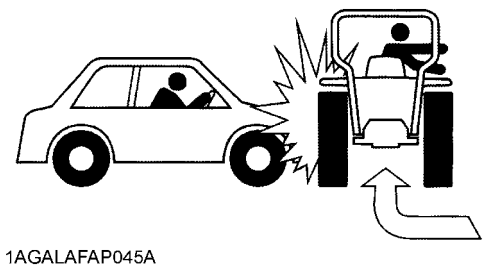
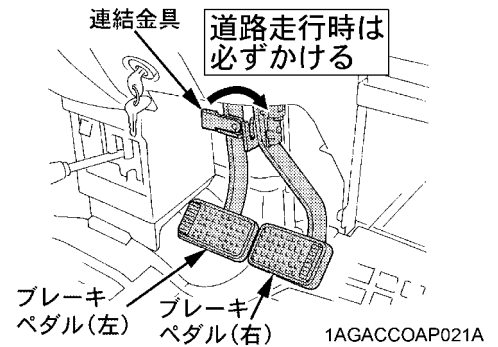
6. トラクタ後部用作業機を装着したとき，かじ取り車輪（前輪）にかかる荷重が総重量の 20％以上になるようにバランスウエイトを装備し，使用してください。
   前部が軽くなりすぎると，操縦が難しくなり転倒事故のおそれもあります。
7. 作業機はトラクタに推奨されているものを使用してください。
   大きすぎたり，小さすぎたりしてバランスの悪い作業機は機械の破損や人身事故にもつながります。
   詳細は購入先にご相談ください。

1AGALAFAP043A

8. 傾斜地作業，フロントローダ作業などでは，安定を良くするために，支障のない範囲で輪距（タイヤ中心間の距離）を大きくしてください。

1AGALAFAP044A

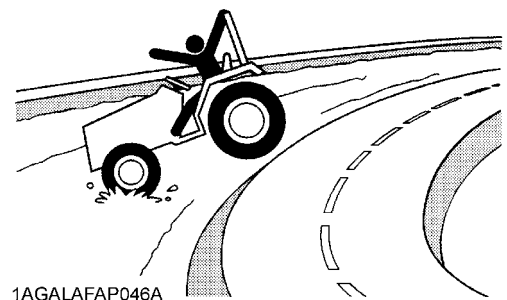
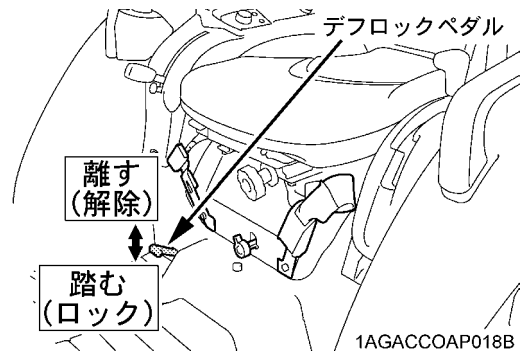
道路走行時に

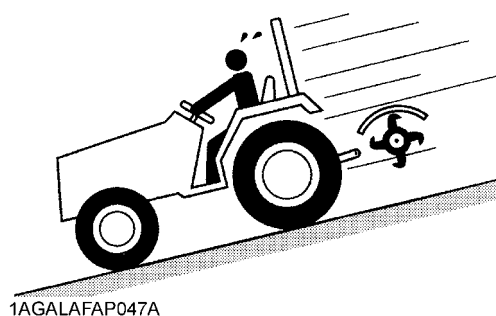
1. 道路走行時は，左右のブレーキペダルを **［連結］** してください。
   高速走行で誤って片ブレーキをかけるとトラクタが振られ，転倒や交通事故のおそれがあります。
2. 信号待ちなどの一時停止時はブレーキペダルを踏んだままにしてください。

1AGACCOAP021A

1AGALAFAP045A

3. 道路走行時は絶対にデフロックを使用しないでください。
   ハンドル操作が出来なくなります。
4. 旋回する前にはトラクタの速度を落としてください。
   高速で旋回するとトラクタが転倒するおそれがあります。

1AGACCOAP018B

1AGALAFAP046A

5. 坂を降りるとき，クラッチを切ったり，変速を **[中立]** にして惰性で走行しないでください。
   操縦ができなくなるおそれがあります。
6. トラクタは作業機を装着して公道を走行できません。（道路運送車両法の保安基準）
   作業機を装着して走行すると，他の車や電柱などに引っかけて事故の原因になります。
7. 交通や安全規則を守ってください。
   運転免許証は，必ず携行してください。

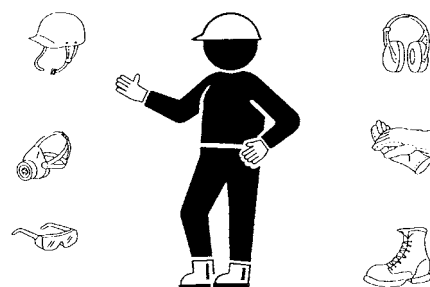
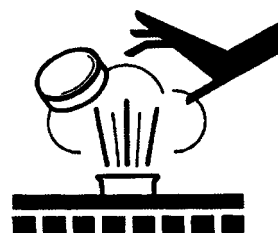
1AGALAFAP047A

駐車，格納時に

1. 駐車するときは，平坦でトラクタが安定する場所を選び，PTO を **[切]**，作業機を **[下げ]**，各変速レバーを **[中立]**，駐車ブレーキを **[掛け]**，エンジンを **[停止]** してキーを **[抜いて]** ください。
   やむをえず坂道で駐車する場合は，タイヤに車止めをしてください。
2. 乾いた草やワラなど可燃物の堆積した場所には，駐車しないでください。
3. 格納などでトラクタにシートをかける場合は，マフラやエンジンが充分冷えてから行なってください。

1AGALAFAP053A

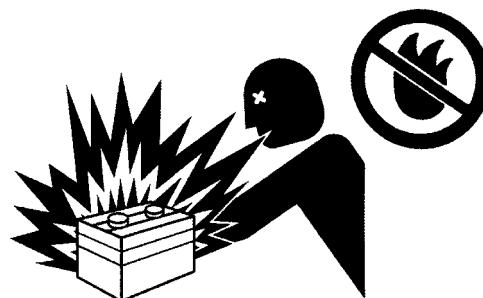
点検・給油・整備時に

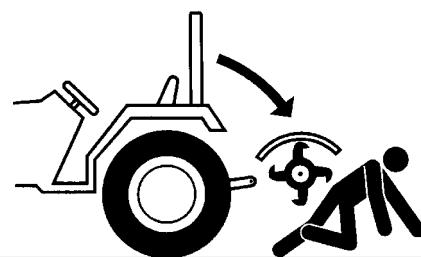
1. 点検整備には帽子と安全な服装を着用してください。
   作業内容によってはヘルメット，安全靴，保護めがね，防塵マスク，防音具，保護手袋などの保護具を着用してください。
   各保護具は使用前に機能を確認してください。

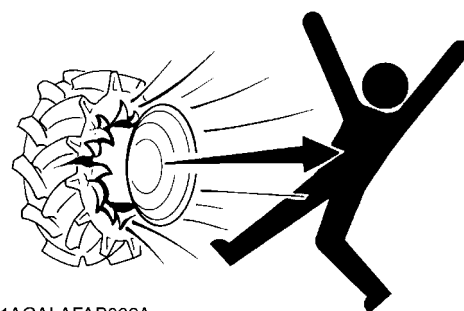
1AGADAPAP122A

2. 平たんな場所に駐車し，作業機を **[下げ]**，駐車ブレーキを **[掛け]**，各変速レバーを **[中立]** にし，そしてエンジンを **[停止]** してください。
3. エンジン・マフラ・ラジエータなどがじゅうぶん冷えてから点検整備してください。ヤケドのおそれがあります。

1AGALAFAP055A

4. 燃料を補給するときやバッテリを充電しているときは，タバコを吸ったり，火を近づけないでください。
バッテリは充電中可燃性ガスが発生し，引火爆発のおそれがあります。
5. 放電したバッテリにブースタケーブルなどを接続して始動するときは，取扱方法をよく読みそれに従ってください。
（**［運転のしかた］**の章の**［バッテリあがりの処置］**の項を参照）

1AGALAFAP048A

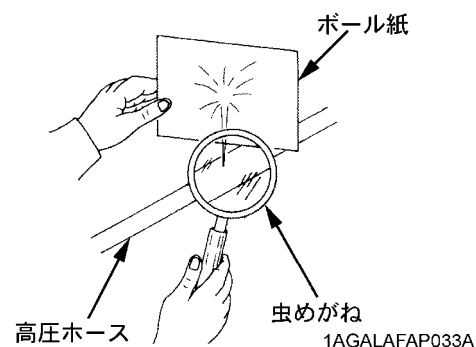
6. バッテリは液面が LOWER（最低液面線）以下になったままで使用や充電をしないでください。
LOWER 以下で使用を続けると電池内部の部位の劣化が促進され，バッテリの寿命を縮めるばかりでなく，爆発の原因となることがあります。
すぐに UPPER LEVEL（上限）と LOWER LEVEL（下限）の間に補水してください。（開放型バッテリ）
7. バッテリを外すときは，短絡事故を防ぐため，最初にバッテリのマイナスコードを外し，接続するときは最後に接続してください。
8. バッテリ液は希硫酸なので扱いには注意し，体や衣服に付けないようにしてください。もし目や体に付着した場合はすぐ水で洗って，すみやかに医師の診療を受けてください。

1ARAEABAP014B

9. ３点リンク作業機を上げた状態で点検整備を行なう場合，必ず落下速度調整グリップで作業機が落下しないようにロック（停止）してください。ロック（停止）するとともに適切なジャッキ又はブロックで歯止めをし，落下防止を行なってください。

1AGALAFAP057A

10. タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。
空気の入過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり死傷事故を引起こす原因になります。
11. タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。
タイヤ破裂のおそれがあります。
12. タイヤ・チューブ・リムなどの交換・修理は，必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

1AGALAFAP062A

13. 圧力がかかり噴出した油は，皮膚を貫通する程の力があり，傷害の原因になります。油圧部品を外すときは，必ず残圧を抜いてください。

1BAACAAAP010D

14. 見えない小さな穴からの油漏れを探すときは，保護めがねをかけ，ボール紙などを利用してください。
万一，油が皮膚を貫通したときは，強度のアレルギーを起こすおそれがあるので，すぐ医師の診療を受けてください。

1AGALAFAP033A

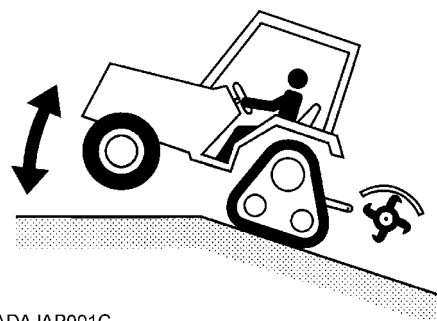
15. 廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
＊ 廃油，燃料，冷却水（不凍液），冷媒，溶剤，フィルタ，バッテリ，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

1BJABAAAP018D

パワクロ仕様の場合

以下の内容は**［パワクロ仕様］**の場合の特別な注意事項を記載しています。前述の注意事項と合わせてよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。

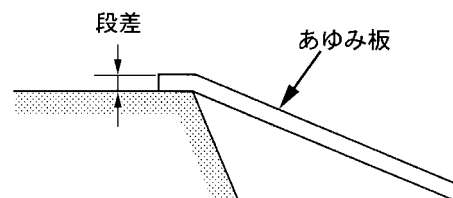
■運転時に

1. 凹凸やカーブの多い所では絶対に高速走行をしないでください。ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。
2. クローラ部が凸部を乗越えるときは，急に姿勢が変わりますのでじゅうぶん注意してください。

1AGADAJAP001C

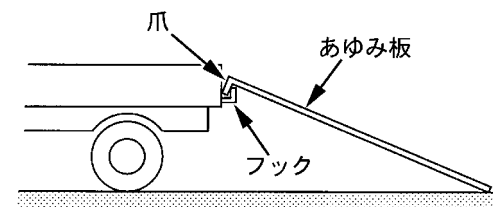
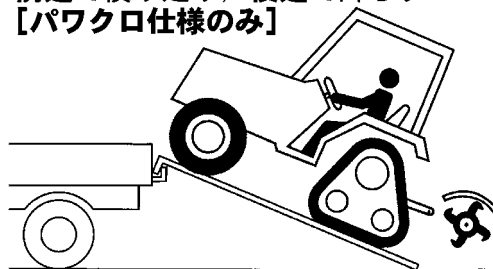
■あゆみ板使用時に

1. あゆみ板は左右の先端をそろえ，前後にずれないように確実に固定してください。
2. あゆみ板とあゆみ板をかけた面との段差が大きい場合，運転には特に注意してください。
3. 途中で変速すると危険ですので，あらかじめ安全な遅い変速位置に入れて低速で運転してください。
4. あゆみ板は，十分な強度・幅・長さ（傾斜が 15 度以下になる長さ：トラックの荷台高さ，あるいはほ場乗入れ部高さの 4 倍以上）のあるすべり止め及び爪付きのものを使用し，パワクロの重量であゆみ板が傾いたりしない場所を選んでください。

◆ ほ場への出入り

1. クローラの片側だけが段差に引っかかり乗りあがらない状態になった場合，いったん車両を元に戻し，あゆみ板をかけ直してはじめからやり直してください。

1AGACBUAP002B

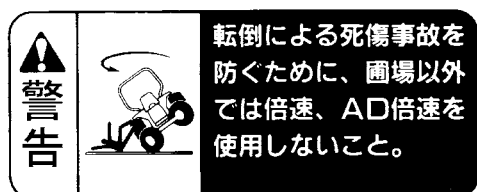
◆ トラックへの積み・降ろし

1. トラックは荷台後部にあゆみ板の爪をかけるフックが付いた物を使用してください。
2. トラックへの積み・降ろしは，必ず左右のブレーキペダルを［**連結**］し，**前進で積み込み，後進で降ろして**ください。前進で降りると，クローラがあゆみ板の段差ですべり，前輪が浮いて車体が旋回し，転倒事故につながるおそれがあります。

1AGACBUAP003B

1AGACBUAP004C

表示ラベルと貼付け位置

(1)品番　T1060-4905-0

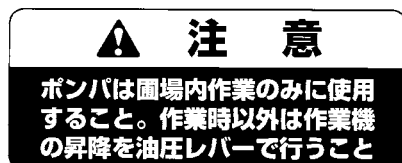
警告

転倒による死傷事故を防ぐために、圃場以外では倍速、AD倍速を使用しないこと。

1AGALBAAP126J

(2)品番　T1850-4908-0

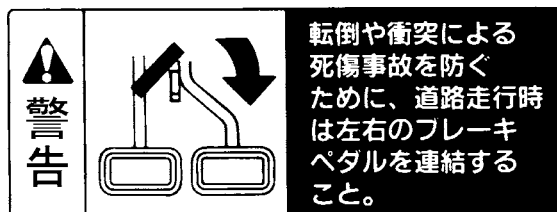
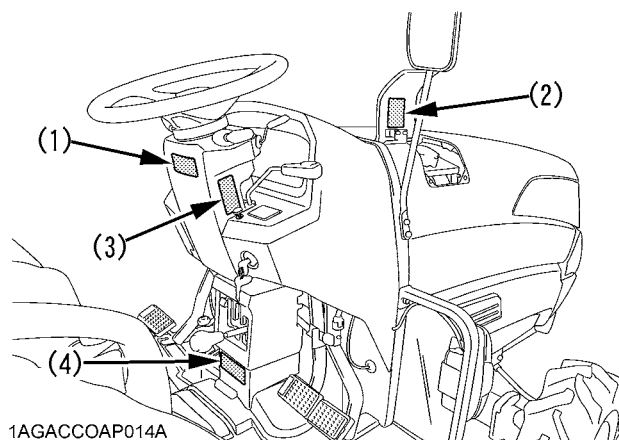
1AGACCBAP123J

(3)品番　T1060-4964-0［MA・MAD仕様］

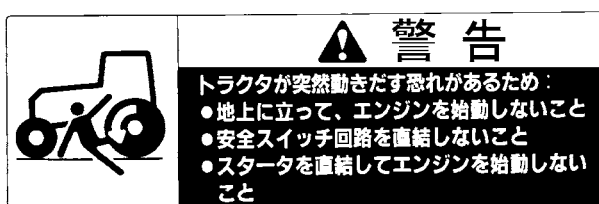
ポンパは圃場内作業のみに使用すること。作業時以外は作業機の昇降を油圧レバーで行うこと

1AGALBAAP133J

(4)品番　T1060-4903-0

警告

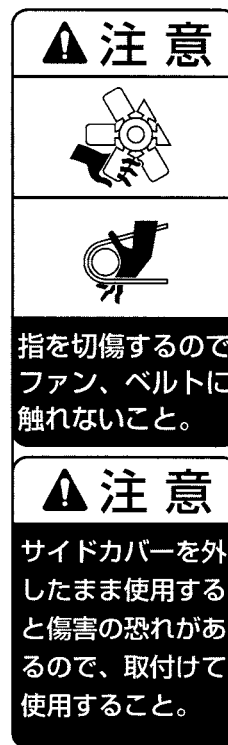
転倒や衝突による死傷事故を防ぐために、道路走行時は左右のブレーキペダルを連結すること。

1AGADALAP238J

1AGACCOAP014A

(1)品番　T1060-4954-0

1AGALBAAP124J

(2)品番　T1850-4958-0

1AGACCBAP124J

(3)品番　T0180-4965-0

1AGADALAP249J

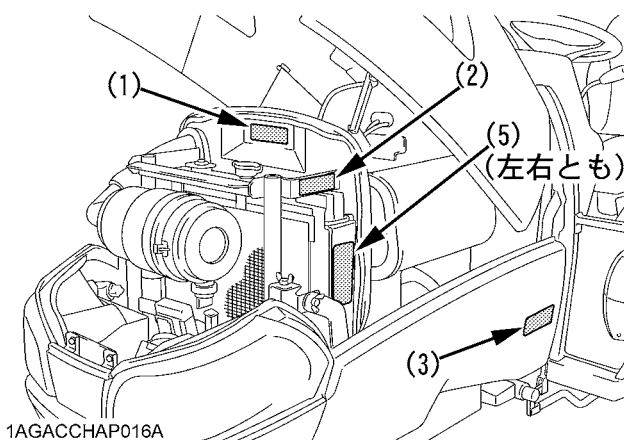
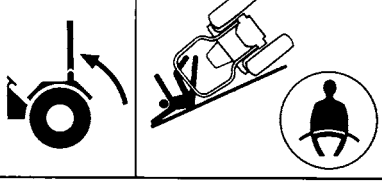
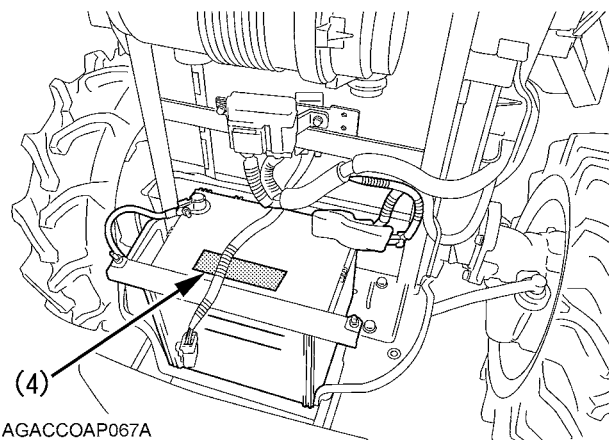
(4)品番　TC260-5542-0 **[MF（メンテナンスフリー）バッテリ]**

1AGASABAP073J

(4)品番　T1060-3009-0 **[開放型バッテリ]**

1AGADALAP254J

(5)品番　T1850-4955-0

1AGACCBAP125J

1AGACCHAP016A

1AGACCOAP067A

(1)品番 T1060-4901-0 ［安全フレーム仕様］

警　告

転倒、転落による死傷事故軽減のために：
- 納屋の出入りなど安全フレームが当たる場合を除き、運転時は安全フレームを立て、確実にロックして使用すること。
- 安全フレームを立てたとき、必ずシートベルトを着用すること。
- 安全フレームを折った状態では、シートベルトを着用しないこと。

注意

傷害事故防止のため、取扱説明書を読み理解して正しい取扱いをしてください

始動時
- シートにすわり、PTO及び各変速レバーを中立にすること
- 前後左右に人がいないことを確認すること

運転時
- 運転者以外に人を乗せないこと
- 排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあるので換気の不十分な所で使用しないこと
- 溝や穴のちかく、路肩など重みでくずれやすい所では運転しないこと
- 道路走行時はデフロックを使用しないこと

運転時
- 急な坂道、積込み積降ろし、圃場の出入り、畦の乗越え等では遅い車速で運転し、途中で変速しないこと
- 道路走行は道路運送車両の保安基準に適合すること（詳細は取扱説明書を参照）

駐車時
- PTO及び各変速レバーを中立にし、作業機を地面に降ろし、駐車ブレーキを掛け、エンジンをとめること

点検、整備時
- エンジンをとめ、機械の各部が停止してから行うこと
- 3点リンク作業機持ち上げ時は油圧ロックをすること

1AGACCBAP113J

(2)品番 T0273-6497-0
［安全フレーム付きUシフト仕様］

注　意

低温始動時Uシフトでの発進遅れ
・異常ではないので変速を入れたまま降りないこと
　遅れて動き出しキケンです
傾斜面でのUシフト変速
・急斜面でUシフト変速を行うと、滑走する恐れがあるので、低速で走行し、途中変速しないこと

1AGACCBAP114J

(3)品番 T1060-4959-0

警　告

巻込まれによる死傷事故を防ぐために
- PTO軸回転中は近づかないこと
- PTO軸を使用しないときは PTO軸キャップを装着すること

1AGALBAAP128J

(4)品番 T1060-4968-0

注意

- PTO軸カバーを取りはずさないこと。
- PTO軸カバーの上に乗らないこと。

1AGALBAAP127J

(5)品番 T1060-4904-0

警　告

転倒による死傷事故を防ぐために、けん引は、けん引ヒッチを使用し、車軸やトップリンクブラケット等で行わないこと

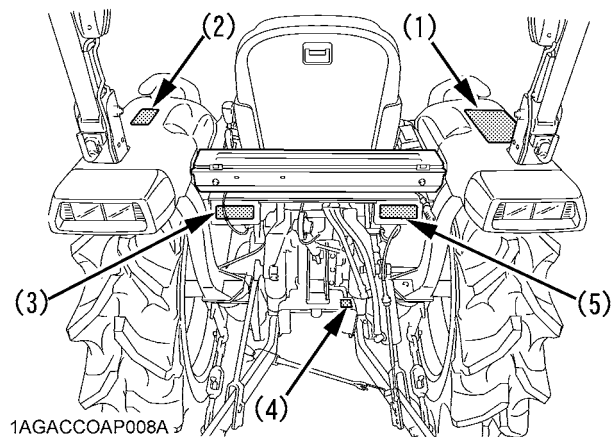
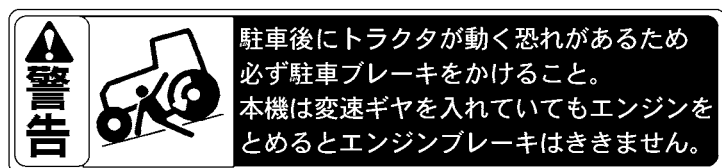
1AGALBAAP129J

1AGACCOAP008A

目次　困ったときには　安全　サービスと保証小特の取扱い　運転のしかた　作業のしかた　安全キャブ装備品の取扱い　トラクタの簡単な手入れと処置　付表　索引

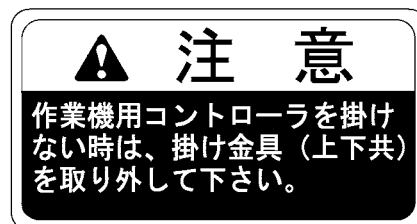
(1)品番 T1063-4932-0 ［Uシフト仕様］

警告

駐車後にトラクタが動く恐れがあるため
必ず駐車ブレーキをかけること。
本機は変速ギヤを入れていてもエンジンを
とめるとエンジンブレーキはききません。

1AGALBAAP093J

(2)品番 T3635-4918-1 ［安全キャブ仕様］

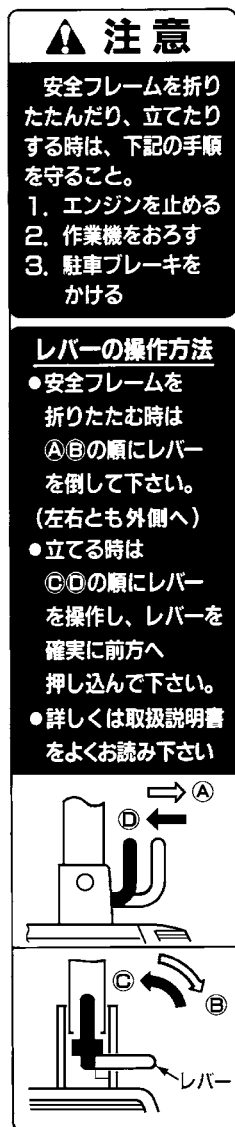
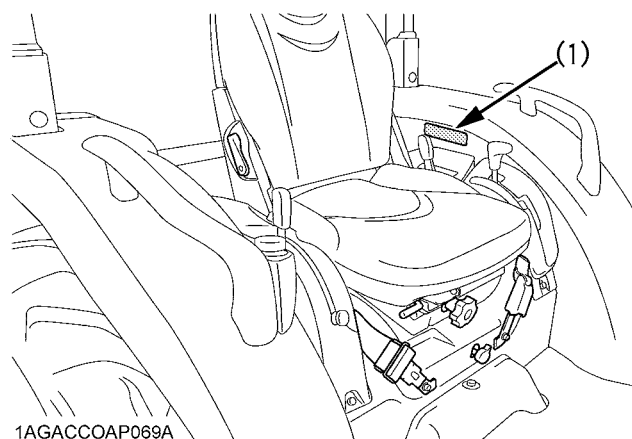
注　意

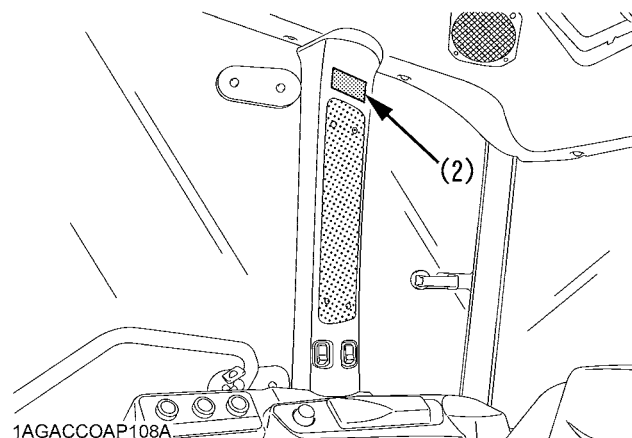
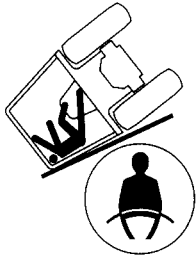
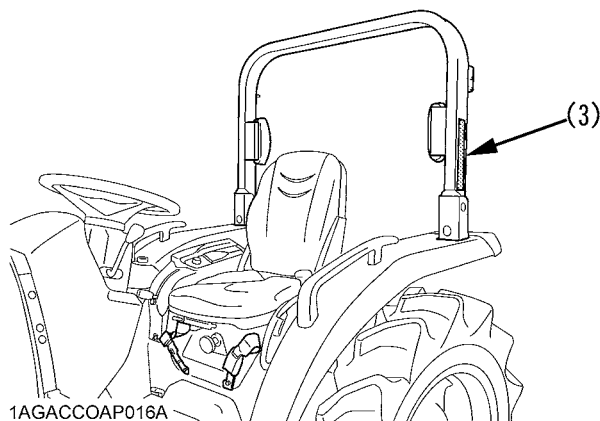
作業機用コントローラを掛け
ない時は、掛け金具（上下共）
を取り外して下さい。

1AGACCOAP033J

(3)品番 T1060-4927-0
［安全フレーム仕様］

注 意

安全フレームを折り
たたんだり、立てたり
する時は、下記の手順
を守ること。
1．エンジンを止める
2．作業機をおろす
3．駐車ブレーキを
　かける

レバーの操作方法
●安全フレームを
折りたたむ時は
Ⓐ Ⓑの順にレバー
を倒して下さい。
（左右とも外側へ）
●立てる時は
Ⓒ Ⓓの順にレバー
を操作し、レバーを
確実に前方へ
押し込んで下さい。
●詳しくは取扱説明書
をよくお読み下さい

1AGACCBAP111J

1AGACCOAP069A

1AGACCOAP108A

1AGACCOAP016A

(1)品番　T1855-4902-0
［安全キャブ仕様］

⚠ 警告

転倒、転落による
死傷事故軽減の
ために、運転時は
必ずシートベルト
を着用すること。

1AGACCBAP126J

(2)品番　T1859-4933-0
［安全キャブ付きUシフト仕様］

⚠ 注　意

低温始動時
Uシフトでの発進遅れ
・異常ではないので
変速を入れたまま
降りないこと。
遅れて動き出して
キケンです。
傾斜面での
Uシフト変速
・急斜面でUシフト
変速を行うと、滑
走するおそれがあ
るので低速で走行
し途中変速しない
こと。

1AGACCBAP127J

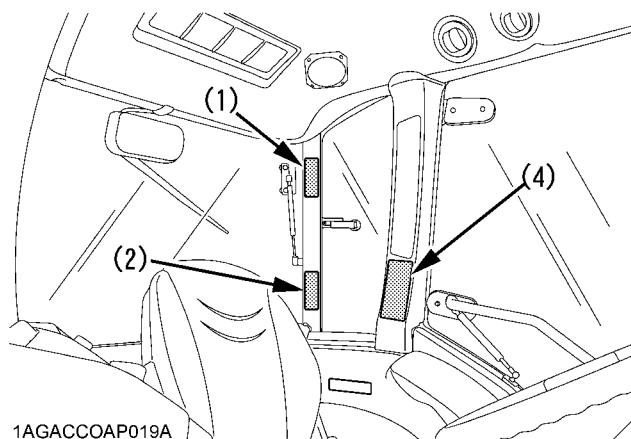
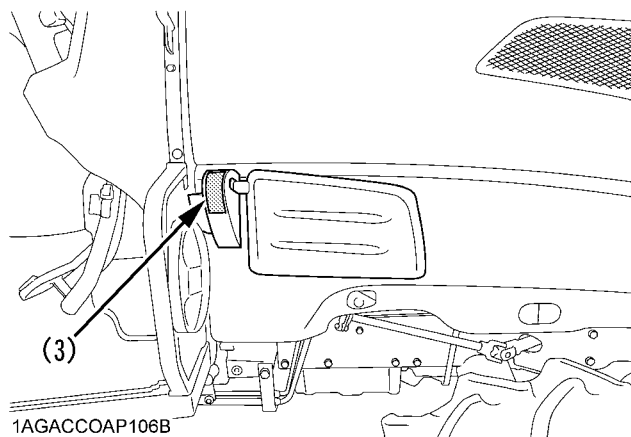
(3)品番　6A900-5466-2

1AGATAHAP0430

(4)品番　T1855-4901-0
［安全キャブ仕様］

⚠ 注　意

傷害事故防止のため、取扱説明書を読み
理解して正しい取扱いをしてください
始動時
・シートにすわり、PTO及び各変速レバー
を中立にすること
・前後左右に人がいないことを確認すること
運転時
・運転者以外に人を乗せないこと
・排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあ
るので換気の不十分な所で使用しないこと
・溝や穴のちかく、路肩など重みでくずれ
やすい所では運転しないこと
・急な坂道、積込み積降ろし、圃場の出入り、
畦の乗越え等では遅い車速で運転し、途中
で変速しないこと
・道路走行時はデフロックを使用しないこと
・道路走行は道路運送車両の保安基準に適合
すること（詳細は取扱説明書を参照）
駐車時
・PTO及び各変速レバーを中立にし、
作業機を地面に降ろし、駐車ブレーキを
掛け、エンジンをとめること
点検、整備時
・エンジンをとめ、機械の各部が停止して
から行うこと
・3点リンクで作業機持ち上げ時は油圧
ロックをすること

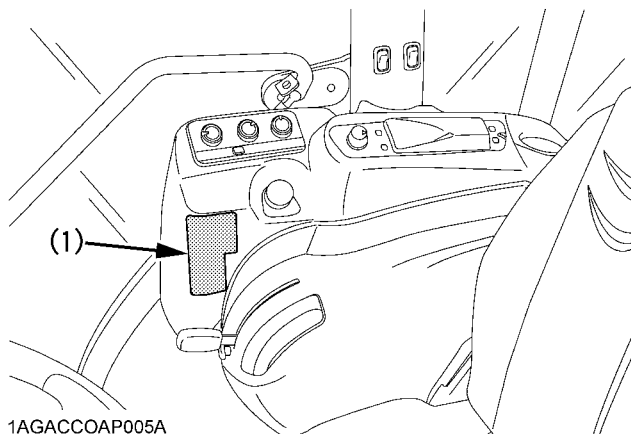
1AGACCBAP128J

1AGACCOAP019A

1AGACCOAP106B

(1)品番　T1856-4934-0
［安全キャブ付きN仕様］

警　告
巻き込まれによる死傷事故を防ぐためアップオフPTO入りの時は作業機に近づかないこと。（油圧ロックで作業機が下がらなくてもポンパ、油圧レバーの下降操作でPTOが回転します）

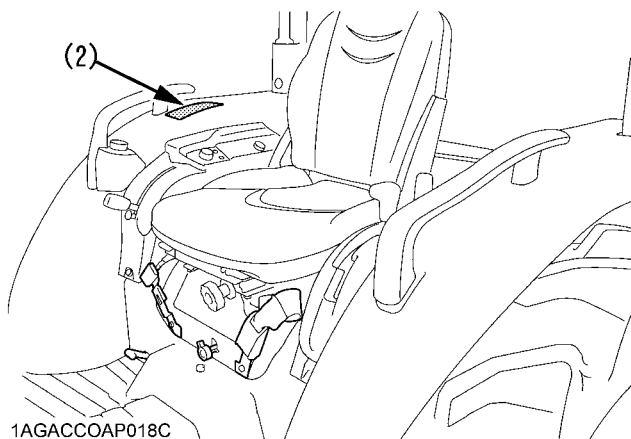
注　意
・アップオフPTOは圃場内作業以外切りにすること。
・アップオフPTOはロータリ、ハロー作業のみに使用すること。

1AGACCBAP129J

1AGACCOAP005A

(2)品番　T1841-4934-0
［安全フレーム付きN仕様］

注意
・アップオフPTOは圃場内作業以外切りにすること。
・アップオフPTOはロータリ、ハロー作業のみに使用すること。

1AGACCBAP130J

1AGACCOAP018C

表示ラベルの手入れ

1. ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
   もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
2. 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
3. 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
4. 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
5. ラベルが貼付けられている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証／小型特殊自動車としての取扱い

サービスと保証

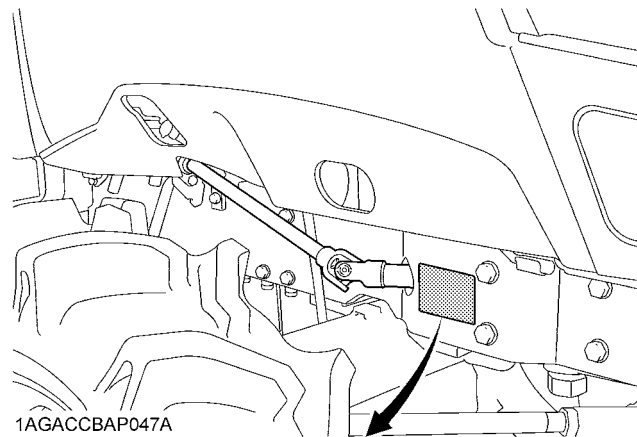
この製品には，保証書が添付してありますのでご使用前によくご覧ください。

■ ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先にそれぞれ **[ご相談窓口]** を設けておりますのでお気軽にご相談ください。
その際銘板に記載している
1. 型式名
2. 製造番号

を併せてご連絡ください。
なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

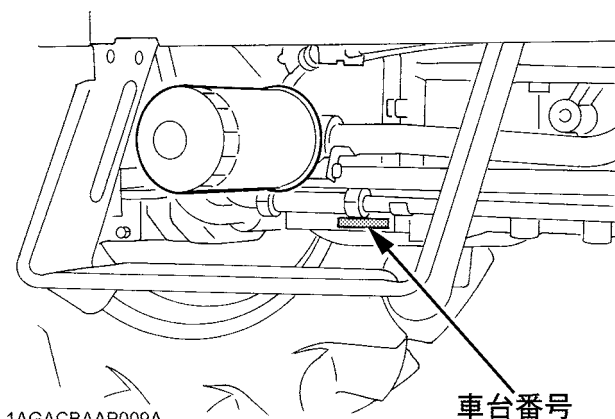
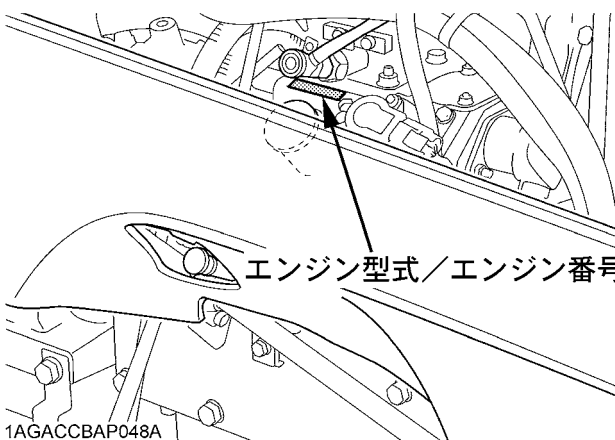
警 告

＊ 機械の改造は危険ですので，改造しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

1AGACCBAP047A

農業機械の種類	農用トラクタ(乗用形)
型式名	クボタ
販売型式名	
区分	
車両型式名	
車台(製造)番号	
製造会社	株式会社クボタ

1AGACDAAP169D

1AGACBAAP009A

1AGACCBAP048A

■ 補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打ち切り後 12 年といたします。
ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。

目次
困ったときには
安全
サービスと保証 小特の取扱い
運転のしかた
作業のしかた
安全キャブ装備品の取扱い
トラクタの簡単な手入れと処置
付表
索引

農 機 型 式 名	型式検査（国検）合格番号
クボタ KSQ245（安全キャブ）	210004
クボタ KSQ345D（安全キャブ）	210005
クボタ KSQ345（安全キャブ）	210006
クボタ KSQ34R-PC（安全キャブ）	210007
クボタ KSF25（安全フレーム）	210008
クボタ KSF27（安全フレーム）	210009
クボタ KSF33（安全フレーム）	210010
クボタ KSF34R-PC（安全フレーム）	210011

農 機 型 式 名	安全鑑定適合番号	小型特殊自動車車両型式名	型式認定番号
クボタ KL24R	35014	クボタ EDM-KL3A	農 3135 改造型
クボタ KL27R	35013	クボタ EDM-KL3B	農 3136 改造型
クボタ KL31R	35010	クボタ EDM-KL3C	農 3137 改造型
クボタ KL34R	35008	クボタ EDM-KL3C	農 3137 改造型
クボタ KL24RH	35012	クボタ EDM-KL3A	農 3135 改造型
クボタ KL27RH	35011	クボタ EDM-KL3B	農 3136 改造型
クボタ KL31RH	35009	クボタ EDM-KL3C	農 3137 改造型
クボタ KL34RH	35007	クボタ EDM-KL3C	農 3137 改造型
クボタ KL26R-PC	35019	クボタ EDM-KL3B	農 3136 改造型
クボタ KL28R-PC	35018	クボタ EDM-KL3B	農 3136 改造型
クボタ KL31R-PC	35017	クボタ EDM-KL3C	農 3137 改造型
クボタ KL34R-PC	35016	クボタ EDM-KL3C	農 3137 改造型
クボタ KL34RH-PC	35015	クボタ EDM-KL3C	農 3137 改造型

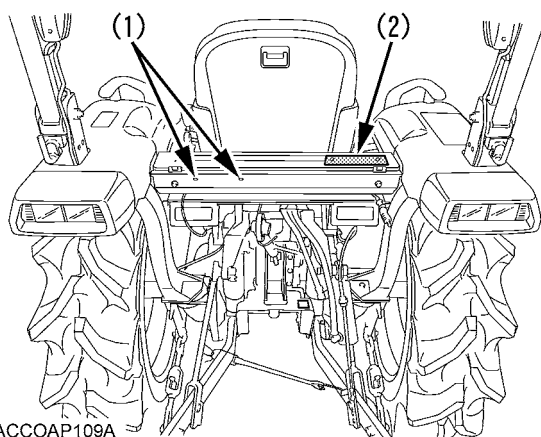
小型特殊自動車としての取扱い

このトラクタは，道路運送車両法の小型特殊自動車に該当します。

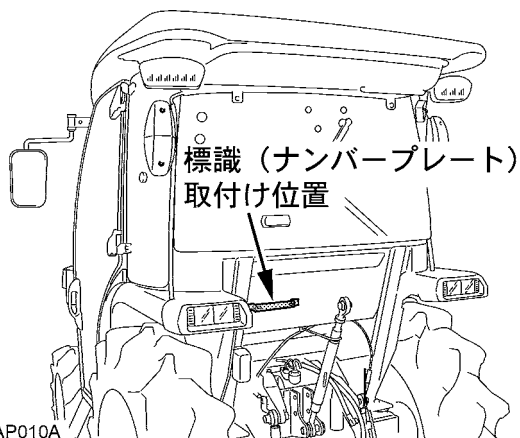
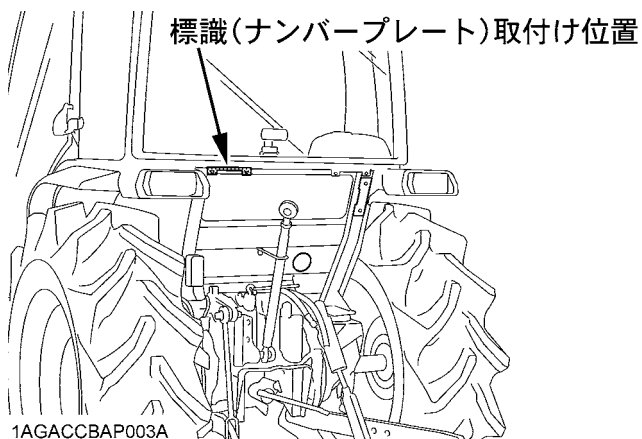
■ 小型特殊自動車取得の届出と標識（ナンバープレート）の取付け

新たに小型特殊自動車の所有者となった者は，市町村条例により，その取得したことを市町村役所に届けて，標識（ナンバープレート）の交付を受けなければなりません。
手続きは市町村により，多少異なりますので詳細は，購入先にご相談ください。

1. 小型特殊自動車を購入したときは，販売証明書など（購入先で発行）に，軽自動車税を添えて市町村役所に届出ます。
2. 届出が済むと標識（ナンバープレート）が交付されます。
3. 標識（ナンバープレート）は，車体の取付け位置に取付けてください。

◆ 安全フレーム仕様

(1) 標識（ナンバープレート）取付け位置［ホイール仕様］
(2) 標識（ナンバープレート）取付け位置［パワクロ仕様］

◆ 安全キャブ仕様

［KL24R (H)］

［KL27R (H)・31R (H)・34R (H)・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R (H) -PC］

■ 運転免許

公道を走行する場合は，次の運転免許証が必要です。必ず所持してください。

型　　式	免　許　証
KL24R, 27R, 31R, 34R, 26R-PC, 28R-PC, 31R-PC, 34R-PC	小型特殊自動車を運転できる免許証
KL24RH, 27RH, 31RH, 34RH, 34RH-PC	大型特殊自動車を運転できる免許証

重　要

＊ KL24RH, 27RH, 31RH, 34RH, 34RH-PC　は道路運送車両法上の小型特殊自動車に該当しますが，**［道路交通法］**では，大型特殊自動車に該当します。従って公道を走行する場合は，**［大型特殊自動車の運転免許証］**が必要です。

■ 損害賠償保険について

万一の交通事故補償に備え，任意保険に加入されることをお勧めします。

重　要

＊ エンジンで封印されている所はさわらないでください。（封印が外されたと認められる場合は，一切の保証は致しません。）

補　足

＊ インプルメントやアタッチメントを装着した状態では **［道路運送車両法の保安基準］** を満たしませんので，道路走行することはできません。
＊ 作業灯はフロントサイド作業灯を含め **［道路運送車両法の保安基準］** 第 42 条（灯火の色等の制限）において，**［走行中に使用しない灯火］** とされ，点灯したまま道路走行すると他の交通車両の妨害となることから道路走行中の点灯は禁止されております。

運転のしかた

運転前の点検

故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。日常点検は一日一回，運転前に欠かさず行なってください。
（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章を参照。）

＊ 運転前にブレーキ・クラッチ・ステアリングや安全装置などの日常点検を行ない，摩耗や損傷している部品があれば交換してください。また，定期的にボルトやナットがゆるんでいないか点検してください。
＊ 点検をするときは，必ず作業機を降ろしエンジンを停止してから行なってください。
＊ 燃料補給時は，くわえタバコ・裸火照明はしないでください。
＊ 燃料・オイルがこぼれた場合は，きれいにふき取ってください。
＊ 運転中及び停止直後は，ラジエータの圧力キャップを絶対に開けないでください。熱湯が噴出してヤケドをするおそれがあります。
＊ エンジン周囲のカバー類を開けて点検・整備するときは，次の手順に従ってください。
1. エンジン停止後 30 分経過してから開ける。
2. 点検・整備で内部に触れるときは，ヤケドのおそれがないことを確認する。

重　要

各部への給油と交換
＊ 点検するときはトラクタを水平な場所に置いて行なってください。傾いていると正確な量を示さないことがあります。
＊ 使用するエンジンオイル，ミッションオイルは，必ず指定**［クボタ純オイル］**を使用してください。

目次
困ったときには
安全
サービスと保証
小特の取扱い
運転のしかた
作業のしかた
安全キャブ
装備品の取扱い
トラクタの簡単な手入れと処置
付表
索引

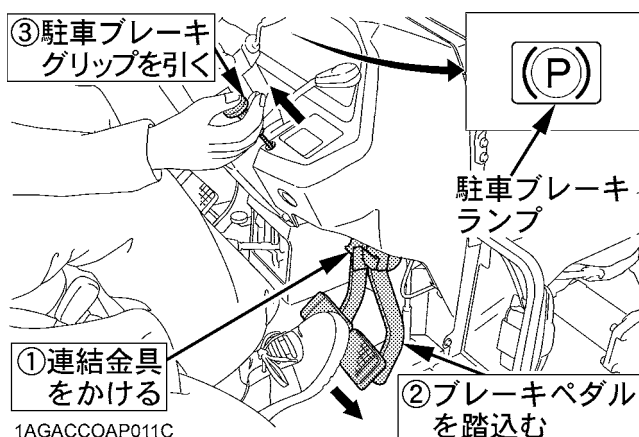
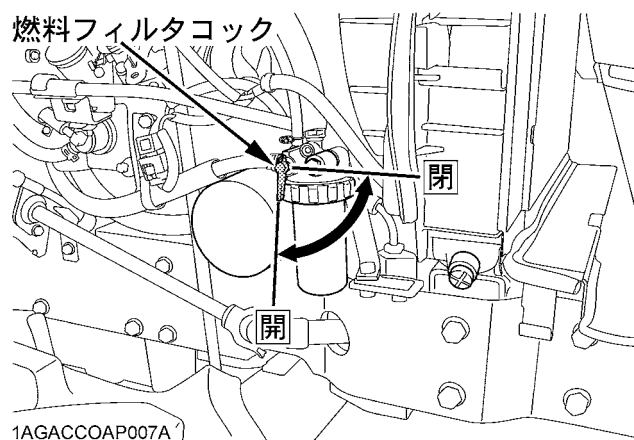
エンジンの始動と停止

警告

＊ この取扱説明書前編の黄色のページの［安全に作業するために］の内容を必ずお読みください。
＊ トラクタに貼ってある⚠表示ラベルの内容を必ずお読みください。
＊ エンジンを始動する前に，必ずシートに座り，主変速，シャトルレバーや PTO 変速レバーが［中立］(N) かどうか，また駐車ブレーキが掛かっているかを確認してください。
＊ あんしん PTO スイッチを［切］にしてください。(N 仕様)
＊ トラクタが突然動き出すおそれがあるため，地上に立ってエンジンを始動したり，スタータ端子や安全スイッチを直結してエンジンを始動しないでください。
＊ 室内やビニールハウス内などで運転する場合は，換気を十分に行なってください。
換気が不十分であると排気ガスにより，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

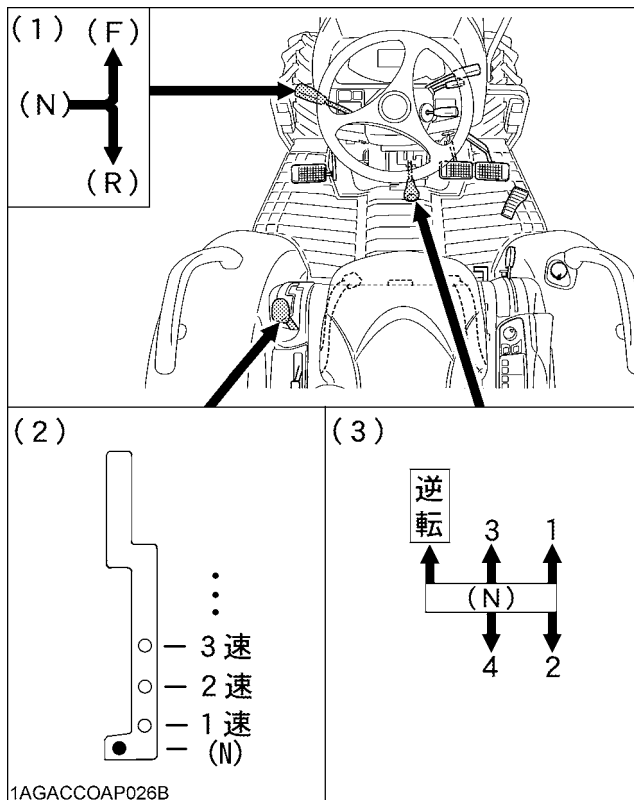
■始動のしかた

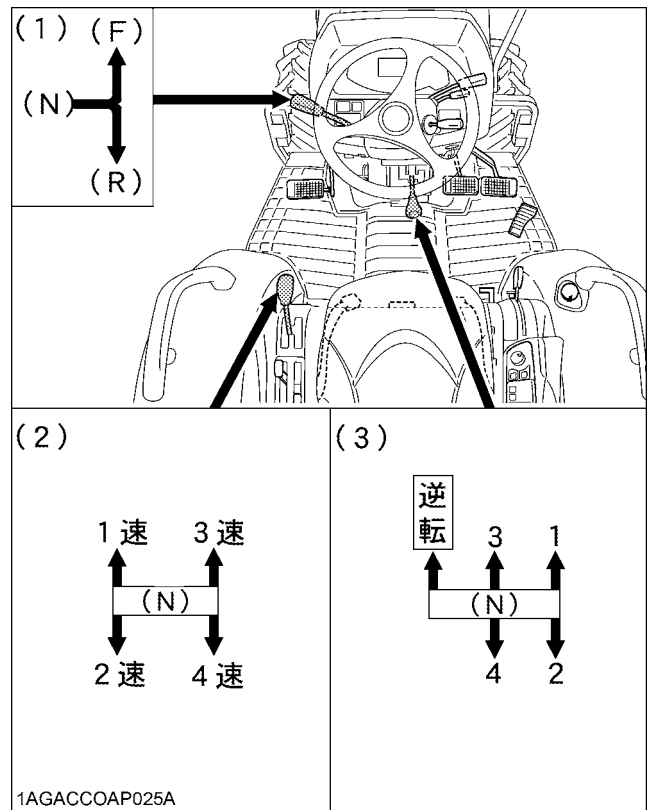
1. 駐車ブレーキをかけます。

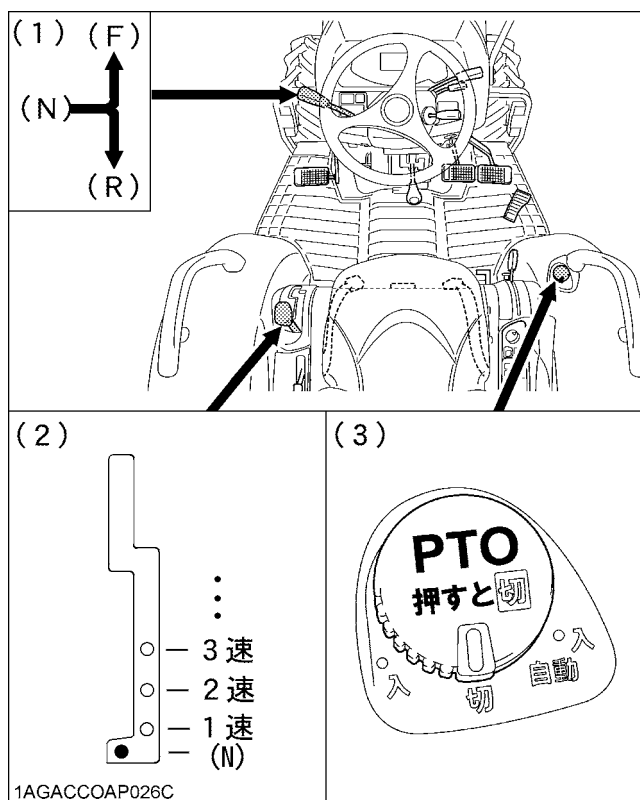
ブレーキペダルを左右連結して踏込み，グリップを**［引い］**たまま足をはなすと駐車ブレーキが掛かります。
キースイッチ**［入］**時，駐車ブレーキを掛けると，メータパネル内の(P)ランプが点灯します。

2. 燃料フィルタコックを［開］にします。

3. 主変速レバー，シャトルレバー，PTO 変速レバーを［中立］（N）にします。あんしん PTO スイッチを［切］にします。（N 仕様）

補　足

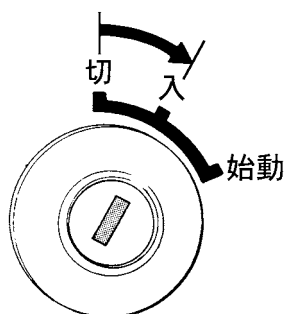
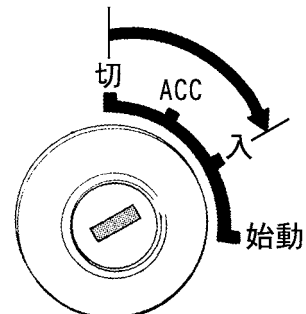
＊ シャトルレバーと PTO 変速レバーを**［中立］（N）**又は，あんしん PTO スイッチを**［切］（［N 仕様］）**にしないと，安全スイッチが作動してエンジンは始動しません。

◆ **U シフト（F）仕様**

(1) シャトルレバー　**(F)［前進］**
(N)［中立］
(R)［後進］
(2) 主変速レバー
(3) PTO 変速レバー

◆ **マニュアルシフト仕様**

(1) シャトルレバー　**(F)［前進］**
(N)［中立］
(R)［後進］
(2) 主変速レバー
(3) PTO 変速レバー

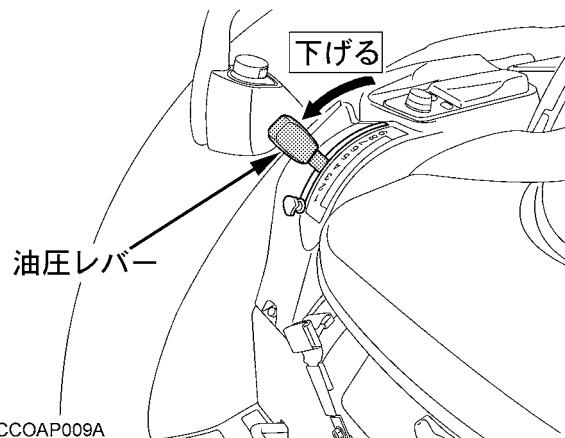
◆ **あんしん PTO（N）仕様**

(1) シャトルレバー **(F)［前進］**
(N)［中立］
(R)［後進］
(2) 主変速レバー
(3) あんしん PTO スイッチ

PTO 変速レバーは **［中立］(N)** にしなくてもエンジンを始動できます。

4. キースイッチにキーを差込み［入］位置にします。

補　足

＊ 冬期には自動で予熱が始まり電子メータにグロー表示が現れます。
＊ 予熱が完了すると自動的にグロー表示が消えます。
消えた後，エンジンを始動してください。

5. 油圧レバーを［前方に倒し］作業機を下げます。

補　足

＊ 油圧ロックされている場合は下がりません。
（**［作業のしかた］**の章の**［作業機昇降装置］**の項を参照）
＊ ポンパランプが点滅している場合は，油圧レバーを後方に引き点滅を解除してください。

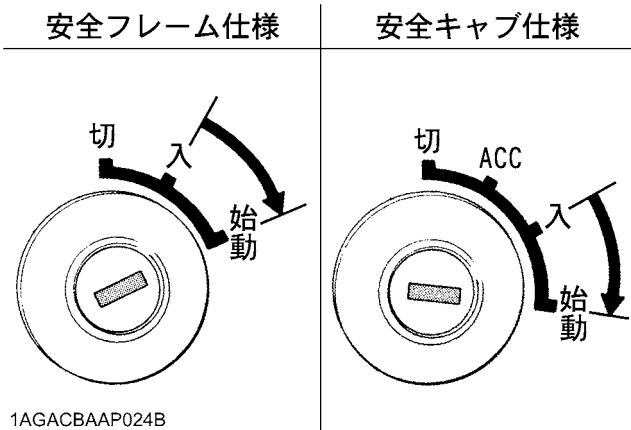
6. クラッチペダルを［踏込み］ます。

補　足

＊ エンジンはクラッチペダルを踏込まなくても始動できますが，安全確保のため踏込んでください。

7. キーを［始動］位置に回します。

安全フレーム仕様	安全キャブ仕様

1AGACBAAP024B

電子メータメッセージ

＊ エンジン始動時，下記のメッセージが表示されると，エンジンは始動できません。メッセージに従ってレバーを**［中立］**又は**［切］**に戻してください。

［N 仕様］

PTOスイッチを
「切」にして下さい

シャトルレバーを
「中立」にして下さい

PTOスイッチを「切」に
シャトルレバーを
「中立」にして下さい

［N 仕様以外］

PTOレバーを
「中立」にして下さい

シャトルレバーを
「中立」にして下さい

PTOレバーと
シャトルレバーを
「中立」にして下さい

重　要

＊ セルモータは，大電流を消費しますので，10 秒以上の連続使用は避けてください。
10 秒以内で始動しなかった場合は，いったんスイッチを切って，30 秒以上休止してから同じ操作をくり返してください。

8. エンジンが始動したら，キーから手をはなします。

自動的に **[入]** にもどります。

重　要

＊ エンジン回転中は，キーを始動位置にしないでください。セルモータの故障原因になります。

9. 電子メータの［チャージランプ］・［エンジンオイルランプ］を確認します。

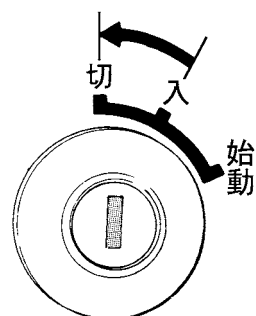
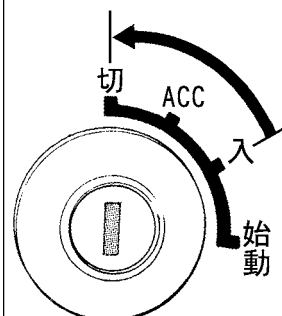
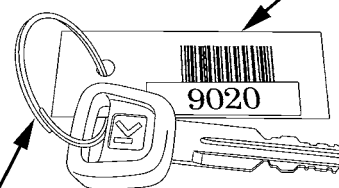
もし点灯している場合は，エンジンを停止し，点検してください。

10. エンジン回転を下げ，クラッチペダルからゆっくり足を離し，そのまま 5 分程度暖機運転しましょう。

重　要

＊ エンジン回転中にキーを **[入→切→入]** と素早く操作するとエンジンは **[停止せず]**，電源系のみが一瞬 **[停止状態]** になるため，マイコンがスイッチなどの故障と判断し，PTO スイッチ，電子メータなどの作動に異常をきたすことがあります。
この場合機械の故障ではないので，いったんエンジンを **[停止]** したあと，エンジンを再始動してください。

■停止のしかた

1. キースイッチのキーを［切］の位置にすると，エンジンは停止します。

1AGACBAAP024H

2. キーは必ず［抜き］ましょう。

1AGACCHAP034A

重　要

＊ キースイッチの切り忘れによるバッテリあがり防止のため，必ずキーを **[抜いて]** ください。
＊ キーリングに付属しているキーナンバー票は，キーを紛失した際必要となります。キーナンバーを裏表紙のおぼえに記入し控えておくか，キーナンバー票を大切に保管してください。**[安全キャブ仕様]**
＊ バッテリあがりの原因になりますので，ルームランプは消灯してください。
[安全キャブ仕様]

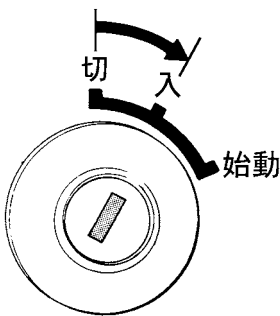
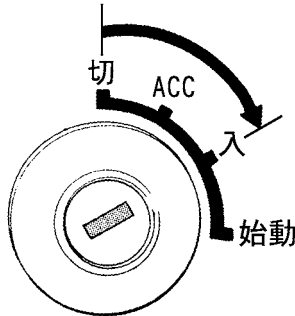
■キースイッチ

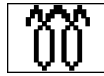
切……… エンジンが停止し，キーが抜き差しできる位置。

ACC………**（安全キャブ仕様）** エンジン停止中，ラジオ付き CD プレーヤが使えます。
（この位置で，長時間使用しないでください。バッテリあがりの原因になります。）

入……… 燃焼室内を予熱する位置。
エンジン回転中の位置，すべての電気装置が使えます。

始動……… エンジンを始動する位置。手を離せば自動的に**［入］**に戻ります。

安全フレーム仕様	安全キャブ仕様

1AGACBAAP024A

電子メータメッセージ

＊ キースイッチ**［入］**時，予熱が完了すると自動的にグロー表示が消えます。

＊ エンジン始動時などで，下記メッセージが約５秒間表示されます。
エンジンオイルが交換時期に達している場合（初回 50 時間，以降 100 時間ごと）

エンジンオイルの
交換時期です

（**［運転のしかた］**の章の**［電子メータパネルの取扱い］**の**［電子メータメッセージのリセット法］**の項，**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［100 時間ごとの点検・整備］**の**［エンジンオイルの交換］**の項を参照）

［パワクロ仕様］
グリスアップメンテナンス時間に達している場合（30 時間後ごと）

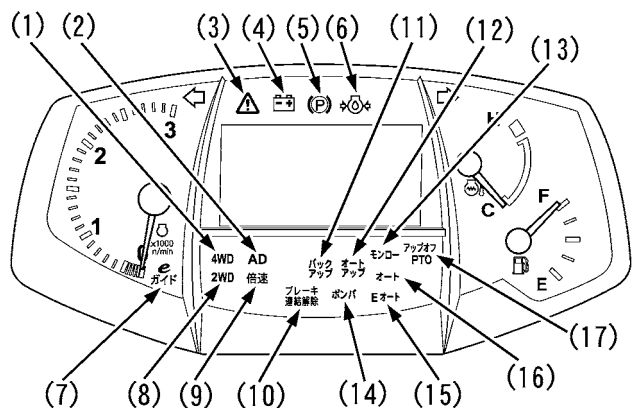
パワクロの
グリスアップ時期です

エンジンオイルが交換時間に達している場合（初回 50 時間，以降 100 時間ごと）及び，グリスアップメンテナンス時間に達している場合（30 時間ごと）

エンジンオイル交換
パワクログリスアップ
の時期です

（**［運転のしかた］**の章の**［電子メータパネルの取扱い］**の**［電子メータメッセージのリセット法］**の項，**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［30 時間ごとの点検・整備］**の**［グリースの注入］**の項を参照）

◆ モニタランプ

キースイッチを**［入］**位置にすると，ランプ切れチェックのため，全てのランプが約１秒間点灯します。（**［運転のしかた］**の章の**［電子メータ］**の項を参照）

1AGACCOAP077A

(1) 4WD ランプ	(10) ブレーキ連結解除ランプ
(2) AD 倍速ランプ	(11) バックアップランプ
(3) 警告ランプ	(12) オートアップランプ
(4) バッテリチャージランプ	(13) モンロランプ
(5) 駐車ブレーキランプ	(14) ポンパランプ
(6) エンジンオイルランプ	(15) Eオートランプ
(7) e ガイドランプ	(16) オートランプ
(8) 2WD ランプ	(17) アップオフ PTO ランプ
(9) 倍速ランプ	（N 仕様）

補　足

＊ 各スイッチの状態によりランプ切れチェック後、消灯や点灯のままのランプもあります。

■寒冷時の暖機運転

＊ 換気が不十分な所では，暖機運転はしないでください。
換気が不十分であると排気ガスにより，一酸化炭素中毒のおそれがあります。
＊ 暖機運転中は必ず駐車ブレーキを掛けてください。

始動後，約５分間は負荷をかけずに暖機運転をしてください。オイルを各メタルに十分ゆきわたらせるためで，始動してからすぐ負荷をかけると，焼付きや破損など故障の原因になりますのでご注意ください。

◆ U シフト（F）仕様

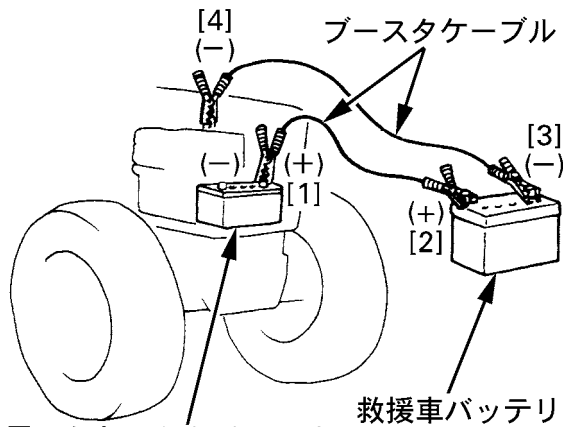
U シフトは油圧で作動し，その油圧オイルはトランスミッションオイルを兼用しています。そのため必ず下記の要領で暖機運転を行ない，トランスミッションオイルを暖めてください。暖機運転を行なわないと，満足な性能が得られないばかりか故障の原因になります。

気　　温	暖機運転時間
-10 ℃以上	５分間
-10 ～ -20 ℃	５～ 10 分間
-20 ℃以下	20 分間以上

■バッテリあがりの処置

ブースタケーブル（別売）があれば，他車のバッテリを電源としてエンジンを始動することができます。

1. ブースタケーブルを図の番号順で接続します。

＊ バッテリの（＋）端子同士を接続します。
＊ マイナスケーブルの他端［4］の接続位置は，バッテリから離れたエンジン本体に接続します。
（マイナスケーブルの他端［4］を直接バッテリの（－）端子に接続すると，バッテリから発生する可燃ガスに引火するおそれがあります。）

2. 救援側の車を始動し，少しエンジン回転を高めに保ちます。
3. トラクタのエンジンを始動します。
（**［運転のしかた］**の章の**［エンジンの始動と停止］**の項を参照）
4. ブースタケーブルを接続順序の逆で外します。

重　要

＊ 救援車は必ず 12V バッテリ車を使用してください。
＊ ケーブル接続の際には，（＋）と（－）端子を絶対に接触させないでください。
＊ ケーブルが冷却ファンなどに巻込まれないようにしてください。
＊ ケーブル接続の際には，（＋）と（－）をよく確認し，絶対に逆に接続しないでください。逆に接続すると，トラクタや救援車の電子機器類が破損する場合があります。

■ならし運転

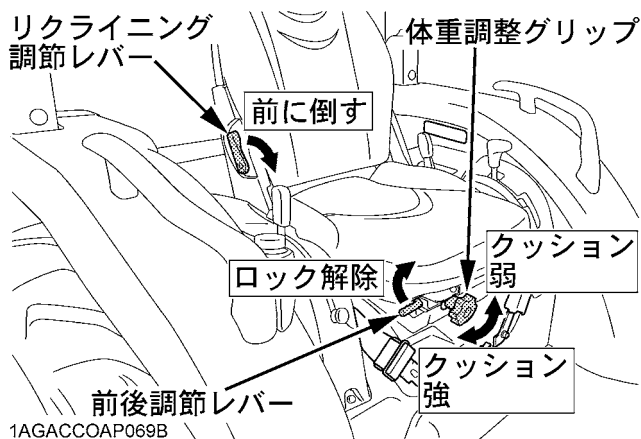
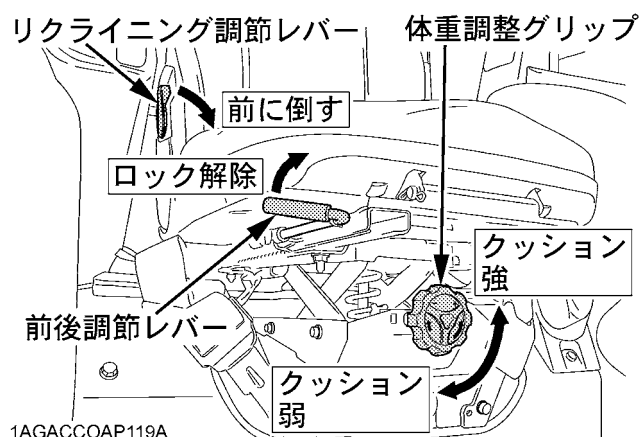
この期間中は，特に次のことを厳守してください。

1. 急なスタート，急ブレーキは慎んでください。
2. 必要以上のスピードや負荷をかけないようにしてください。
3. 運転は，エンジンがじゅうぶん暖まってから行なってください。
4. 悪路や傾斜地では，速度を落とし安全を確認しながら走行してください。
5. 50 時間使用後，（**［パワクロ仕様］**は 30 時間使用後）**［定期点検箇所一覧表］**に従い各部の点検，オイル交換などを行なってください。

運転席周りの調節

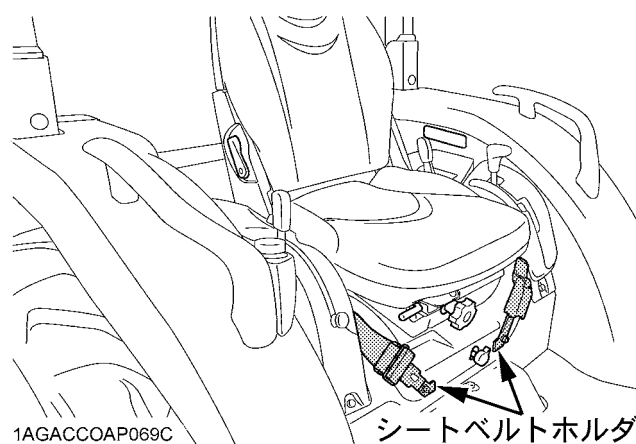
■シート

1. 前後調節レバーでロックを **[解除]** すると，前後位置が調節できます。
2. リクライニング調節レバーを **[前に倒す]** と，背もたれの角度が調節できます。
3. 体重調整グリップを **[回す]** と，クッションの強さが調節できます。
4. 雨のときはシートを前に倒しておくと，ぬれる心配がありません。**[安全フレーム仕様]**

[KL24R (H) ・27R (H)]
[KL31R (H) ・34R (H) ・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R (H) -PC 安全フレーム仕様]

[KL31R (H) ・34R (H) ・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R (H) -PC 安全キャブ仕様]

補　足

＊ 体重調整グリップの回動が固い場合，ネジ部に少量のグリースを塗布してください。
＊ シートサスペンションのスムーズな作動のために，スプリングのフック部に適宜グリースを塗布してください。
＊ 体重調整グリップは操作力を軽くしているので体重調整はたくさん回す必要があります。（最軽から最重まで約 19 回転です。）
[KL31R (H) ・34R (H) ・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R (H) -PC 安全キャブ仕様]

■シートベルトホルダ

降車後は，シートベルトをシートベルトホルダに収納してください。

■安全キャブ・安全フレームとシートベルトについて

警　告

転倒・転落による死傷事故防止のため，下記のことを守ってください。
- **＊ トラクタを使用するときは，安全フレームを外して運転しないでください。**
- **＊ 納屋の出入りやハウス作業など，安全フレームが当たる場合を除き，運転時はいつも安全フレームを取付けて立て，確実に固定し，必ずシートベルトを着用してください。**
- **＊ 安全フレームを折りたたんだ状態では，シートベルトを絶対にしないでください。折りたたみ式安全フレームは，折りたたんだ状態では安全フレームの役目をしません。**
- **＊ 安全キャブ又は安全フレームの改造を絶対にしないでください。また，強度に影響する破損，曲がりなどが発生した場合，交換してください。**
- **＊ 安全フレームを立てたときは，左右のレバーを押込んで確実に固定してください。また日常点検時，レバーにガタがないか確認してください。**
- **＊ 安全フレームが確実に固定されているか確認してください。**
- **＊ シートベルトは作業者の身体に合わせ長さを調節してください。**
- **＊ 安全フレームを折りたたんだり，立てたりするときは，平坦な場所で必ず作業機を地面に降ろし，エンジンを止め，駐車ブレーキを掛けてから行なってください。**

1AGACCOAP016B

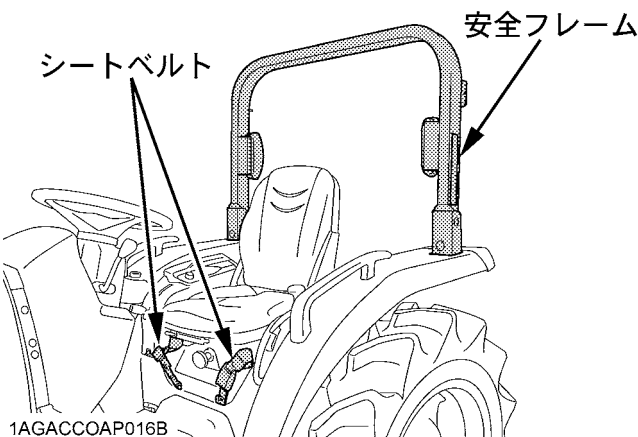
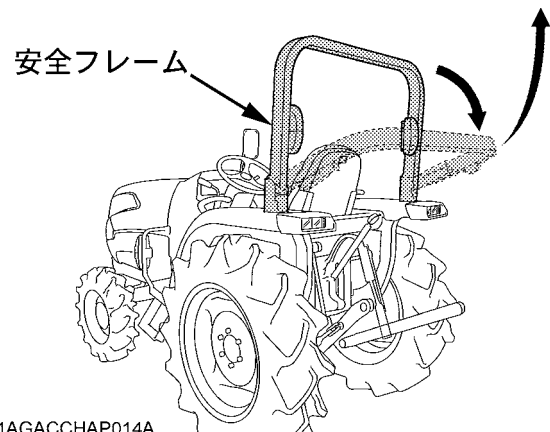
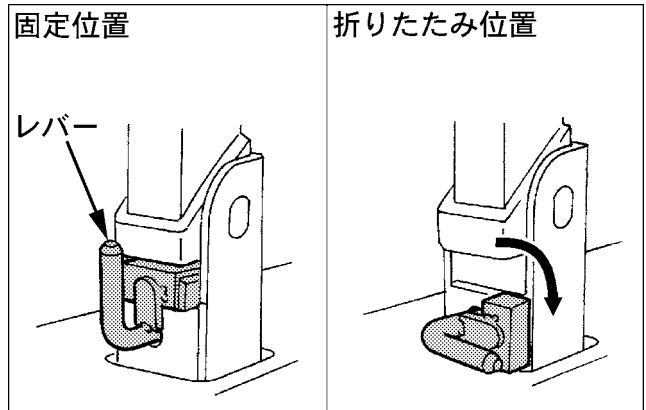
◆ 折りたたみ方法
1. レバーを後方へ引き，そのまま外側に倒します。(左右共)
2. 安全フレームをゆっくりと後方へ折りたたみます。

補　足

＊ 安全フレームを折りたたむと，作業機の状態によっては安全フレームと作業機が接触する場合があります。接触しないことを確認して折りたたんでください。

1AGACCHAP054A

1AGACCHAP014A

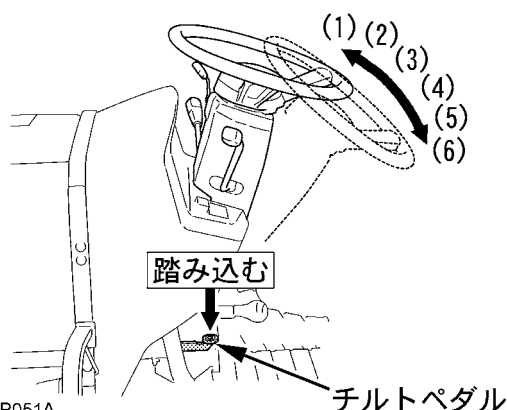
目次
困ったときには
安全
サービスと保証 小特の取扱い
運転のしかた
作業のしかた
安全キャブ 装備品の取扱い
トラクタの簡単な手入れと処置
付表
索引

◆ **起こす方法**
1. 安全フレームを前方へ動かなくなる位置まで完全に起こします。
2. レバーを立ててそのまま前方へ確実に押し込みます。（左右共）
3. 安全フレームにガタがないか確認してください。

電子メータメッセージ
＊ エンジン始動時下記のシンボルマークとメッセージが３秒間表示されます。シートベルトを正しく装着してください。

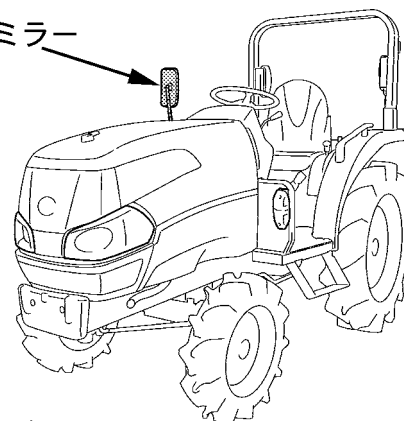
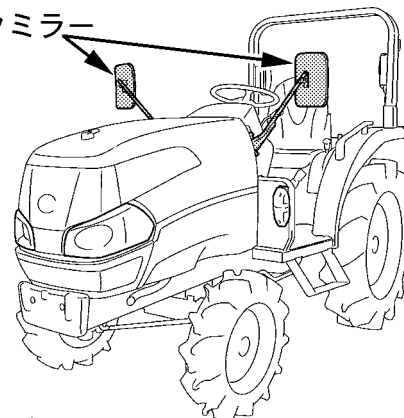
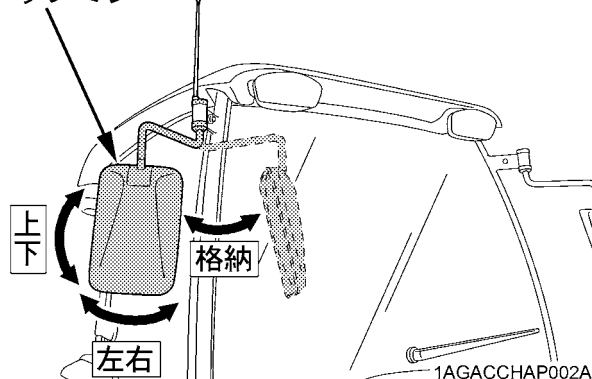
■チルトステアリングハンドル

注 意

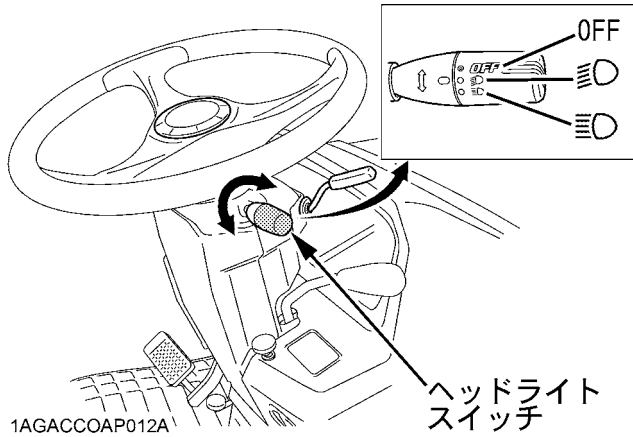
＊ 走行中の調節はしないでください。
＊ 調節後，ハンドルがロックされていることを確認してください。

チルトステアリングハンドルの操作はチルトペダルを踏み込んで（1）～（6）の適当な位置でペダルをはなして位置を決めてください。
（1）……………… 乗り降り時の位置
（2）～（6）………運転操作位置

■バックミラー

1. バックミラーは，上下・左右に角度調節できますので，運転席に座って見やすい位置に調節してください。
2. バックミラーは，格納できますので狭い場所ではぶつからないように格納してください。
［安全キャブ仕様］

◆ **安全フレーム仕様**
［KL24R・27R・31R・34R］

［KL24RH・27RH・31RH・34RH・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R(H)-PC］

◆ **安全キャブ仕様**

灯火類の操作

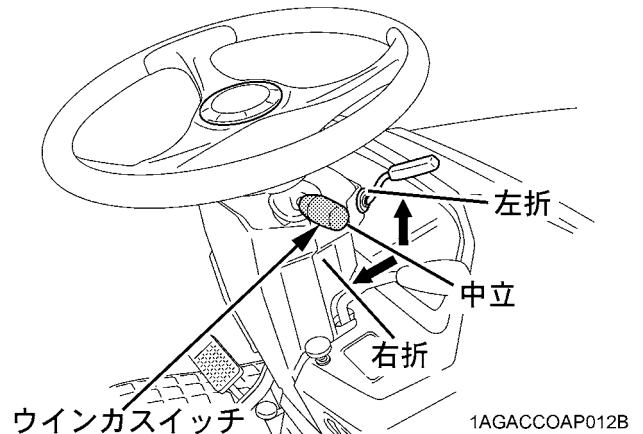
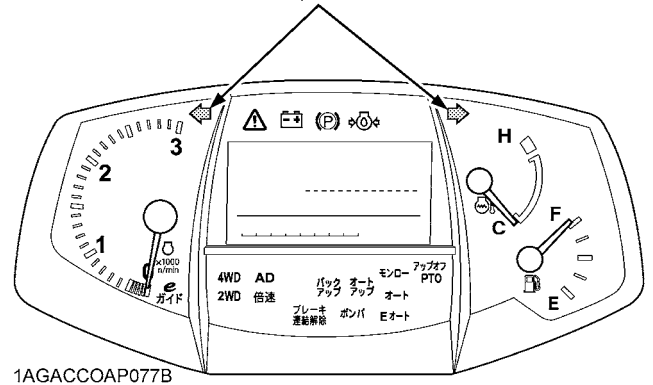
■ヘッドライトスイッチ

ノブを回すとスイッチが入り，位置によって次のライトが点灯します。

OFF………ヘッドライト消灯位置
(下向きマーク) ………ヘッドライト下向き照射位置
(上向きマーク) ………ヘッドライト上向き照射位置

補　足

＊ ヘッドライトスイッチを入れると，ウインカパイロットランプ，警告ランプ以外のランプ類，電子メータ液晶画面，エアコンコントロールパネルの明るさが変化し暗くなります。

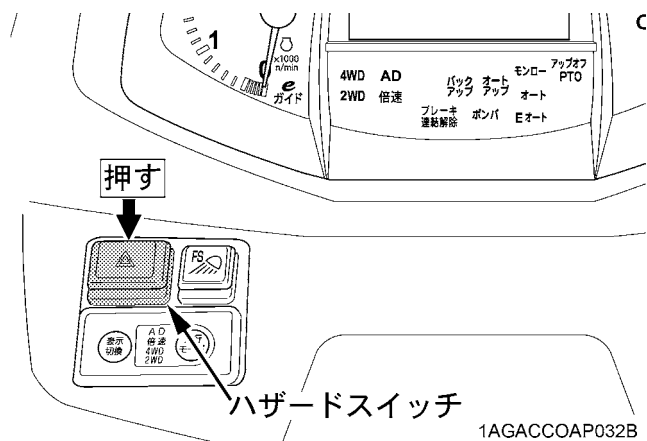
■ウインカスイッチ

1. スイッチを前後操作すると，ウインカランプ及びメータパネル内のパイロットランプが点滅します。
   前………左折
   後………右折
2. スイッチはハンドルを戻すと，自動的に **［中立］** に戻るオートリターン機構になっています。

補　足

＊ ハンドルを切る角度が小さいとレバーが **［中立］** に戻らない場合があります。戻らないときは手で戻してください。

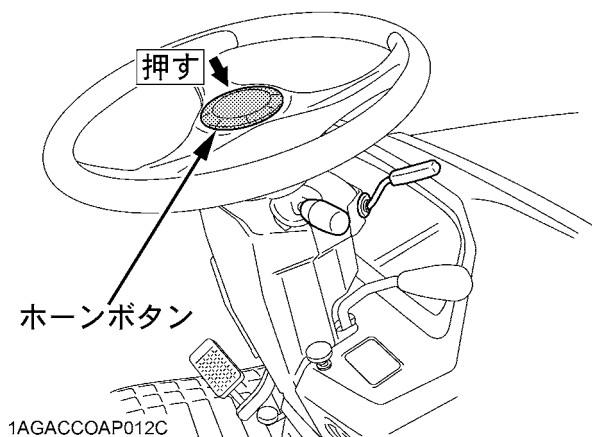
目次
困ったときには
安全
サービスと保証 小特の取扱い
運転のしかた
作業のしかた
安全キャブ 装備品の取扱い
トラクタの簡単な手入れと処置
付表
索引

■ハザードスイッチ

故障などで停止した場合，事故を防止するために使用します。スイッチを押すとウインカ前後及びメータパネル内のウインカ作動パイロットランプが点滅し，停止中を知らせます。
再度スイッチを押すと消灯します。

補　足

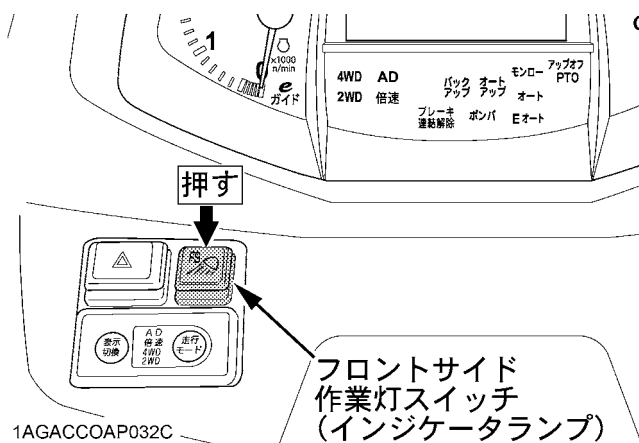
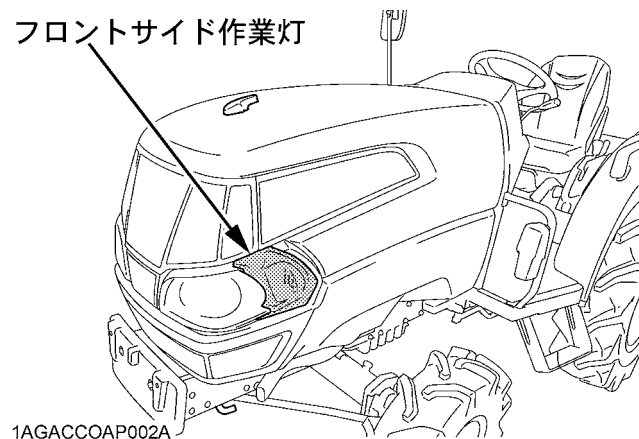
＊ ハザードランプはキースイッチ **[切] [ACC]** 位置では作動しません。

■ホーンボタン

ホーンボタンを押すとホーンが鳴ります。

補　足

＊ ホーンはキースイッチ **[切] [ACC]** の位置では作動しません

■フロントサイド作業灯

スイッチを押すとフロントサイド作業灯が点灯します。再度スイッチを押すと消灯します。
作業灯の点灯を示すインジケータランプがスイッチに内蔵されています。

補　足

＊ 作業灯はフロントサイド作業灯を含め **[道路運送車両法の保安基準]** 第42条（灯火の色等の制限）において，**[走行中に使用しない灯火]** とされ，点灯したまま道路走行すると他の交通車両の妨害となることから道路走行中の点灯は禁止されております。
道路走行時は消灯してください。

以下のランプ類は KL24R・27R・31R・34R 安全キャブ仕様，KL24RH・27RH・31RH・34RH・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R(H)-PC 型のトラクタのみに該当します。

■バックランプ

シャトルレバーを［後進］の位置に入れると，バックランプが点灯します。

■ブレーキランプ

ブレーキペダル左右を連結金具で連結し，ブレーキペダルを踏むと，ブレーキランプが点灯します。

■車幅灯・尾灯

ヘッドライトに連動して点灯します。

■外部電源・信号取出端子

◆ 電源カプラ

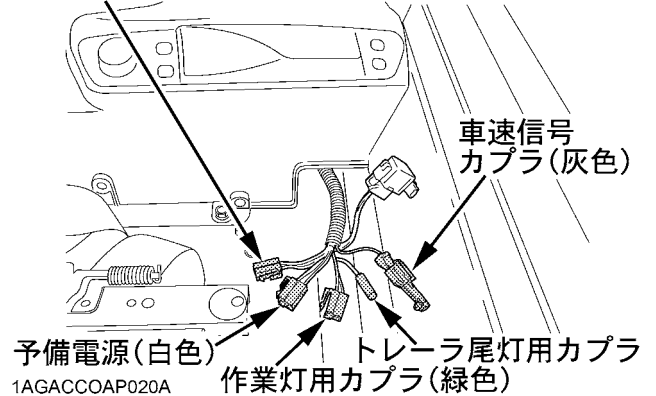
作業灯，トレーラ尾灯，ローダ電源，予備電源を使用するときは，シート後部に各々のカプラがあります。又は，インプルメントに車速信号を伝達する車速信号カプラがあります。

重　要

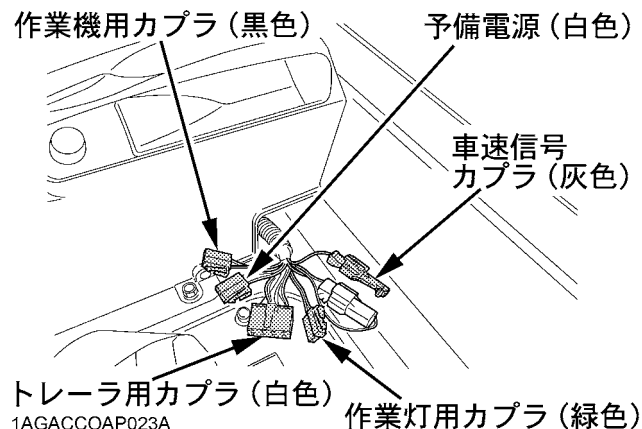
＊ 配線の損傷を防止するため，外部電源を使用する場合や，使用した場合には，可動部（シートなど）にケーブルが接触しないように配線してください。
＊ 配線の損傷を防止するため，トラクタから作業機を取外す際，インプルメント用ケーブルは必ずトラクタ側の電源取出しカプラ部から取外し，作業機側のケーブルをトラクタ側に持込まないでください。外部電源取出しが可動部に接触しないように，元の場所に収納してください。
＊ 損傷したケーブルは使用しないでください。短絡等により機械が故障する原因となります。

補　足

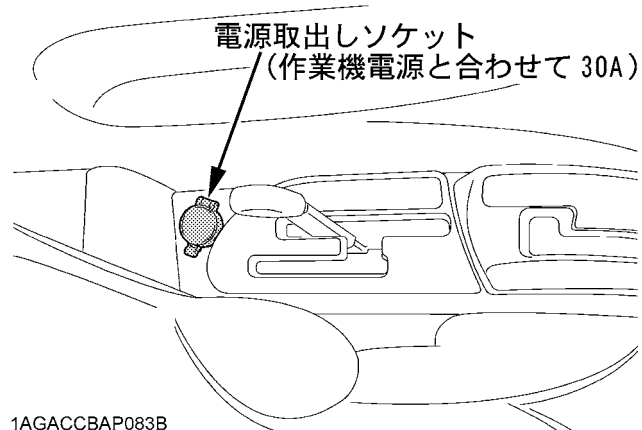
＊ 安全キャブ仕様の，作業灯用カプラはルーフの前・後にあり，既に接続されています。安全キャブ仕様は，次の図 2P カプラ（緑色）に外部電源ソケットが接続されています。
＊ 車速信号カプラは接続を必要とする専用インプルメントにのみ使用してください。出荷時にはキャップがしてありますので，インプルメントを使用しないときは必ずキャップを装着してください。故障の原因になります。

［KL24R・27R・31R・34R 安全フレーム仕様］

トレーラ尾灯	1P カプラ
作業灯（5A） **［安全フレーム仕様］**	2P カプラ（緑色）
作業機（ローダ）（20A）	2P カプラ（黒色）
予備電源 （作業機電源と合わせて 20A） **［安全フレーム仕様］**	2P カプラ（白色）
車速信号カプラ	1P カプラ（灰色）

[KL24R・27R・31R・34R 安全キャブ仕様]
[KL24RH・27RH・31RH・34RH・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R(H)-PC]

1AGACCOAP023A

トレーラ	8P カプラ（白色）
作業灯（5A） **[安全フレーム仕様]**	2P カプラ（緑色）
作業機（ローダ） （20A：安全フレーム仕様） （30A：安全キャブ仕様）	2P カプラ（黒色）
予備電源 （作業機電源と合わせて 20A） **[安全フレーム仕様]**	2P カプラ（白色）
車速信号カプラ	1P カプラ（灰色）

[安全キャブ仕様]

1AGACCBAP083B

◆トレーラカプラ電源

[KL24R・27R・31R・34R 安全キャブ仕様]
[KL24RH・27RH・31RH・34RH・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R(H)-PC]

(1)	(2)	(3)	(4)
	(7)	(6)	(5)

1AGACBAAP204E

電源	配　線　色	
	安全フレーム仕様	**安全キャブ仕様**
(1) アース	黒	黒
(2) 駐車灯 (8W)	緑赤	青白
(3) フラッシャ左 (23W)	緑青	緑青
(4) ブレーキランプ (23W × 2)	黄赤	緑
(5) フラッシャ右 (23W)	黒白	緑赤
(6) テールランプ (8W)	緑赤	青白
(7) バックランプ (10W)	黄橙	紫

重　要

＊ ローダ電源，予備電源は同時には使用できません。ヒューズ切れの原因になります。

走行装置の取扱い

■発進・走行

警 告

* トラクタを発進するときは前後左右をよく確認し，付近に人（特に子供）を近づけないでください。
  また，安全キャブや安全フレームに当たる障害物がないかも確認してください。
* 子供はもちろん，運転者以外の人を乗せてトラクタを運転しないでください。また，必ずシートに座って運転してください。
* 溝や穴の近く，路肩などトラクタの重みでくずれやすい所では運転しないでください。
  転落事故のおそれがあります。
* 急な坂道の登坂はバックで行なうか，作業機をできるだけ下げ，転倒防止に心がけてください。
* 下り坂は，エンジンブレーキを使用してください。ブレーキペダルを踏むだけで降りないでください。
* 負荷の大きいけん引をする場合や湿田脱出の場合には，徐々に発進し，トラクタが後へ転倒しないように注意してください。
* 高速で旋回すると，横転するおそれがあります。
  デフロックペダルの解除を確認して，必ずスピードを落としてゆっくりと回ってください。
* 後進は前進とほぼ同じ速度が出ます。
  周囲の状況をよくみて，安全であることを確認してからシャトルレバーを後進位置に入れて，安全な速度で後進してください。
  また後進中は，特に周囲の状況によく注意して運転してください。
* 運転席足元に空缶，部品などの物を置くとブレーキペダルやクラッチペダルの下にはさまり，ブレーキ操作，クラッチ操作ができなくなり危険です。

［マニュアルシフト仕様］

1. **駐車ブレーキを確認し，エンジンを始動します。**
   （**［運転のしかた］**の章の**［エンジンの始動と停止］**の項を参照）
2. **油圧レバーを［後方に引き］作業機を上げます。**
   （**［作業のしかた］**の章の**［作業機昇降装置］**の項を参照）
3. **クラッチペダルを踏込みます。**
4. **作業に応じ必要なレバー類を操作します。**
   （**［運転のしかた］**，**［作業のしかた］**の章を参照）
5. **エンジン回転を調整します。**
6. **走行速度を選択します。**
7. **駐車ブレーキを解除します。**

電子メータメッセージ

＊ 駐車ブレーキをかけたまま走行し，車速が0.1km/hを超えると下記のメッセージが表示されます。

駐車ブレーキを解除!

8. **クラッチペダルをゆっくり離し発進します。**

目次
困ったときには
安全
サービスと保証
小特の取扱い
運転のしかた
作業のしかた
安全キャブ
装備品の取扱い
トラクタの簡単な手入れと処置
付表
索引

[U シフト仕様]

1. **駐車ブレーキを確認し，エンジンを始動します。**
（**[運転のしかた]** の章の **[エンジンの始動と停止]** の項を参照）
2. **油圧レバーを［後方に引き］作業機を上げます。**
（**［作業のしかた］** の章の **［作業機昇降装置］** の項を参照）
3. **クラッチペダルを踏込みます。**
4. **作業に応じ必要なレバー類を操作します。**
（**[運転のしかた]**，**[作業のしかた]** の章を参照）
5. **エンジン回転を調整します。**
6. **駐車ブレーキを解除します。**

電子メータメッセージ

＊ 駐車ブレーキをかけたまま走行し，車速が0.1km/hを超えると下記のメッセージが表示されます。

駐車ブレーキを解除!

7. **主変速レバーを［１速］に入れます。**
8. **シャトルレバーを［前進］又は［後進］に入れ，クラッチをゆっくりはなすとトラクタが動き始めます。**
9. **主変速レバーを１段ずつ変速したい位置まで変速してください。**

■停車・駐車

＊ U シフトは油圧ミッションのため，変速ギヤを入れてエンジンを止めても，エンジンブレーキはききません。駐車後トラクタが動き出さないよう，必ず駐車ブレーキを［掛けて］ください。

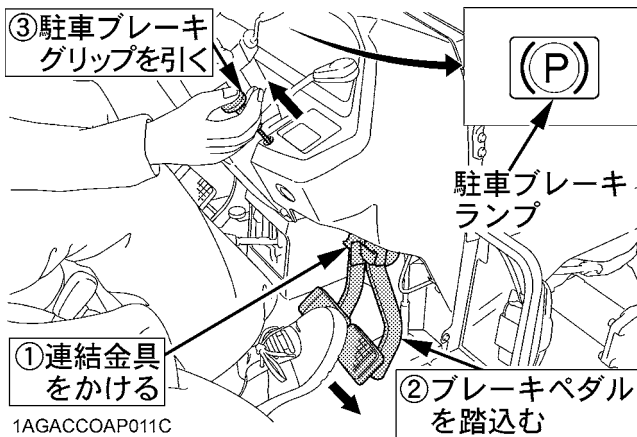
＊ 駐車するときは，平たんでトラクタが安定する場所を選び，各変速レバー（主変速・シャトル・PTO）を［中立］(N)，作業機を［下げ］，駐車ブレーキを［掛け］，エンジンを［停止］してキーを［抜いて］ください。やむをえず坂道で駐車する場合は，タイヤに車止めをしてください。

＊ 乾いた草やわらなど可燃物の堆積した場所には，駐車しないでください。

＊ 格納などでトラクタにシートをかける場合は，マフラやエンジンがじゅうぶん冷えてから行なってください。

＊ トラクタから降りるときは，ロータリなどの PTO 作業機が完全に止まるまで待ってください。

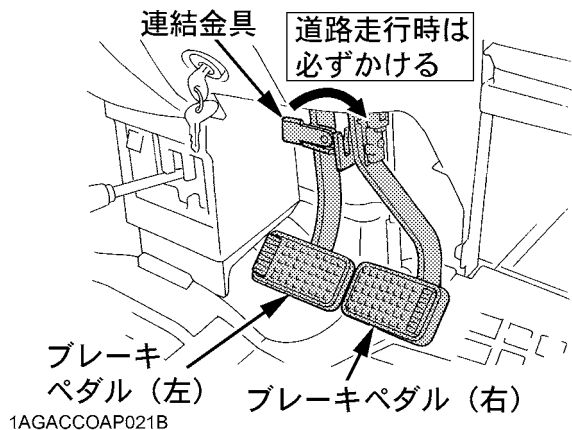
1. アクセルレバーを前方に押して，エンジン回転をアイドリング状態にします。
2. クラッチ及びブレーキペダルを［踏込み］ます。
3. 完全に停止してから，シャトルレバー，主変速及び PTO 変速レバーを［中立］(N)，あんしん PTO スイッチを［切］［N 仕様］にします。
4. 作業機を取付けている場合は，油圧レバーをゆっくり［前方に倒し］作業機を下げます。
5. 駐車ブレーキを確実に［ロック］してください。

1AGACCOAP011C

6. キースイッチを［切］にして，エンジンを停止します。

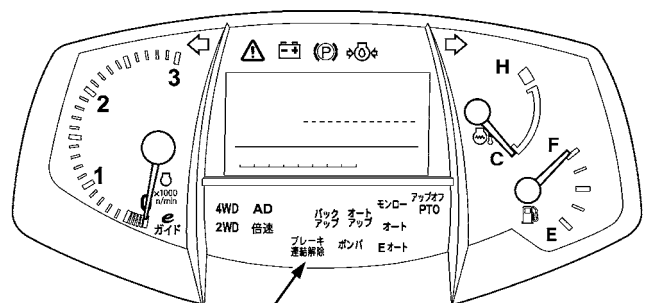
■ブレーキペダル

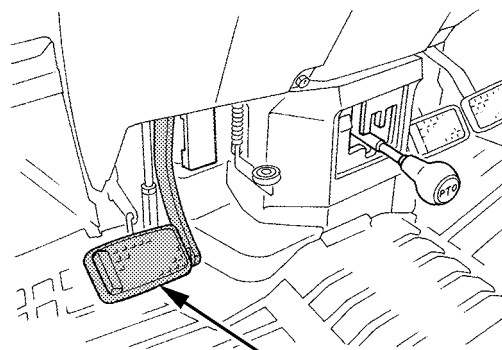
＊ 道路走行中・登り坂・下り坂及びあぜ越え中は，ブレーキペダルの左右を連結金具で，必ず［連結］してください。
道路走行中に片ブレーキを踏むと車体が振られ，転倒や交通事故のおそれがあります。

ブレーキは，強制的に機体を停止させる装置で，一般車両と異なり，左右それぞれ独立しており，後輪の片輪だけにブレーキをかけることができます。また連結金具でブレーキペダルをつなぐと，左右両輪のブレーキが同時に働きます。
連結金具をかけた状態………道路走行時。
連結金具を外した状態………農作業時。

1AGACCOAP021B

◆ **ブレーキ連結解除ランプ**
ブレーキペダル連結金具を外すと**ブレーキ連結解除**ランプが点灯します。道路走行時などでは連結金具をかけ，ブレーキ連結解除ランプの消灯を確認してから，走行してください。

1AGACCOAP077C

目次
困ったときには
安全
サービスと保証
小特の取扱い
運転のしかた
作業のしかた
安全キャブ装備品の取扱い
トラクタの簡単な手入れと処置
付表
索引

電子メータメッセージ

＊ ブレーキペダル連結金具を外したまま，車速が10km/hを超えると下記のメッセージが表示されます。
ブレーキ連結金具以外にPTOスイッチが**［切］**でないとき（N仕様），PTO変速レバーが**［中立］**でないとき（N仕様以外）や，ポンパで作業機を持ち上げている場合には，こちらも交互に表示されます。メッセージに従って操作してください。
（**［運転のしかた］**の章の**［道路走行中の注意］**の項を参照）

■クラッチペダル

注 意

＊ 急にクラッチを離すと，急に飛出すおそれがあります。
ゆっくり行なってください。

クラッチは，エンジンの動力を各作動部に断続する装置です。
ペダルを踏込む…………クラッチが切れる。
ペダルから足を離す……クラッチがつながる。

補 足

＊ 下記レバーを操作するときは，必ずクラッチペダルを踏みトラクタを完全に停止させてから行なってください。
- 主変速レバー　**［マニュアルシフト仕様］**
- シャトルレバー**［マニュアルシフト仕様］**
- 副変速レバー**［マニュアルシフト仕様］**
- クリープレバー
- PTO変速レバー

1AGACBAAP027A

重 要

＊ クラッチの寿命を伸ばすため，半クラッチの使用時間・回数を少なくするように，次の点にご注意ください。
- 速度調節はクラッチで行なわないようにしてください。
- 作業に応じた車速及びエンジン回転を選択してください。
- クラッチペダルの上に足を乗せたまま運転しないでください。知らないうちに半クラッチを使用していることになります。

■各変速レバーの取扱い

下記レバーを組合わせて各作業に適した速度にします。
- 主変速レバー
- 副変速レバー
- シャトルレバー
- クリープレバー

各作業に適した速度（目安）

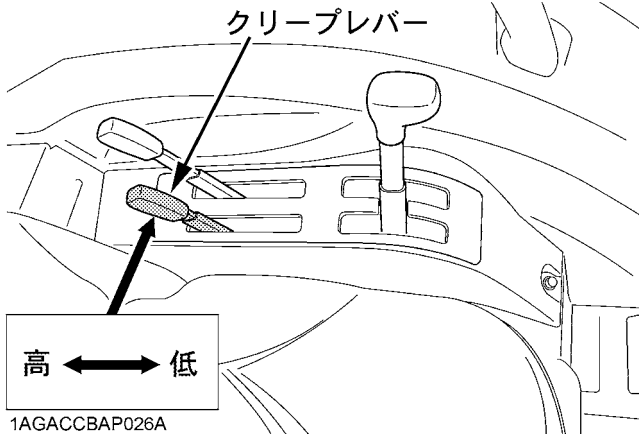
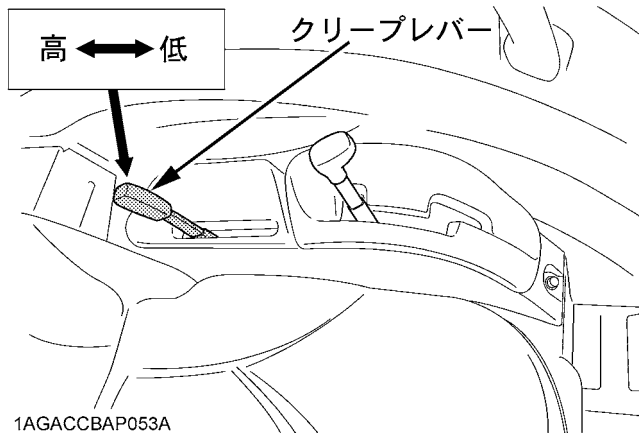
作業名	速度　km/h
トレンチャ	～0.3
プランタ	0.2～0.6
ロータリ	0.5～3.0
代かき	2.9～4.1
プラウ	4.0～6.5
モーア	6.0～9.5
走行	10.0～

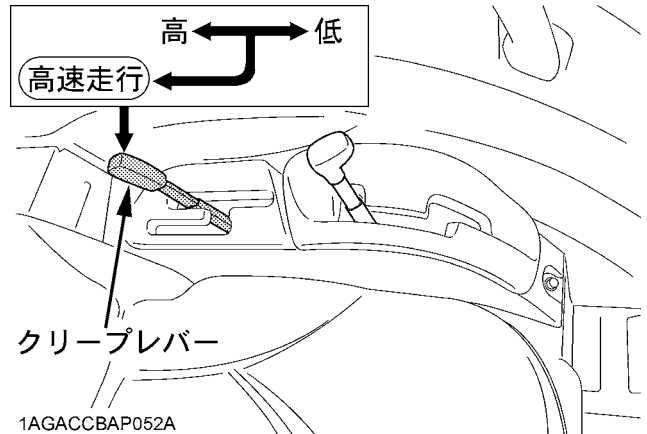
（**［付表］**の章の**［走行速度表］**の項を参照）

■クリープレバー

［KL24R・27R・31R・34R・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R-PC］

［低］位置で超低速（クリープ速度），**［高］**位置で高速が得られます。
クラッチペダルを踏込み操作します。

◆ マニュアルシフト仕様

◆ Uシフト（F）仕様

［KL24RH・27RH・31RH・34RH・34RH-PC］

［低］位置で超低速（クリープ速度），**［高］**位置で高速が得られます。
［高速走行］位置では，移動走行に便利な高速が得られます。**［高速走行（H）仕様］**
クラッチペダルを踏込み操作します。

◆ クリープの使い方

クリープ速度は，使用する作業と取扱い方を誤ると故障の原因になります。
次のことに注意してお使いください。

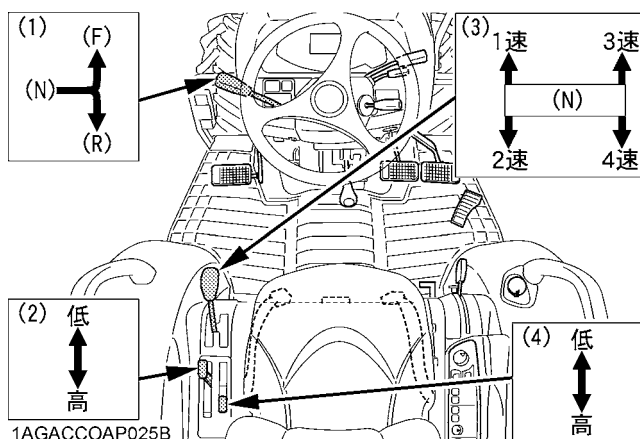
1. 使用できる作業
* ロータリでの深耕・細土耕うん作業。
* ロータリで，ほ場がかたく標準速度で耕うんできない場合。
* プランタによる移植作業。
* 農業用トレンチャによる作業（農業用に限る）。
* 車への積み・降ろしをするとき。
2. 使用できない作業（故障の原因になります）
* 湿田での沈没状態から脱出する作業。
* けん引・トレーラ作業。
* フロントローダ作業。
* フロントブレード作業（除雪作業）。
* 土木作業。
* ほ場への出入り。
3. クリープ速度を使用するときは，必ず次のことを守ってください。
* 変速は，クラッチペダルをいっぱい踏込んでから行なってください。
* 発進は，必ず駐車ブレーキを外してから行なってください。
* クリープ速度では車軸の回転力が非常に強くなるので，ブレーキペダルを強く踏んだだけではブレーキはききません。
停止は，必ずクラッチを切ってからブレーキをかけてください。

重　要

＊ クリープ速度でクラッチペダルを踏まずにブレーキペダルをあまり強く踏むと故障の原因になります。
＊ クリープ速度では，けん引作業をしないでください。超低速で無理な負荷をかけると故障の原因になります。

補　足

＊ クリープレバー操作時，レバー操作が重くなるときがあります。そのときは，クラッチペダルを踏み直し，再度クリープレバーを操作してください。
＊ また，クラッチペダルを踏み直してもまだレバー操作が重いときは，いったんシャトルレバーを **［中立］（N）** にしてから操作してください。

■マニュアルシフト仕様

(1) シャトルレバー	**(F)［前進］**
	(N)［中立］
	(R)［後進］
(2) 副変速レバー	**低　［低速］**
	高　［高速］
(3) 主変速レバー	**１速**
	２速
	３速
	４速
(4) クリープレバー	**低　［低速］**
	高　［高速］

４本のレバー操作を組合せることにより前進 16 段，後進 16 段の車速が得られます。

重　要

＊ 操作はクラッチを切り，トラクタが完全に停止してから行なってください。走行中に操作するとミッションの損傷につながります。

◆ シャトルレバー

警告

＊ 急発進を避けるため，エンジン回転を下げてからシャトルレバーを操作してください。
＊［前進］←→［後進］のシフト操作は，いったん［中立］位置にして，トラクタの停止を確認してから操作してください。
＊ 後進は前進とほぼ同じ速度が出ます。後進する場合は，周囲の状況が安全であることを確認してからシャトルレバーを［後進］位置に入れて，安全な速度で後進してください。また後進中は，特に周囲の状況をよく注意して運転してください。

レバーを持ち上げ，前に押して **［前進］**，手前（後）に引いて **［後進］** です。

◆ 主変速レバー

レバー１本で４段の車速が選択できます。

◆ 副変速レバー

［低］ 位置で低速，**［高］** 位置で高速が得られます。

◆ クリープレバー

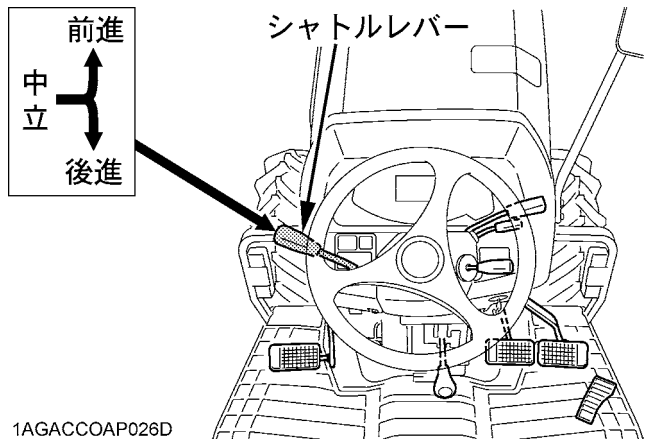
［低］ 位置で超低速（クリープ速度），**［高］** 位置で高速が得られます。
クラッチペダルを踏込み操作します。

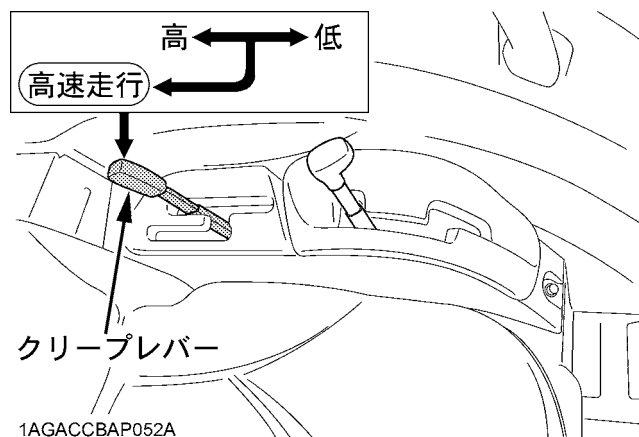
■ U シフト（F）仕様

◆ シャトルレバー

警告

＊ 急発進を避けるため，エンジン回転を下げてからシャトルレバーを操作してください。
＊［前進］←→［後進］のシフト操作は，いったん［中立］位置にして，トラクタの停止を確認してから操作してください。
＊ 後進は前進とほぼ同じ速度が出ます。後進する場合は，周囲の状況が安全であることを確認してからシャトルレバーを［後進］位置に入れて，安全な速度で後進してください。また後進中は，特に周囲の状況をよく注意して運転してください。

レバーを持ち上げ，前に押して **［前進］**，手前（後）に引いて **［後進］** です。レバー操作は，クラッチペダルを踏まなくても（ノンクラッチ）変速することができます。

◆ **クリープレバー**

［低］ 位置で超低速（クリープ速度），**［高］** 位置で高速が得られます。
［高速走行］ 位置では，移動走行に便利な高速が得られます。**［高速走行（H）仕様］**
クラッチペダルを踏込み操作します。

◆ **主変速レバー**

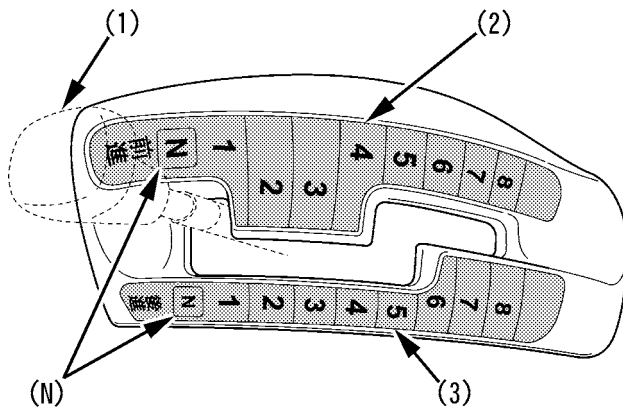
＊ 急発進はしないでください。
＊ 安全のため，急激な変速は避けてください。変速は１段ずつ行なってください。
＊ 緊急停止時や，作業機の取付け・取外しなど狭い場所での作業時には，クラッチを使用してください。
＊ 走行中は，主変速レバーに手を置いたままにしないでください。
＊ 急な坂道，車両への積み・降ろし，ほ場への出入り，あぜの乗り越えなどでは，途中で変速すると危険ですので，あらかじめ安全な遅い変速位置に入れておいてください。
＊ 低温始動時，ミッションオイルが暖まるまでは，主変速レバーで発進するとき，変速レバーを入れてから発進までに時間がかかる場合があります。（発進遅れ）
- **十分に暖機運転をしてください。もし暖機運転をする時間がない場合は，シャトルレバーで発進するかクラッチを操作して発進してください。**
- **低温時の発進遅れは異常ではないので，主変速レバーを変速に入れたままトラクタから降りないでください。遅れて動き出すおそれがあります。**

重　要

＊ 油圧クラッチ・シンクロの寿命を保つため，次の点に注意してください。
1. 作業に合った車速とエンジン回転を選んでください。
2. 急激なシフトダウンは避けてください。
3. トラクタの使い始めの変速時に，油圧クラッチのつながり音がする場合がありますが，油温が上がってくると正常になります。

◆ **変速操作**

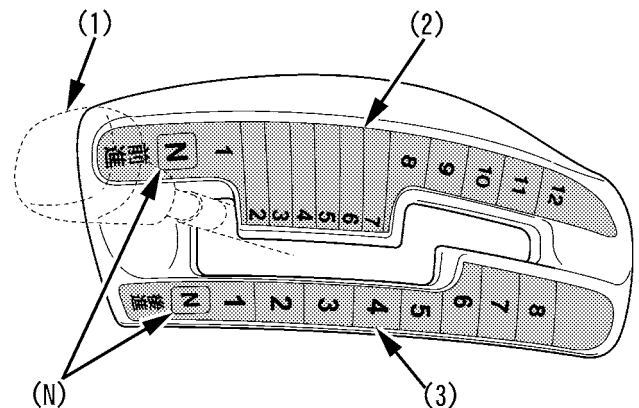
[KL24R 安全フレーム仕様]

1. 主変速レバーは，停止・走行中に関係なくノンクラッチで変速できます。
2. シャトルレバーとクリープレバーの組合せにより
   前進→16 段
   後進→16 段　の車速が得られます。

1AGACCBAP105A

(1) 主変速レバー
(2) 前進速度ラベル
(3) 後進速度ラベル
(N) [中立] 位置

[KL24R 安全キャブ仕様]

[KL27R・31R・34R・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R-PC]

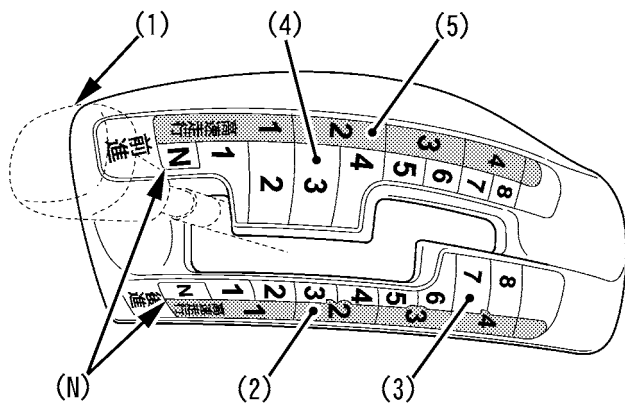
1. 主変速レバーは，停止・走行中に関係なくノンクラッチで変速できます。
2. シャトルレバーとクリープレバーの組合せにより
   前進→24 段
   後進→16 段　の車速が得られます。

1AGACCBAP107A

(1) 主変速レバー
(2) 前進速度ラベル
(3) 後進速度ラベル
(N) [中立] 位置

補　足

＊ 後進時，主変速レバーが後進ラベルの１速から４速の範囲内では，各２段階ありますが，後進速度は変化しません。

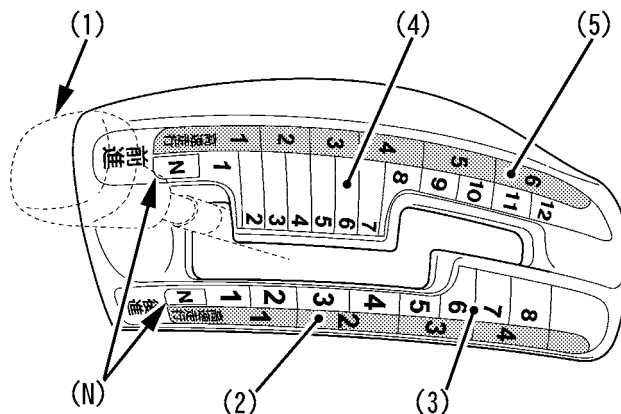
[KL24RH 安全フレーム仕様]

1. 主変速レバーは，停止・走行中に関係なくノンクラッチで変速できます。
2. シャトルレバーとクリープレバーの組合せにより
   前進→ 20 段
   後進→ 20 段　の車速が得られます。

(1) 主変速レバー
(2) 後進速度ラベル（高速走行用）
(3) 後進速度ラベル（クリープレバー低・高速用）
(4) 前進速度ラベル（クリープレバー低・高速用）
(5) 前進速度ラベル（高速走行用）
(N) ［中立］位置

補　足

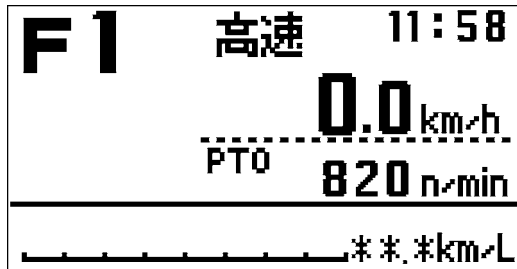
＊ 主変速レバーの変速段数は，クリープレバーが **［低］** と **［高］** 速位置では内側ラベル (3)(4)，**［高速走行］** 位置では外側ラベル (2)(5) を参考にしてください。
＊ 高速走行時，主変速レバーは各変速域とも各２段階ありますが，速度は変化しません。

[KL24RH 安全キャブ仕様]
[KL27RH・31RH・34RH・34RH-PC]

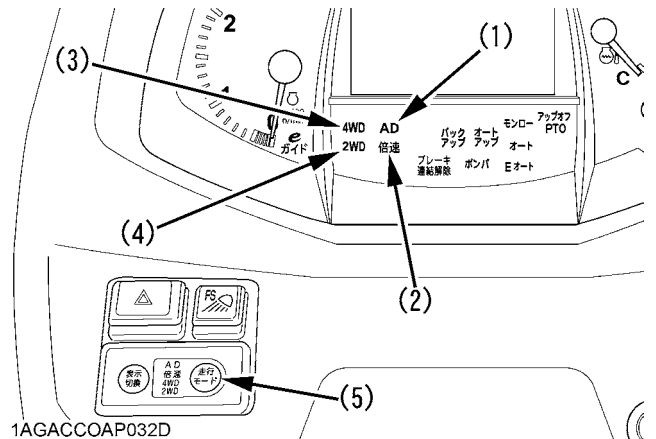
1. 主変速レバーは，停止・走行中に関係なくノンクラッチで変速できます。
2. シャトルレバーとクリープレバーの組合せにより
   前進→ 30 段
   後進→ 20 段　の車速が得られます。

(1) 主変速レバー
(2) 後進速度ラベル（高速走行用）
(3) 後進速度ラベル（クリープレバー低・高速用）
(4) 前進速度ラベル（クリープレバー低・高速用）
(5) 前進速度ラベル（高速走行用）
(N) ［中立］位置

補 足

＊ 主変速レバーの変速段数は，クリープレバーが **［低］**と**［高］**速位置では内側ラベル（3）（4）**［高速走行］**位置では外側ラベル（2）（5）を参考にしてください。
＊ 高速走行時，主変速レバーは各変速域とも各２段階ありますが，速度は変化しません。
＊ 後進時，主変速レバーが後進ラベルの１速から４速の範囲内では，各２段階ありますが，後進速度は変化しません。

電子メータメッセージ
＊ 運転中変速段数や車速が表示されます。
＊ KL24RH・27RH・31RH・34RH・34RH-PC 型トラクタでは，クリープレバーを**［高速走行］**の位置に変速すると，高速の文字が表示されます。

■走行モード切換スイッチ

スイッチを押すごとに
［AD 倍速⇒ 2WD ⇒ 4WD ⇒倍速⇒ AD 倍速］
の順に切換わります。
選択状態はモニタランプで表示されます。
なおスイッチは，クラッチ操作や走行・停止中に関係なく操作できます。

	モニタランプ
AD 倍速	4WD ランプと AD 倍速ランプ，倍速ランプが点灯し，旋回時に倍速ターンが作動すると同時に，AD も作動します。
倍　速	4WD ランプと倍速ランプが点灯し，旋回時に倍速ターンが作動します。
4WD	4WD ランプが点灯し，４輪駆動になります。
2WD	2WD ランプが点灯し，２輪駆動になります。

（1）AD 倍速ランプ
（2）倍速ランプ
（3）4WD ランプ
（4）2WD ランプ
（5）走行モード切換スイッチ

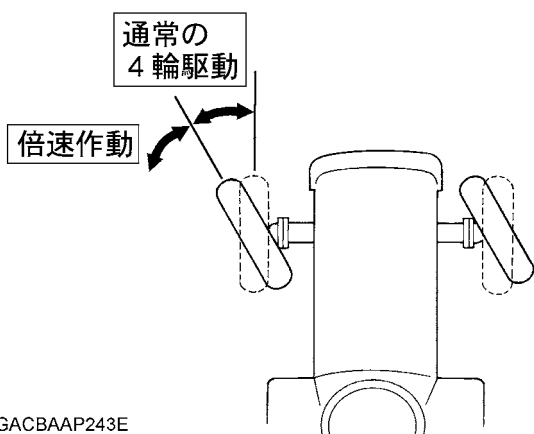
◆４輪駆動の使い方

４輪駆動は，ほ場作業で使用してください。走破性，けん引力が向上します。
４輪駆動は道路走行では使用しないでください。旋回時曲がり切れなかったり，タイヤの異常摩耗の原因になります。

◆倍速ターンの使い方

警 告

＊ 倍速ターンに入れたままでは，ほ場以外を走行しないでください。ほ場から出る前に走行モード切換スイッチを［2WD］又は［4WD］に切換えてください。
＊ 倍速ターンは，畑，水田などのロータリ作業に役立ちますが，使用法を誤ると転倒などのおそれや故障の原因にもなります。

倍速ターンの作動は下図のようになっています。
［倍速］モードで旋回動作に入り，ステアリングハンドルを切っていくと，前輪の切れ角が，直進状態からある一定の角度になるまでは，通常の４輪駆動の回転数で前輪が駆動されます。
更にステアリングハンドルを切ると，倍速ターンが作動し，前輪の回転数がそれまでの約２倍の回転数で駆動され，小さくスムーズな旋回が行なえます。

1AGACBAAP243E

重 要
＊ フロントローダを装着した場合は，使用しないでください。

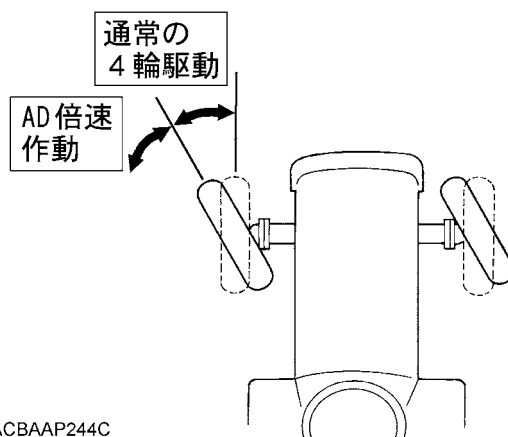
補 足
＊ 倍速は，危険防止のため，旋回開始時の車速が約 0.2 ～ 5 km/h の範囲のときのみ作動します。
また，倍速旋回中は車速が変わっても，倍速の作動を保持します。

◆ AD 倍速ターンの使い方

警 告

＊ AD 倍速［入］のままでほ場以外を走行すると，旋回時急に回り事故の原因になります。ほ場から出る前に走行モード切換スイッチを［2WD］又は［4WD］に切換えてください。

隣接耕うん作業をする場合に，枕地で軽く片ブレーキを踏み，旋回を小さくする操作が行なわれますが，AD 倍速はこの操作を自動的に行なうものです。

AD 倍速ターンの作動は下図のようになっています。
［AD 倍速］モードで旋回動作に入り，ステアリングハンドルを切っていくと前輪の切れ角が直進状態からある一定の角度になるまでは，通常の４輪駆動の回転数で前輪が駆動されます。
更にステアリングハンドルを切ると，AD が作動し，内側後輪に軽くブレーキがかかるとともに，倍速ターンが作動し，前輪の回転数がそれまでの約２倍の回転数で駆動され，小さくスムーズな旋回が行なえます。

1AGACBAAP244C

補 足
＊ AD 倍速は，危険防止のため，旋回開始時の車速が約 0.2 ～ 3.5 km/h の範囲の時のみ作動します。(約 3.5 ～ 5km/h までは倍速のみ作動します。)
また，AD 倍速旋回中は車速が変わっても，AD 倍速の作動を保持します。

■アクセルレバーとアクセルペダル

◆ アクセルレバー

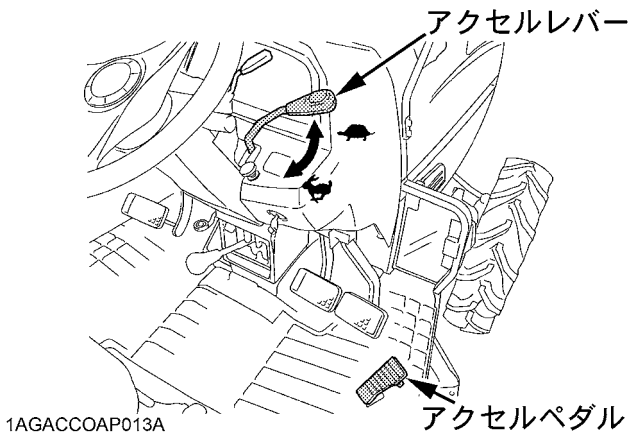
主に農作業時に使用する。

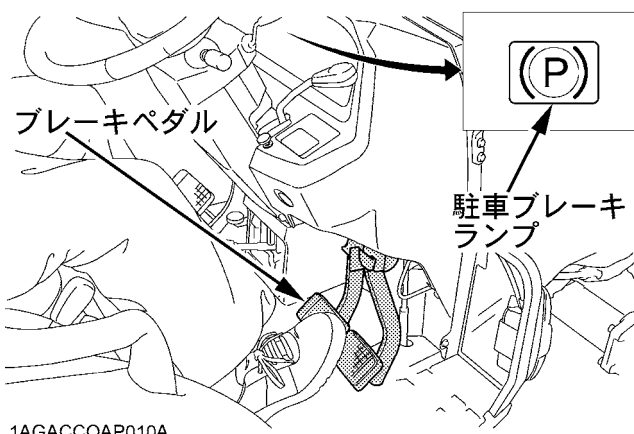
 …… レバーを手前に引くと，エンジン回転が上がる。

 …… レバーを前側に押すと，エンジン回転が下がる。

◆ アクセルペダル

主に道路走行時に使用する。

ペダルを踏込む………	エンジン回転が上がる。
ペダルから足を離す…	アクセルレバーで設定したエンジン回転まで下がる。

■駐車ブレーキの解除のしかた

ブレーキペダルを［踏込む］と駐車ブレーキが解除され，メータパネル内の(P)ランプが消灯します。

燃料給油時の便利な機能と装置

■満タンお知らせブザーの取扱い

燃料給油の際，満量に近づくとブザーが作動し作業者に知らせます。

1. キースイッチを［入］にします。
（エンジンは始動しないでください。）
2. 燃料を給油します。
3. 燃料給油を検知して「ピ…ピ…」と電子メータパネルから断続音が作動します。
4. 燃料が満タンに近づくにつれ，断続音の間隔が短くなり，満タンになると「ピー」という連続音に変わるので給油を停止してください。

補　足

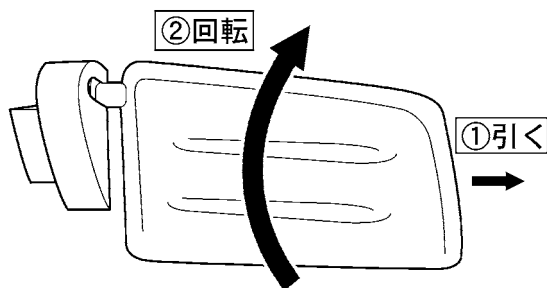
＊ 満量でのブザー作動は完全な満量に対し余裕を見ていますので，連続音作動のとき完全な満量にはなりません。

■カンタン給油台の使い方

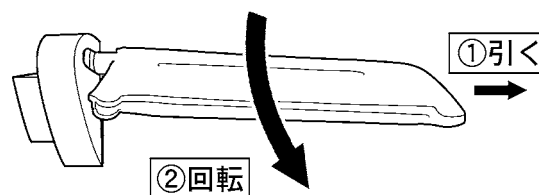
注 意

- **＊ 燃料を給油するときはエンジンを必ず停止してください。**
- **＊ 火気厳禁。**
- **＊ 給油台の上に乗らないでください（積載可能重量 20kg）。**
- **＊ 給油台は燃料補給のタンクのせ台以外の目的で使用しないでください。**
  給油台をものの運搬などに使用しないでください。
- **＊ 走行するときは給油台を折りたたんで確実に固定してください。**

1. 給油台を矢印の方向に引くとロックが解除されます。
2. 給油台を90°回転させるとバネの作用でロックされるので，固定されたことを確認します。

［使用時］

1AGACCBAP138A

3. 20kgまでのポリタンクをのせて，市販の給油ポンプなどを使って給油します。
4. 満タンお知らせブザーを使うと，満量をブザーで警告してくれるので便利です。
5. 給油台を矢印の方向に引き，ロックを解除します。
6. 給油台を90°回転させてもとの位置に戻します。ロックされたことを確認してください。

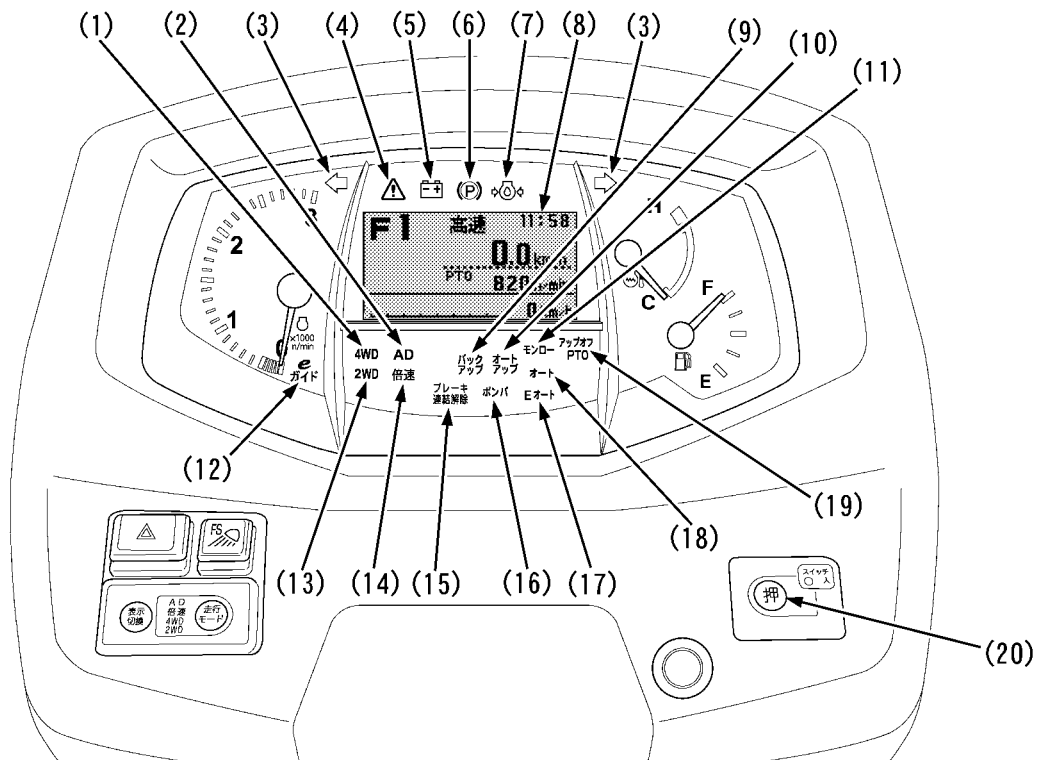
［収納時］

1AGACCBAP138B

電子メータパネルの取扱い

■電子メータ

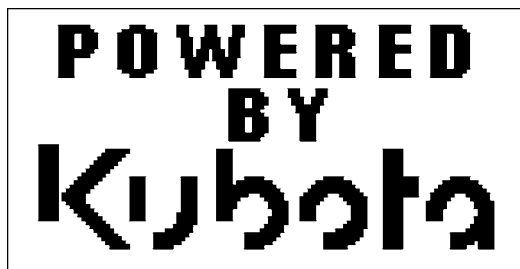
電子メータは，トラクタの運転に必要な各種情報を的確なタイミングでオペレータに提供するとともに，誤操作時の操作指示，各種警報や万一故障した場合にも故障箇所や緊急使用時の取扱いなどを，メッセージとグラフィックで表示しますので，表示に従って正しく取り扱ってください。なお，次表のメッセージ以外が表示された場合は，**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［不調と処置］**の項を参照してください。

補　足

＊ メータパネルカバー（透明樹脂）を，市販のワックスで手入れすると表面が曇ってくる場合があります。ワックスは使用しないでください。

		参照ページ
(1)	4WD ランプ	31
(2)	AD 倍速ランプ	31
(3)	ウインカパイロットランプ	17
(4)	警告ランプ	36
(5)	バッテリチャージランプ	36
(6)	駐車ブレーキランプ	6，22，33
(7)	エンジンオイルランプ	36
(8)	メッセージ表示部	36
(9)	バックアップランプ	57
(10)	オートアップランプ	56
(11)	モンロランプ	68
(12)	eガイドランプ	45
(13)	2WD ランプ	31
(14)	倍速ランプ	31
(15)	ブレーキ連結解除ランプ	23
(16)	ポンパランプ	54
(17)	Eオートランプ	75，76
(18)	オートランプ	75，76
(19)	アップオフPTOランプ	65
(20)	ワンタッチ耕うんモードスイッチ	69

キースイッチを［入］にすると以下のメッセージが表示されます。

キースイッチを［切］にすると以下のメッセージが表示されます。

POWERED
BY
Kubota

■表示の切換え

電子メータパネルの液晶表示部は，表示切換スイッチを押すごとに表示１～６の６種類のモードに切換えることができます。
作業に応じ切換えてください。

1AGACCOAP032F

（表示１）

F1　高速　11：58
10.0 km/h
PTO　820 r/min
71時間 47分
(1) (2) (3) (4)

1AGACCOAP049B

（表示２）

トリップ　71時間 47分

（表示３）

325 m/L

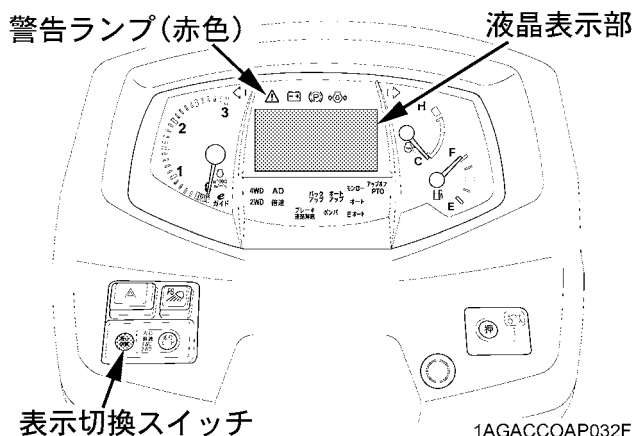
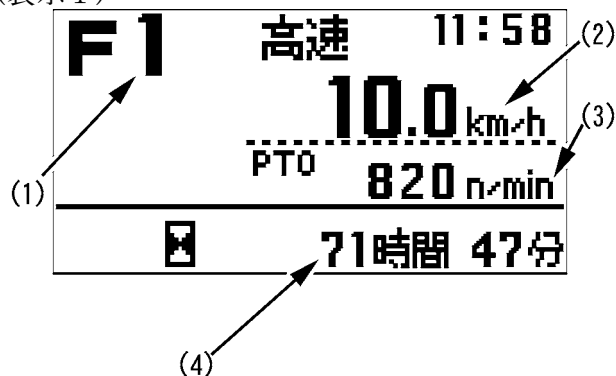
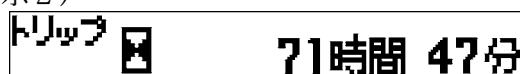
（表示４）

瞬間燃費　2.7 L/h

（表示５）

エンジンオイル交換後　56時間

（表示６）

パワクロ グリスアップ後　56時間

（表示１）
(1) 変速段数
（変速段数は，Ｕシフト（F）仕様のみ表示されます）
(2) 車速（時速）
(3) PTO 軸回転数（回転／分）
(4) アワーメータ（積算時間）
（表示２）トリップ時間　（時間）
（表示３）燃費グラフ（m/L，km/L）
（表示４）瞬間燃費（L/h）
（表示５）エンジンオイル交換用トリップ時間
（表示６）グリスアップ用トリップ時間［パワクロ仕様］

補　足

＊ 表示２の状態で表示切換スイッチを２秒間押すとトリップメータは**０時間０分**にリセットされます。
＊ 表示５，６の状態で表示切換スイッチを２秒間押すと，メッセージ表示時間が**０時間**にリセットされます。
（**［電子メータパネルの取扱い］**の**［電子メータメッセージのリセット法］**の項を参照）
＊ けん引作業などで，タイヤがスリップしている場合の車速表示は実車速と異なります。

No.	メッセージ	内　容	参照ページ
1	F1 高速 11:58 10.0 km/h PTO 820 r/min 71時間 47分	メータ表示部は，表示切換えスイッチを押すごとにNo. 1～6の6種類のモードに切換えることができます。（変速段数は，Uシフト（F）仕様のみ表示されます。） ※6は［**パワクロ仕様**］のみ表示されます。	36
2	トリップ 71時間 47分		
3	eeee 325 m/L		
4	瞬間燃費 2.7 L/h		
5	エンジンオイル交換後 56時間		
6	パワクロ グリスアップ後 56時間		
7		キースイッチ［**入**］時，エンジンの予熱を表示します。	11
8	**PTOスイッチを「切」にして下さい** **［N仕様］**	エンジン始動時左記レバーが［**中立**］になっていない場合，表示されます。 メッセージに従って操作してください。 **［N仕様のみ］** あんしんPTOスイッチが［**切**］になっていない場合，表示されます。 あんしんPTOスイッチを［**切**］にしてください。	6
	PTOレバーを「中立」にして下さい **［N仕様以外］**		
9	**シャトルレバーを「中立」にして下さい**		
10	**PTOスイッチを「切」に** **シャトルレバーを「中立」にして下さい** **［N仕様］**		
	PTOレバーとシャトルレバーを **「中立」にして下さい** **［N仕様以外］**		
11	シートベルトをして下さい	エンジン始動時3秒間，表示されます。	15
12	**油圧レバーを下げて安全ロックを解除**	油圧安全ロック作動時に表示されます。 メッセージに従って操作してください。	54
13	**油圧レバーを上げて安全ロックを解除**		
14	**高さ規制を「高」にして下さい**	エンジン始動時に［**3P手動**］にセットされていれば表示されます。メッセージに従って操作してください。	

No.	メッセージ	内　容	参照ページ
15	**ブレーキペダルを連結！**	車速が10km/h以上時，左記レバー類が正しくセットしていないとき，表示されます。 メッセージに従って操作してください。	23，48
16	**PTOレバーを「中立」に！［N仕様以外］** **PTOスイッチを「中立」に！［N仕様］**		48
17	**油圧レバーを上げに！**		
18	燃料を給油して下さい	燃料が約4L未満になると，表示されます。	次頁
19	**オーバーヒート注意** **アイドリングにして下さい**	エンジンがオーバーヒートすると，表示されます。（警告ランプ点滅） メッセージに従って操作，点検してください。	
20	**冷却後点検して下さい**		
21	9　7　5　3　1 深　　浅 オート	耕深調節ダイヤルで耕深を変更したとき，約５秒間表示されます。	77
	［MAD仕様］ 9　7　5　3　1 深　　浅 ドラフト		81
22	**エンジンオイルの交換時期です**	エンジンオイル交換後100時間（初回50時間）経過すると，エンジン始動時に表示されます。	11，41
23	**油圧レバーを下げで回転**	**［N仕様のみ］** アップオフPTOモード**［入］**でポンパレバーを**［上げ］**又は油圧レバーを**［最上昇位置］**にすると，PTOが停止しメッセージが表示されます。	65
24	**駐車ブレーキを解除！**	駐車ブレーキをかけたまま走行し，車速が0.1km/hを超えると，メッセージが表示されます。	21
25	**パワクロのグリスアップの時期です**	**［パワクロ仕様］** グリスアップメンテナンス後30時間経過すると，エンジン始動時に表示されます。	11，41
26	**エンジンオイル交換** **パワクログリスアップ時期です**	**［パワクロ仕様］** エンジンオイル交換後100時間（初回50時間経過）及び，グリスアップメンテナンス後30時間経過すると，エンジン始動時に表示されます。	11，41

電子メータメッセージ

運転中下記メッセージが表示されたときは，すみやかに作業を止め，メッセージに従って処置してください。なお原因がわからないときは，購入先にご相談ください。
（下記メッセージ以外が表示された場合は，巻末の**［不調と処置］**の章を参照してください。）

◆ **燃料残量警告**

＊ 燃料残量が約 4L 以下になると，メータパネルに下記メッセージが表示されます。
　すぐ燃料を補給してください。
　空にすると燃料系統に空気が入るので，空気抜きが必要です。
　（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［燃料の空気抜きのしかた］**の項を参照）

燃料を給油して下さい

補　足

＊ 表示切換スイッチで表示１，２，３，４，５，６に切換えできます。
＊ ６は**［パワクロ仕様］**のみ表示されます。

◆ **オーバーヒート警告**

＊ エンジンがオーバーヒートすると，メータパネルに⚠ランプ（赤色）が点滅し，下記メッセージが表示されます。

オーバーヒート注意
アイドリングにして下さい

1. 作業を中止し，
2. エンジンをアイドリングにしてください。
　水温が下がると，上記メッセージが**冷却後点検**に変わります。
3. エンジンを停止し，停止後 30 分以上たって冷えてから，次の点検・整備をしてください。

　(1) リザーブタンク，ラジエータの冷却水の量（不足），及び水もれがないか。
　(2) 防虫網及びラジエータに，泥やごみが付着していないか。
　(3) ファンベルトのゆるみがないか。

重　要

＊ リザーブタンクのオーバフローパイプから蒸気が噴き出したら，上記手順で処置を行なってください。

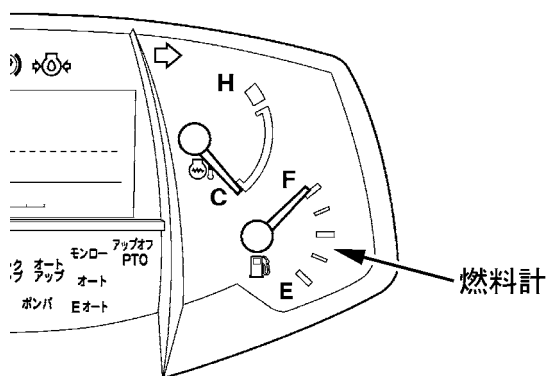
◆ **バッテリ充電異常警告**

＊ エンジン回転中，充電系統が異常のとき点灯する充電警告灯です。
　キースイッチを**［入］**にすると点灯し，始動すると消灯します。
　点灯したままのときは，ファンベルトのゆるみがないか点検してください。

◆ **エンジンオイル油圧低下警告灯**

＊ エンジン回転中，潤滑系統が異常のとき点灯するエンジンオイル油圧警告灯です。
　キースイッチを**［入］**にすると点灯し，エンジンを始動すると消灯します。
　点灯したままのときはすぐエンジンを止め，エンジンオイル量を点検してください。

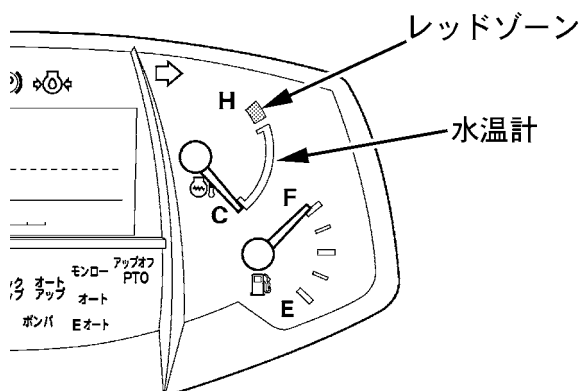
■燃料計

指針が［E］に近づいたら早めに燃料を補給してください。
からにすると燃料系統に空気が入るので，空気抜きが必要です。
（**［必要に応じた点検・整備］**の**［燃料の空気抜きのしかた］**の項を参照）

1AGACCOAP077D

■水温計

注　意

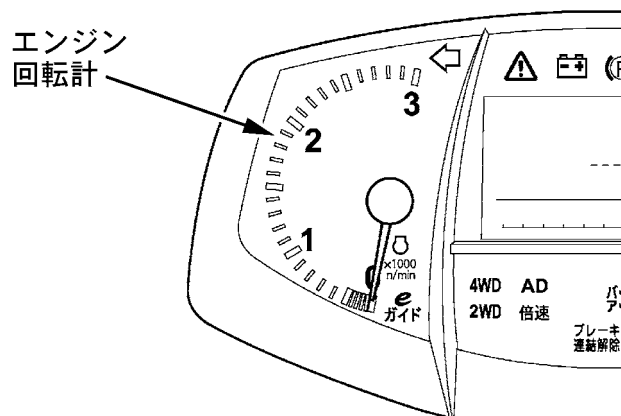
＊ **ラジエータキャップは，エンジン運転中及び停止直後に開けると，熱湯が噴出しヤケドをするおそれがあります。停止後 30 分以上たって，冷えてから最初のストップ位置までキャップをゆっくり回し，余圧を抜いてからキャップを外してください。**

指針が**［H］**（レッドゾーン）を示すとき，または電子メータパネルの液晶表示に**［オーバーヒート注意　アイドリングにして下さい］**が表示されたときは，オーバーヒート状態ですから前頁の手順に従って点検してください。

1AGACCOAP077E

◆ **次の場合には，直ちにエンジンを止めてください。**

1. 回転が急に下降したり上昇したりする。
2. 突然，異常な音をたてた。
3. 排気色が急に黒くなった。

■エンジン回転計

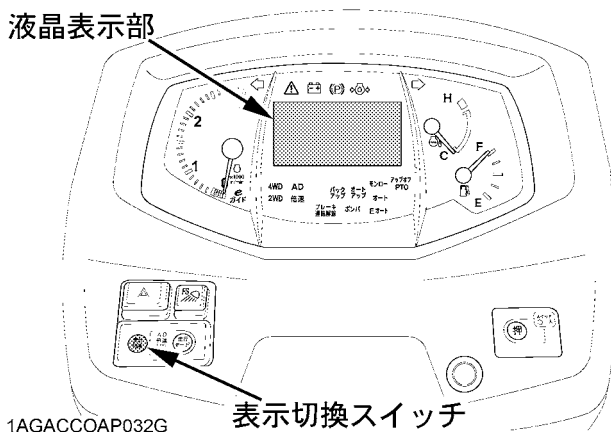
１分間のエンジン回転数を示します。

1AGACCOAP077F

■電子メータメッセージのリセット法

エンジンオイル交換時又は，パワクロのグリスアップメンテナンス時，下記手順でメッセージ表示時間を**0時間**に戻してください。
正しくリセットしておくと，オイル交換時期又はパワクロのグリスアップメンテナンス時期に達すると，電子メータメッセージが表示され大変便利です。（表示例１）

1. 表示切換スイッチを押し，**[エンジンオイル交換用トリップ時間]** 表示モードにする。（表示例２）
2. 表示２の状態で表示切換スイッチを２秒間押すとメッセージ表示が**0時間**にリセットされます。（表示例３）

補　足

＊ 新車時，アワーメータの表示時間が 20 時間未満でリセットすると，50 時間運転後（表示例１）にメッセージが表示されます。

電子メータメッセージ

（表示例１）

エンジンオイルの
交換時期です

（表示例２）

エンジン
オイル交換後 ⌛ 100時間

（表示例３）

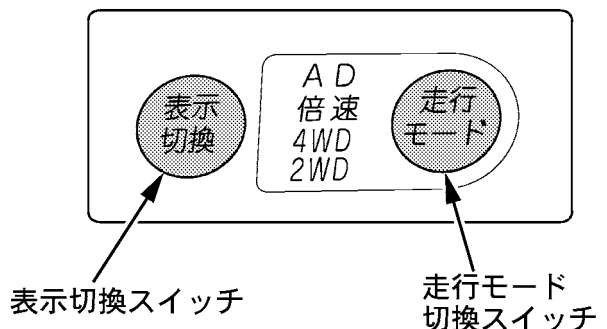
エンジン
オイル交換後 ⌛ 0時間

機能選択表示

警　告

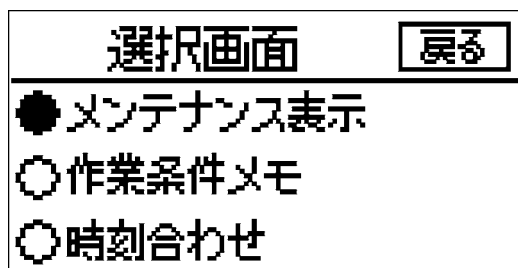
＊ 必ずシートに座り，主変速レバー，シャトルレバーや PTO 変速レバーが［中立］（N）かどうか，また駐車ブレーキが掛かっているかを確認してください。

＊ 取説表記と異なる操作を行なうと，機能選択設定以外の表示が出る場合があります。機能選択設定以外の操作は行わないでください。
誤って操作すると電子メータ液晶ディスプレイに正しく表示されないだけでなく，故障の原因になります。

ハンドルポスト横の表示切換スイッチと走行モード切換スイッチを同時に長押しすると，メンテナンス表示，作業条件メモ，時刻合わせの機能が使用できます。
長期保管時バッテリを取外しても，メンテナンス表示，作業条件メモは保持されます。時刻は保持されませんので，バッテリ取付時セットしなおしてください。

メンテナンス表示	初回設定時間及び交換，メンテナンス経過時間を表示するモード
作業条件メモ	作業条件を記憶表示，設定変更するモード
時刻合わせ	時刻設定及び時計表示／非表示を設定するモード

■**機能選択表示方法**

1. キースイッチを **[入]** 位置にする又は，エンジンを始動し，ハンドルポスト横の表示切換スイッチと走行モード切換スイッチを長押しします。

選択画面　戻る
●メンテナンス表示
○作業条件メモ
○時刻合わせ

2. 表示切換スイッチを短押しで **[メンテナンス表示から時刻合わせ]** まで順に移動します。表示切換スイッチを長押しで選択モードを確定します。

補　足

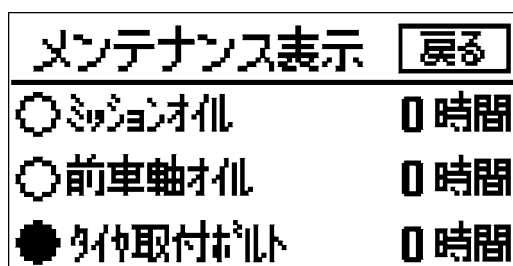
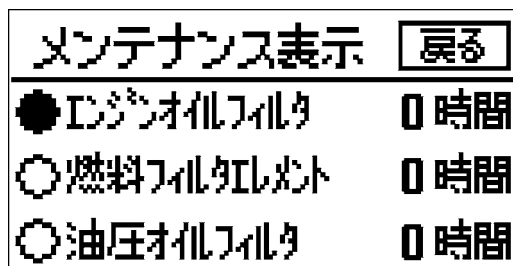
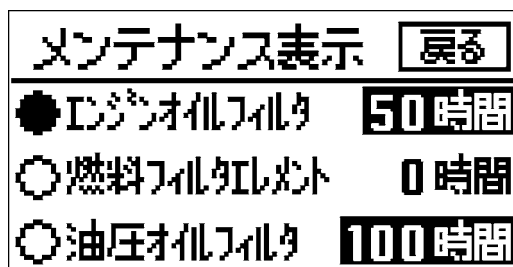
＊ 表示切換スイッチ，走行モード切換スイッチを押しての選択，設定，保存時はそのつどブザー音を発します。

■**メンテナンス表示**

すぐれた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業を行なうためのメンテナンス情報を表示します。

1. 機能選択画面でメンテナンス表示を選択し，表示切換スイッチを長押しで確定します。（**[機能選択表示]** を参照）

メンテナンス表示　戻る
●エンジンオイルフィルタ　0 時間
○燃料フィルタエレメント　0 時間
○油圧オイルフィルタ　0 時間

メンテナンス表示　戻る
○ミッションオイル　0 時間
○前車軸オイル　0 時間
●タイヤ取付ボルト　0 時間

2. 選択項目の移動
   表示切換スイッチを短押しにより，**[エンジンオイルフィルタからタイヤ取付ボルト]** の順に移動します。
3. 設定，交換時間の確認
   各設定された初回点検及び交換時間を超えた場合は，数字部を白黒反転して表示します。

4. 初回点検及び交換時間を超えた場合は，点検・交換を行なってください。

補　足

＊ 各設定された初回点検及び交換時間の数字が 999 時間を超えた場合は，表示更新は 999 で止まります。

◆ リセット方法

各設定された初回点検及び交換時間はリセットすることができます。

メンテナンス表示　戻る
● エンジンオイルフィルタ　50 時間
○ 燃料フィルタエレメント　0 時間
○ 油圧オイルフィルタ　100 時間

1. メンテナンス表示画面でリセットしたい●（項目）を選択し，表示切換スイッチを長押しします。
   ブザー音を発し，リセット確認表示画面に移動します。

エンジンオイルフィルタ
リセットしても
よろしいですか
はい　いいえ

2. リセット確認表示の「はい」で表示切換スイッチを長押しすると，ブザー音とともに時間が「０」と表示され白黒反転数字表示も元に戻ります。

メンテナンス表示　戻る
● エンジンオイルフィルタ　0 時間
○ 燃料フィルタエレメント　0 時間
○ 油圧オイルフィルタ　100 時間

補　足

＊「いいえ」を選択した場合，ブザー音は発さずメンテナンス表示画面に戻ります。

3. 画面の「戻る」を選択して表示切換スイッチを長押しするか，キースイッチを**［切］**にしてメンテナンス表示を終了します。

■作業条件メモ

トラクタでの作業条件を３種類記憶，表示できる機能です。
例えば春起こし，代かき，秋起こしの作業条件を入れておけば便利です。

◆ 作業条件メモ設定

表示切換スイッチを操作することにより３種類（A ～ C）の作業条件メモ項目を表示し，設定の変更，保存を行なうことができます。

1. 機能選択画面で作業条件メモを選択し，表示切換スイッチを長押しで確定します。（**［機能選択表示］**を参照）
2. 表示切換スイッチを短押しで選択箇所（A ～ C）を選択し，表示切換スイッチを長押しで確定します。

作業条件メモ　戻る
A 車速:主 -- 副 － PTO:－
B 車速:主 3 副 高 PTO:1
C 車速:主 12 副 低 PTO:4

3. 主変速，副変速，PTO 値の変更は以下のスイッチ操作で行ないます。
   (1) 選択項目の移動
   表示切換スイッチを短押しにより，**［主変速→副変速→ PTO］**の順に移動します。
   (2) 値の変更，更新
   走行モード切換スイッチを短押しにより，値を設定します。

表示	初期状態	選択範囲
主変速	－－	1～12，－－
副変速	－	低，高，高速，－
PTO	－	1，2，3，4，逆，－

補　足

＊ トラクタの機種によっては，仕様にない選択範囲を設定できる場合もあります。

   (3) 値の確定
   全て設定したら表示切換スイッチを長押しにより，変更値，更新値を確定し保存します。

■時刻合わせ設定と表示・非表示

時刻の設定，変更，表示／非表示の設定を行なうことができます。

◆ 時刻合わせ設定

1. 機能選択画面で時刻合わせを選択し，表示切換スイッチを長押しで確定します。（**［機能選択表示］**を参照）
2. 走行モード切換スイッチを短押しで
   ●時刻を設定し，表示切換スイッチを長押しで確定します。

時刻合わせ　戻る
● 時刻　11:58
表示切換の長押しで確定
○ 時計　ON

　(1) 選択項目の移動
　　表示切換スイッチを短押しにより，
　　［時間→分］の順に移動します。
　(2) 時刻の変更，更新
　　走行モード切換スイッチを短押しにより，値を設定します。
　(3) 時刻の確定
　　表示切換スイッチを長押しにより，変更値，更新値を確定し保存します。

3. 画面の「戻る」を選択して表示切換スイッチを長押しするか，キースイッチを**［切］**にして時計表示設定を終了します。

◆ 表示・非表示

1. 機能選択画面で時刻合わせを選択し，表示切換スイッチを長押しで確定します。（**［機能選択表示］**を参照）
2. 表示切換スイッチを短押しで
   ●時計を選択し，表示切換スイッチを長押しで確定します。

補　足

＊ 選択すると現在の「ON/OFF」設定状態を反転表示します。

　(1) 時計表示・非表示設定
　　走行モード切換スイッチを短押しにより，ON(表示)/OFF(非表示)を設定します。
　(2) 時計表示・非表示確定
　　表示切換スイッチを長押しにより，
　　ON（表示）/OFF（非表示）を確定し保存します。

3. 画面の「戻る」を選択して表示切換スイッチを長押しするか，キースイッチを**［切］**にして時計表示設定を終了します。

■燃費表示

◆ e ガイドランプ

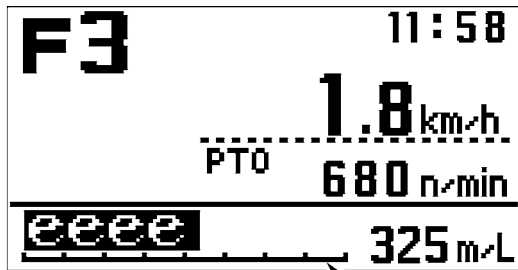
省エネ運転ガイド機能をわかりやすく表現しているランプで，エンジンに余裕があれば「e ガイド」ランプが点灯します。省エネ運転を心がけることで燃費の向上につながります。

	点灯	「省エネ運転できます！」の合図です。

詳細は付属されている省エネ運転ガイドをご覧ください。

◆ 距離燃費表示

燃料１Lあたりの作業距離をグラフと数値で表示し，作業の状態に応じてグラフと数字が増減します。

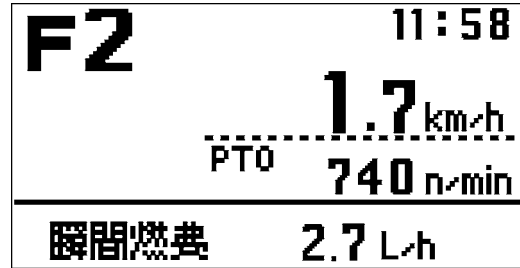
燃費グラフは約60m/Lごとに「e」マークが出ます。

1AGACCOAP072B

燃費グラフが右側へ伸びると燃費が良くなります。燃料１リットルで作業できる距離が長くなります。

補　足

＊ エンジン回転数 1200n/min 以下，又はトラクタを停車したとき，瞬間燃費表示と距離燃費表示が待機モードとなり，「＊」（アスタリスク）マークが表示されます。「e」マークは表示されません。
＊ 副変速レバーを「高速」に入れると単位表示が m/L から km/L に切換わり，「e」マークは約 0.8km/L ごとに出ます。（ハイスピード仕様）

◆ 瞬間燃費表示

瞬間燃費とは１時間あたりの燃料消費量を数値表示で表したものです。

補　足

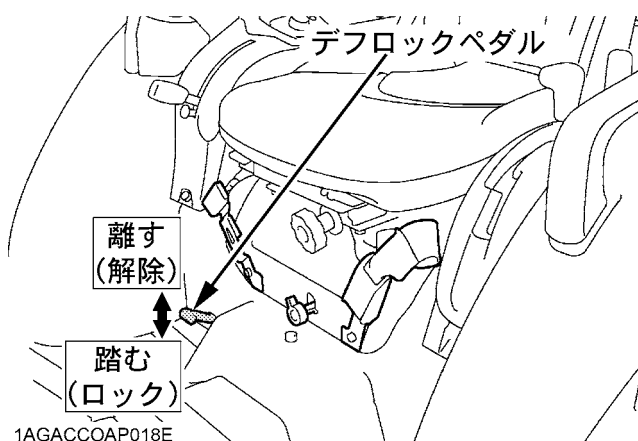
＊ 燃費とは１リットルの燃料で，どれだけの距離を作業できるかということになります。
燃料節約の目的として確認される場合は，「距離燃費表示」を参考とするのが適切です。
＊ 瞬間燃費表示は，その状態のまま作業を続けると１時間で何リットルの燃料が必要かを表します。給油のタイミングなどの参考にしてください。
＊ 燃費表示は運転状態からの推定値なので，実際の燃費と最大 20％程度の誤差がある場合があります。表示内容は参考値として使用してください。

状況に応じた操作

■デフロックの使い方

◆ デフロックペダル

左右の後輪が同じ回転速度で駆動される装置で，スリップ防止に効果があります。

ペダルを踏込む………ロックされる。
ペダルから足を離す…自動的に外れる。

◆デフロックの使い方

＊ デフロックを入れたままで旋回できません。旋回の前に必ず解除してください。
＊ 道路走行時には絶対にデフロックを使用しないでください。ハンドル操作ができなくなります。

デフロックは，下記のような場合に役立ちます。

1. 農場への出入りやフロントローダ作業時など，片車輪がスリップして直進できないとき。
2. 農場の一部軟弱なところに片車輪が入り込み，スリップして走行がしにくくなったとき。
3. プラウ作業などけん引力を必要とする作業で，片側車輪がスリップしたとき。

重　要

＊ デフロックを入れるときは，エンジン回転を下げてから行なってください。
＊ 抜けにくいときは，ブレーキペダルを左右交互に軽く踏んでください。
＊ 使用しないときは，足をペダルにのせないでください。

■旋回のしかた

＊ 高速で旋回すると，横転するおそれがあります。デフロックペダルの解除を確認して，できるだけエンジン回転を落とし，ゆっくりと旋回してください。

■坂道での運転

＊ ブレーキペダルの連結及びデフロックの解除を確認してください。
＊ 坂道では主変速を［中立］にしたり，クラッチを切ったりして惰性で走行しないでください。
＊ 急な坂では途中で変速しないでください。あらかじめ安全な車速に変速してから走行してください。

1. 坂道状況に応じた安全なスピードで，エンジンにできるだけ負担をかけないように走行しましょう。
2. 登り坂ではノッキングさせないように早めに遅い変速位置にしましょう。
3. 下り坂ではエンジンブレーキを活用しましょう。車速を下げるほどエンジンブレーキはよくききます。

■ほ場への出入り時の注意

警告

＊ 左右のブレーキペダルは，必ず［連結］しておいてください。
＊ ほ場への出入りは，高低差が大きいと危険です。
あゆみ板などを利用してください。
＊ ほ場への出入りは，あぜと直角に行なってください。
＊ ほ場への出入りの際は，あらかじめ遅い車速で運転し，途中で変速しないでください。

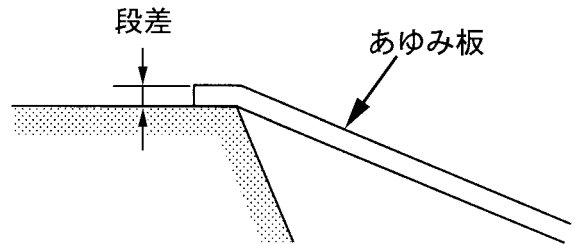
注意

＊ 走行モード切換スイッチは［2WD］又は［4WD］にしてください。

1. 作業機を下げて進むと，前輪が浮き上がりません。常に前・後輪のバランスを考えながら操作してください。
2. あぜを上がるとき，４輪駆動の特色を生かして，バックで上がると格段にあがる能力が増します。

◆ パワクロ仕様の場合

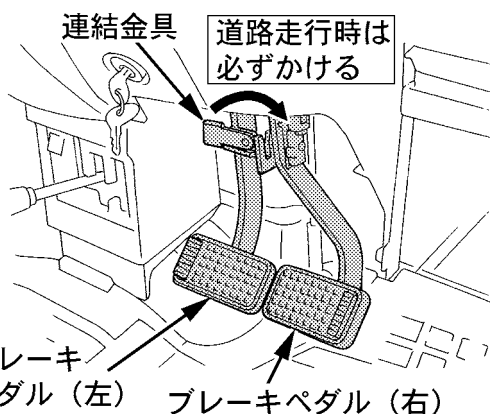
注意

＊ クローラの片側だけが段差に引っかかり乗りあがらない状態になった場合，いったん車両を元に戻し，あゆみ板をかけ直してはじめからやり直してください。

■道路走行中の注意

警 告

＊ 道路を走行するときは，左右のブレーキペダルを必ず［連結］してください。
連結しないと，ブレーキが片ぎきになり，車体が急旋回して，転倒・転落・衝突などの事故を引起こすおそれがあります。

注 意

＊ 道路を走行するときは，関係法規を守り安全運転をしてください。
＊ 運転者のほかは乗せないようにしてください。
転落事故の原因になります。
＊ 溝のある農道や両側が傾斜している農道を通るときは，特に路肩に注意してください。
＊ トラクタは，ロータリなどの作業機を装着して公道を走行できません。
［道路運送車両法の保安基準］
（作業機を装着して道路を走行すると，他の車・電柱又はガードレールなどにロータリを引掛けて，事故の原因になります。）
＊ 道路走行時にはモンロ・オートスイッチを必ず［切］にして走行してください。
＊ ポンパランプの消灯を確認してください。
＊ 信号待ちなどの一時停止時はブレーキペダルを踏んだままにしてください。

1. 公道走行中進路方向を変えるときは，方向指示器で進路方向を他の自動車に知らせてください。
2. 夜間走行中，対向車とすれちがうときは，ヘッドライトを下向き照射にし，対向車の妨害にならないように注意しましょう。
3. 踏切では，必ずいったん停止し，左右の確認をしてから，速やかに渡ってください。
4. 公道走行中は作業灯を消灯してください。

補 足

＊ 作業灯はフロントサイド作業灯を含め**［道路運送車両法の保安基準］**第 42 条（灯火の色等の制限）において，**［走行中に使用しない灯火］**とされ，点灯したまま道路走行すると他の交通車両の妨害となることから道路走行中の点灯は禁止されております。

電子メータメッセージ

＊ 走行中下記のメッセージが表示されたときは，すみやかにトラクタを止め，メッセージに従って処置してください。
メッセージは車速が 10km/h を超えたとき表示されます。また，表示要因が 2 個以上の場合は，交互に表示されます。

◆ **ブレーキ連結金具が連結されていないとき**

ブレーキペダルを連結!

◆ **PTO 変速レバーが［中立］でないとき［N 仕様以外］**

PTOレバーを「中立」に!

◆ **あんしん PTO スイッチが［切］でないとき［N 仕様］**

PTOスイッチを「切」に!

◆ **ポンパで作業機を持ち上げているとき**

油圧レバーを上げに!

＊ 下記のメッセージは車速が 0.1km/h を超えたとき表示されます。

◆ **駐車ブレーキが解除されていないとき**

駐車ブレーキを解除!

■トラックへの積み・降ろし

注　意

＊ **あゆみ板は，十分な強度・幅・長さ（傾斜が 15 度以下になる長さ：トラック荷台高さの 4 倍以上）のあるすべり止め付きのものを使用し，トラクタの重量であゆみ板が傾いたりしない場所を選んでください。**
＊ **積み・降ろしはあらかじめ遅い車速で運転し，途中での変速はしないでください。**

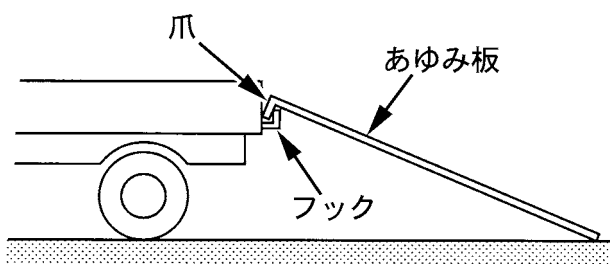
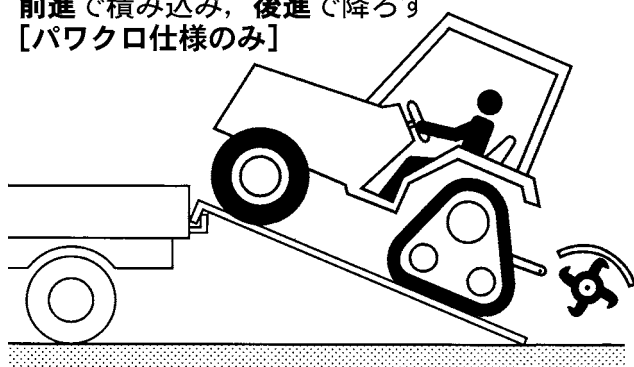
◆ **タイヤ仕様の場合**

トラックへの積込みは，必ず左右のブレーキペダルを **［連結］** しバックで行なってください。
万一，途中でエンストした場合は，すぐブレーキペダルを踏込み，その後徐々にブレーキをゆるめ，いったん道路まで降ろし，あらためてエンジンを始動してから行なってください。

◆ パワクロ仕様の場合

注意

＊ トラックは荷台後部にあゆみ板の爪を掛けるフックが付いたものを使用してください。
＊ トラックへの積み・降ろしは，必ず左右のブレーキペダルを［連結］し，［前進］で積み込み，［後進］で降ろしてください。前進で降りると，クローラがあゆみ板の段差ですべり，前輪が浮いて車体が旋回し，転倒事故につながるおそれがあります。

万一，途中でエンストした場合は，すぐブレーキペダルを踏込み，その後徐々にブレーキをゆるめ，いったん道路まで降ろし，あらためてエンジンを始動してから行なってください。

1AGACBUAP003A

1AGACBUAP004A

■パワーステアリングの取扱い

＊ パワーステアリングはエンジン運転中，ハンドル操作が大変軽くなりますので，走行は慎重に行なってください。

重 要

＊ パワーステアリングは，エンジン運転中だけ作動します。ただし，エンジン回転が低速のときは多少ハンドルが重くなります。なお，エンジン停止時は，ハンドルの遊びが大きくなりますが，機能上問題はありません。
＊ ローダなどの前部装着作業機を使用し，トラクタを止めたままハンドルを操作すると，途中重くなることがあります。このときは，低速でトラクタを移動させながらハンドルを操作してください。
＊ ハンドルをいっぱい切ると，安全弁の作動音（リリーフ音）が出ます。この音が鳴ったまま使用しないでください。（短い時間ではかまいません。）また，ハンドルのフル回転状態での連続使用は，できるだけ避けてください。
＊ 不必要なハンドルのスエ切り（走行しないでハンドルを切る）は，タイヤ及びリムなどの損耗を早めるので避けてください。
＊ 冬期は暖機運転をじゅうぶん行なってから使用してください。

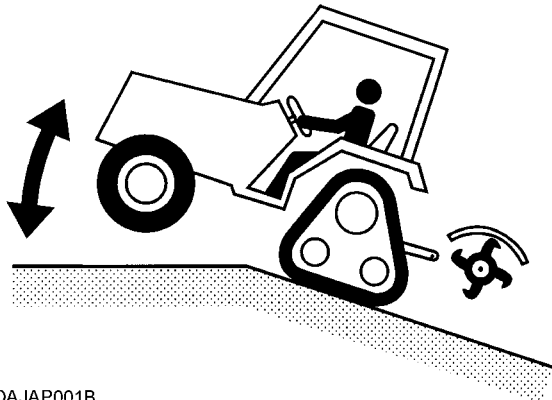
■パワクロ仕様の運転のしかた

パワクロ仕様の特別な運転のしかたを記載しています。これ以外の取扱い操作はタイヤ仕様のトラクタと同じです。

◆ 運転操作

＊ **凹凸やカーブの多い所では絶対に高速走行をしないでください。ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。**

注 意

＊ **クローラ部が凸部を乗越えるときは，急に姿勢が変わりますので十分注意してください。**

1AGADAJAP001B

1. 走行速度は，タイヤ仕様とは異なります。**［付表］**の**［走行速度表］**を確認してください。
2. ほ場での旋回は速度を下げ，ハンドルとブレーキ（片ブレーキ）を併用してください。
   片側クローラをロックしての急旋回は，ほ場を荒らしますので，切返しでの旋回をお奨めします。

補 足

＊ パワクロは直進性に優れる分，旋回半径は大きくなります。ほ場での作業中は，必要に応じ旋回する側のブレーキを操作すれば，小さい旋回半径で旋回できます。

重 要

＊ プラウ作業など片側のクローラを溝に落として行なう作業の場合は，クローラの張りを確認してください。また段差から無理に出ようとしないでください。
＊ 溝引きプラウ作業ではクローラが完全に溝から上がった状態で旋回してください。
　片側のクローラが溝に落ちた状態で旋回すると、ゴムクローラが外れる可能性があります。
＊ あぜごえはあぜに対して垂直方向に走行し，途中で旋回しないでください。ゴムクローラが外れるおそれがあります。
＊ 道路走行でカーブを曲がったり，右左折する場合は速度を落してください。
　クローラは直進性が優れるために，曲がりきれなくなる場合があります。
＊ 標準パワクロ（PC2）にて，うねや排水溝があるほ場を耕うんする場合は，うねの上を走行しながら耕うんしてください。溝を走行すると，クローラを傷める場合があります。

補 足

＊ 長距離の移動の際には，前輪タイヤ及びゴムクローラの早期摩耗防止のためにトラックやトレーラに積んで輸送することをお奨めします。
＊ クローラ部分に土がたまらないよう，定期的に清掃してください。
　固まった土が遊輪，転輪のシールをいためる可能性があります。

◆ あゆみ板の使用

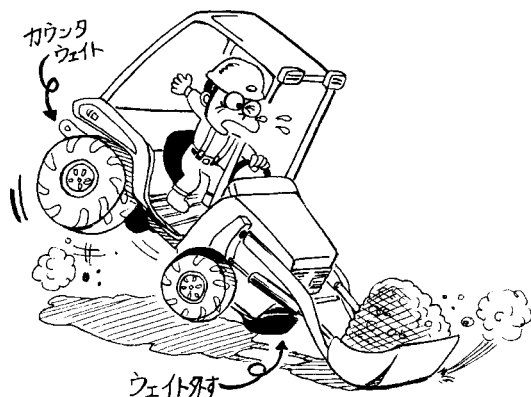
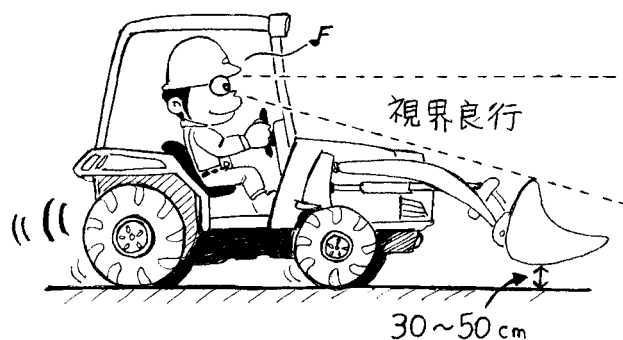
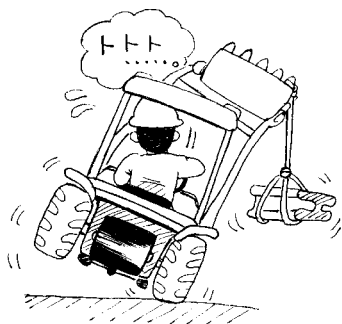
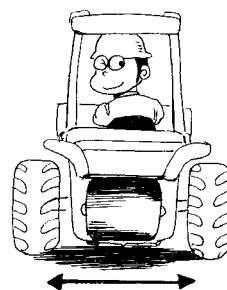
注 意

＊ **あゆみ板は左右の先端をそろえ，前後にずれないように確実に固定してください。**
＊ **あゆみ板とあゆみ板をかけた面との段差が大きい場合，運転には特に注意してください。**
＊ **途中で変速すると危険ですので，あらかじめ安全な遅い変速位置に入れて低速で運転してください。**
＊ **あゆみ板は，十分な強度・幅・長さ（傾斜が15度以下になる長さ：トラックの荷台高さ，あるいはほ場乗入れ部高さの4倍以上）のあるすべり止め及び爪付きのものを使用し，パワクロの重量であゆみ板が傾いたりしない場所を選んでください。**

■ローダ作業

ローダ作業を安全に行なうために！

ローダ作業時の転倒事故を防止するために，次のことがらを必ず守ってください。

1.トラクタ後部にカウンタウエイトを取付ける！
トラクタの後部に，三点リンクを利用して適正量のカウンタウエイトを取付け，前後のバランスを保つようにしてください。

2.運搬はローダを低く下げてゆっくり走行する！
運搬・走行するときは，積荷の高さを地上から30～50cmにし，速度も５km/時以下で走行してください。特に傾斜地・悪路では，速度をひかえめに慎重に走行してください。

3.片持ち作業をしない！
片持ち作業はトラクタ横転の原因になりますので，荷物は左・右片寄らないようにバランスよく載せてください。

4.後輪トレッドはできるだけ広げる！
作業時はトラクタの安全性を増すため，後輪トレッドはできるだけ広げてください。

5.フロントローダ作業中はADや倍速ターンを絶対に使用しないでください。

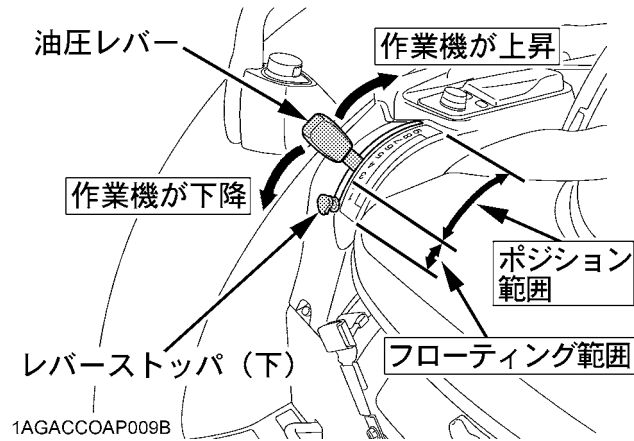
★以上，ローダ作業での転倒事故を未然に防いでいただくために，主だった注意事項を挙げました。これ以外にもローダの［**取扱説明書**］をよく読んで安全に作業をしてください。

作業機昇降装置

油圧装置は，クラッチの断続に関係なくエンジン回転中は常に作動します。

■油圧（ポジションコントロール）レバー

油圧レバーは，油圧によって作業機を上下させる装置です。

1AGACCOAP009B

	レバー位置	作業機	作業機の位置
ポジション範囲	下げ方向に移動させる	下がる	この範囲では，作業機を任意の位置にセット・保持できます。
	上げ方向に移動させる	上がる	
フローティング範囲	下げ位置	下がる	この範囲では，作業機はいっぱいまで下がります。

◆ レバーストッパ（下降側）の使い方

1. 油圧レバーで，希望する作業位置を決めます。
2. その位置にレバーストッパを固定します。
3. その後は，油圧レバーをレバーストッパに当たるまで動かすことにより，同一の作業位置が得られます。

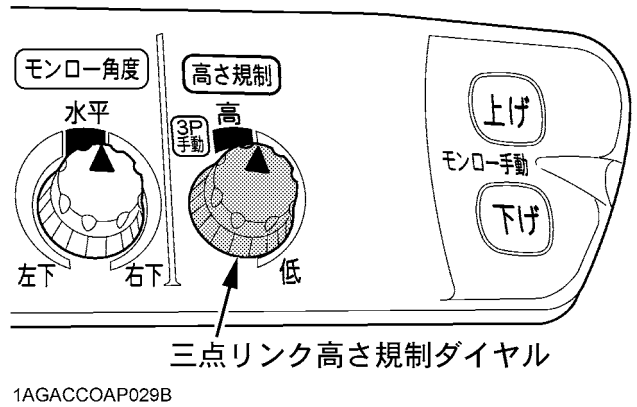
◆ 油圧レバーの取扱い特性

1. エンジン停止後，キースイッチを［**入**］にして，油圧レバーを［**前方に倒す**］と，作業機が下降します。（ポンパランプ点滅時は下がりません。電子メータメッセージに従って油圧レバーを操作し，ポンパランプの点滅を解除してください。）
2. 三点リンク高さ規制ダイヤルで上昇上限位置を規制している時は，制限位置までしか上昇しません。

■三点リンク高さ規制ダイヤル

三点リンクの上昇上限位置を変えるときに使用します。

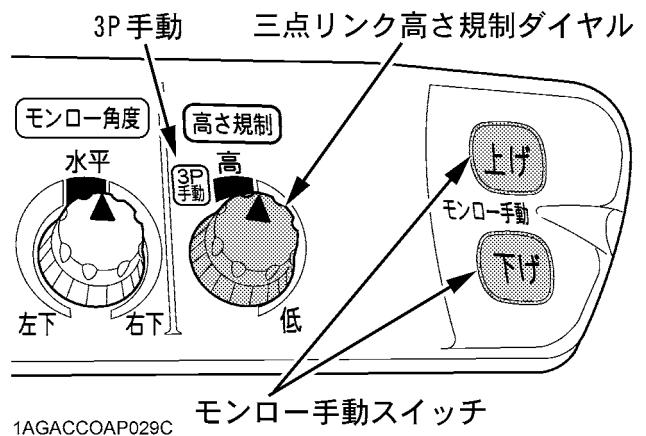
1. ダイヤルを［**高**］にすると，三点リンクの上昇上限位置が高くなります。
2. ダイヤルを［**低**］方向に回すと，三点リンクの上昇上限位置が低くなります。

1AGACCOAP029B

補　足

＊ 三点リンク高さ規制ダイヤルにより，ポンパレバー，油圧レバー，オートアップ及びバックアップでの上げ位置を任意の高さに規制できます。

◆ 3P 手動の使い方

ダイヤルを［**3P 手動**］にすると各種制御に関係なく，モンロ手動スイッチにて作業機を上げ下げできます。

1AGACCOAP029C

1. ポンパレバー又は，油圧レバーで三点リンクを最上位置にし，モンローマチックを［**平行停止**］させます。
2. 三点リンク高さ規制ダイヤルを［**3P 手動**］位置にします。
3. 三点リンクの［**上げ－下げ**］は，モンロ手動スイッチで行ないます。

電子メータメッセージ

＊ エンジンを始動後，三点リンク高さ規制ダイヤルを［**3P 手動**］位置にすると，下記のメッセージが表示されます。

3P手動モード

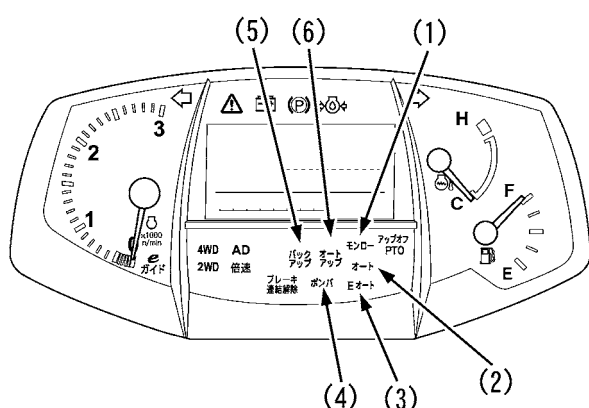
＊ 3P 手動作業終了後は，［**3P 手動**］を解除し，上記メッセージの消灯を確認してください。

補　足

＊ 三点リンク高さ規制ダイヤルを［**3P 手動**］位置にすると，**モンロ，オート，E オート，ポンパ，バックアップ，オートアップ**の各ランプが消灯します。

＊［**3P 手動**］位置では，油圧レバー，ポンパレバー，モンローマチックオート，バックアップ，オートアップ，E オートは作動しません。

＊［**3P 手動**］位置でエンジンを停止し，再度［**3P 手動**］作業を行なう場合は，エンジン始動後，［**3P 手動**］を解除し（ダイヤルを［**3P 手動**］位置から［**高**］又は［**低**］の方向へ回す），再度［**3P 手動**］位置にしてください。

＊ 3P 手動作業の終了後は，［**3P 手動**］を解除してください。

1AGACCOAP077G

(1) モンロランプ
(2) オートランプ
(3) E オートランプ
(4) ポンパランプ
(5) バックアップランプ
(6) オートアップランプ

■ポンパレバー

＊ ほ場内作業以外では，ポンパを使用しないでください。

＊ ポンパアップ状態で道路走行しないでください。ほ場外（移動など）では油圧レバーを使用してください。

レバーのワンタッチ操作で作業機を上下させる装置です。ほ場内での旋回操作が便利になります。

レバー上げる（ポンパランプ点灯）… 作業機上昇
レバー下げる（ポンパランプ消灯）… 作業機下降

ポンパレバーで作業機上昇後，油圧レバーを最上位置にすると，ポンパ制御が解除され（ポンパランプ消灯），ポジション制御になります。

補　足

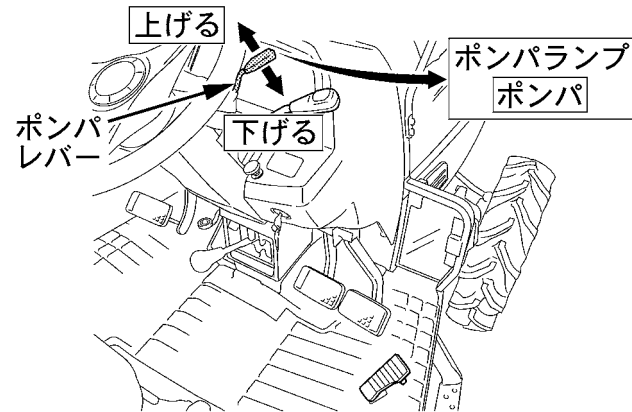
＊ ポンパレバーはスイッチですので軽い操作力で作動します。無理な力を加えないでください。

＊ 新しい作業機を装着したときは，ポンパレバーではなく，油圧レバーを使って作業機を上げて，作業機がトラクタに当らないことを確認してください。

＊ ポンパレバー操作時，ブザー音が 1 回鳴ります。

◆ **ポンパの上手な使い方**

ポンパレバーを解除したときの下降位置は油圧レバーで設定した位置になります。

例えば代かきハローなど，作業機の位置を固定して昇降させる場合，油圧レバー位置をセットしたまま，ポンパレバーにより昇降させることができます。**［耕深位置制御］**

1AGACCOAP013B

補　足

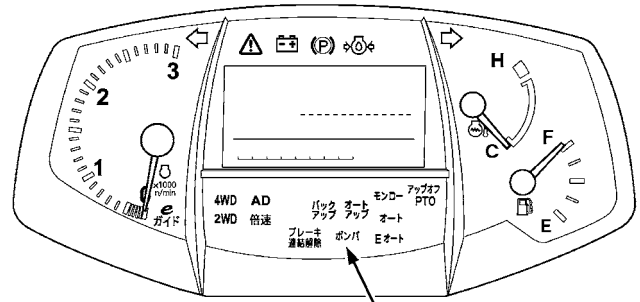
＊ ポンパランプが点滅している場合，油圧レバー又はポンパレバーを操作し，ポンパランプの**［点滅を解除］**してから使用してください。

＊ あぜぎわなどほ場が平たんではないところでポンパを使用すると，ロータリなどの作業機に衝撃がかかり損傷するおそれがあります。このような場合は油圧レバーでゆっくりと作業機を下降させてください。

◆ **三点リンクの安全ロック機能**

下記状態でエンジンを始動すると，安全ロックが作動し作業機は昇降しなくなります。

1. 作業機の高さと油圧レバー位置（エンジン停止時の位置）が異なっているとき。
2. 三点リンク高さ規制ダイヤルが**［3P 手動］**位置になっているとき。

安全ロックが作動すると，ポンパランプが点滅状態となり，解除方法は 電子メータメッセージとして表示されます。

1AGACCOAP077J

電子メータメッセージ

＊ 安全ロックの解除は，下記の表示メッセージに従って解除してください。
安全ロック解除時，ブザー音が２回鳴ります。

油圧レバーを下げて 安全ロックを解除

油圧レバーを上げて 安全ロックを解除

高さ規制を 「高」にして下さい

（三点リンク高さ規制ダイヤルを**［3P 手動］**位置から**［高］**に戻す。）

補　足

＊ 安全ロックは，ポンパレバーで作業機を上げても解除できます。

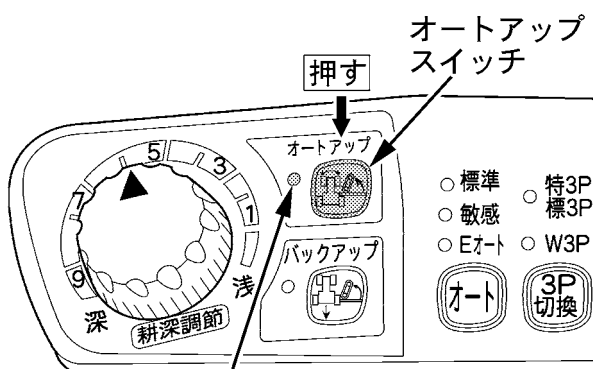
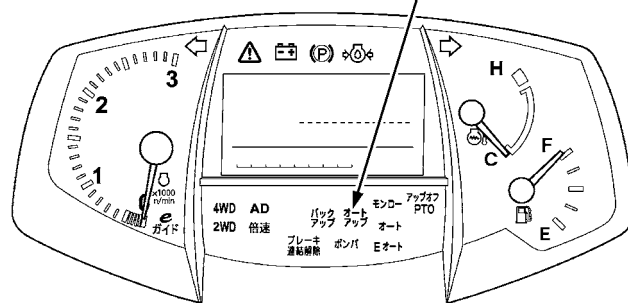
＊ 電子メータメッセージの「油圧レバー下げて解除」は，車速が約 10km/h 以上のときは表示されません。

■オートアップスイッチ

注　意

＊ 危険防止のため，オートアップの使用は，ほ場内作業のみにしてください。
＊ オートアップで作業する場合は，ランプが点灯していることを確認してください。ランプが消灯しているときは，作業機は自動で上昇しません。この状態で旋回すると，作業機を引きずり，障害事故を引起すおそれがあります。
＊ スイッチの操作はエンジンを始動したあとに行なってください。エンジン始動によりバッテリ電圧が一瞬下がりますので，スイッチの操作が無効になる場合があります。

◆ オートアップの使い方

1. オートアップスイッチを押し **［入］** にします。
オートアップ **［入］** のとき，メータパネルのオートアップランプが点灯します。
2. 隣接耕うん作業での旋回時，ステアリングハンドルを回すと，作業機が自動で上昇し，ほ場内での旋回操作が簡単にできます。
（上昇時ブザー音が１回鳴ります。）
3. 作業機を下げるときは，ポンパレバー又は油圧レバーで行なってください。
4. オートアップスイッチを再度押すと，オートアップが **［切］** となります。
（オートアップランプ消灯）

1AGACCOAP029D

1AGACCOAP077H

補　足

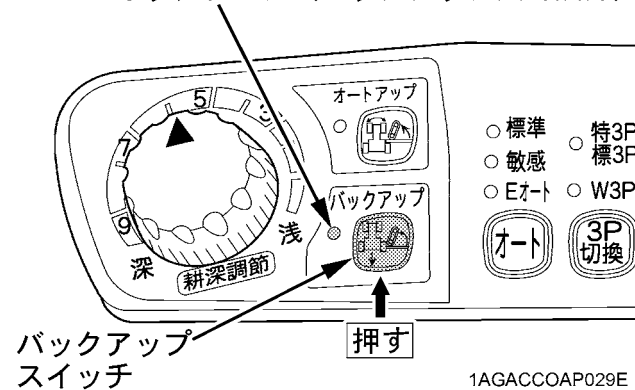
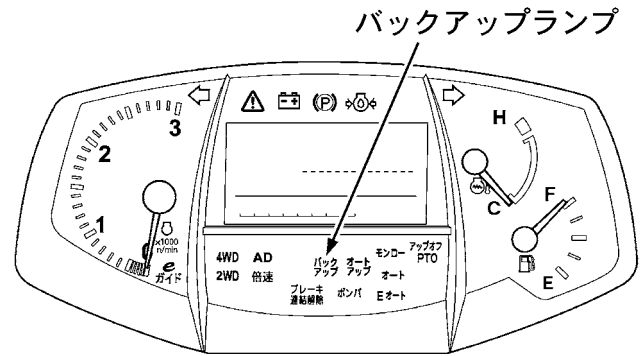
＊ オートアップが点灯中でもシャトルレバーが **［中立］**，**［後進］** 及び PTO 変速レバーが **［中立］** 又はあんしん PTO スイッチが **［切］**（**N仕様**）の場合，オートアップは作動しません。
＊ 隣接耕うん作業以外では，オートアップスイッチを **［切］** にしてください。
＊ オートアップが作動するステアリングハンドルの操作角度は，条件により異なります。
ハンドル操作の速さ，車速などからマイコンが判断し，適切に制御しています。

■バックアップスイッチ

バックアップを **[入]** にしておくと，後進時，作業機が自動的に上昇し，**[うっかりバック]** からの作業機の損傷を防ぎます。

> ⚠ **注 意**
>
> ＊ **スイッチの操作はエンジンを始動した後に行なってください。エンジン始動によりバッテリ電圧が一瞬下がりますので，スイッチの操作が無効になる場合があります。**

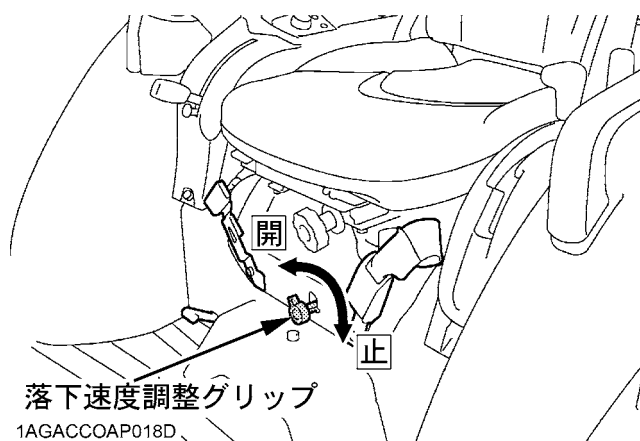
◆ **バックアップの使い方**

1. バックアップスイッチを押し，**[入]**にします。バックアップ **[入]** のとき，メータパネルのバックアップランプが点灯します。
2. シャトルレバーを **[後進]** に入れると，作業機が自動で上昇します。
3. 作業機を下げるときは，ポンパレバー又は油圧レバーで行なってください。
4. バックアップスイッチを再度押すと，バックアップが **[切]** となります。
（バックアップランプ消灯）

1AGACCOAP029E

1AGACCOAP077I

■作業機落下速度の調整

> **⚠ 注 意**
>
> **＊ ロータリなど作業機を点検する場合は，必ず落下速度調整グリップで，作業機が落下しないようにロック（停止）してください。**
> **＊ 落下速度調整グリップでロックした後，油圧レバーを［前方に倒して］，作業機が落下しないことを必ず確認してください。**
> **＊ ロックするとともに適切なジャッキ又はブロックで歯止めをし，落下防止を行なってください。**

落下速度調整グリップを回すことにより作業機落下速度が調整できます。（回転角 90°）

［開］方向に回す：
油圧回路が開き，作業機の落下速度が速くなります。
［止］方向に回す：
油圧回路が閉じ，作業機の落下速度が遅くなります。
（**［止］**方向に一杯まで回すと，油圧がロック（停止）します。）

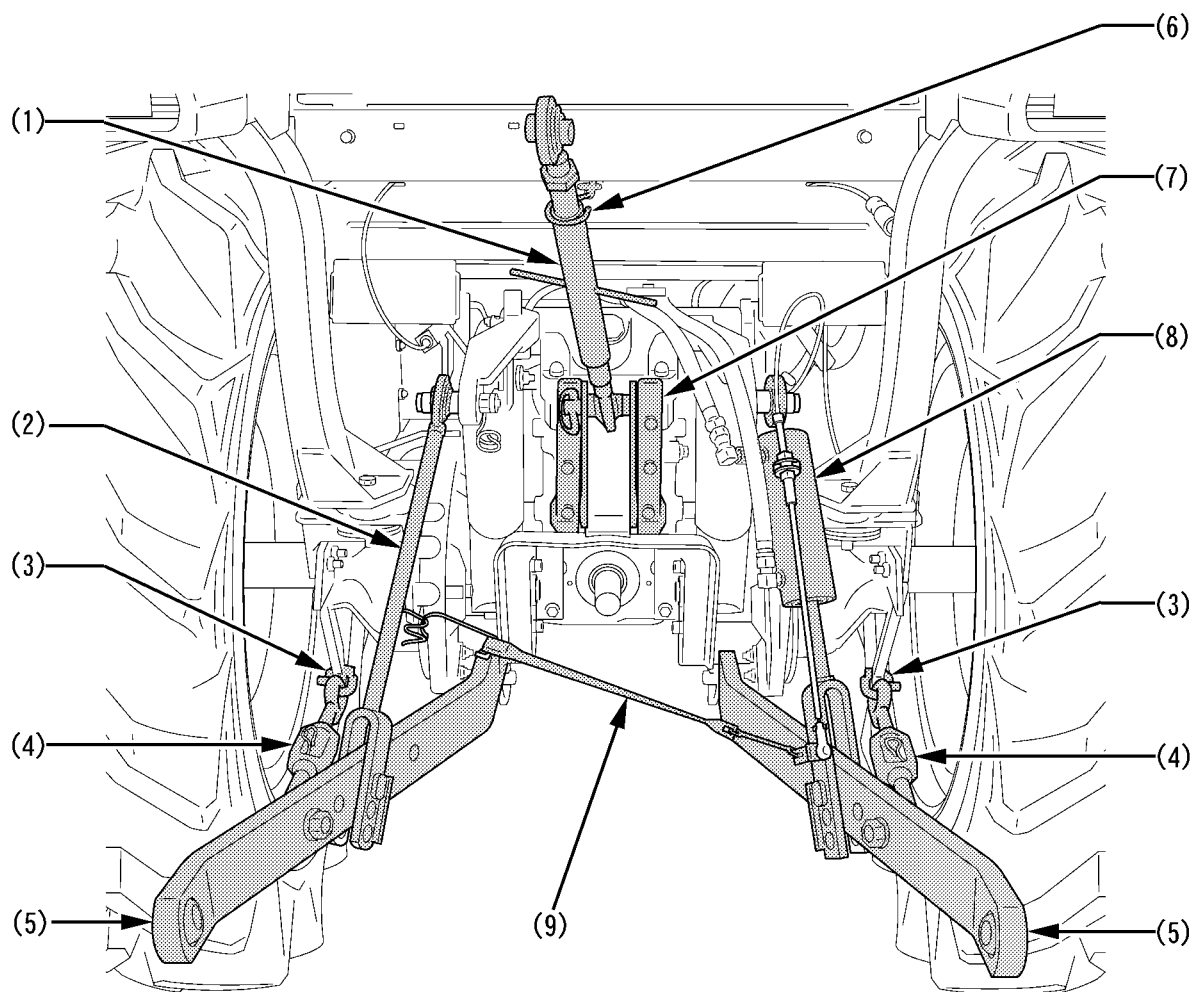
ロータリの落下速度は，上昇位置から接地するまで１～２秒が適当です。
特にオート耕うん時，落下速度が速すぎると滑らかな耕うんができない場合があります。

重 要

＊ グリップは軽く回すだけで油圧がロックされますので無理に回さないでください。
（回転角 90°）

◆ 油圧ロックの取扱い

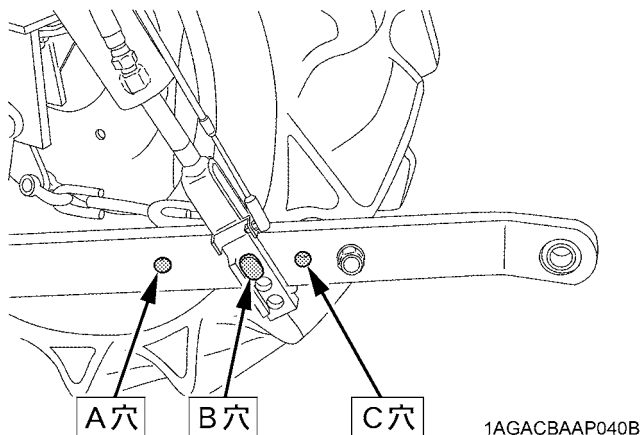
1. トラクタの格納は，作業機を降ろした状態で保管してください。
   作業機を上げた状態で長時間保管すると，油圧ロックしていても下降することがあります。
2. 作業機を上げた状態で保管する場合は，次の要領で行なってください。
   (1) エンジンをかけた状態で落下速度調整グリップを**［止］**方向に回してください。
   (2) 油圧レバーを前方に倒し，作業機が下がらないことを確認してください。
   この操作を行うことで，油圧ロックの作動がより確実になります。
   (3) エンジンを停止してください。
   (4) 再度油圧レバーを上げてください。

三点リンク

1AGACBAAP039E

(1) トップリンク
(2) リフトロッド左
(3) チェックチェーン
(4) ターンバックル
(5) ロアーリンク
(6) トップリンクフック
(7) トップリンクブラケット
(8) リフトシリンダ（リフトロッド右）
(9) 振止めゴム

1. 三点リンクは，JIS 1形です。
2. **KL24R(H),26R-PC 型トラクタ**をご購入の方は，トップリンクアッシが仕様によっては付属されないので別途購入してください。
3. 三点リンク用作業機を装着したとき（3）チェックチェーン，（5）ロアーリンクがタイヤと接触するおそれのある場合は，後輪輪距を広げてください。(**[作業のしかた]**の章の**[輪距の調整]**の項を参照)

1. インプルメント取付け前の準備

■ロアーリンク取付け穴の選択

補　足

＊ ロアーリンクのC穴を使用するときは，リフトロッドの上穴は使用できません。(パワクロ仕様以外)
＊ クボタロータリを使用する場合のリフトロッド穴位置は**ロータリ**の［**取扱説明書**］を参照してください。
＊ 他社インプルメントを使用する場合のリフトロッド穴位置は購入先に相談してください。

［KL24R(H)・27R(H)・31R(H)・34R(H)］
下表を参考に正しい取付け穴を選択してください。

	ロアーリンク穴位置
オートヒッチフレーム無しのとき(一般作業機装着時)	A穴
特殊三点リンク用オートヒッチフレーム付きのとき（ロータリ）	B穴(播種機装着時必要に応じC穴)
W3P用オートヒッチフレーム付きのとき［W3P仕様］（ロータリ）	B穴 **［KL24R(H)・27R(H)］**
	A穴 **［KL31R(H)・34R(H)］**

［KL26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R(H)-PC］
下表を参考に正しい取付け穴を選択してください。

	ロアーリンク穴位置
オートヒッチフレーム無しのとき(一般作業機装着時)	A穴
特殊三点リンク用オートヒッチフレーム付きのとき（ロータリ）	C穴 **［KL26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R(H)-PC MAD仕様］**※
	B穴 **［KL34R(H)-PC］**
W3P用オートヒッチフレーム付きのとき［W3P仕様］（ロータリ）	B穴(KL34R(H)-PC MAD仕様はA穴)

※ KL34R(H)-PCは，リフトロッドの上から2番目の穴を使用してください。

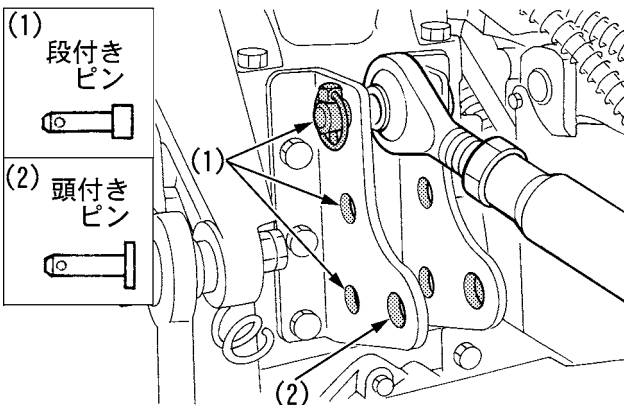
目次
困ったときには
安全
サービスと保証
小特の取扱い
運転のしかた
作業のしかた
安全キャブ装備品の取扱い
トラクタの簡単な手入れと処置
付表
索引

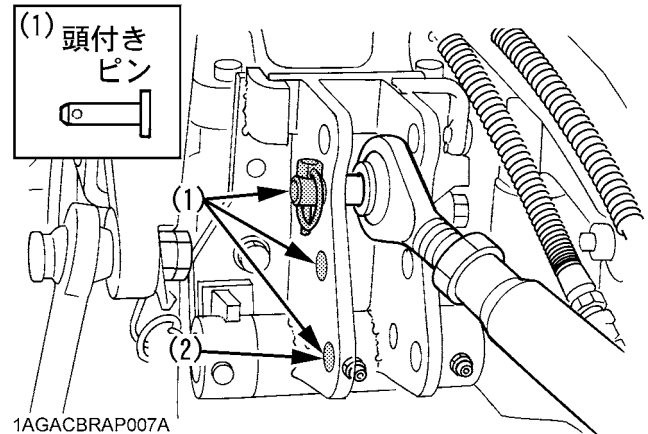
2. 作業機の着脱

＊ 作業機を着脱する前，必ずエンジンを止めてください。又，ロータリなどの PTO 作業機は完全に止まるまで待ってください。
＊ 駐車ブレーキがかかっていないときは，トラクタと作業機の間に入らないでください。
＊ 作業機の着脱は，固い平坦な場所で行なってください。
＊ 作業機を取付けたとき，油圧で作業機を上下させ，トラクタとの接触やユニバーサルジョイントの外れがないか点検してください。

■トップリンク

◆ 取付け穴の選択

使用する作業機によって取付け穴を選択してください。指定された取付け穴以外は使用しないでください。

(1) トップリンク取付け穴（段付きピン使用）
(2) W3P 用オートヒッチフレーム使用時取付け穴（頭付きピン使用）

［ドラフト付き（MAD）仕様］

(1) トップリンク取付け穴（頭付きピン使用）
(2) W3P 用オートヒッチフレーム使用時取付け穴

◆ トップリンク長さの調整

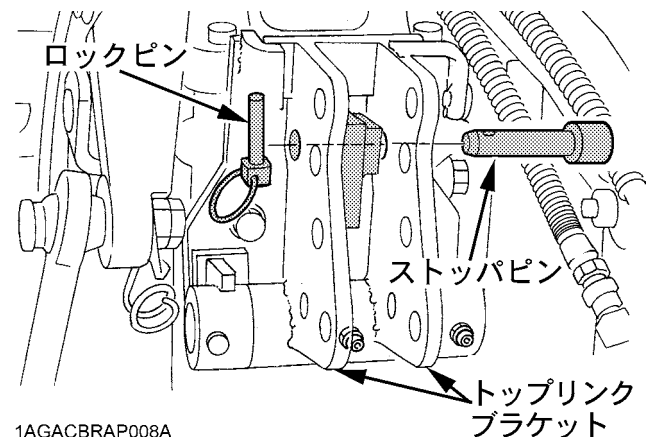
伸縮させて，作業機の傾きを調整してください。調整後はロックナットでロックしてください。

補 足

＊ トップリンクの取付け穴及び長さは，**取付ける作業機**の**［取扱説明書］**をご覧ください。

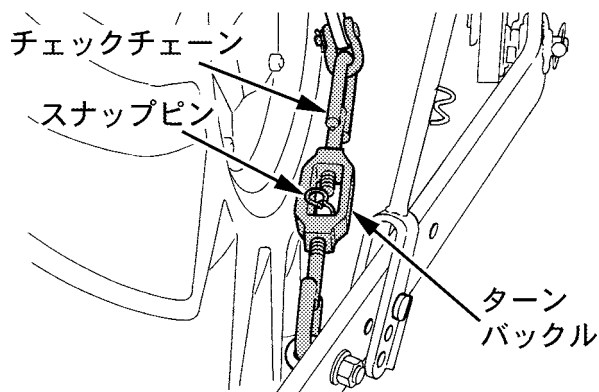
◆ ドラフトストッパピンの着脱［MAD 仕様］

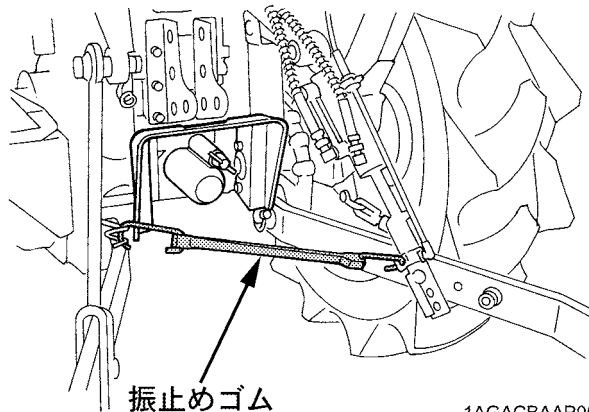
プラウ作業などドラフトコントロールを使用する場合は，トップリンクブラケットのストッパピンを抜いてください。また，ロータリ作業などポジションコントロールを使用する場合は，ストッパピンを入れてください。

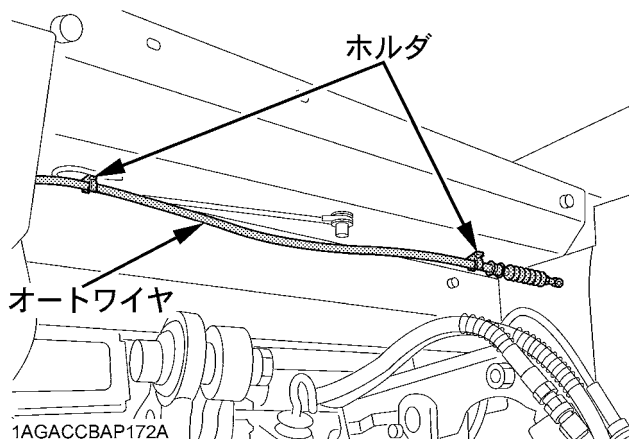
補 足

＊ ストッパピンを外したまま，ロータリ耕うんを行なうと，オートが正常に作動しない場合があります。

■チェックチェーン

スナップピンを抜き，ターンバックルを回して，作業機の横振れを制限してください。
調整後はスナップピンで，ターンバックルを固定してください。

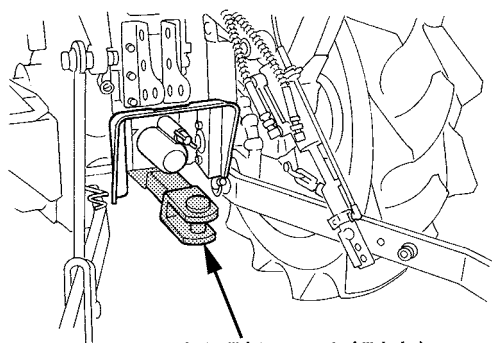
作業機	チェーンの張り具合
ロータリ	ロータリが横方向に１～２ cm動く程度
プラウ，ハロー，サブソイラ，ディガー	ゆるめる 作業機が横方向に５～６ cm動く程度（ロアーリンク，リフトロッドなどがタイヤと接触しないことを確認してください。）
モーア，ヘイレーキ，テッダ，リッジャ，カルチベータ	軽く締める

■作業機を取付けないときの注意

作業機を取付けないときは，ロアーリンクが後輪にあたらないように，左右振止めをしてください。

■オートワイヤの収納

オートワイヤを外している時は，外したワイヤを下図のようにホルダで固定し収納してください。

けん引ヒッチ（別売）

警　告

* **けん引作業をするときは，必ずけん引ヒッチ（別売）を使用し，トップリンクブラケットや車軸などで引張らないようにしてください。転倒事故を引起こすおそれがあります。**
* **三点リンクに取付け，PTO 軸からユニバーサルジョイントで動力を取出すインプルメント（ロータリ，ブロードキャスタなど）を使用するときは，けん引ヒッチを外してください。そうしないと，ユニバーサルジョイントがけん引ヒッチにあたって破損し，事故を起こすおそれがあります。**

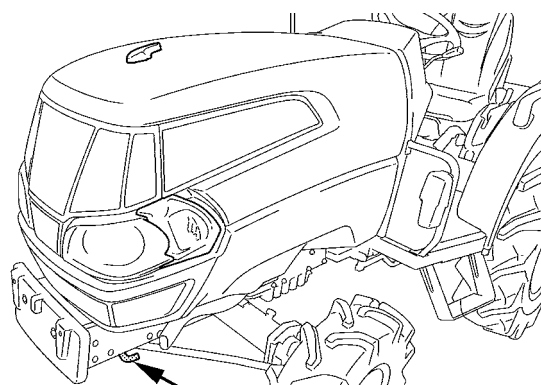
けん引は，このトラクタ用に採用しているインプルメントのみにしてください。
他の物をけん引する場合は，必ず購入先にご相談ください。

1AGACBAAP044A

■けん引フック

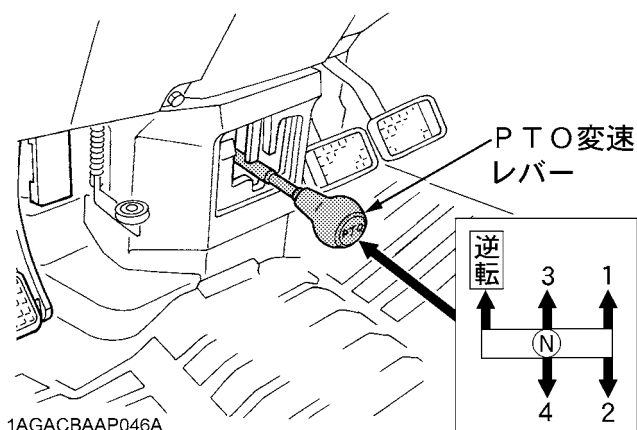
注　意

* **けん引フックは，横方向へは絶対に引かないようにしてください。
横に引張ると，外れやすくフレームが曲るおそれがあります。**

1AGACCOAP002B

PTO

■ PTO 変速レバー

＊ **作業機に指定された PTO 回転速度を厳守してください。低速回転で使用すべき作業機を，高速回転で使用しないでください。**

PTO 軸（動力取出し軸）の回転速度は，正転４段・逆転１段に変速できます。
変速操作は，必ずクラッチペダルをいっぱい踏込んでから行なってください。

◆ PTO［逆転］の使い方

1. 使用できる作業機
＊ メーカ指定のロータリに限ります。

重　要

＊ メーカ指定以外のロータリ・インプルメントで使用すると，作業機の故障の原因になります。

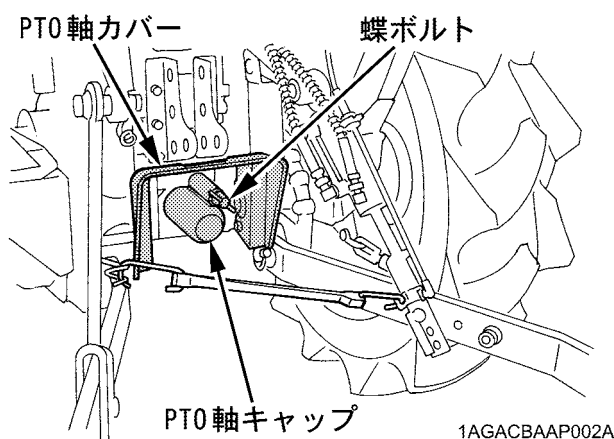
2. 使用できる作業
＊ 土寄せ作業
＊ 草やわらなどの巻きつきをほぐすとき

重　要

＊ オートスイッチは **［切］** にして油圧（ポジションコントロール）レバーで作業してください。（**［作業のしかた］** の章の **［モンローマチックオートの取扱い］** の項を参照）

3. 使用できない作業
＊ 未耕地での耕うん作業
＊ ロータリの爪を逆に取付けて行なう耕うん作業

■ PTO 軸カバー，PTO 軸キャップ

＊ **PTO 軸を使わないときは，PTO 軸にグリースを塗布した後，PTO 軸キャップを取付けておいてください。そうしないと，巻込まれによる傷害事故を引起こすおそれがあります。**
＊ **PTO 軸キャップを使用しないときは，PTO 軸キャップを紛失しないように大切に保管してください。**
＊ **PTO 軸カバーは常に取付けておいてください。**
＊ **PTO 軸カバーの上に乗らないでください。**

■あんしん PTO スイッチ［N 仕様］

＊ **巻き込まれによる死傷事故を防ぐため，あんしん PTO スイッチが［入］のときは作業機に近づかないでください。**

注　意

＊ **アップオフ PTO モードは，ほ場作業以外のときは［切］にしてください。**
＊ **アップオフ PTO モードは，ロータリ，ハロー作業のみで使用してください。**
＊ **アップオフ PTO モードをロータリ，ハロー以外の作業に使うと作業機の破損，思わぬトラブルが起こるおそれがあるので使わないでください。**
（ハーベスタの草わらつまり，バイブロサブソイラの地中でのロックなど。）
＊ **あんしん PTO スイッチが［入］のときは，PTO 軸には触れないでください。レバー操作などで PTO 軸が回転し巻込まれによる傷害事故を引起こすおそれがあります。**
＊ **［油圧レバー下げで回転］のメッセージが表示されているときは，作業機の昇降操作（ポンパ含む）で PTO が回転します。周囲の確認を十分に行なって作業をしてください。**

補　足

＊ あんしん PTO スイッチが **［切］** の位置でないとエンジンは始動できません。
＊ 走行クラッチを踏むと PTO は停止します。PTO を止めずに走行を停止したい場合は，クラッチを踏まずにシャトルレバーを操作してください。

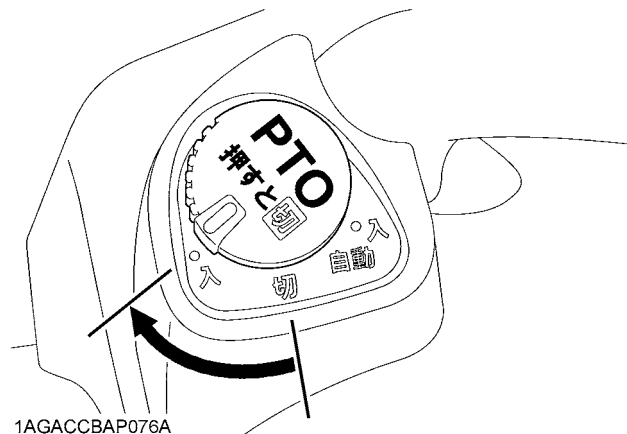
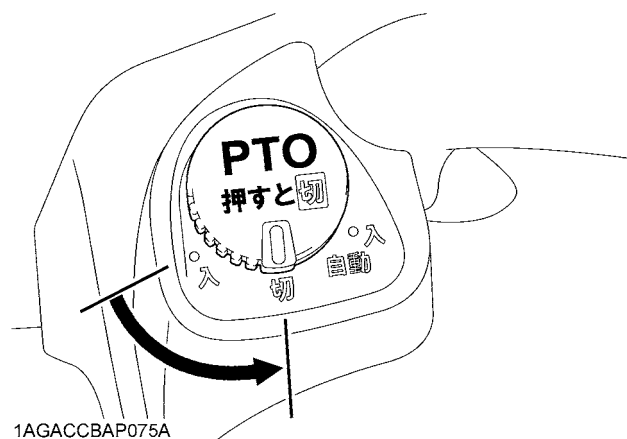
◆ あんしん PTO スイッチの操作

［PTO　ー［入］］

1. スイッチを押しながら **［入］** 方向に回すと PTO が **［入］** になります。

1AGACCBAP076A

2. スイッチを押すと **［切］** に戻ります。

1AGACCBAP075A

［アップオフ PTO モード　－［入］］

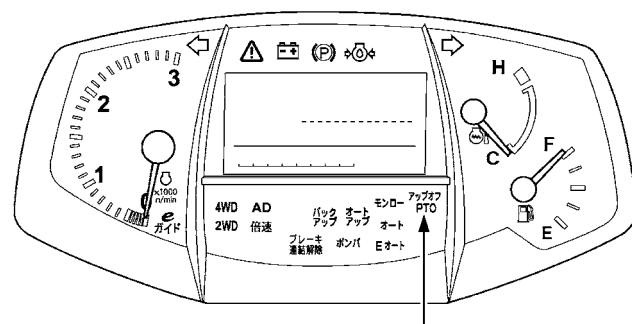
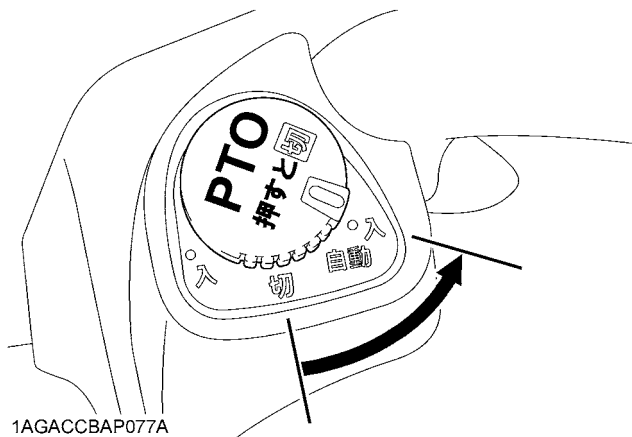
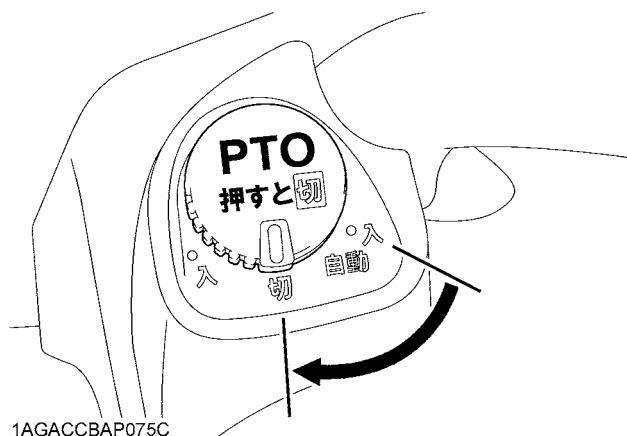
1. スイッチを押しながら**［入　自動］**方向に回すとアップオフ PTO モードが**［入］**になり，メータのアップオフ PTO ランプが点灯します。

1AGACCBAP077A

アップオフ PTO ランプ

1AGACCOAP077K

2. スイッチを押すと**［切］**に戻ります。

1AGACCBAP075C

◆ アップオフ PTO モード

アップオフPTOはポンパスイッチ又は油圧レバーの**［上げ］**操作により PTO 回転が停止する機能で，ロータリ，ハロー作業での旋回時における泥，ほこりの飛散，うっかりミスによる障害物の破損を軽減させることができます。
また，ポンパスイッチ又は油圧レバーの**［下げ］**操作により PTO 回転が始まります。

電子メータメッセージ

＊ アップオフPTO機能によりPTO回転が停止している間は，下記メッセージが表示されるとともに，ブザーが鳴り続けます。

油圧レバーを下げて回転

＊ この状態ではポンパスイッチ又は油圧レバー**［下げ］**操作により，PTO 回転が始まります。

補　足

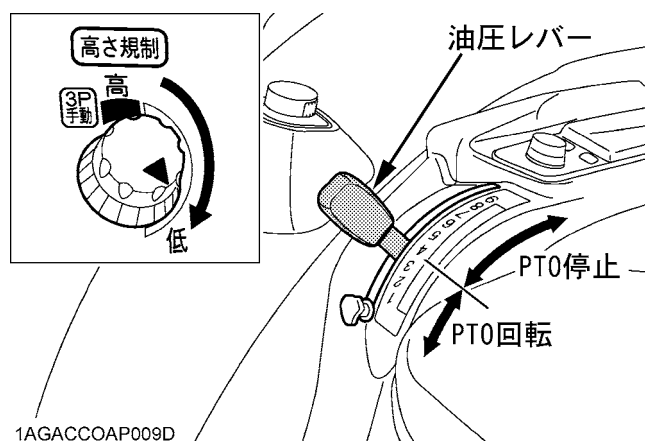
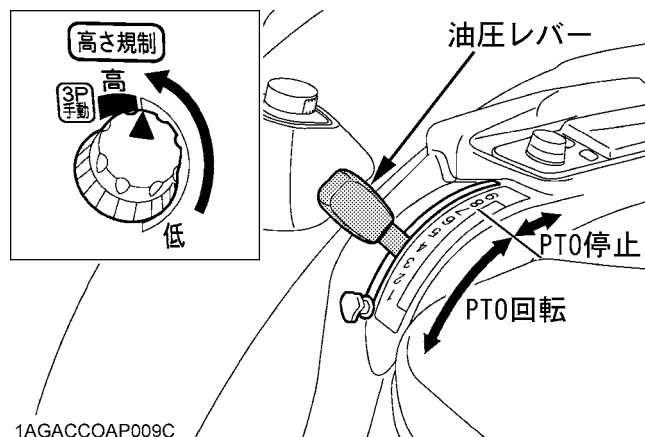
＊ 油圧レバーの位置によってはポンパスイッチによる PTO の停止・回転が行なえない場合があります。

重　要

＊ アップオフ PTO 機能はポンパスイッチ又は，油圧レバーの操作を感知して，PTO を停止・回転させますので，三点リンクの上昇・下降の動作と PTO 停止・回転の動作は完全に一致しない場合があります。
（油圧ロックで作業機が下がらなくてもポンパ油圧レバーの下降操作で PTO が回転します。）

＊ アップオフ PTO モードが**［入］**で油圧ロックをしている場合，ポンパスイッチ又は油圧レバーの**［下げ］**操作により作業機が下がらなくても，PTO は回転します。（**［作業のしかた］**の章の**［作業機落下速度の調整］**の項を参照）

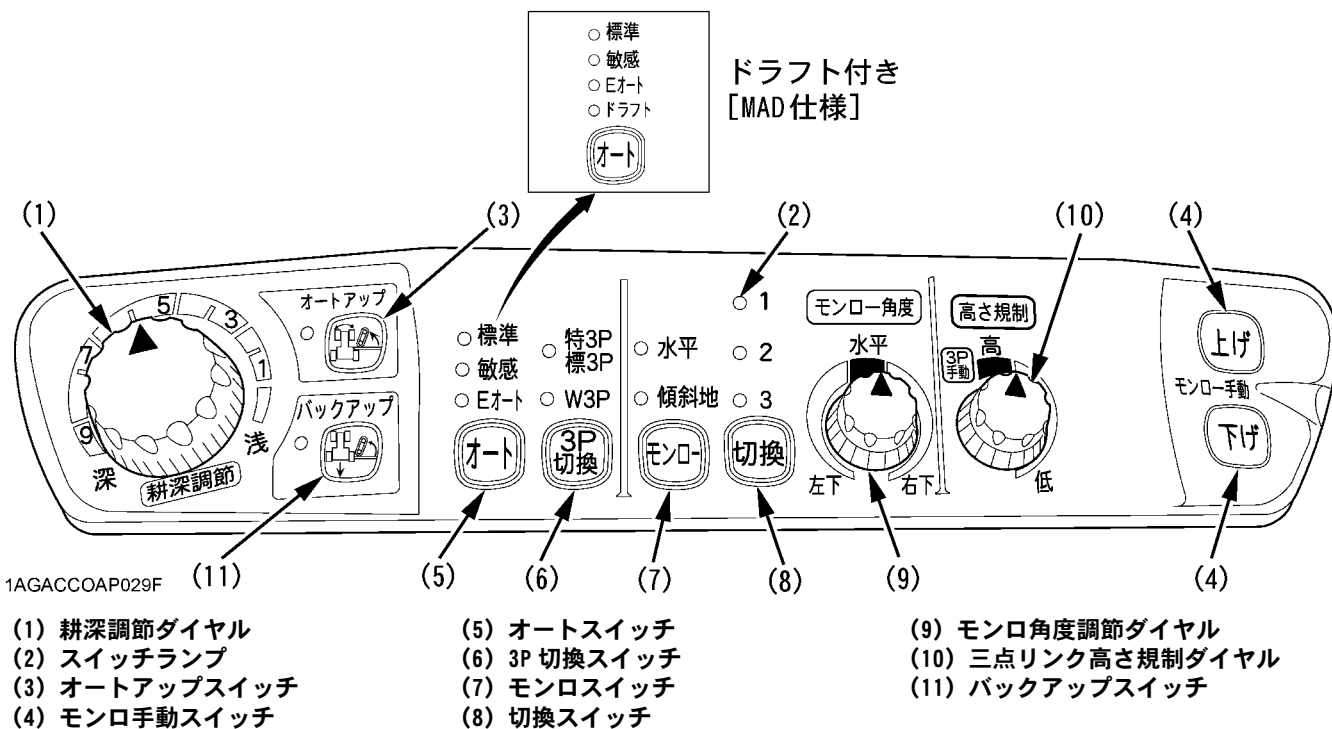
＊ アップオフ PTO の動作タイミングは，高さ規制ダイヤルを使用すると変化します。
（次図）

油圧レバーが図のように**［PTO 回転］**位置にあるときのみポンパスイッチの**［上げ］**操作によりPTO 回転が停止し，**［下げ］**操作により PTO 回転が始まります。
エンジン始動後，アップオフ PTO モードを**［入］**にしたときに PTO が回転するか停止するかは，エンジン始動時の三点リンクの高さで決まります。

（高さ規制ダイヤルを**［低］**にすると，PTO 回転が始まる油圧レバー高さも低くなります。）

モンローマチックオートの取扱い［MA・MAD仕様］

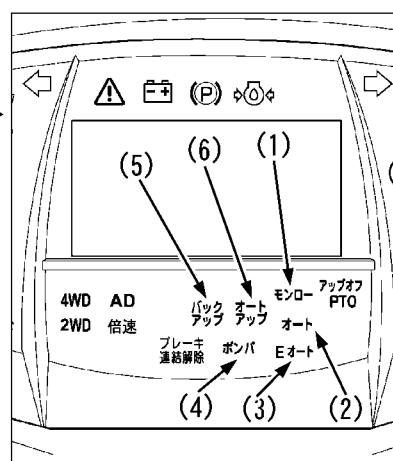
＊ **各スイッチの操作はエンジンを始動した後に行なってください。**
エンジンの始動によりバッテリ電圧が一瞬下がりますので，スイッチ操作が無効になる場合があります。

■各部の名称

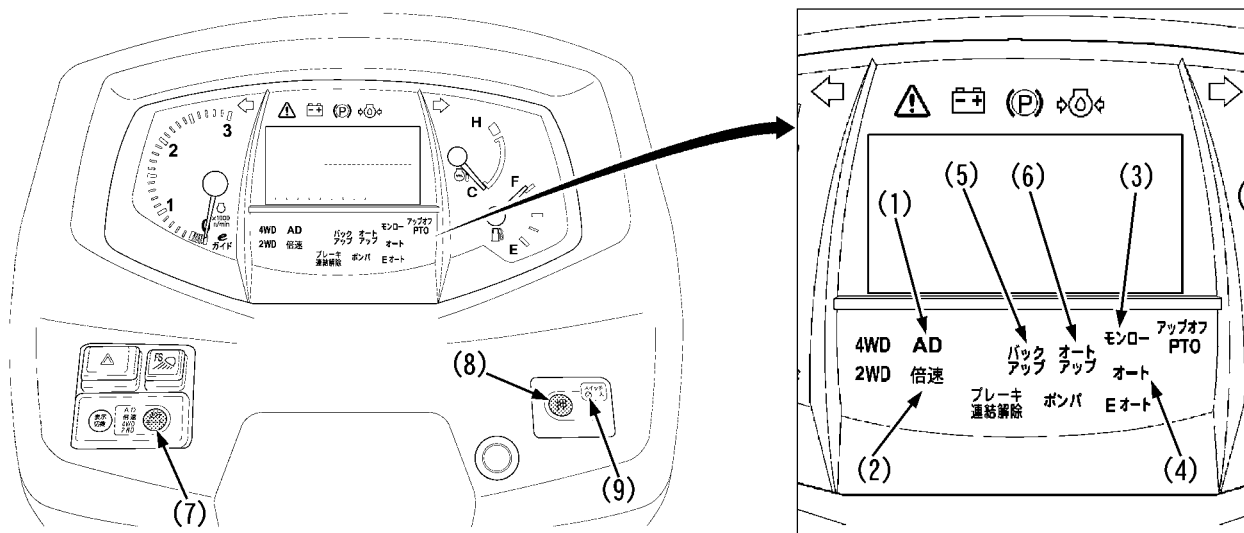
各操作スイッチには，スイッチ上部を指先で軽く押すごとにモードが切り換わるタッチ式スイッチを用いています。また，スイッチでの選択状態を，メータパネル内のモニタランプと各スイッチランプで表示します。

ドラフト付き
［MAD仕様］

1AGACCOAP029F

(1) 耕深調節ダイヤル
(2) スイッチランプ
(3) オートアップスイッチ
(4) モンロ手動スイッチ
(5) オートスイッチ
(6) 3P切換スイッチ
(7) モンロスイッチ
(8) 切換スイッチ
(9) モンロ角度調節ダイヤル
(10) 三点リンク高さ規制ダイヤル
(11) バックアップスイッチ

(1) モンロランプ
(2) オートランプ
(3) Eオートランプ
(4) ポンパランプ
(5) バックアップランプ
(6) オートアップランプ
(7) ワンタッチ耕うんモードスイッチ

■ワンタッチ耕うんモードスイッチ

一般的なほ場で耕うん作業を行なう場合にはワンタッチ耕うんモードスイッチを 1 回押すだけで，トラクタの自動装置はすべて標準的な設定（※）**［モンロ水平］［オート標準］［オートアップ入り］［バックアップ入り］［AD 倍速］**に設定されスイッチ**［入］**ランプが点灯します。
※**［ワンタッチ耕うんモードの設定変更方法］**により変更できます。

作業終了後，もう一度ワンタッチ耕うんモードスイッチを押すと，自動装置はすべて**［切］**になり，**［2WD］**の状態になります。（作業中，下記の任意変更を行なった場合には，再度自動装置がすべて**［入］**の状態になります。）

（1）AD 倍速ランプ
（2）倍速ランプ
（3）モンロランプ
（4）オートランプ
（5）バックアップランプ
（6）オートアップランプ
（7）走行モード切換スイッチ
（8）ワンタッチ耕うんモードスイッチ
（9）スイッチランプ（選択時点灯）

◆ ワンタッチ耕うんモードの任意変更

作業に応じ各操作スイッチで各自動装置の設定が変更できます。
（設定を変更した場合は，ワンタッチ耕うんモードスイッチのランプは消灯します。又，ドラフトを使用した場合 **［モンロ水平］** ランプは消灯し，モンロ **［切］** となります。）
初期設定状態に戻すには，モードスイッチを押してランプを点灯させた後，再度スイッチを押すと，自動装置はすべて **［切］** になり，**［2WD］** の状態になります。

	操作スイッチ	操作方法
片ブレーキをかけたくない。倍速を効かせたくない。	走行モード切換スイッチ	希望の状態に切換える。
オートを使用しない。	オートスイッチ	**［切］** にする。
オートを敏感にしたい。	オートスイッチ	**［敏感］** に切換える。
カバーを上げて耕うんしたい。	オートスイッチ	**［E オート］** に切換える。
モンロを使用しない。	モンロスイッチ	**［切］** にする。
傾斜地モンロを使用する。	モンロスイッチ	**［傾斜地］** に切換える。
オートアップ不要の時。	オートアップスイッチ	**［切］** にする。
バックアップ不要の時。	バックアップスイッチ	**［切］** にする。
ドラフトを使用する。**［MAD 仕様］**	オートスイッチ	**［ドラフト］** に切換える。
ドラフト使用時にモンロを使用したい。**［MAD 仕様］**	オートスイッチ モンロスイッチ	オートスイッチでいったん **［ドラフト］** に切換え， 次にモンロスイッチを **［モンロ水平］** に入れる。

補　足

＊ 作業後または作業中にエンジンを停止した場合には，停止前の状態を記憶しています。
＊ モンローマチック・オート，オートアップ，バックアップ，および AD 倍速，倍速については，それぞれ **［モンロスイッチ・オートスイッチ・オートアップスイッチ・バックアップスイッチ・走行モード切換スイッチ］** の項を参照してください。

◆ ワンタッチ耕うんモードの設定変更方法

よく使用する設定をワンタッチ耕うんモードとして記憶させることができます。

1. ワンタッチ耕うんモードスイッチを押し，ワンタッチ耕うんモードスイッチのランプを **［点灯］** 状態にします。
2. ワンタッチ耕うんモードの設定を変更します。（例えばバックアップが不要な場合はバックアップスイッチを押して **［切］** にします。）
3. ワンタッチ耕うんモードスイッチを５秒間長押しします。
５秒後メータから「ピ」音が作動すれば設定が記憶されます。
4. ワンタッチ耕うんモードの設定を工場出荷設定に戻したい場合は，ワンタッチ耕うんモードスイッチを 10 秒間長押しします。
５秒後にメータから「ピ」音が作動し，10 秒後にメータから２回目の「ピ」音が発生すれば，工場出荷の設定に戻ります。

■ 3P 切換スイッチ
スイッチを押すごとに
[特 3P ／標 3P ⇔ W3P]
に切換わります。
作業機装着時，下記を参考にスイッチを切換えてください。
選択状態はスイッチランプにより表示されます。

特 3P 用オートヒッチフレーム装着及び
オートヒッチフレーム無しの時
……特 3P ／標 3P を選択
W3P 用オートヒッチフレーム装着時
…………………W3P を選択

[MA 仕様]

1AGACCOAP029G

[MAD 仕様]

1AGACCOAP030B

補　足

＊ W3P 仕様で，オートヒッチフレーム付き標準三点リンク式作業機を装着時，ジョイントの取付け位置やトップリンク長さなどを変更してください。（**ロータリ**の **[取扱説明書]** 参照）
＊ モンロ及びオートを **[切]** にすると，3P 切換スイッチは操作できません。（スイッチランプも消灯）

■モンロスイッチ
スイッチを押すごとに
[水平⇒傾斜地⇒切（手動）⇒水平]
の順に切換わります。
次にあげた作業に応じ，いずれかを選択してください。

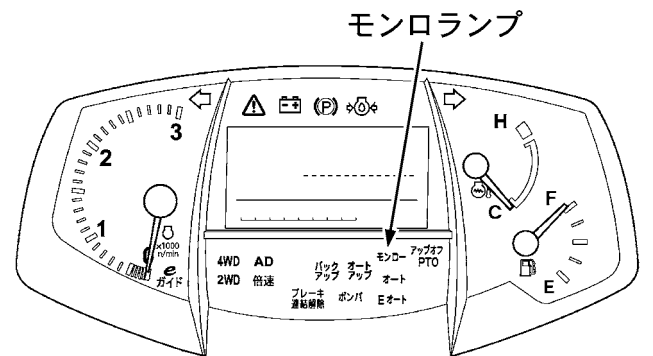
メータパネル
水平・傾斜地選択時………モンロランプ点灯
切（手動）選択時…………モンロランプ消灯

[MA 仕様]

1AGACCOAP029H

[MAD 仕様]

1AGACCOAP030C

1AGACCOAP077L

◆ **水平**
トラクタ本体の傾きにかかわらず作業機を常に水平または地面に対し一定の角度に保ちたいとき使用します。
1. モンロ角度調節ダイヤルが**[水平]**位置の場合（作業機は常に水平に保たれます。）
＊ 水田でのあぜ際耕うん，枕地，凸凹地での均平耕うん
＊ 整地板・代かきロータリなどによる均平作業
＊ 畑での畝立て，畝崩し作業その他
2. モンロ角度調節ダイヤルが**[水平]**位置以外の場合
（作業機は水平面に対して常に一定の角度に保たれます。）
＊ 広幅畝立て，その他

補　足
＊ モンロスイッチが**[水平]**の場合，作業機を上端付近まで上げたときは，作業機の姿勢は本機に平行に保持されます。
＊ 左右のオフセット量が大きく，左右の重量バランスが悪い作業機の場合は，モンロスイッチ**[切]**で使用してください。

◆ **傾斜地**
傾斜のあるほ場で，作業機を常にほ場面と平行に保ちたいとき使用します。

＊適応作業：　傾斜のある畑の耕うん・仕上げ作業（マルチ・リッジャなど）

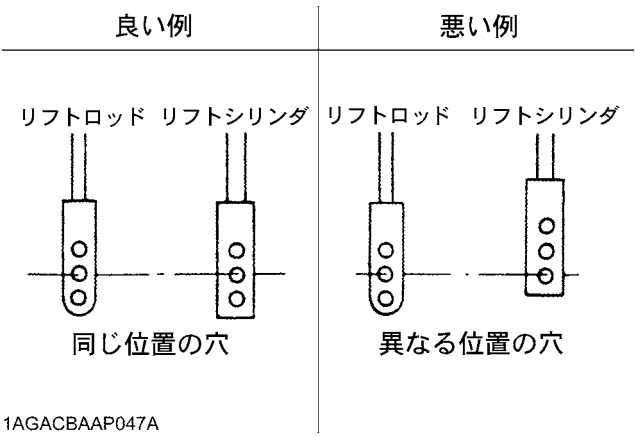
補　足
＊ モンロスイッチが**[傾斜地]**の場合，作業機を上端付近まで上げたときは，作業機の姿勢は本機に平行に保持されます。
＊ **[傾斜地]**選択時，凹凸の激しいほ場で十分な精度が得られない場合は**[切]**（手動）で使用してください。
＊ **[傾斜地]**選択時，斜面と作業機の傾きの差が著しく大きいときは，モンロ手動スイッチにより，傾きの差が小さくなるように補正できます。トラクタが水平状態にあるときは調整できません。調整幅いっぱいまで動かしても傾きの差が大きいときは，**[切]**又は**[水平]**で使用してください。エンジンを再始動すると，補正量は標準値に戻ります。
＊ 左右のオフセット量が大きく，左右の重量バランスが悪い作業機の場合は，モンロスイッチ**[切]**で使用してください。

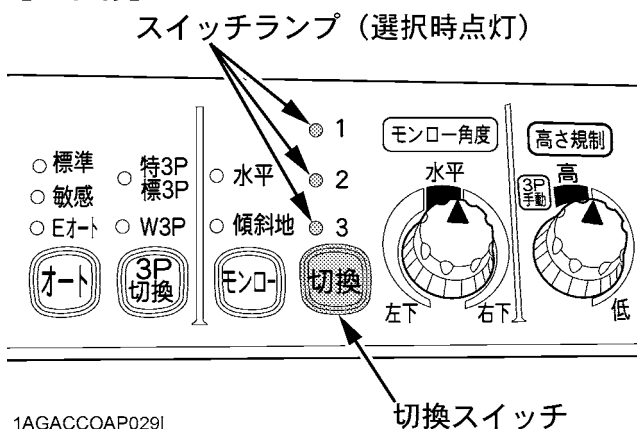
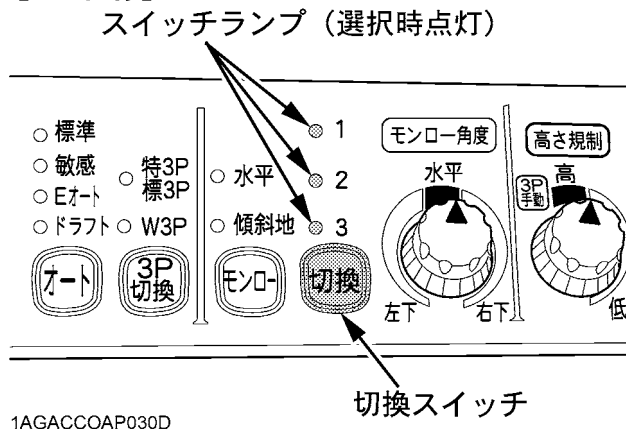
◆ **切（手動）**
モンローマチックの**[自動制御が解除]**され，**[位置制御]**になります。

補　足
＊ モンロスイッチが**[切]**（手動）では，作業機を上端付近まで上げても，作業機の姿勢は本機と平行にはなりません。
従って，取付けている作業機を上げるときは注意してください。
＊ **位置制御**とは：
このモードは，プラウ作業などで，常にリフトシリンダの位置（長さ）を一定に保ちたい場合に使用します。**モンロスイッチ**を**[切]**（手動）にすると，リフトシリンダの長さを**モンロ手動スイッチ**で設定した長さに保つ制御をします。したがって，車体が傾いても長さは，変化しません。
リバーシブルプラウでの口開け作業などでは，リフトシリンダを**モンロ手動スイッチ**で適当な長さに合せて，耕起します。通常に耕起する場合には，**モンロスイッチ**を**[水平]**に入れ，油圧レバーを上げると，リバーシブルプラウは車体と平行になります。その状態で**モンロスイッチ**を**[切]**にしてください。
＊ モンロスイッチを**[切]**（手動）でエンジンを停止させた場合，トラクタはそのときの作業機の傾きを記憶しており，次のエンジン始動時に，記憶した作業機の傾きに戻ります。

重　要

＊ モンローマチックが不要の場合（フロントローダ作業などの場合）には，**［切］**で作業してください。
＊ **［手動］**で作業機を傾斜させているとき，作業機を上端に上げると，ジョイント騒音が高くなる場合がありますので注意してください。
＊ チェックチェーンを張りすぎますと，モンローマチック作動時に三点リンクに無理な力が加わりますので，チェックチェーンは手で軽く締める程度にしてください。

リフトロッドとリフトシリンダ先端部の取付け穴は，左右対称になるようにしてください。

■切換スイッチ

スイッチを押すごとに，［1⇒2⇒3⇒1］の順に切換わります。
作業機によって定まる三点リンクの取り付け状態（ロアーリンク幅及びロアーリンク穴）に応じて，下表を参考にスイッチを切換えてください。
選択状態はスイッチランプにより表示されます。

［MA 仕様］　　［MAD 仕様］

切換スイッチ	ロアーリンク	ロアーリンク穴位置 （　）内は KL26R-PC・28R-PC・ 31R-PC・34R(H)-PC MAD 仕様	作業機例	ロアーリンク穴 A穴　B穴　C穴 1AGACBRAP014A ロアーリンクの幅 ［広］…718㎜ (JIS) ［狭］…590㎜ (参考) 1AGACBRAP015A
1	広	B 穴 (C 穴)	オートヒッチフレーム 付きロータリ （特殊 3P 仕様）	
		B 穴又は C 穴 (C 穴)	－	
2	広	A 穴 (A 穴又は B 穴)	－	
3	狭	A 穴	－	

補　足

＊ 3P 切換スイッチが［W3P］を選択時，切換スイッチは自動的に下記を選択します。
　このとき，切換スイッチを押しても切換えできません。

［切換スイッチ］

KL24R(H)・27R(H)・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R(H)-PC(MAD 仕様)……………………………… 1
KL31R(H)・34R(H)・34R(H)-PC(MAD 仕様は除く)……………………………………………………… 2

＊ モンロ［切］のとき，切換スイッチは，操作できません。（スイッチランプ消灯）

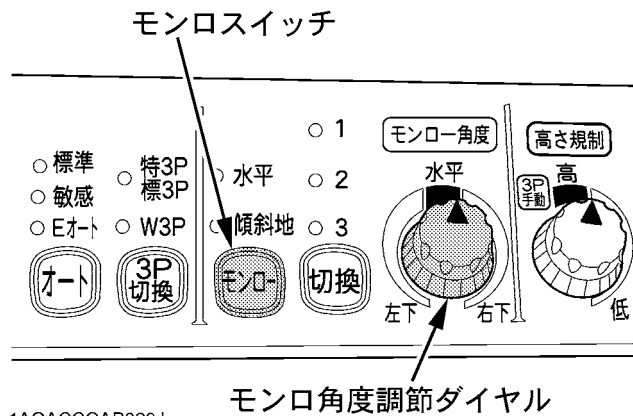
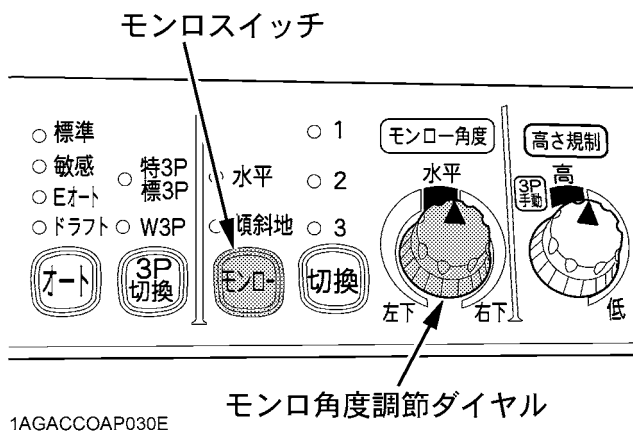
■モンロ角度調節ダイヤル

モンロスイッチが **[水平]** の場合，作業機の姿勢を調節するときにモンロ角度調節ダイヤルを使用します。

[MA 仕様]

1AGACCOAP029J

[MAD 仕様]

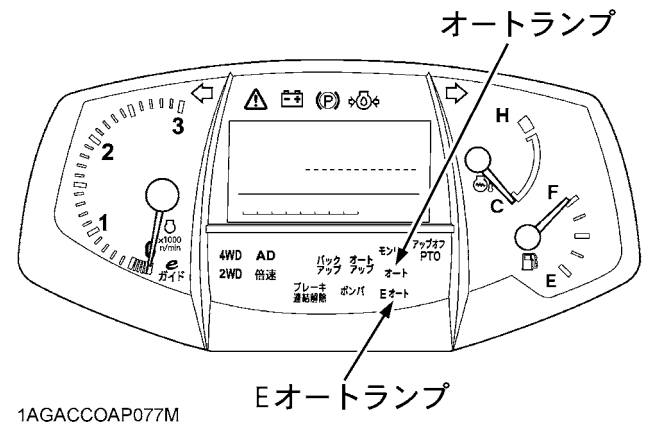
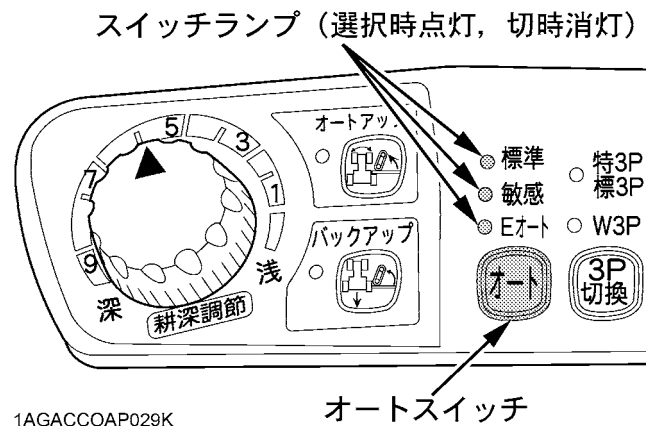
1AGACCOAP030E

1. ダイヤルを **[水平]** 位置にすると，作業機は水平に保持されます。
2. ダイヤルを **[左下]** 方向に回すと，作業機が左下りに保持されます。
3. ダイヤルを **[右下]** 方向に回すと，作業機が右下りに保持されます。

■オートスイッチ［MA 仕様］

スイッチを押すごとに
[標準⇒敏感⇒ E オート⇒切⇒標準]
の順に切換わります。
次にあげた作業に応じ，いずれかを選択してください。

	メータパネル
標準・敏感選択時……	**[オート]** ランプ点灯
E オート選択時………	**[E オート]** ランプ点灯
切選択時………………	**[オート]**，**[E オート]** ランプ消灯

1AGACCOAP029K

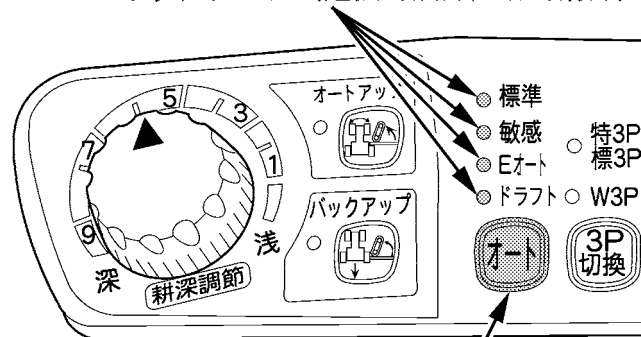
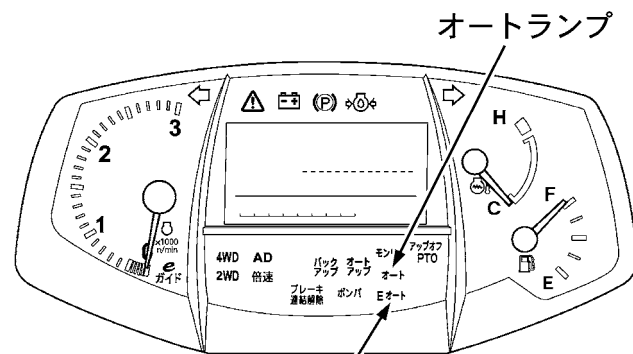
1AGACCOAP077M

◆ **標準**
浅起しから深起しまで，一般的な作業に使用します。
◆ **敏感**
湿田での作業，代かき作業，その他仕上がりに応じて使用します。
◆ **E オート**
ロータリカバーを上げたまま荒起こしなどの作業を後２輪なしで行なうオート作業に使用します。
◆ **切**
オートの自動制御が解除されます。

補　足

＊ ロータリカバーを上げて作業するときは，**［E オート］**または**［切］**にしてください。
＊ **［標準］［敏感］**選択時でも，ロータリなどの作業機が付いていない場合は，オートランプは消灯します。

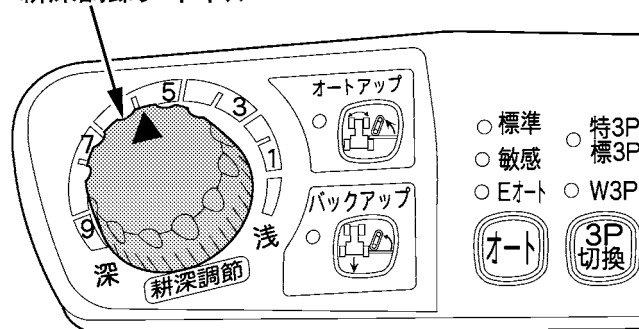
■オートスイッチ［MAD 仕様］

スイッチを押すごとに
［標準⇒敏感⇒ E オート⇒ドラフト⇒切⇒標準］
の順に切換わります。
次にあげた作業に応じ，いずれかを選択してください。

	メータパネル
標準・敏感選択時……	**［オート］**ランプ点灯
E オート選択時………	**［E オート］**ランプ点灯
ドラフト選択時………	**［オート］**ランプ点灯
切選択時………………	**［オート］，［E オート］**ランプ消灯

◆ **標準**
浅起しから深起しまで，一般的な作業に使用します。
◆ **敏感**
湿田での作業，代かき作業，その他仕上がりに応じて使用します。
◆ **E オート**
ロータリカバーを上げたまま荒起こしなどの作業を後２輪なしで行なうオート作業に使用します。
◆ **ドラフト**
ドラフト作業時使用します。
◆ **切**
オートの自動制御が解除されます。

補　足

＊ ロータリカバーを上げて作業するときは，**［E オート］**または**［切］**にしてください。
＊ **［標準］［敏感］**選択時でも，ロータリなどの作業機が付いていない場合は，オートランプは消灯します。

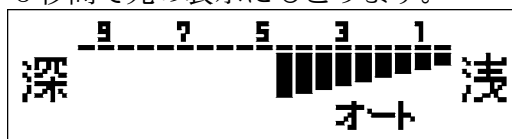
■耕深調節ダイヤル

1AGACCOAP029L

オートスイッチが，**［標準・敏感・E オート］**の場合，浅起しから深起しまで希望の耕深になるよう，このダイヤルで設定してください。

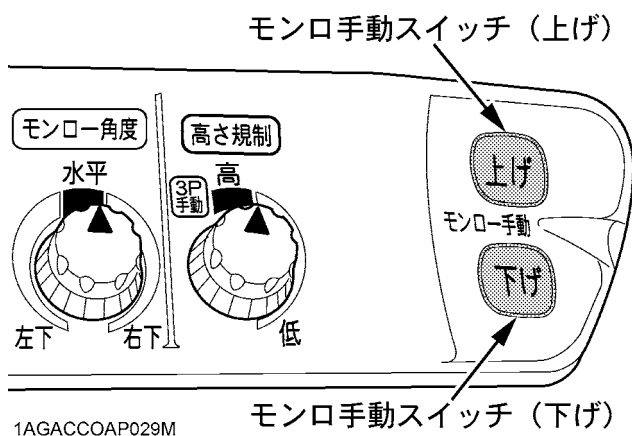
補　足

＊ **［浅］**から**［１］**付近まで作業機を吊り上げる制御となります。湿田や代かき作業に利用してください。
＊ ほ場内で，部分的にタイヤの沈下量が大きく変わり，耕深が変化する場合は，ダイヤルで調節してください。

電子メータメッセージ
＊ 耕深調節ダイヤルで耕深を変更したとき，ブザーが鳴りダイヤル調節に応じて下記メッセージが表示されます。操作終了後，約５秒間で元の表示にもどります。

9　7　5　3　1
深　　　　　　浅
オート

■モンロ手動スイッチ
モンロスイッチが **［切（手動）］** の場合，作業機を左右に傾斜させるときに使用します。

1. **［上げ］** スイッチを押している間，作業機の右側が上がります。
2. **［下げ］** スイッチを押している間，作業機の右側が下がります。

補　足

＊ モンロスイッチが **［傾斜地］** の場合，このスイッチにより斜面と作業機の傾きの差を補正できます。

■作業機の取扱い

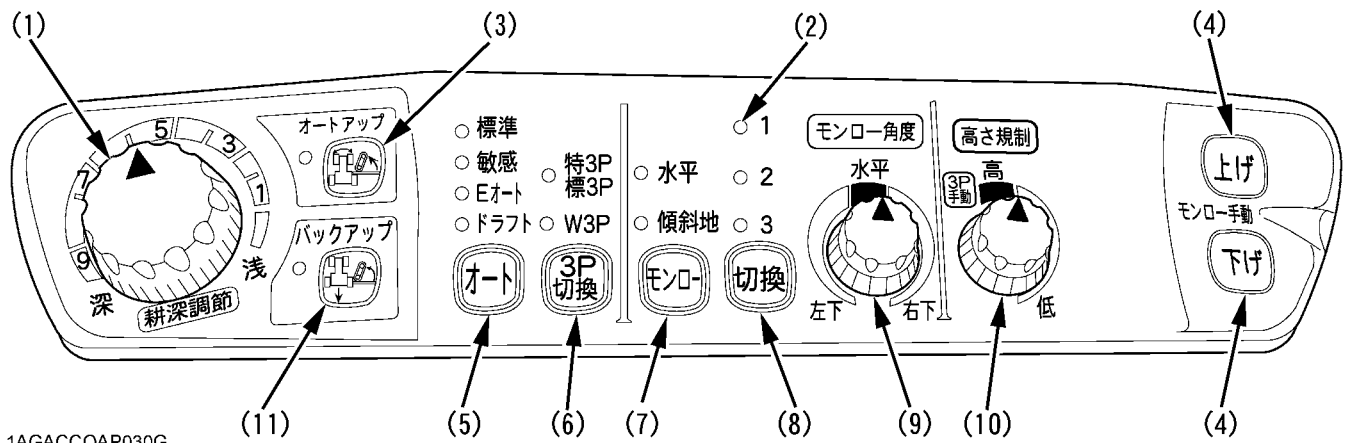
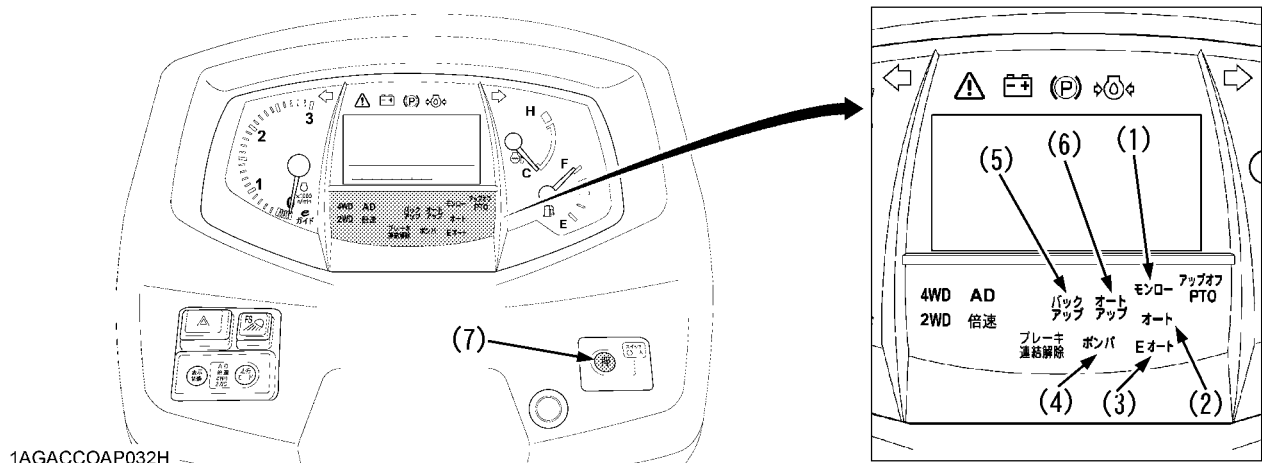
◆ リフトシリンダを取付け，取外しする場合
購入先にご相談ください。

オートドラフトの取扱い［MAD 仕様］

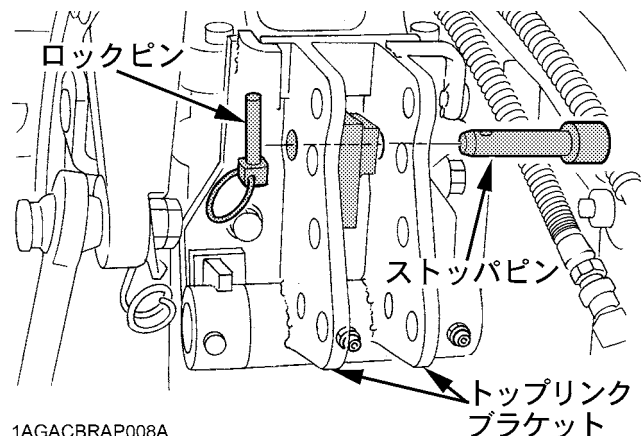
注　意

＊ **各スイッチの操作はエンジンを始動した後に行なってください。**
エンジンの始動によりバッテリ電圧が一瞬下がりますので，スイッチ操作が無効になる場合があります。

■各部の名称

各操作スイッチには，スイッチ上部を指先で軽く押すごとにモードが切換わるタッチ式スイッチを用いています。また，スイッチでの選択状態を，メータパネル内のモニタランプと各スイッチランプで表示します。

(1) 耕深調節ダイヤル
(2) スイッチランプ
(3) オートアップスイッチ
(4) モンロ手動スイッチ
(5) オートスイッチ
(6) 3P 切換スイッチ
(7) モンロスイッチ
(8) 切換スイッチ
(9) モンロ角度調節ダイヤル
(10) 三点リンク高さ規制ダイヤル
(11) バックアップスイッチ

(1) モンロランプ
(2) オートランプ
(3) E オートランプ
(4) ポンパランプ
(5) バックアップランプ
(6) オートアップランプ
(7) ワンタッチ耕うんモードスイッチ

■ドラフトストッパピン

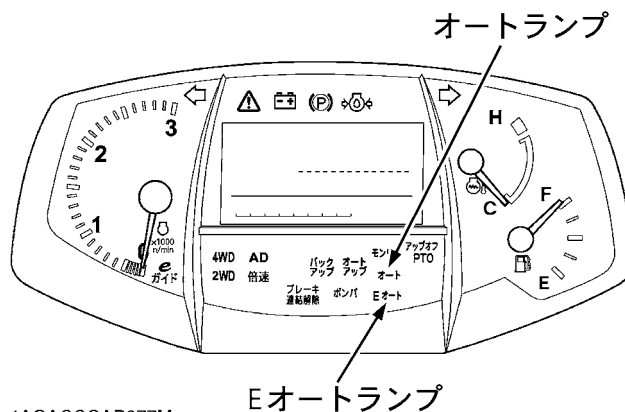
プラウ作業などドラフトコントロールを使用する場合は，トップリンクブラケットのストッパピンを抜いてください。
また，ロータリ作業や一般作業機用としてポジションコントロールを使用する場合は，ストッパピンを入れてください。

1AGACBRAP008A

補　足

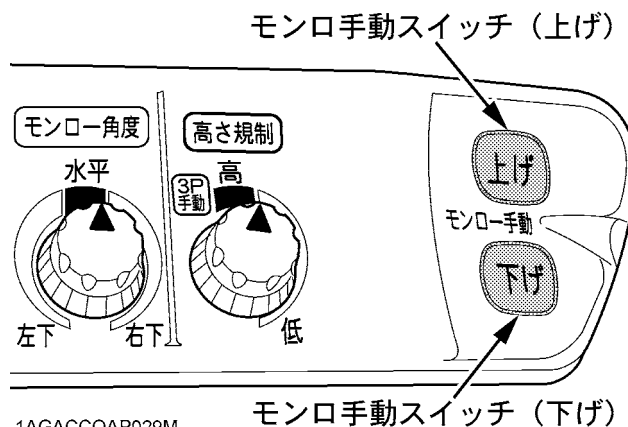
＊ トップリンク取付け位置により，ドラフト感度を調整することができ，上穴を使用する程感度が敏感となります。

■オートスイッチ

スイッチを押すごとに
[標準⇒敏感⇒Ｅオート⇒ドラフト⇒切⇒標準]
の順に切換わります。
ドラフト作業時は **[ドラフト]** を選択してください。
けん引負荷を感知して，自動的に作業機を上下させます。

	メータパネル
ドラフト選択時………	**[オート]** ランプ点灯
標準・敏感選択時……	**[オート]** ランプ点灯
Ｅオート選択時………	**[Ｅオート]** ランプ点灯
切 選択時……………	**[オート]**，**[Ｅオート]** ランプ消灯

1AGACCOAP077M

■モンロ手動スイッチ

ドラフト作業時，作業機を左右に傾斜させるときに使用します。

1AGACCOAP029M

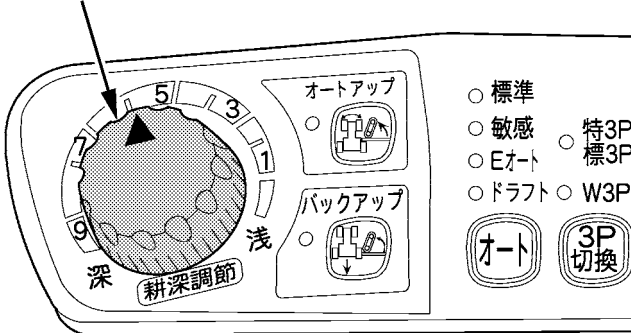
1. **[上げ]** スイッチを押している間，作業機の右側が上がります。
2. **[下げ]** スイッチを押している間，作業機の右側が下がります。

補　足

＊ オートドラフト使用時，モンローマチックは **[位置制御]** となり作業機の傾きを一定に保ちます。
＊ エンジンを停止させた場合，トラクタはそのときの作業機の傾きを記憶しており，次のエンジン始動時に記憶した作業機の傾きに戻ります。

■耕深調節ダイヤル

プラウなどの耕深をこのダイヤルで設定してください。

耕深調節ダイヤル

1AGACCOAP030H

1. ダイヤルを［浅］方向へ回すと，プラウの耕深が浅く保持されます。
2. ダイヤルを［深］方向へ回すと，プラウの耕深が深く保持されます。

補　足

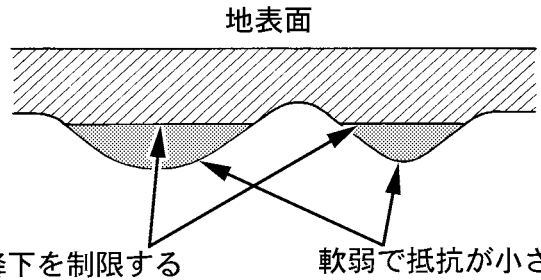
＊ ダイヤルを［深］方向へいっぱい回すと，フローティング範囲になります。また［浅］方向へいっぱい回すと作業機が上端まで上昇します。

電子メータメッセージ

＊ 耕深調節ダイヤルで耕深を変更したとき，ブザーが鳴りダイヤル調節に応じて下記メッセージが表示されます。操作終了後，約５秒間で元の表示にもどります。

深 9 7 5 3 1 浅
ドラフト

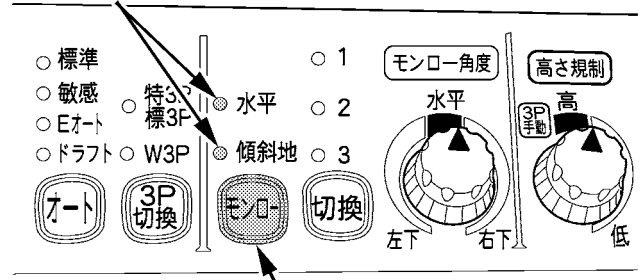
◆ ミックスコントロール

油圧レバーで作業機の降下位置を規制し，ドラフトコントロールでけん引抵抗に応じた制御をするという２つのコントロールをします。軟弱な土質でのプラウ・サブソイラなどの作業に適しています。

1AGACBRAP017A

■ 3P 切換スイッチ

標準三点リンクが使えるように，**［特 3P・標 3P］**が自動選択されます。
スイッチを押すごとに，**［特 3P・標 3P ⇔ W3P］**に切換わります。
（**［モンローマチックオートの取扱い［MA・MAD 仕様］］**の**［3P 切換スイッチ］**の項を参照）

■モンロスイッチ

ドラフト使用時にモンローマチックを使用する場合は，いったんオートスイッチを**［ドラフト］**に切換えた後，モンロスイッチを**［水平］［傾斜地］**に切換えてください。
（**［モンローマチックオートの取扱い［MA・MAD 仕様］］**の**［モンロスイッチ］**の項を参照）

1AGACCOAP030C

■モンロ角度調節ダイヤル

モンロスイッチ用スイッチランプ**［水平］［傾斜地］**が**［消灯］**している場合は，このダイヤルを回しても角度調整はできません。モンロスイッチを**［水平］［傾斜地］**に切換えれば，モンローマチックが使用できます。
（**［モンローマチックオートの取扱い［MA・MAD 仕様］］**の**［モンロ角度調節ダイヤル］**の項を参照）

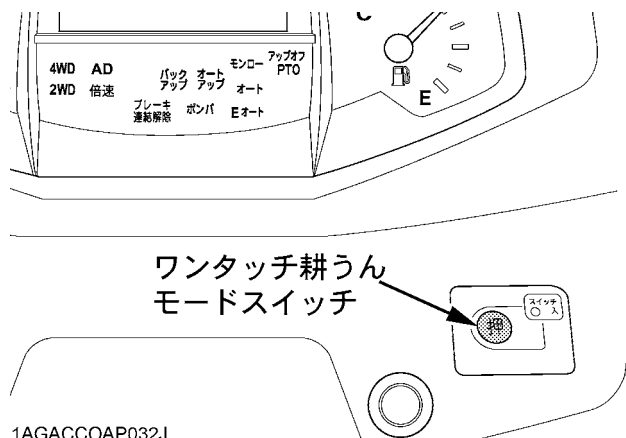
■切換スイッチ

モンロスイッチを**［水平］［傾斜地］**に切換えたとき，使用します。
（**［モンローマチックオートの取扱い［MA・MAD 仕様］］**の**［切換スイッチ］**の項を参照）

■ワンタッチ耕うんモードスイッチ

［ドラフト］を選択した状態でワンタッチ耕うんモードスイッチを押すと，スイッチランプは**［消灯］**し，ワンタッチ耕うんモードが**［切］**となります。
（**［モンローマチックオートの取扱い［MA・MAD 仕様］］**の**［ワンタッチ耕うんモードスイッチ］**の項を参照）

1AGACCOAP030I

（1）スイッチランプ
（2）オートアップスイッチ
（3）3P 切換スイッチ
（4）モンロスイッチ
（5）切換スイッチ
（6）モンロ角度調節ダイヤル
（7）三点リンク高さ規制ダイヤル
（8）バックアップスイッチ

1AGACCOAP032J

補　足

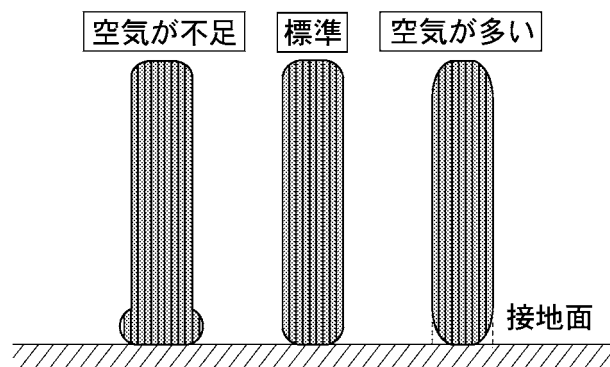
＊ 下記３つのスイッチはドラフト作業時に使用できます。（**［作業のしかた］**の章の**［作業機昇降装置］**の項を参照）
1. 三点リンク高さ規制ダイヤル
2. オートアップスイッチ
（PTO スイッチ**［切］**のときは作動しません。）
3. バックアップスイッチ

タイヤ・ウエイト

■タイヤの空気圧

警 告

＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり死傷事故を引起こす原因になります。
＊ タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
＊ タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

前輪・後輪の空気圧が適正であるかを調べます。外観から判断する目安は次のとおりです。

1AGAAAPAP007A

◆ **標準空気圧**

［　］内はフロントローダ装着時

	空気圧 kPa(kgf/cm²)
前　輪	157(1.6)［196(2.0)］
後　輪	98(1.0)

■輪距の調整

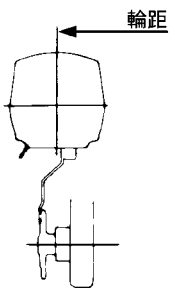
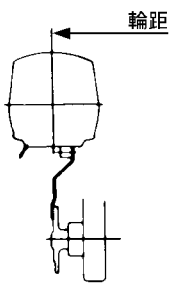
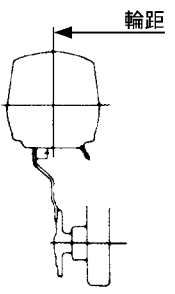
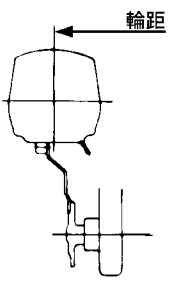
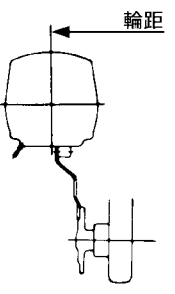
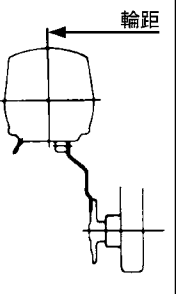
注 意

＊ けん引作業・傾斜地作業・フロントローダ作業などの場合は，左右の安定を良くするため，支障のない範囲で輪距を広くして使用してください。

◆ **前輪**

前輪の輪距は変更できません。

◆ **後輪**

リムとディスクの取付け位置変更により，輪距の調整が行なえます。（タイヤの仕様により異なります。）

重 要

＊ 決められた輪距以外では使用しないでください。
＊ 道路走行時は，出荷状態に戻してください。

補 足

＊ タイヤは，側面の矢印が前進時の回転方向に合うように取付けてください。
＊ ストレークは，最小輪距のときだけ取付けられます。
＊ 後輪ウエイトは，すべての輪距で取付けられます。

型　式 （標準タイヤ）	輪距	輪距	輪距	輪距	輪距	輪距
KL24R(H) (9.5-24)	1010mm (出荷状態)	—	—	1130mm	—	—
KL27R(H) (11.2-24)	1050mm (出荷状態)	—	—	1165mm	—	—
KL31R(H) (12.4-26)	1090mm (出荷状態)	—	—	1360mm	—	—
KL31R(H)[R仕様] (12.4-26)	1090mm (出荷状態)	1185mm	1260mm	1360mm	1380mm	1480mm
KL31R(H)・34R(H) [G仕様，R仕様] (13.6-24)	1110mm (出荷状態)	1205mm	1235mm	1330mm	1480mm	1575mm
KL31R(H)・34R(H) [-8仕様] (11.2-28)	1105mm (出荷状態)	1205mm	1235mm	1335mm	1400mm	1495mm
KL34R(H) (13.6-24)	1110mm (出荷状態)	—	—	1330mm	—	—

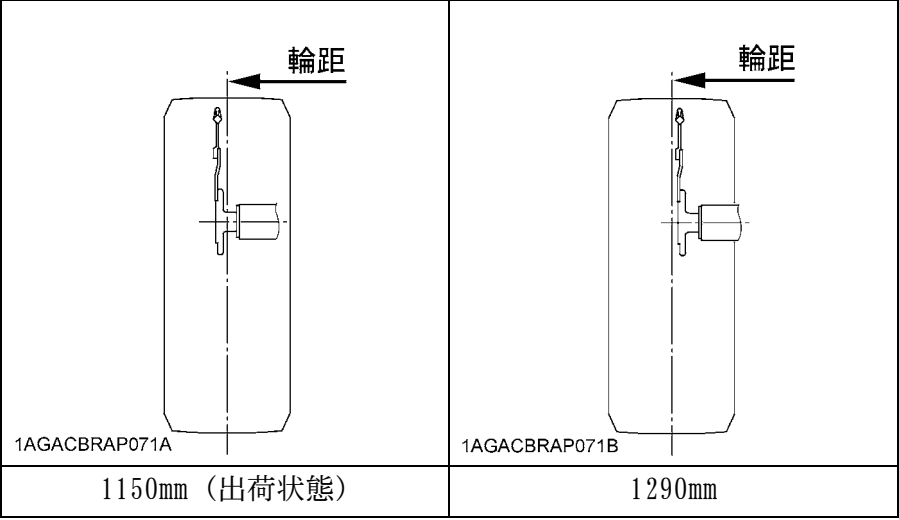
R 仕様：リム組換え仕様
G 仕様：ローラグタイヤ仕様
-8 仕様：幅狭タイヤ仕様

補　足

＊ 輪距によりディスクの組換えもあわせて行なってください。

◆ クローラ（PC3 仕様のみ）

クローラの輪距はゴムクローラの内外を入れかえることにより変更できます。
クローラの輪距はどちらの状態でも道路走行することができます。
（ゴムクローラの交換手順については **［トラクタの簡単な手入れと処置］** の章の **［必要に応じた点検・整備］** の **［ゴムクローラの交換手順］** の項を参照してください。）

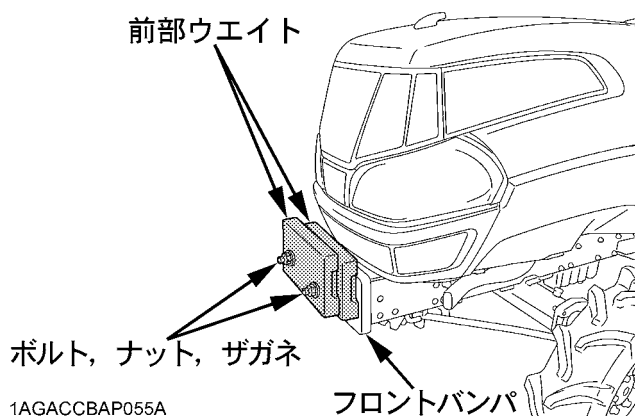
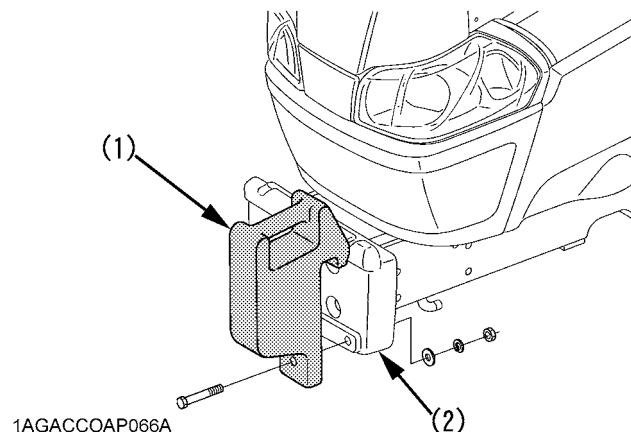
1150mm（出荷状態）	1290mm

（PC2 仕様は輪距の調整はできません。）

■ウエイト（オプション）

＊ トラクタ後部用作業機を装備したとき，かじ取り車輪（前輪）にかかる荷重が総重量の 20％以上になるようにバランスウエイトを装備し，使用してください。
＊ 装着可能な最大ウエイトを装備してもかじ取り車輪（前輪）にかかる荷重が総重量の20％以上を確保できない作業機は装着しないでください。
前部が軽くなりすぎると，操縦が難しくなり転倒事故のおそれもあります。
＊ フロントローダを使用するときは，安定性を高めるためトラクタ後部に作業機や適切なウエイトを装着してください。
（詳細は購入先にご相談ください。）

ウエイトの必要枚数は使用する**インプルメント**の**［取扱説明書］**や購入先にご相談ください。

◆ 前部ウエイトの取付け方法

［KL24R(H)・27R(H)・31R(H)・34R(H)］
トラクタのフロントバンパにウエイトを付属のボルト，ナットで固定します。
ウエイト１枚の重量は 28kg で１～３枚取付けできます。

［KL26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R(H)-PC］
トラクタのフロントバンパに付属のボルト，ナットで固定します。
ウエイト１枚の重量は 25kg で１～４枚取付けできます。

(1) ハンガウエイト
(99891-11001…ウエイト，キット)
(2) フロントバンパ

ハンガウエイト（99891-11001…ウエイト，キット）を KL27R(H)・31R(H)・34R(H) に取付けるには以下の部品が必要です。

フロントバンパ	(T3632-4976-0)
フロントバンパ 取付け用ボルト（４個）	(01133-51455)
フロントバンパ 取付け用ナット（４個）	(02176-50140)

KL24R(H) にはハンガウエイト（99891-11001…ウエイト，キット）を取付けることはできません。

一般的な耕うん要領

■隣接耕うんのしかた

作業条件により，車速及びPTO回転速度を決めて耕うんを始めます。

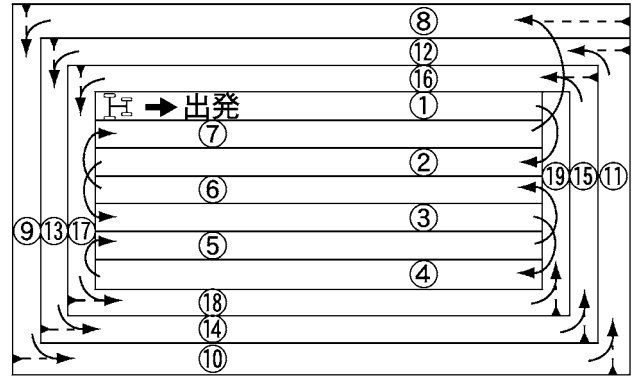
1. 図の長方形部分１枚が，直進１回で耕うんされる耕作地を示しています。
2. 図のような順序をとるのは，１度耕うんしたところを後輪タイヤで押えないための最善の方法です。
3. 従って出発点は，トラクタが最後に外に出る場所によって決まります。
4. 直進が終って，次の直進に移るまでは，ロータリを上げて旋回します。
5. サイドドライブロータリは，サイドフレーム側があぜぎわになるようにして，あぜぎわ耕うんを行ないます。

1AGACCBAP037A

補　足

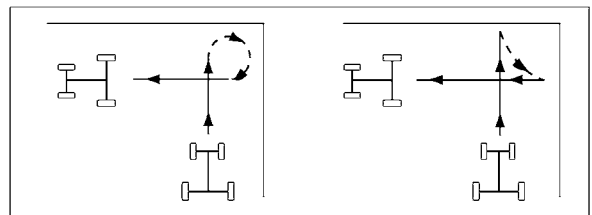
＊ パワクロ仕様で小回りの難しい場所では，一うねおき耕うんで作業してください。

■一うねおき耕うんのしかた

一うねおき耕うんは，小回りの難しい場所に用いる方法で，その他は隣接耕うんと同じです。

1AGACCBAP038A

■トラクタの方向転換のしかた

1AGACCBAP036A

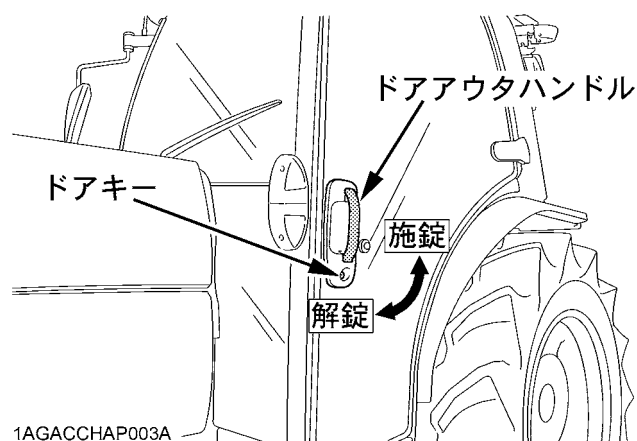
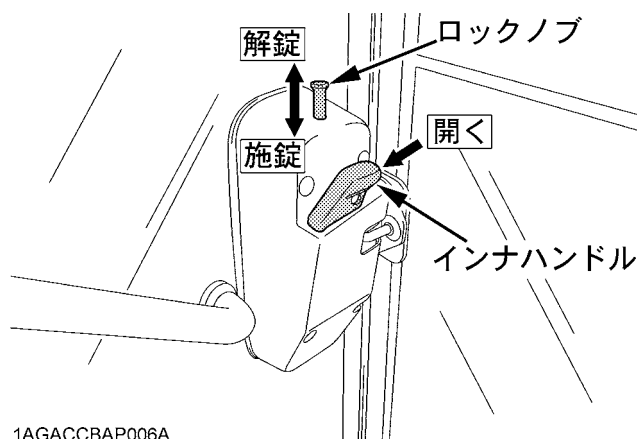
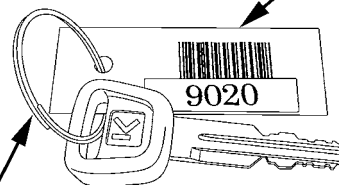
目次
困ったときには
安全
サービスと保証
小特の取扱い
運転のしかた
作業のしかた
安全キャブ装備品の取扱い
トラクタの簡単な手入れと処置
付表
索引

安全キャブ装備品の取扱い

ドア・窓の開閉とロック

注　意

* **リヤウインド後方で作業機を着脱・調整する場合は，リヤウインドの開閉に注意してください。（開放時頭などを打つおそれがあります。）**
* **ガラスを破損させるおそれがありますので安全キャブ内には物を載せないでください。**
* **ガラスの取扱いはていねいに行なってください。**

■ドア

◆ ドアの開閉とロック

1AGACCHAP003A

1AGACCBAP006A

1AGACCHAP034A

重　要

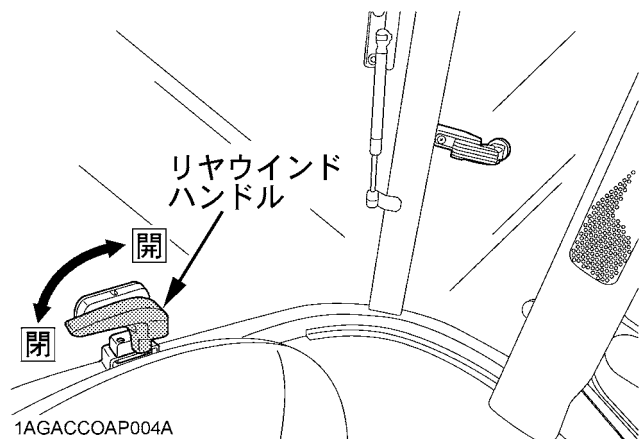
* キーリングに付属しているキーナンバー票は，キーを紛失した際必要となります。キーナンバーを裏表紙のおぼえに記入し控えておくか，キーナンバー票を大切に保管してください。**［安全キャブ仕様］**

補　足

* ドアにぶらさがったり，作動範囲以上に無理に押し開かないでください。

■リヤウインド

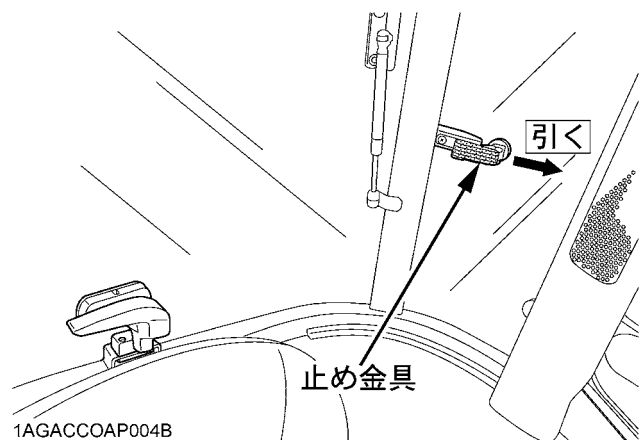
リヤウインドハンドルを時計方向に回し，そのまま押すと，ダンパの作用で容易に開くことができます。

1AGACCOAP004A

重　要

＊ 作業機によってはリヤウインドの開閉ができない場合がありますので，開閉するときには十分確認して行なってください。
＊ リヤウインドを開放したままで，作業機を上げるとリヤウインドを破損するおそれがありますので，作業機を上げるときには安全を十分確認してください。
＊ リヤウインドを開放したままで，高速走行や悪路走行をしないでください。

■クォータウインド

止め金具を手前に引き，ガラスと共に外側へ押すと開きます。

1AGACCOAP004B

重　要

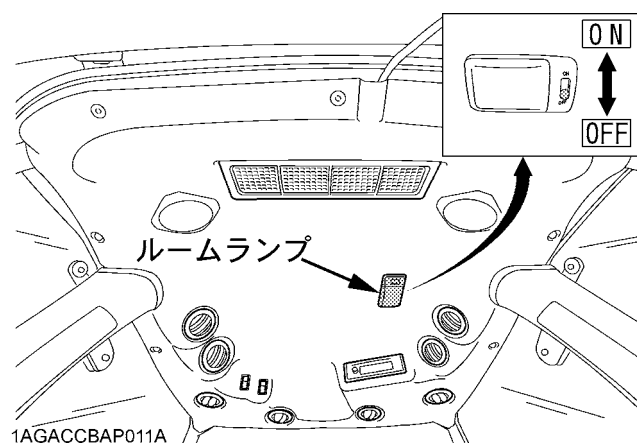
＊ クォータウインドを開放したままで，悪路走行をしないでください。

ルームランプ

ルームランプのスイッチを［ON］にすると点灯します。

［OFF］… ドアの開閉に関係なく，ランプは点灯しません。
［ON］… ドアの開閉に関係なく，ランプが点灯します。

1AGACCBAP011A

重　要

＊ バッテリあがりの原因になりますので，キースイッチ［切］のとき，ルームランプのスイッチが［OFF］の位置にあるか確認してください。

ワイパ

■フロントワイパ・ウォッシャスイッチ

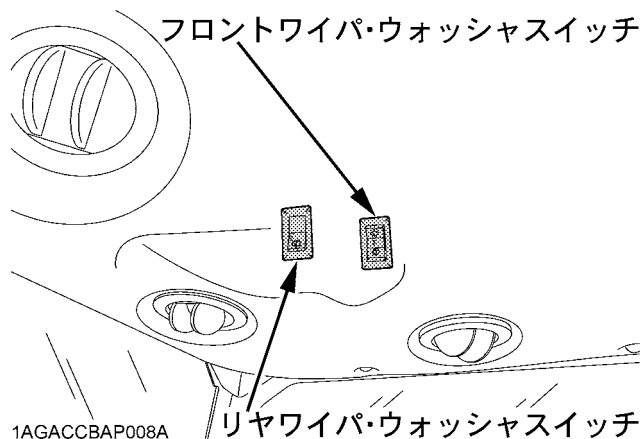
1. スイッチの下側を１段押すとワイパが作動します。さらに２段目を押すと，押している間のみ，ワイパが作動したままウォッシャ液が噴射します。
2. スイッチの上側を１段押すと，間欠ワイパが作動します。（少雨時使用）
   さらに２段目を押すと，押している間のみワイパが作動したまま，ウォッシャ液が噴射します。

■リヤワイパ・ウォッシャスイッチ

1. スイッチの下側を１段押すとワイパが作動します。
   さらに２段目を押すと，押している間のみ，ワイパが作動したままウォッシャ液が噴射します。
2. スイッチの上側を押込むと，ウォッシャ液が噴射します。

重　要

＊ からぶきはガラスを傷つけることがあります。
　必ずウォッシャ液を噴射してからワイパを作動させてください。

1AGACCBAP008A

■寒冷時のワイパの使用

寒冷時には，ワイパブレードがガラスと氷着していることがあります。そのままワイパを作動させるとワイパブレード及びワイパモータの故障につながるおそれがありますので，必ずキースイッチを **[切]** にして氷を取除いてから再度起動させてください。

作業灯

■作業灯スイッチ

作業灯スイッチの上側を押すと作業灯が点灯し，スイッチの下側を押すと消灯します。
またスイッチには，ヘッドライトに連動して点灯するイルミネーションランプと，作業灯の点灯を示すインジケータランプが内蔵されています。

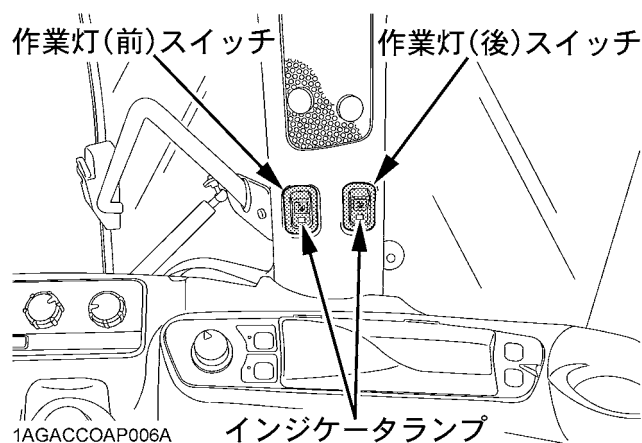
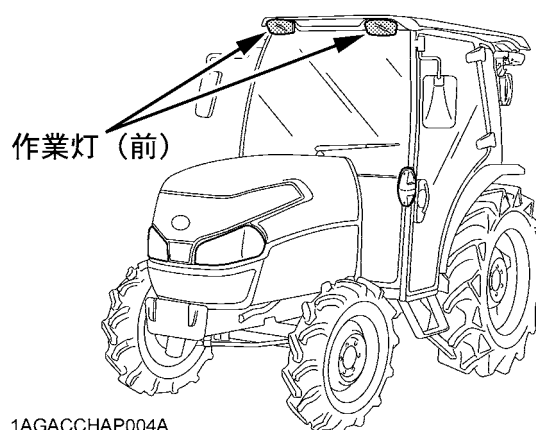
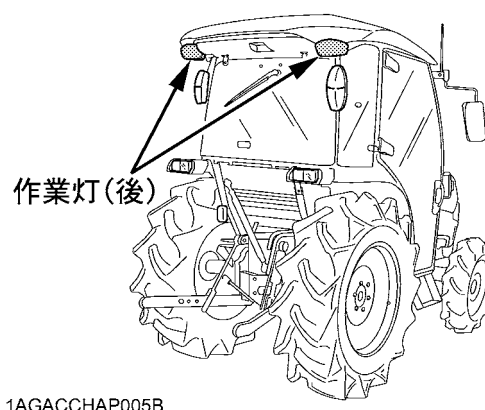
1AGACCOAP006A

◆ **作業灯（前）**

1AGACCHAP004A

◆ **作業灯（後）**

1AGACCHAP005B

重　要

＊ バッテリがあがりますので，ヒータ・作業灯・ヘッドライトなど電装品を使用する場合は，エンジン回転を1600rpm以上にしてください。

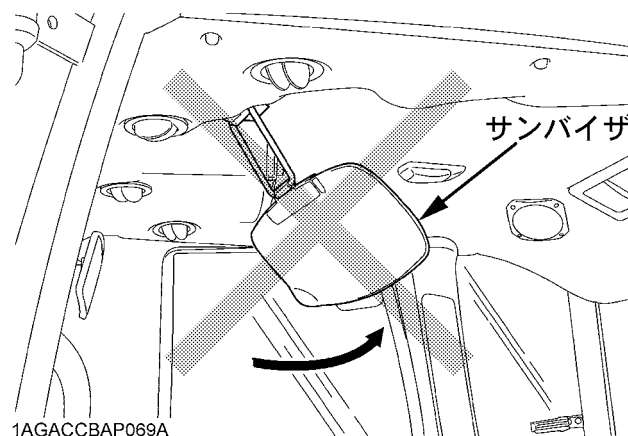
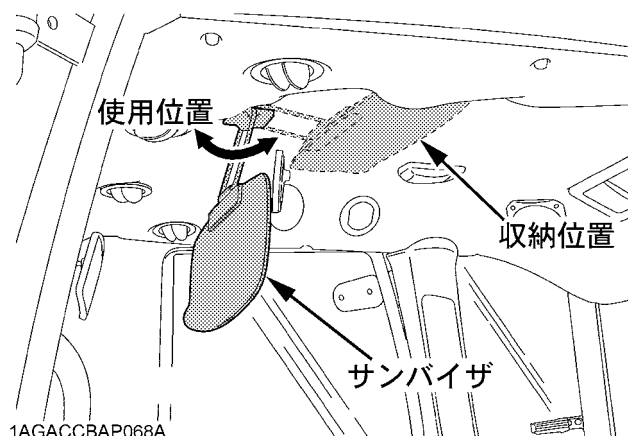
補　足

＊ 作業灯は **［道路運送車両法の保安基準］** 第42条（灯火の色等の制限）において，**［走行中に使用しない灯火］** とされ，点灯したまま道路走行すると他の交通車両の妨害となることから道路走行中の点灯は禁止されております。道路走行時は消灯してください。

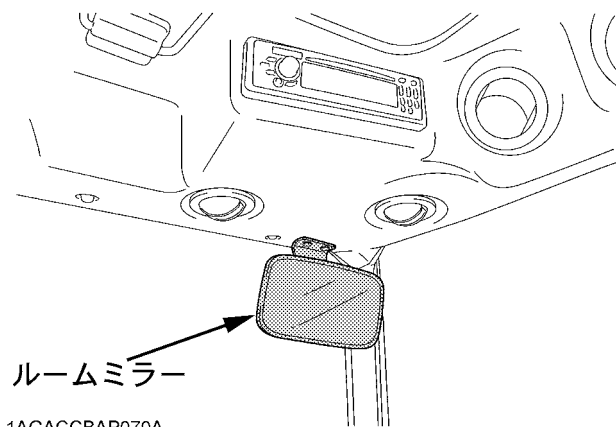
サンバイザ

［KL31RH・34RH・34RH-PC］

＊ サンバイザを適切な位置で使用しないと，前方視界がさえぎられたり，頭にあたったりするおそれがあります。
＊ サンバイザと天井の間に物をはさまないでください。発進・停止時に物が落ちるおそれがあります。

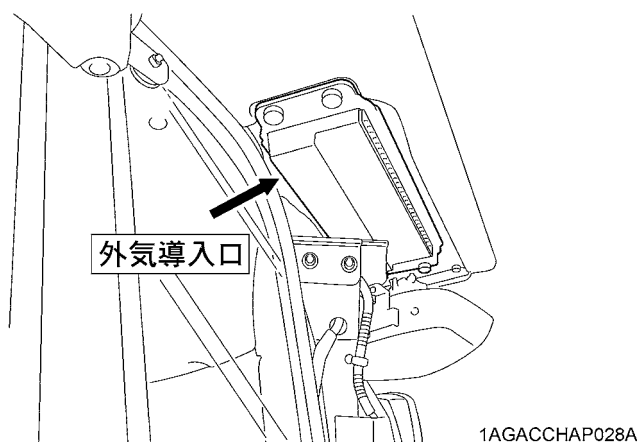
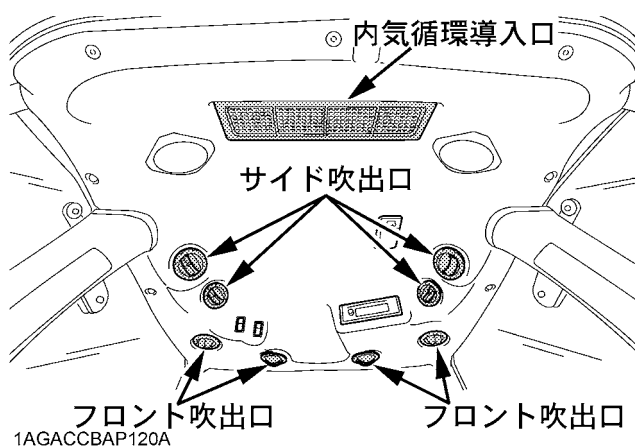
直射日光などでまぶしいときに使用します。
サンバイザは，収納位置より前へ押し下げて使用してください。

上図のような位置で使用すると，頭にあたったりするおそれがあります。

ルームミラー

[KL31RH・34RH・34RH-PC]
ルームミラー全体を動かして，後方視界を確認しながら調節してください。
ルームミラーの調節は，必ずトラクタを運転する前に行ない，走行中には行なわないでください。

オートエアコン

このエアコンは，マイコン制御により風量調整，温度調整を自動的に行ないます。コントロールパネルのファンスイッチを [AUTO] 位置に回すだけの操作でオールシーズン車内を快適に保ちます。

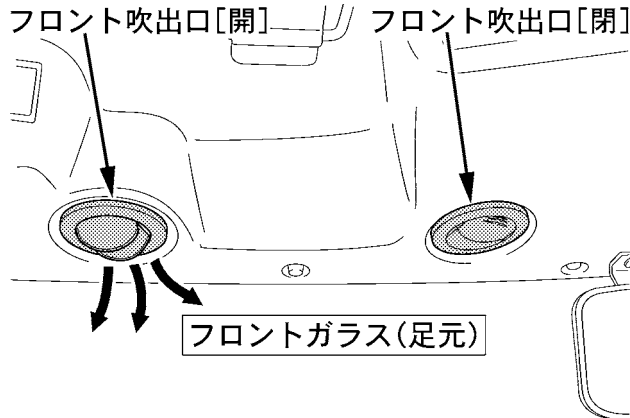
■空気の流れ

安全キャブ内の空気の流れは下図の通りです。
８カ所の吹出口の調節により，最適のコンディションが得られます。

重　要

＊ 洗車時は外気導入口に，直接放水しないでください。

■風向調整

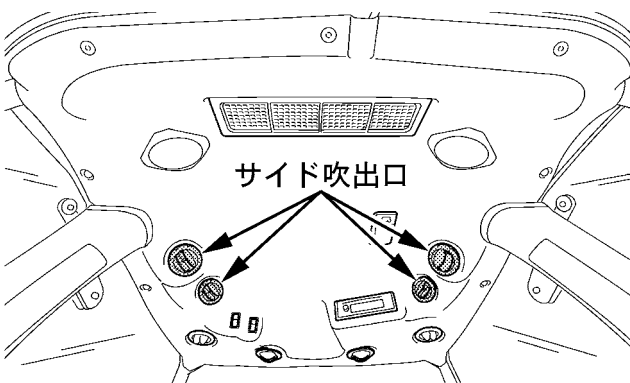
◆ フロント吹出口

1. 風の方向は，吹出し口により自由に調整できます。
デフロスタ（フロントガラスのくもり止め）として使用する場合，吹出し口をフロントガラスの方向に向けてください。
2. サイド吹出口からの風量を増したいときは，**［閉］**にしてください。

1AGACCBAP078A

補 足

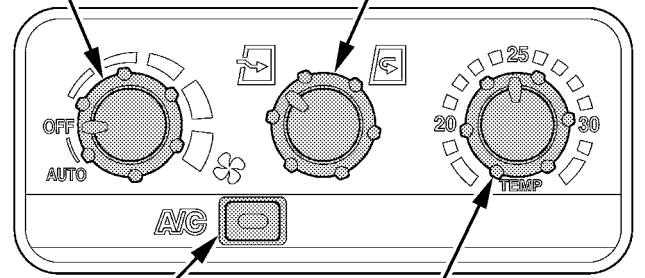
＊ フロント吹出口からの冷風がメータパネルに当たると，メータパネルが曇ることがあります。そのときは，フロント吹出口の向きを変えて，メータパネルに冷風が当たらない様にしてください。

◆ サイド吹出口

冷風の方向は，ルーバーの向きにより自由に調整できます。

1AGACCBAP120B

重 要

＊ ドアの曇り止めのため，ドアへの風量を増したいときは，サイド吹出口（顔面，背面）をドアガラスに向けてください。

■コントロールパネル

1AGACCOAP028B

◆ 内外気切換えスイッチ

外気導入…

1AGACCOAP028C

スイッチを**［外気］**位置にすると，安全キャブ室内に外気が入ってきます。
ほこりが多い作業やガラスが曇る場合に使用します。

内気循環…

1AGACCOAP028D

スイッチを**［内気］**位置にすると，外気は入りません。
早く冷暖房をきかせたいときや強くきかせたいときに使用します。

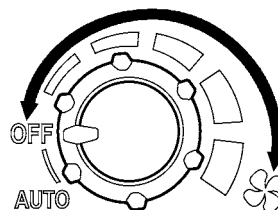
補 足

＊ 内気循環での長時間暖房は避けてください。ガラスが曇りやすくなります。
＊ ほこりが多発する作業では，外気導入で使用してください。外気を採り入れることにより室内の圧力が上昇し，安全キャブ室内にほこりが入りにくくなります。

◆ 温度コントロールつまみ

温度を調節するためのつまみです。好みの位置にセットして適宜調節します。
設定温度は１℃刻みで調節できます。

◆ ファンスイッチ

風量切換

1AGACCOAP028E

［AUTO］位置：
オートエアコンが作動します。
［風量切換］位置：
風量を５段階に調節できます。
右端は最も風量の多い位置です。

目次
困ったときには
安全
サービスと保証 小特の取扱い
運転のしかた
作業のしかた
安全キャブ装備品の取扱い
トラクタの簡単な手入れと処置
付表
索引

補　足

＊ 【AUTO】位置で暖房の際，エンジンが冷えているときは冷風が出るのを防ぐため，しばらくの間ファンが作動しないことがあります。

◆ A/C エアコンスイッチ

エアコンを使うときは，このスイッチを押して【入】にします。【入】のとき，インジケータランプが点灯します。

重　要

＊ トラクタを１週間以上，長期放置後にエアコンを使うときは，エンジン回転をアイドリングにしてA/Cエアコンスイッチを【入】にし，１分間運転してください。
エンジン回転が高いままで，A/Cエアコンスイッチを【入】にするとコンプレッサが故障するおそれがあります。

◆ 暖房・冷房・除湿暖房

1. 内外気切換えスイッチを【外気】位置にします。早く冷暖房にしたいときは【内気】位置にします。
2. エアコンスイッチを押し【入】にします。
3. ファンスイッチを【AUTO】にします。
4. 温度コントロールつまみを調節し，快適な温度にします。

◆ デフロスト

フロントガラスの曇り及び凍結除去するときは，

1. フロント吹出口を開き，フロントガラスの方向に向けます。
2. 必要に応じサイド吹出口を閉じます。
3. 内外気切換えスイッチを【外気】位置にします。
4. ファンスイッチを**右端**，温度コントロールつまみを**右端**にします。

■ヒータ使用上の注意

注　意

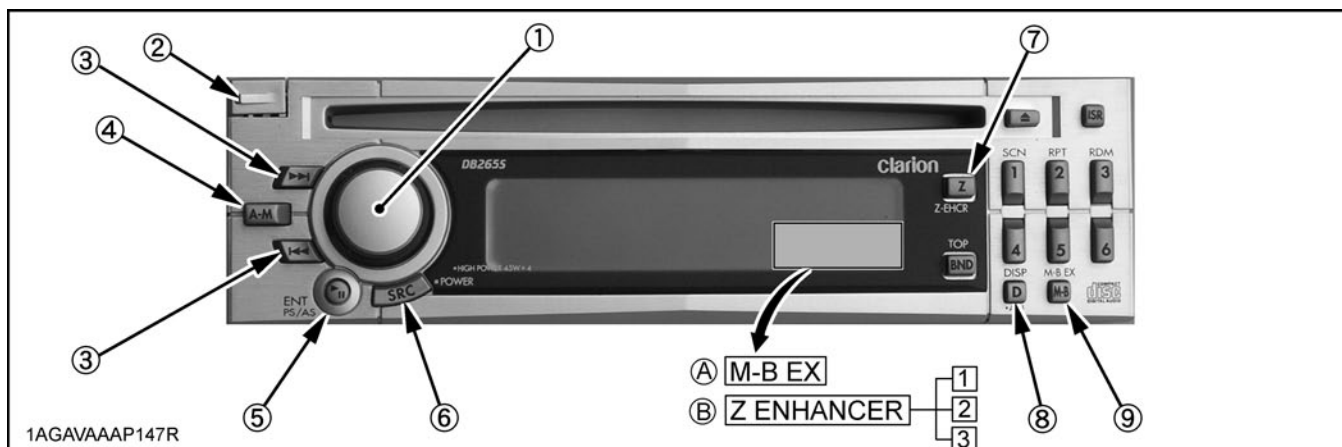
＊ ウォータホース及びヒータユニットに直接ふれないようにしてください。ヤケドなどの傷害事故につながります。
＊ 異常を認めたとき，修理をおこたるとヤケドなどの傷害事故やエンジンの焼付などの重大な故障につながります。

1. 冬期は外気温に適した濃度の不凍液を使用してください。
また，有効期限の切れた不凍液を使用しないでください。
2. 冬期において不凍液を使用しない場合は，運転終了時トラクタ本体から冷却水を排水してください。
（【トラクタの簡単な手入れと処置】の章の【２年ごとの点検・整備】の【冷却水の交換】の項を参照）
3. ウォータホースは２シーズンごとに交換を受けてください。
4. 日常点検
次のような異常を認めたときは速やかに修理を受けてください。
（ヤケドなどの傷害事故やエンジンの焼付などの重大な故障につながります。）

＊ ウォータホースの傷付き，ひびわれ，ふくらみ
＊ ウォータホースジョイント部の水漏れ
＊ ウォータホースの保護ブッシュ及びグロメットの外れ，破損
＊ 本体取付けボルトの緩み，ブラケットの破損

AM / FM ラジオ付き CD プレーヤの取扱い

[安全キャブ仕様]

■共通部の操作のしかた

① [VOLUME] ノブ
② リリースボタン
③ サーチボタン
④ [A-M] ボタン
⑤ プレイ / ポーズボタン
⑥ [SRC] ボタン
⑦ [Z] ボタン
⑧ [D] ボタン
⑨ [M-B] ボタン
Ⓐ マグナベース EX　ON 時点灯
Ⓑ Z エンハンサーインジケータ

◆ 電源の入／切

1. **[SRC]** ボタンを押すと電源が入り，前回電源を切ったときのソースで始まります。
2. **[SRC]** ボタンを押すたびに，ラジオと CD が交互に切換わります。CD が入っていないときには，**[NO DISC]** と表示されます。
3. **[SRC]** ボタンを約 1 秒間押すとラジオ又は CD への電源が切れます。

補　足

＊ 電源が **[切]** 状態でも，キースイッチが **[ON]** または **[ACC]** 位置では，時計が表示されます。(時刻の設定は **[時計合わせ]** の項を参照)

◆ 音量調節

[VOLUME] ノブを左右に調節します。
右へ回すと大きくなり, 左へ回すと小さくなります。

補　足

＊ 調節時はディスプレイに音量値が **[VOLUME 0]** ～ **[VOLUME 33]** の範囲内で表示されます。

◆ リリースボタン

このボタンを押すと操作パネルが外れます。
操作パネルは衝撃に弱いため, 必要以上には取り外さないでください。また，頭上にあるので落さないように注意してください。

◆ 音質調整

音質自動ワンタッチ設定

[Z] ボタンを押すごとにインジケータ表示が下記のように切換わります。お好みの音質を設定してください。

インジケータ	備　考
Z ENHANCER 1	低音を重視したサウンド
Z ENHANCER 2	高音を重視したサウンド
Z ENHANCER 3	低音と高音を重視したサウンド
消灯（OFF）	初期設定

◆ 音質手動設定

1. **[Z]** ボタンを押し，Z ENHANCER を **[OFF]**（消灯）にする。
2. **[A-M]** ボタンを押すごとに下記のようにディスプレイ表示が切換わります。

ディスプレイ	備　考
BASS	低音部調整
TREB	高音部調整
BAL	左右スピーカの調整
FAD	—
消灯	元のソース

3. **[BASS]** または **[TREB]** を選択し，**[VOLUME]** ノブを左右に回し調節します。
右へ回すと強調され，左へ回すと減衰されます。（調整範囲は，－７～＋７です。）
4. **[A-M]** ボタンを再度押すと設定が完了します。

補　足

＊ 音質は Z- エンハンサ機能が **[OFF]** のとき調整できます。

◆ 重低音の増強

[M-B] ボタンを押すと，マグナ・ベース EX（MAGNA BASS EX）が ON になり，重低音が増強されます。**[M-B]** ボタンを再度押すと，マグナ・ベース EX 機能が解除されます。

◆ 時計表示への切換え

[D] ボタンを押すごとに下記のように表示が切換わります。

ラジオモードの場合

	表示例
周波数表示	FM 1 83.00
時間表示	AM 10:05

CD モードの場合

	表示例
演奏状態表示	TO 1 00:01
時間表示	PM 10:05

補　足

＊ 常に時計を表示させるには，スクリーンセーバー機能を **[SS OFF]** に設定します。
（**[スクリーンセーバーの設定]** の項を参照）
＊ 時計表示のときは，ラジオの選局や CD の選曲などのボタン操作時に，受信周波数やトラック No. などを表示した後，元の時計表示に戻ります。

◆ 時計合わせ

1. キースイッチを **[ACC]** 又は **[ON]** にします。
2. **[D]** ボタンを約 1 秒間押し，**[SCRN SVR]** を表示させる。
3. サーチボタンを押して，**[CLOCK<E>]** を選択します。
4. プレイ / ポーズボタンを押します。
調整時点（**[AM 10:16]** など）の時刻を表示して，時刻設定モードになります。
5. サーチボタンを押して，「時」または「分」を選択します。
点滅している項目が調整できます。
6. **[VOLUME]** ノブを回して，時刻を合わせます。
7. プレイ / ポーズボタンを押すと設定が完了します。

補　足

＊ 時計は 12 時間表示です。
＊ 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると，時刻調整は解除されます。

◆ 左右スピーカの音量バランス調整

1. **[Z]** ボタンを押し，Z ENHANCER を **[OFF]**（消灯）にする。
2. **[A-M]** ボタンを押すごとに下記のようにディスプレイ表示が切換わります。

ディスプレイ	備　考
BASS	低音部調整
TREB	高音部調整
BAL	左右スピーカの調整
FAD	—
消灯	元のソース

3. **[BAL]** を選択し，**[VOLUME]** ノブを左右に回します。

右へ回すと右側が強調され，左へ回すと左側が強調されます。（調整範囲は，L13 ～ R13 です。）

4. **[A-M]** ボタンを再度押すと設定が完了します。

補　足

＊ 音量は Z- エンハンサ機能が **[OFF]** のとき調整できます。
＊ FAD の調整はできません。
（出荷時の初期設定は 0 になっています。）

◆ スクリーンセーバーの設定

1. **[D]** ボタンを約 1 秒間押し，**[SCRN SVR]** を表示させる。
2. サーチボタンを押して，**[SCRN SVR]** を選択します。

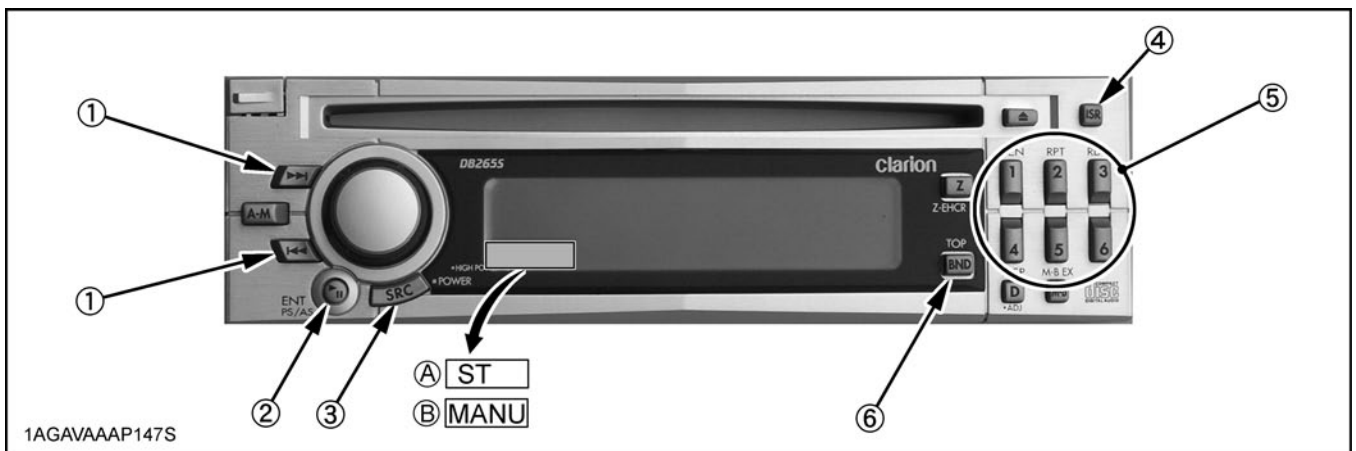
3. [VOLUME] ノブを回して，[SS　ON] 又は [SS OFF] を選択します。

SS ON	スクリーンセーバー機能がONになります。 演奏などの状態表示で30秒間何も操作しないと，スクリーンセーバー表示になります。
SS OFF	スクリーンセーバー機能が OFF になります。

4. [D] ボタンを再度押すと設定が完了します。

補　足

＊ 初期設定は [SS ON] です。ディスプレイに演奏状態を常に表示させておきたい場合は，[SS OFF] に設定しておいてください。

■ラジオを聴くには

① サーチボタン
② プレイ / ポーズボタン
③ [SRC] ボタン
④ [ISR] ボタン
⑤ ダイレクトボタン
⑥ [BND] ボタン
Ⓐ ST：ステレオ放送受信時に点灯
Ⓑ MANU：手動選局モード時点灯

◆ ラジオの選択

1. [SRC] ボタンを押すと受信バンドと受信周波数（[FM1 83.00] など）を表示して，ラジオが選択されます。

補　足

＊ [SRC] ボタンを押すたびに，ラジオと CD が切換わります。

◆ 受信バンドの選択

1. [BND] ボタンを押すごとに下記のようにディスプレイが切換わります。
お好みのバンドを選択してください。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2

◆ クイック選局（ISR 機能）

ISR 機能とはどのソースからでもすぐに，特定の放送局を呼び出す機能です。
交通情報など，運転中に聴きたい情報などをすばやく選局できます。

1. [ISR] ボタンを押すと，ディスプレイに [ISR 1620] が表示されます。
2. [ISR] ボタン又は [SRC] ボタンを押すと，元のソースに戻ります。

補　足

＊ 初期設定では，AM1620kHz の交通情報が登録されています。

登録のしかた

登録させたい放送局を選局し，[ISR] ボタンを約２秒間押すと登録されます。

◆ プリセット選局

あらかじめ自動又は手動でメモリ登録しておくと，ダイレクトボタン（１～６）を押すだけで選局できます。（登録のしかたは [メモリ登録（自動選局）] 又は [メモリ登録（手動選局）] の項を参照）

◆ メモリ登録（自動選局）

登録できる数は FM1，FM2，AM1，AM2 の各バンドごとに６局ずつ，計 24 局です。

3. [BND] ボタンでメモリ登録させたいバンド（FM1，FM2 または AM1，AM2）を選択します。

4. プレイ / ポーズボタンを約2秒間押します。受信電波の強い放送局が自動的にダイレクトボタン（1～6）に登録されます。

補　足

＊ 電波の弱い場所では6局すべて登録されない場合もあります。

◆ メモリ登録（手動選局）

登録できる数はFM1，FM2，AM1，AM2の各バンドごとに6局ずつ，計24局です。

1. **［BND］**ボタンでメモリ登録させたいバンド（FM1，FM2またはAM1，AM2）を選択します。
2. サーチボタンを押して登録させたい放送局を選択します。
3. 登録させたいダイレクトボタン（1～6）を約2秒間押すと登録されます。

◆ メモリ登録の確認

プレイ / ポーズボタンを押すと，登録された放送局を順に受信します。
プレイ / ポーズボタンを再度押すと解除されます。

◆ 自動選局

1. ディスプレイに**［MANU］**が点灯しているときは，**［BND］**ボタンを約1秒間押し消灯させます。（消灯時のみ自動選局できます。）
2. サーチボタンを押します。
3. 放送のあるところで自動的に選局が止まります。他を選局したいときは，再度ボタンを押してください。

◆ 手動選局

1. ディスプレイに**［MANU］**が消灯しているときは，**［BND］**ボタンを約1秒間押し点灯させます。（点灯時のみ手動選局できます。）
2. サーチボタンを押して，放送のあるところに合わせます。

■ CDを聴くには

① サーチボタン（上）
② サーチボタン（下）
③ プレイ / ポーズボタン
④ ［SRC］ボタン
⑤ ［SCN］ボタン
⑥ イジェクトボタン
⑦ ［RPT］ボタン
⑧ ［RDM］ボタン
⑨ ［BND］ボタン
Ⓐ SCN：スキャン演奏時に点灯
Ⓑ RPT：リピート演奏時に点灯
Ⓒ RDM：ランダム演奏時に点灯

◆ CDの挿入と再生

CDの挿入口にCDを入れると**［T01 00:00］**を表示し，自動的に演奏が始まります。
8cm CDのときは，CD挿入口の中央に入れます。

すでにCDが入っている場合は，**［SRC］**ボタンを押してCDを選択すると，トラックNo.（**［T01 00:00］**など）を表示し，自動的にCDの演奏が始まります。

補　足

＊ 本機はdiscマーク表示のあるコンパクトディスク以外はご使用になれません。

＊ CD-R/RW　で記録されたディスクは，使用できない場合があります。
＊ CDは印刷面を上にして入れてください。

◆ CDの取出し

イジェクトボタンを押すとCDが取出されます。

補　足

＊ CDをイジェクトしたままにしておくと，15秒後に本機内に引き込まれます（オートリロード）。
＊ オートリロード前に無理にCDを押し込むと，CDにキズがつくおそれがあります。
＊ 8cm CDはオートリロードされません。
イジェクトした場合は，8cm CDを取出してください。

◆ 演奏の一時停止

プレイ / ポーズボタンを押すと［PAUSE］が表示され，演奏が一時停止します。
プレイ/ポーズボタンを再度押すと演奏が再開されます。

◆ 次の曲／前の曲選択

次の曲を聴くときは，サーチボタン（上）を押します。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。
前の曲を聴くときは，サーチボタン（下）を2回押します。サーチボタン（下）を押すと，演奏中の曲を最初から演奏します。
さらに押すと，押した回数だけ前の曲が演奏されます。
曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタン（下）を2回押すと，2つ前の曲へ戻ることがあります。

◆ 早送り／早戻し

早送りするときはサーチボタン（上）を押し続けます。
早戻しするときはサーチボタン（下）を押し続けます。

1秒以上押すと5倍速で，3秒後には30倍速で，演奏曲が早送りまたは早戻しされます。

◆ トップ機能

［BND］ボタンを押すと，最初の曲（トラック No.1）から演奏されます。

◆ 曲を探す（スキャン演奏）

CDに収録されている全曲を10秒間ずつ演奏します。
［SCN］ボタンを押すと，ディスプレイの［SCN］が点灯して，スキャン演奏します。スキャン演奏は，演奏している曲の次の曲から始まります。

◆ 曲を繰り返し聴く（リピート演奏）

演奏中の1曲を繰り返し演奏します。
［RPT］ボタンを押すと，ディスプレイの［RPT］が点灯して，リピート演奏します。

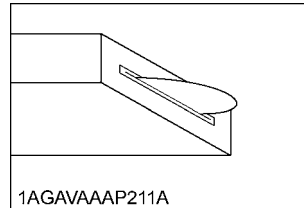
◆ ランダムに演奏を聴く（ランダム演奏）

CDに収録されている全曲を順不同に演奏します。
［RDM］ボタンを押すと，ディスプレイの［RDM］が点灯して，ランダム演奏します。

■取扱い上の注意

注　意

＊ 運転中は安全のため，車外の音が聞こえる音量にしてください。
＊ CDが落下して頭にあたったりするおそれがあるので，下図の状態で放置しないでください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO
1AGAVAAAP1530

1. discマークのついたCDをご使用ください。
   また，ハート形や八角形など，特殊形状のCDは使用しないでください。
   CD-R/CD-RWで記録されたディスクは，使用できない場合があります。
   CDが曇っているときは，やわらかい布でふいてください。
2. 本機はシステム保護のため，各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには，**［不調と処置］**の章の**［エラー表示について］**の項を参照して障害を取除いてください。障害を取除けば，通常の動作になります。
3. 本機は，水分や高温，多湿を嫌いますので，車内清掃や換気にじゅうぶんご注意ください。
4. 車内の温度に気をつけてください。
   極寒や酷暑のとき，とくに夏期は車内の温度が大変高くなることがありますので，車内の換気に注意し，適温で使用してください。

5. 本機操作は，安全性の面から停車中に行なってください。また運転中の音量は事故防止のため，車外の音が聞こえる程度でお楽しみください。
6. 本機のお手入れは，乾いたやわらかい布でふいてください。固い布や，ベンジン・シンナ・アルコールなどは絶対に使用しないでください。また，汚れがひどい場合にはやわらかい布を水またはぬるま湯に浸し，軽くふき取ってください。
7. CD はディスク面に，傷や指紋をつけないように扱ってください。
   汚れたときは，やわらかい布で，内側から外側へ向かって，よくふいてください。
8. 8cm CD をイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により，ディスクが落下するおそれがあります。
9. CD は次のような場所には保管しないでください。
   - 直射日光のあたる場所
   - 湿気やホコリの多い場所
   - 暖房の熱が直接あたる場所
10. CD 表面にほこりが付着していると，CD の挿入や取出しができなくなることがあります。汚れた手で CD を扱ったり，ほこりが付着しやすい所に CD を放置したりしないでください。
    また，安全キャブ内にはできるだけほこりが入らないように，ドアや窓の開閉は最小限にしてください。

◆ 推奨クリーニングディスク

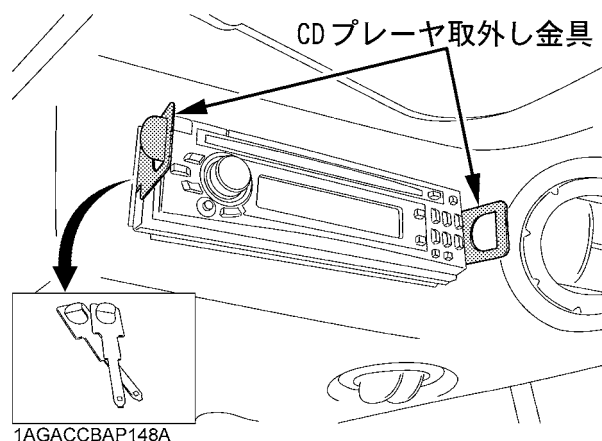
クラリオン製　CTC-007-210

■お問合わせ

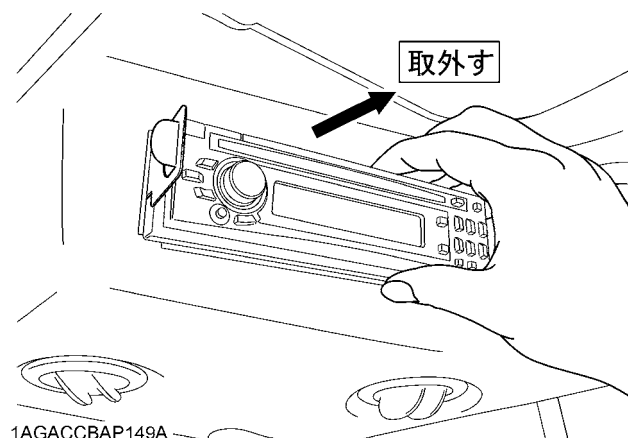
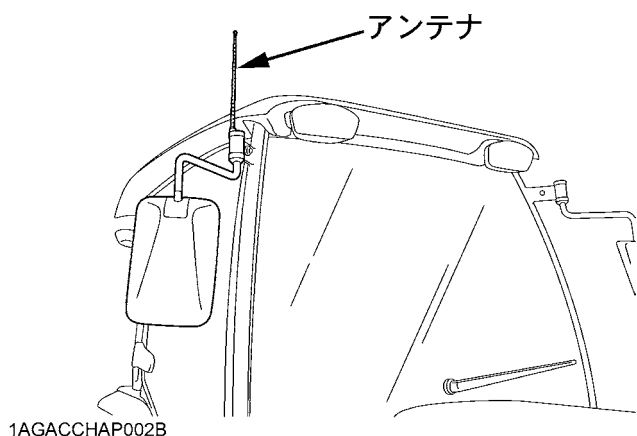
この AM/FM ラジオ付 CD プレーヤの取扱いに関するお問合わせは，下記メーカ窓口でもご相談いただけます。
なお，故障修理に関しては，お買上げの購入先にご相談ください。

クラリオン（株）
　お客様相談室
TEL　0120-112-140
　　（土・日・祝除く / AM9:30 ～ 12 : 00
　　　　　　　　　　PM1:00 ～ 5 : 00)

■ AM / FM ラジオ付き CD プレーヤ本体の外し方

1. キースイッチのキーを［切］の位置にします。
2. 下図のようにCDプレーヤ本体横に取外し金具を差込みます。

3. 取外し金具を差込んだ状態で，落とさないようしっかりと握って取り外します。

■アンテナ

1AGACCHAP002B

重　要

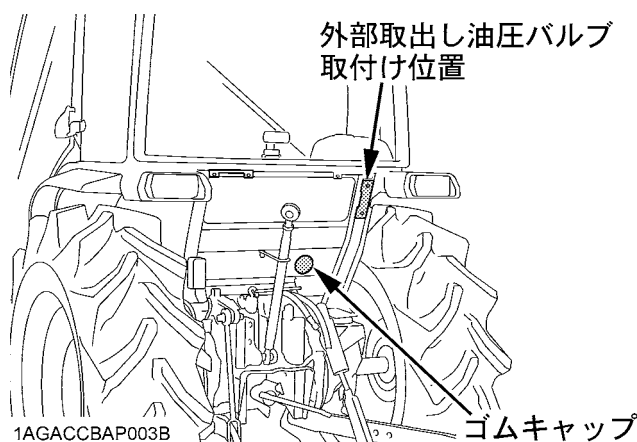
＊ アンテナは角度調節できませんので動かさないでください。

インプルメントの装着

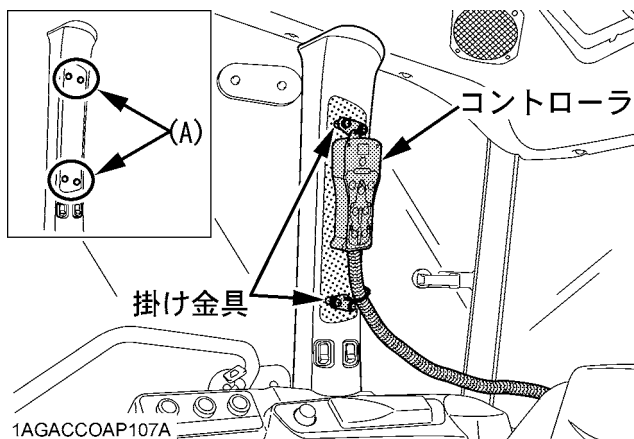
■インプルメント用操作ボックスの取付

＊ コントローラを装着しない場合は，掛け金具を外してください。

ゴムキャップに穴又は切り込みを開け，インプルメント用操作コードなどを安全キャブ室内に導入してください。

1AGACCBAP003B

(A) 部に操作ボックスなどを取付ける場合は，樹脂キャップを取外して，掛け金具を取付けます。作業機のコントローラなどを装着することができます。

1AGACCOAP107A

目次
困ったときには
安全
サービスと保証
小特の取扱い
運転のしかた
作業のしかた
安全キャブ装備品の取扱い
トラクタの簡単な手入れと処置
付表
索引

トラクタの簡単な手入れと処置

給油及び点検整備するときは
1. トラクタを平たんな広い場所に置き
2. 作業機を降ろし
3. 駐車ブレーキをかけ
4. エンジンを止め
5. キーを抜き，安全を確認してから行なってください。
そうしないと傷害事故を引起すおそれがあります。

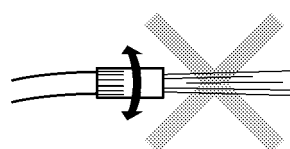
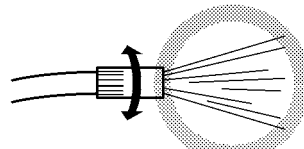
廃棄物の処理について

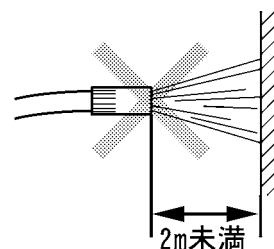
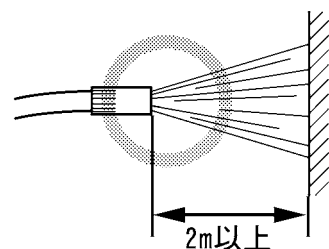
廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
廃棄物を処理するときは
＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
＊ 廃油，燃料，冷却水（不凍液），冷媒，溶剤，フィルタ，バッテリ，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

洗車時の注意

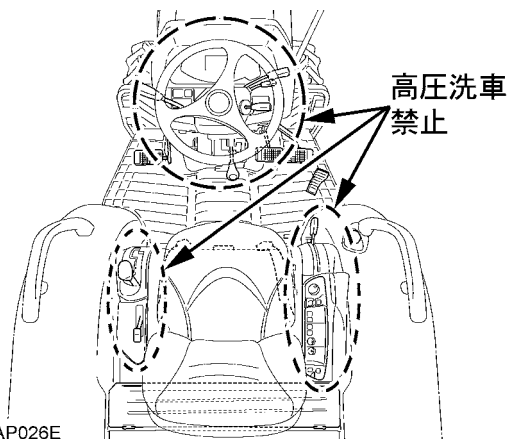
高圧洗車機の使用方法を誤ると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

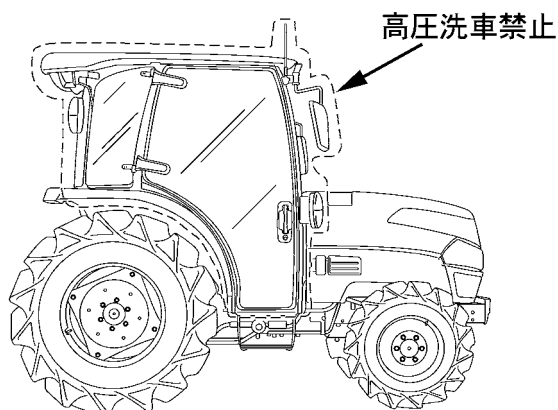
機械を損傷させないように洗浄ノズルを拡散にし，２ｍ以上離して洗車してください。
もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，
1. 電気配線部被覆の損傷・断線により，火災を引き起こすおそれがあります。
2. 油圧ホースの破損により，高圧の油が噴出して傷害を負うおそれがあります。
3. 機械の破損・損傷・故障の原因になります。
例）(1) シール・ラベルの剥がれ
(2) 電子部品，エンジン・トランスミッション室内，安全キャブ室内等への浸入による故障
(3) タイヤ，オイルシール等のゴム類，樹脂類，ガラス等の破損
(4) 塗装，メッキ面の皮膜剥がれ

直射洗車厳禁

1AGACBRAP067A

近距離洗車厳禁

1AGACBRAP068A

重　要

＊ 高圧洗車機などによる洗車の際には，メータパネル，ステアリングポスト周り，ポンパレバー，ホーンボタン周り，バッテリ，エンジン周りの電気配線・電装品（および電子油圧操作部）には，圧力水をかけないでください。電気部品の故障の原因になります。

1AGACCOAP026E

安全キャブのガラス部，ルーフ部の洗車の際には，圧力水をかけないでください。（圧力を下げるか水流を広げてください。）
安全キャブ室内の水もれ，電気部品の故障の原因になります。

1AGACCHAP0007A

補　足

＊ 市販のワックスを樹脂部品に使用すると樹脂の変形，割れ，曇りが発生する場合があります。特に電子メータパネル，泥よけなどの透明樹脂部にはワックスを使用しないでください。

定期点検箇所一覧表

重　要

＊　◎はならし運転の 50 時間後又は 100 時間後に必ず行なってください。
＊　バッテリ電解液は年間使用時間が 100 時間以内の場合，１年ごとに点検を行なってください。

次の定期点検箇所に従って，定期点検を実施しましょう。

No.	時期		アワーメータ表示時間														それ以降	参　照ページ
	項目		50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700		
1	エンジンオイル	交換	◎		○		○		○		○		○		○		100 時間ごと	122
2	エンジン排気の状態	点検		○		○		○		○		○		○		○	100 時間ごと	122
3	エキゾーストパイプ及びマフラの状態	点検		○		○		○		○		○		○		○	100 時間ごと	122
4	エンジンオイルフィルタ	交換	◎				○				○				○		200 時間ごと	127
5	油圧オイルフィルタ	交換		◎				○				○				○	200 時間ごと	127
6	ミッションオイル	交換		◎								○					400 時間ごと	132
7	前車軸ケースオイル	交換					○						○				300 時間ごと	131
8	グリースの注入 **［ホイール仕様］**	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	119
9	エンジン始動システム	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	120
10	タイヤ取付ボルト	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	120
11	クラッチハウジングの水抜き	排水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	120
12	パワーステアリングホース	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	121
		交換															２年ごと	121
13	燃料ホース	点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50 時間ごと	121
		交換															２年ごと	121
14	バッテリ電解液	点検	○		○		○		○		○		○		○		100 時間ごと	123
15	エアクリーナエレメント	清掃	○		○		○		○		○		○		○		100 時間ごと	125
		交換															１年ごと	125
16	燃料フィルタエレメント	交換							○								400 時間ごと	132
17	ファンベルト	調整	○		○		○		○		○		○		○		100 時間ごと	125
18	クラッチペダル	調整	◎		○		○		○		○		○		○		100 時間ごと	126
19	ブレーキペダル	調整	○		○		○		○		○		○		○		100 時間ごと	126
20	ステアリングジョイント部	点検			○				○				○				200 時間ごと	128
21	ラジエータホース	点検			○				○				○				200 時間ごと	127
		交換															２年ごと	135
22	トーイン，タイロッド	点検			○				○				○				200 時間ごと	128
23	エンジンバルブクリアランス	点検															800 時間ごと	133
24	前部デフケース前後遊び	調整											○				600 時間ごと	133
25	ラジエータ（クーリングシステム）	洗浄															２年ごと	135
26	冷却水	交換															２年ごと	134
27	メインシリンダホース	交換															２年ごと	135
28	モンロシリンダホース	交換															２年ごと	135
29	燃料の空気抜きのしかた	－															必要に応じて	136
30	ヒューズ類	交換															必要に応じて	136
31	ランプ類	交換															必要に応じて	137
32	ホーン接点のグリース塗布	－															必要に応じて	137

[安全キャブ仕様]

No.	時期		アワーメータ表示時間													それ以降	参照ページ
	項目		50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700		
1	内気フィルタの詰まり	清掃			○				○				○				200時間ごと	129
2	外気フィルタの詰まり	清掃			○				○				○				200時間ごと	129
3	コンデンサの詰まり	清掃			○				○				○				200時間ごと	130
4	エアコンベルトの張り	調節			○				○				○				200時間ごと	130
5	ヒータ配管，ホース	点検															１年ごと	133
6	エアコン配管，ホース	点検															１年ごと	133
7	ウォッシャ液	補充															必要に応じて	137
8	各部への注油	－															必要に応じて	137
9	冷媒（ガス）量	点検															必要に応じて	138

[パワクロ仕様]

No.	時期		アワーメータ表示時間													それ以降	参照ページ
	項目		50	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700		
1	転輪・遊輪の オイルシール	点検			○				○				○				200時間ごと	131
2	転輪・遊輪の グリース注入	—	30時間ごと															118
3	揺動軸部の グリース注入	—	30時間ごと															118

＊専門的な技術や特殊な工具を必要とするときは，購入先にご相談ください。

給油（水）一覧表

■トラクタの給油（水）

No.	給油（水）項目	容　　量（L）			備　　考
		KL24R(H)	KL26R-PC KL27R(H) KL28R-PC KL31R-PC	KL31R(H) KL34R(H) KL34R(H)-PC	
1	燃　　料	27	36	40	ディーゼル軽油
2	冷　却　水	5.8	6.0		清水（不凍液を入れた場合は，その量だけ少なく清水を入れてください。）
3	エンジンオイル	4.5［5.7］			クボタ純オイル （詳細は次ページ参照）
4	ミッションオイル （油圧オイル）	32	34	32	クボタ純オイル スーパーUDT-2
5	前車軸ケース	3.7［5.0］	3.9［5.5］		
6	各操作レバー ・ペダル支点	注　　油			
7	三点リンク	注入・塗布			極圧（万能）グリース
8	バッテリターミナル	塗　　布			
9	油圧シリンダ	注　　入			
10	ウォッシャ液 **［安全キャブ仕様］**	2			自動車用ウォッシャ液

［　］内は分解・修理した場合の給油量です。

推奨オイル・グリース一覧表

必ず下記の指定オイルを使ってください。

■エンジンオイル・ミッションオイル

エンジンオイル	ミッションオイル・前車軸ケースオイル・各操作レバー支点
クボタ純オイル （ディーゼルエンジン用） D10W-30 又はスーパー CD D10W-30 又はスーパー CF D10W-30	クボタ純オイル　スーパー UDT-2

■グリース

極圧（万能）グリース	クボタ純グリース№.2 ★入手できない場合は下記メーカ製品または JCMAS GK 規格品をご使用ください。 ・JX日鉱日石エネルギー:エピノックグリースAP2,リゾニックスEP2 ・コスモ石油ルブリカンツ：ダイナマックス№.2 ・出光興産：ダフニーエポネックス SR2
ホーン接点用グリース	協同油脂　マルテンプ PS2

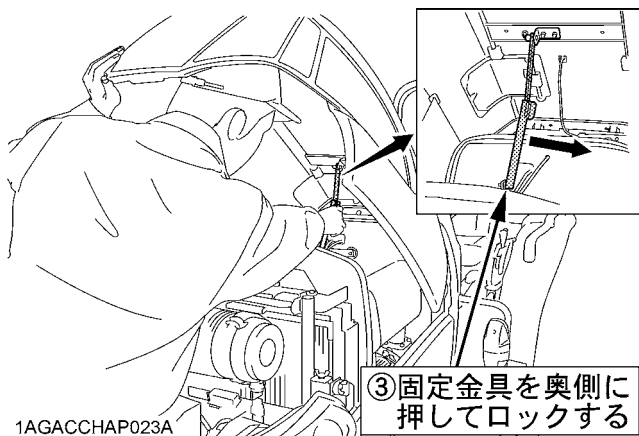
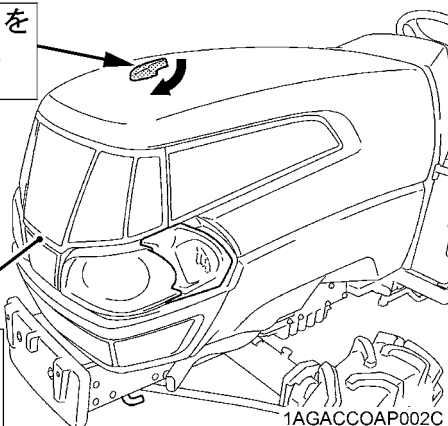
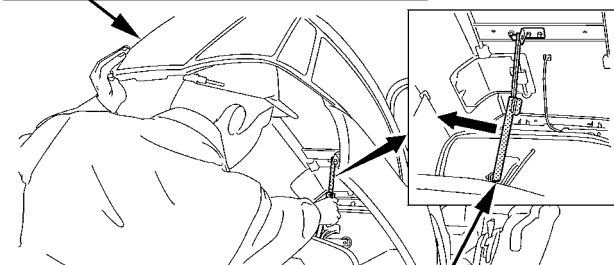
ボンネットの開閉及びサイドカバーの外し方

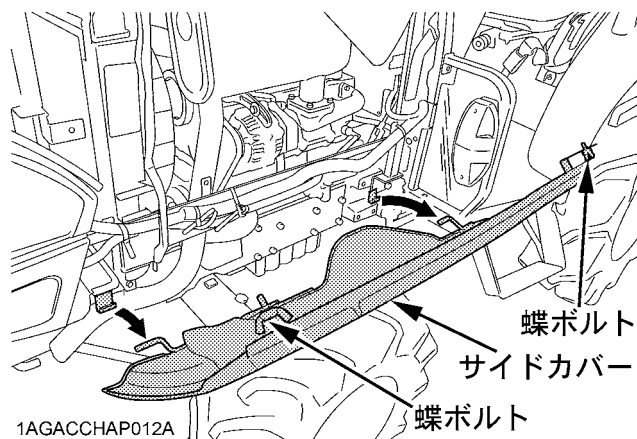
* エンジン回転中は絶対にボンネットを開けないでください。
* マフラが熱いときさわらないでください。ヤケドすることがあります。

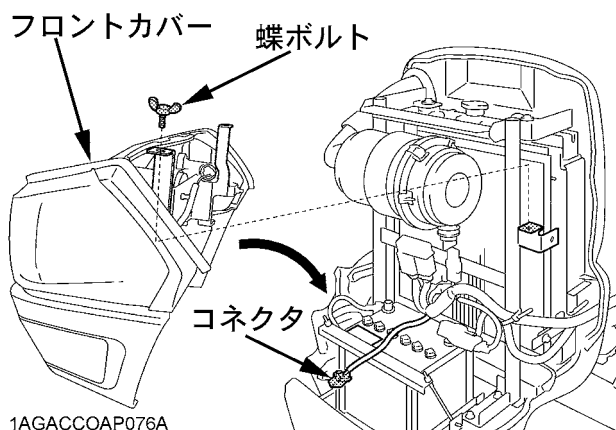
■ボンネットの開閉

注 意

* ボンネットを開き点検・調整するときは，必ずボンネット固定金具が［ロック］されたか確認してから作業をしてください。

◆ ボンネットの開け方

◆ ボンネットの閉め方

■サイドカバーの取り外し

両側のボルトを外し，上部へ引き上げてサイドカバーを外します。

■フロントカバーの取り外し

1. ヘッドライト用コネクタを外します。
2. 両側のボルトを外し，フロントカバーを外します。

日常点検

注 意

- **火気厳禁**
- **点検をするときは，必ず作業機を降ろしエンジンを停止してから行なってください。**
- **燃料・オイルがこぼれた場合は，きれいにふき取ってください。**
- **トラクタは常に清掃しておいてください。バッテリ，配線，マフラやエンジン周辺部にゴミや燃料の付着などがあると，火災の原因になります。**
- **運転中及び停止直後は，ラジエータの圧力キャップを絶対に開けないでください。熱湯が噴出してヤケドをすることがあります。**
- **エンジン周囲のカバー類を開けて点検・整備するときは，内部が十分に冷え，ヤケドのおそれがないことを確認してから行なってください。**

■前日の異常箇所

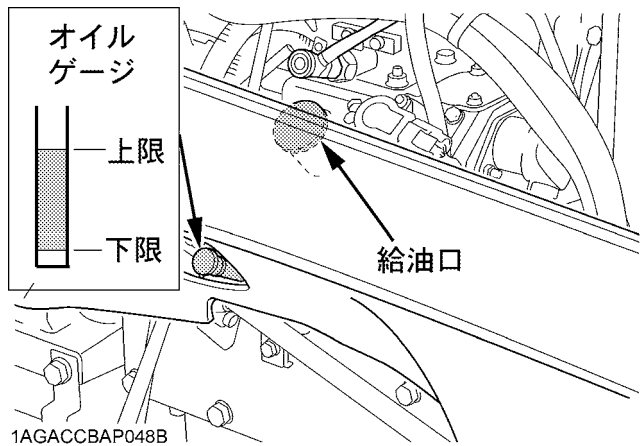
前日の作業中に異常を感じたところがあれば，使用前に支障がないか点検してください。

■トラクタの周りを歩いて

1. ボルトやナットのゆるみ及び作業機取付けピンの脱落
2. 車体各部の変形や損傷
3. 油や水もれなど異常がないか，点検してください。

■エンジンオイルの量及び汚れ

- **点検をするときは，必ずエンジンを止めてから行なってください。**

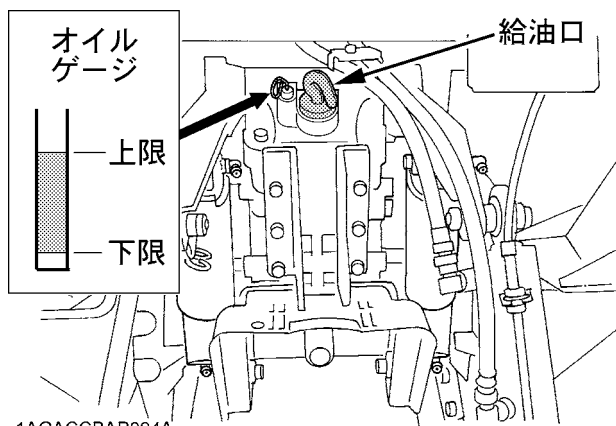
1. オイルゲージを抜いて先端をきれいにふき，差込んでから再び抜き **［下限と上限の間］** にオイルがあるかを調べます。
2. **［下限］** 以下の場合は補給してください。ただし，**［上限］** 以上には入れないでください。

重 要

- 点検するときは，トラクタを水平な場所に置いてください。傾いていると正確な量が示されません。
- オイル量はエンジン始動前か，エンジンを止めてから約５分以上たってから点検してください。そうでないと，オイルがまだエンジン各部に残っており正確なオイル量は測れません。

■ミッションオイルの量及び汚れ

注意

＊ 点検をするときは，必ずエンジンを止めてから行なってください。

1. オイルゲージを抜いて先端をきれいにふき，差込んでから再び抜き **［下限と上限の間］** にオイルがあるかを調べます。作業機（ロータリ）付の場合は，作業機（ロータリ）を下げて確認してください。
2. **［下限］** 以下の場合は補給してください。ただし，**［上限］** 以上には入れないでください。

1AGACCBAP084A

■冷却水の量

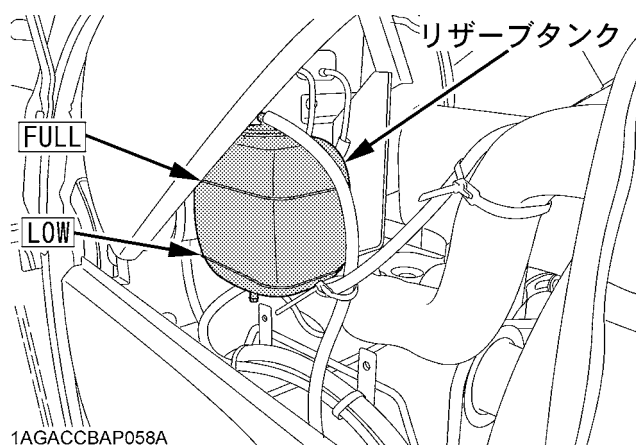
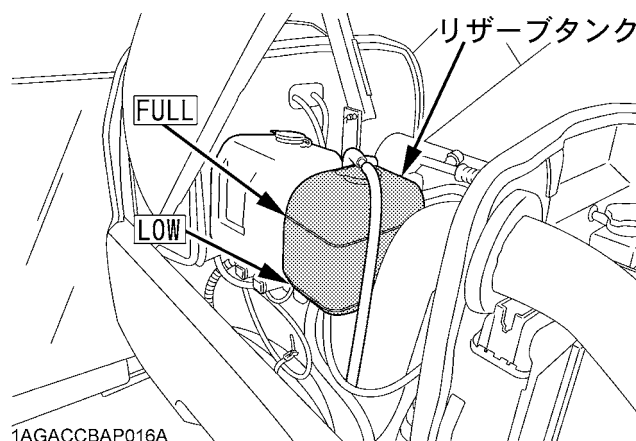
＊ ラジエータキャップは，エンジン運転中及び停止直後に開けると，熱湯が噴出しヤケドをすることがあります。停止後 30 分以上たって，冷えてから最初のストップ位置までキャップをゆっくり回し，余圧を抜いてからキャップを外してください。

ラジエータには，リザーブタンクが付いており，ラジエータ内の冷却水が少なくなると，リザーブタンクから自動的に補給される構造になっています。
冷却水の量はリザーブタンク内の量を点検してください。**［FULL から LOW の範囲］** であれば正常です。冷却水が LOW 以下の場合は，FULL のレベルまで補給してください。FULL 以上は入れないでください。

［安全フレーム仕様］

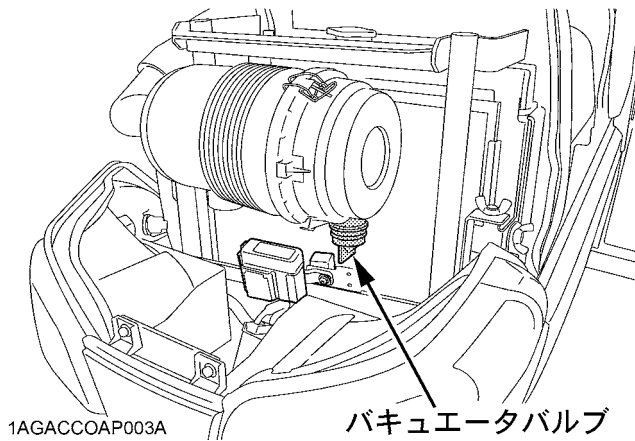
1AGACCBAP058A

［安全キャブ仕様］

1AGACCBAP016A

補　足

＊ ラジエータ本体のキャップは，冷却水点検及び交換するとき以外開けないでください。

■バキュエータバルブの清掃

バキュエータバルブを開き，ごみを取除いてください。水分があるときは，エアクリーナを掃除してください。

■ワイヤハーネス，バッテリ (+) コードの点検・交換

注　意

＊ 配線の端子や接続部のゆるみおよび配線の損傷は，電気部品の性能を損なうだけでなく，ショート（短絡）・漏電の原因になり，火災事故になるおそれがあり大変危険です。傷んだ配線は，早めに交換・修理してください。
ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は，針金などで代用せず，購入先に点検・整備を依頼してください。

＊ また，本機の配線は，防水性など充分考慮して配線してありますのでむやみに修理して使用せず，購入先に点検・整備を依頼してください。

＊ バッテリおよび電気配線の周辺部は，マフラやエンジン周辺部と同様，わらくず・ゴミ・燃料の付着があると火災の原因になるので，毎日作業前に清掃してください。

下記項目を点検してください。

1. 配線の損傷がないこと。配線被覆が破れているときは，購入先に点検・整備を依頼してください。
2. 配線のクランプのゆるみが無いこと。配線がクランプより外れているときは，所定のクランプに配線をセットしてください。
3. ターミナル（端子），カプラ（ソケット）の接続部のゆるみがないこと。
4. 各スイッチ，メータが確実に作動すること。

重　要

＊ 高圧洗車機などによる洗車の際には，メータパネル，ステアリングポスト周り，ポンパレバー，ホーンボタン周り，バッテリ，エンジン周りの電気配線・電装品（および電子油圧操作部）には，圧力水をかけないでください。電気部品の故障の原因になります。

＊ １年に１回は，購入先で定期点検を受けてください。

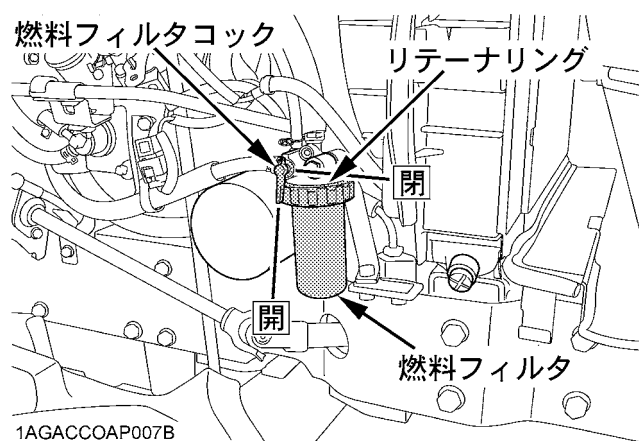
＊ スローブローヒューズの点検，交換は必ず購入先で行なってください。

■燃料フィルタの水，沈殿物の点検

燃料中に含まれる水・ごみがフィルタ内に沈殿します。水・ごみがたまったら燃料フィルタコックを閉じ，フィルタを外し，水・ごみを取除いてください。
このときは，必ず空気抜きをする必要があります。

1. 燃料フィルタコックを **[閉]** にしてください。
2. カップ上部のリテーナリングをゆるめてカップを外し，内部を軽油で洗浄します。

重　要

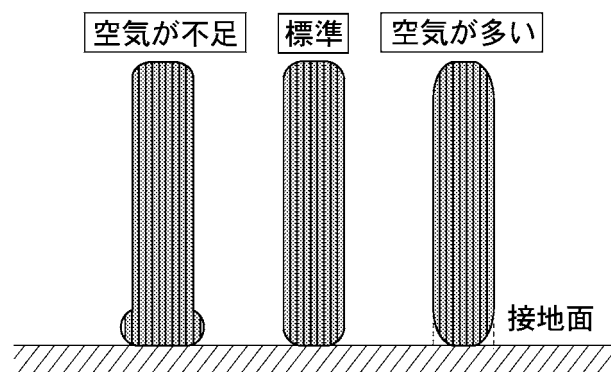
＊ 組付けるときは，チリやホコリが付着しないように注意しましょう。
＊ エレメントを交換したのちは，必ず空気が抜けたことを確かめた後，運転してください。（**[トラクタの簡単な手入れと処置]** の章の **[燃料の空気抜きのしかた]** の項を参照）

1AGACCOAP007B

■タイヤの空気圧，及び摩耗，損傷

警　告

＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり死傷事故を引起こす原因になります。
＊ タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
＊ タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

前輪・後輪の空気圧が適正であるかを調べます。外観から判断する目安はつぎのとおりです。

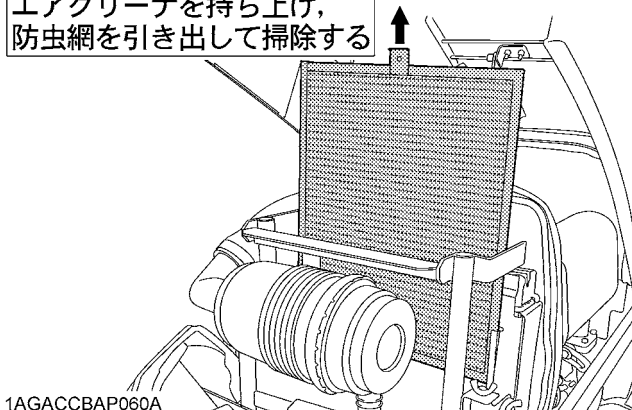
1AGAAAPAP007A

◆ 標準空気圧

［　］内はフロントローダ装着時

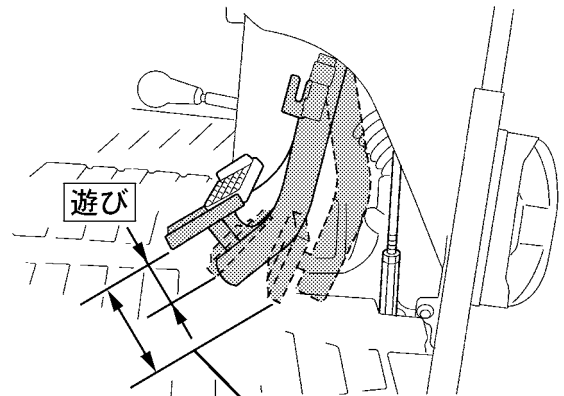
	空気圧 kPa(kgf/cm²)
前　輪	157(1.6) [196(2.0)]
後　輪	98(1.0)

■防虫網の清掃

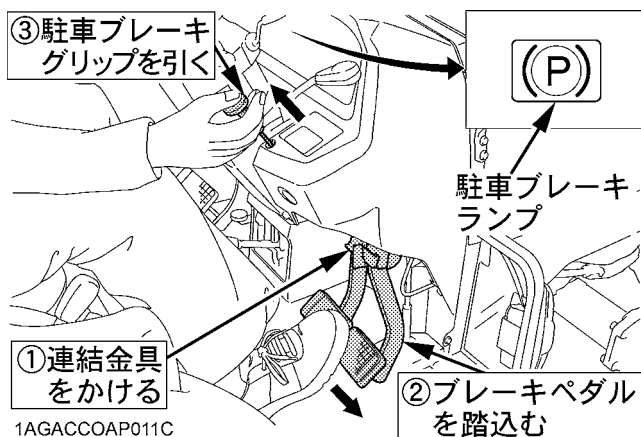
＊ エンジンを必ず停止して清掃してください。

水田や夜間作業に使用すると，防虫網に草の実や昆虫が付着し詰まることがあります。防虫網を引出し清掃してください。

■ブレーキペダルの遊び・点検

＊ ブレーキの調整が悪いと，人身事故にもつながります。常に作動状態に注意してください。

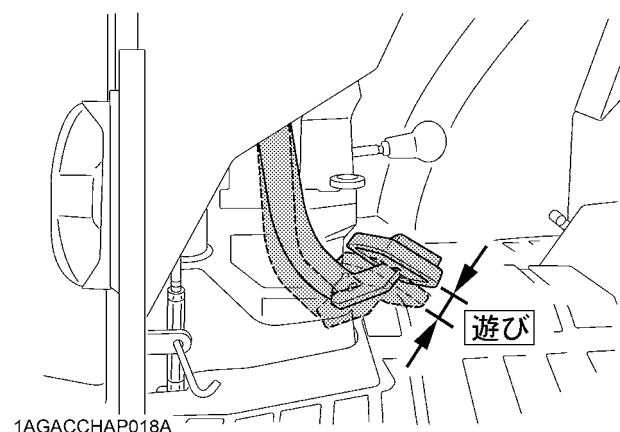
ペダルを踏んで遊び量が **［15 ～ 20mm］** かどうか，また左右ブレーキの踏込み量の差が **5mm以内** かどうかを調べます。
（**［トラクタの簡単な手入れと処置］** の章の **［100時間ごとの点検・整備］** の **［ブレーキペダルの点検・調整］** の項を参照）

■駐車ブレーキの作動点検

ブレーキペダルを左右連結して踏込み，グリップを［**引い**］たまま足をはなすと駐車ブレーキがかかります。キースイッチ［**入**］時，駐車ブレーキを掛けると，メータパネル内の（Ⓟ）ランプが点灯します。
外すときは，ペダルを踏込めば外れます。

1AGACCOAP011C

■クラッチペダルの遊び・点検

ペダルの遊び量が［**20 ～ 30mm**］あるか確認してください。
（［**トラクタの簡単な手入れと処置**］の章の［**100 時間ごとの点検・整備**］の［**クラッチペダルの点検・調整**］の項を参照）

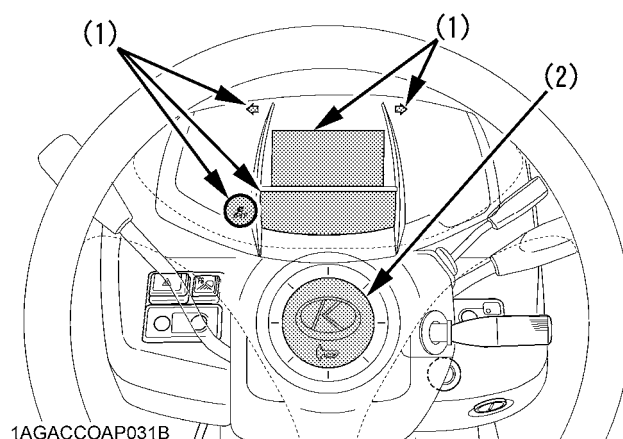
1AGACCHAP018A

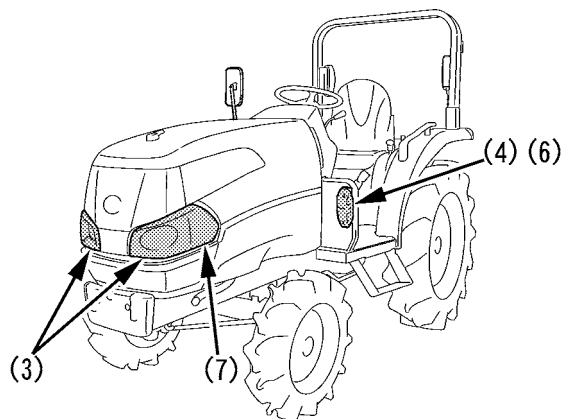
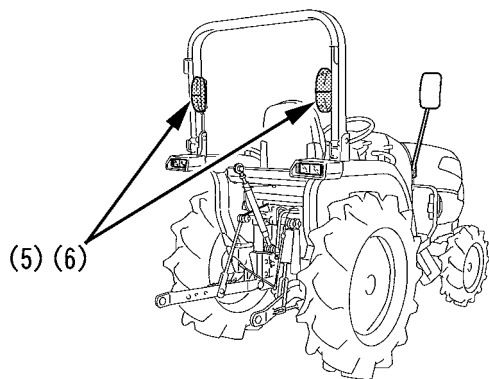
重　要

＊ クラッチの調整が悪いと，クラッチ切れ不良，すべりを起し損傷につながります。

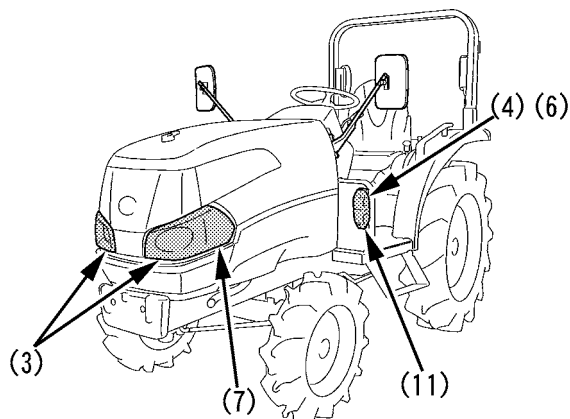
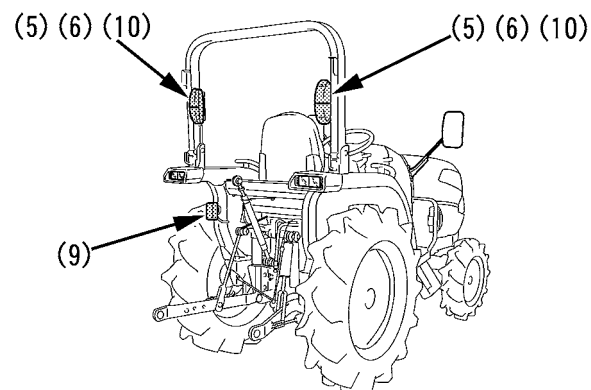
■メータ・ランプ類の作動

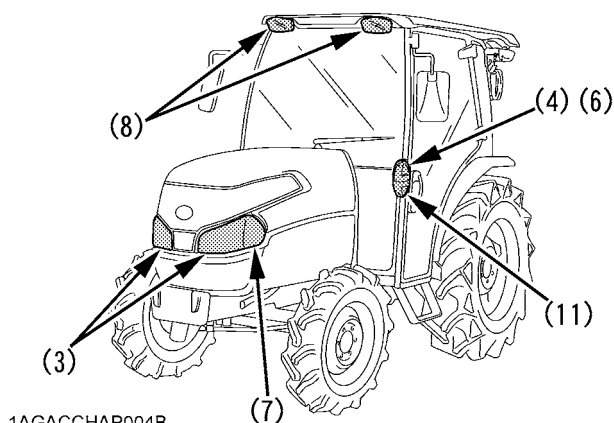
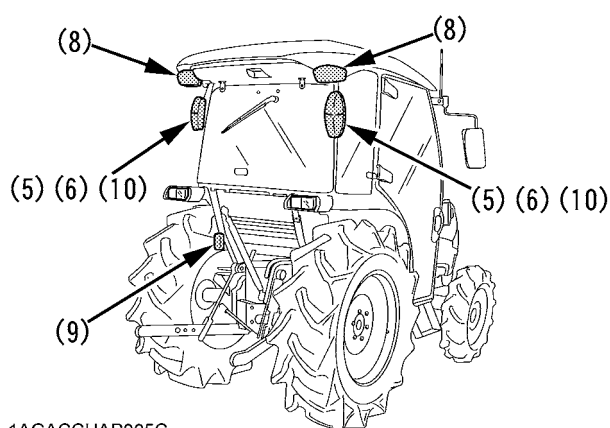
下記メータ及びランプ類が正しく作動するか点検してください。
(1) 電子メータ
(2) ホーン
(3) ヘッドライト
(4) ウインカ（前）
(5) ウインカ（後）
(6) ハザードランプ
(7) フロントサイド作業灯
(8) 作業灯

［KL24R・27R・31R・34R 安全キャブ仕様］
［KL24RH・27RH・31RH・34RH・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R(H)-PC］
(9) 後退灯
(10) 尾灯・制動灯
(11) 車幅灯

1AGACCOAP031B

◆ 安全フレーム仕様

[KL24R・27R・31R・34R]

1AGACCHAP027B

1AGACCHAP031F

[KL24RH・27RH・31RH・34RH・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R(H)-PC]

1AGACCHAP008B

1AGACCHAP009A

◆ 安全キャブ（ホイル）仕様

1AGACCHAP004B

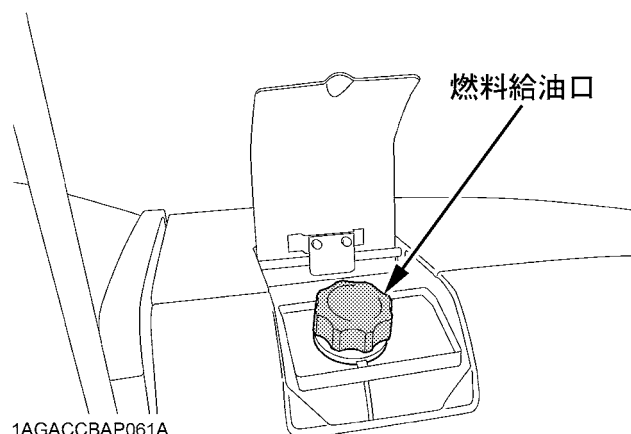
1AGACCHAP005C

■燃料の補給

＊ 燃料を補給するときは，エンジンを必ず停止してください。
＊ 火気厳禁。

燃料には，**［ディーゼル軽油］**を使用してください。
ディーゼル軽油には下表の種類があります。地域・季節に見合ったものを使用してください。

種　類	ディーゼル軽油の流動点（℃）
特１号	＋５以下
１　号	-2.5 以下
２　号	-7.5 以下
３　号	-20 以下
特３号	-30 以下

流動点付近以下の温度になると燃料の流動性が悪くなり，始動が困難になります。

1AGACCBAP061A

重　要

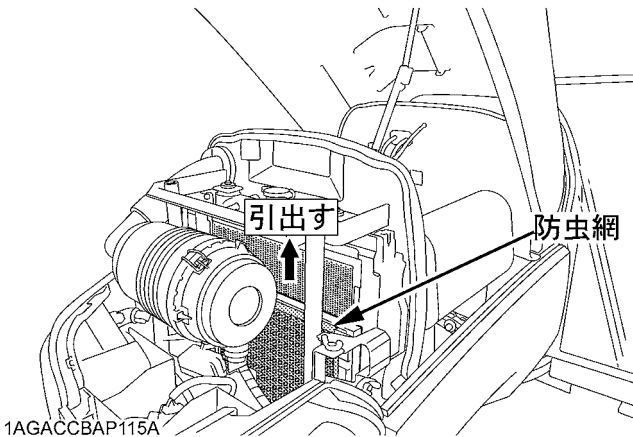
＊ 燃料中にごみや砂が混入していると，燃料噴射ポンプが作動不良になりますので，給油時はこし網を外さないでください。
＊ 燃料キャップの空気穴が土やごみでふさがれていないか点検してください。
＊ 燃料キャップが締まっているか確認してください。

■コンデンサ用防虫網の清掃

[安全キャブ仕様]

エアコン仕様では，ラジエータと同様にコンデンサの前にも防虫網があります。
防虫網を引出して，掃除してください。
また，防虫網を外したとき，ラジエータ，コンデンサ等のフィンにごみが詰まっていれば，エアブロー又は水道水などで取除いてください。

重　要

＊ 防虫網は金属製ですので，バッテリの（＋）端子に触れないように特に注意してください。
＊ 高圧洗車機を使用する場合には，コンデンサのフィンを損傷させないように，注意してください。

■エンジンの始動確認

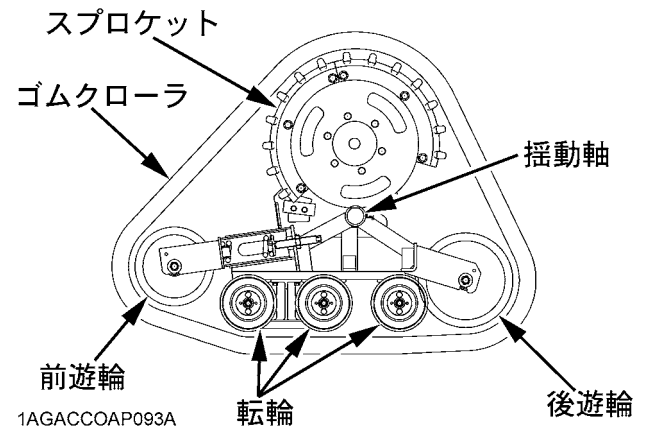
エンジンを始動し，かかり具合，異音がないかを確認してください。

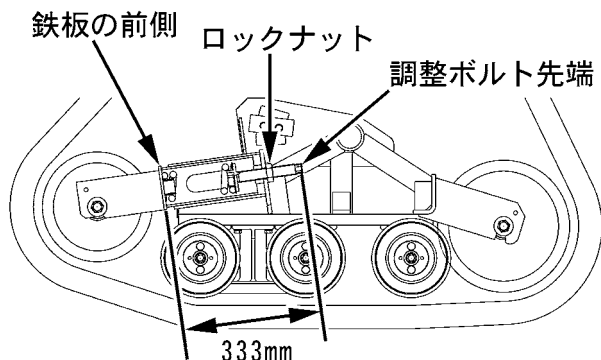
アクセルペダルを操作し，加速・減速がスムーズか確認してください。

日常点検（パワクロ仕様のみ）

メンテナンスを行なうことで，パワクロ機の寿命アップと当用期のトラブルを未然に防ぐことができます。下表に従ってメンテナンスを実施してください。

■日常点検箇所一覧

点検箇所	点検内容
転輪	● グリースアップを適宜行なってください。（目安：30 時間使用ごと及びシーズン終了後） ● 草の巻付き，石のかみこみ，泥の付着はありませんか。
遊輪	● 極端な摩耗，偏摩耗はしていませんか。 ● グリースアップを適宜行なってください。（目安：30 時間使用ごと及びシーズン終了後）
スプロケット	● 草の巻付き，石のかみこみ，泥の付着はありませんか。
ゴムクローラ	● クローラに大きな損傷はありませんか。 ● クローラの張りは適正ですか。
揺動軸部	● グリースアップを適宜行なってください。（目安：30 時間使用ごと及びシーズン終了後）

■ゴムクローラの張り調整

1. ゴムクローラがゆるんだままで使用すると，走行中にクローラが外れるおそれがありますので，定期的に点検を行なってください。
2. ゴムクローラの張りの調整は，調整ボルトにて行なってください。調整後は確実にロックナットで固定してください。
3. ゴムクローラの張り調整は，図に示す寸法を333mm にしてください。

1AGACCOAP092A

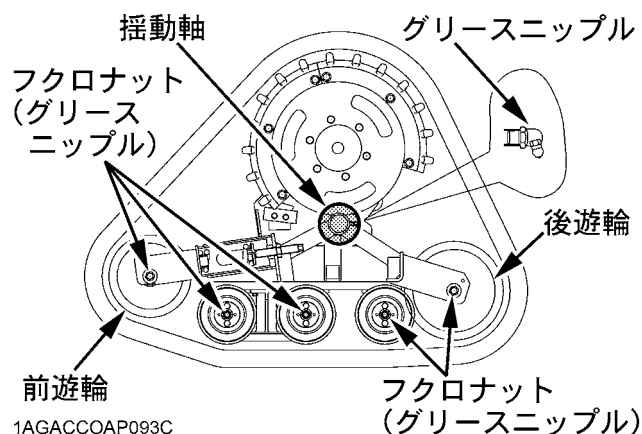
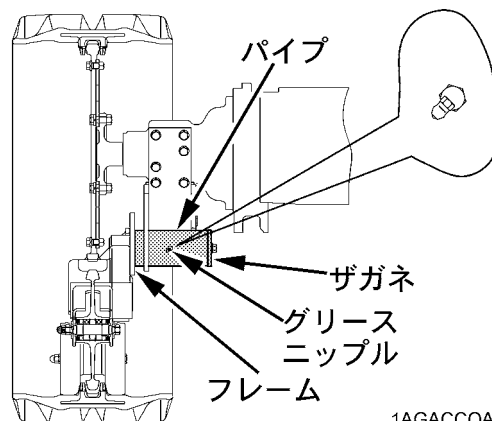
30 時間ごとの点検・整備

■グリースの注入

代かき作業などで泥水の中に入ったときは，1日の作業が終ったあと必ずグリースアップをしておきましょう。グリースは，**［クボタ推奨グリース］**を使用してください。

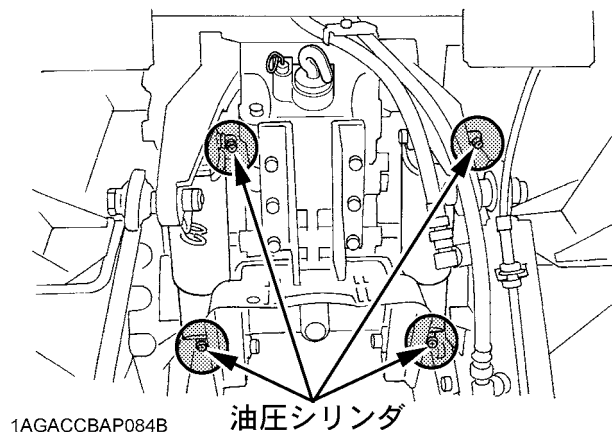
［KL26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R(H)-PC］

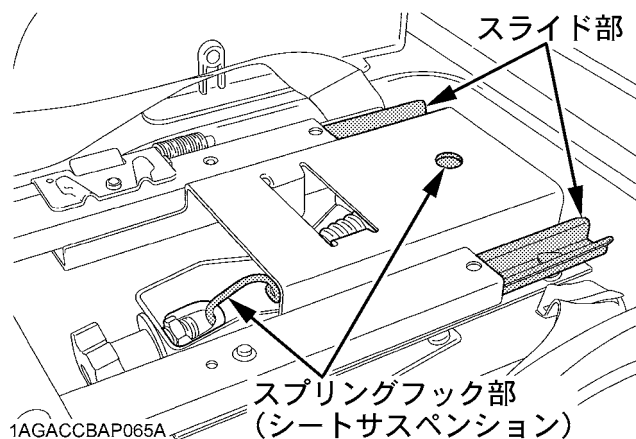
グリースの注入は，パイプとフレームあるいはパイプとザガネのすきまからグリースが出るまで行なってください。

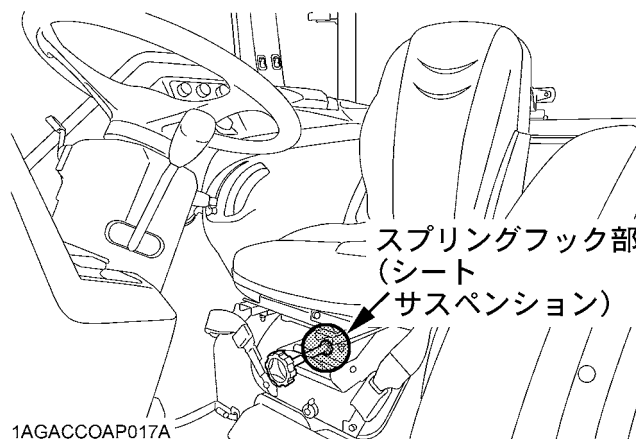
転輪及び遊輪部はフクロナットを外すとグリースニップルがあります。

1AGACCOAP093C

1AGACCOAP091A

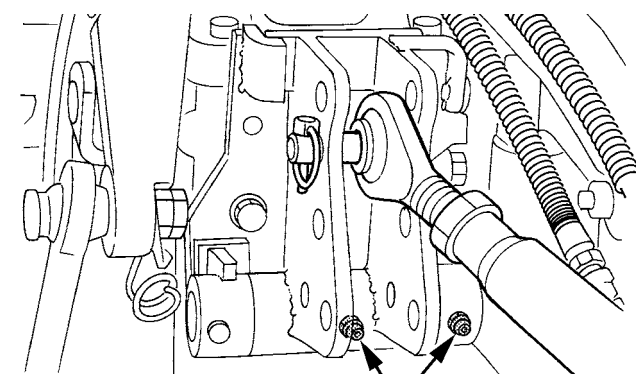
50 時間ごとの点検・整備

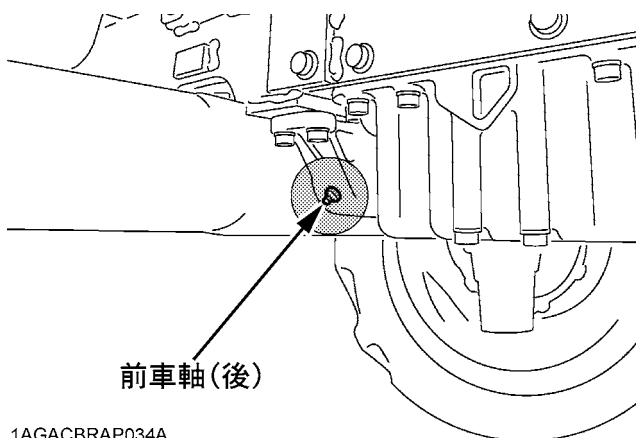
■グリースの注入

代かき作業などで泥水の中に入ったときは，１日の作業が終ったあと必ずグリースアップをしておきましょう。グリースは，**［クボタ推奨グリース］**を使用してください。

1AGACCBAP084B

［安全フレーム仕様］
［KL24R (H) ・27R (H) 安全キャブ仕様］

1AGACCBAP065A

［KL31R (H) ・34R (H) ・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R (H) -PC 安全キャブ仕様］

1AGACCOAP017A

［MAD 仕様］

1AGACBRAP007B

［KL26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R (H) -PC］
グリースがにじみ出てくるまでグリースを注入してください。

1AGACBRAP034A

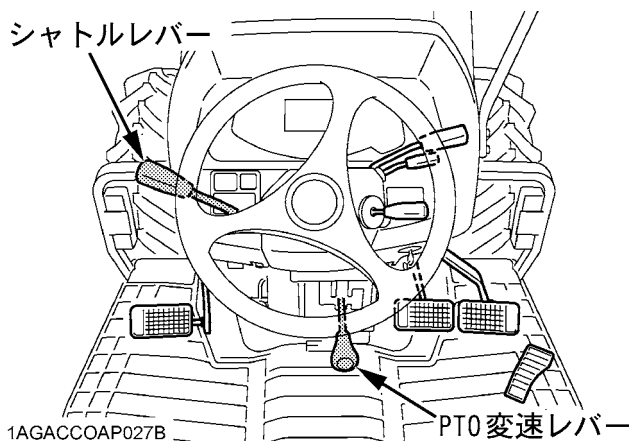
■エンジン始動システムの点検

注　意

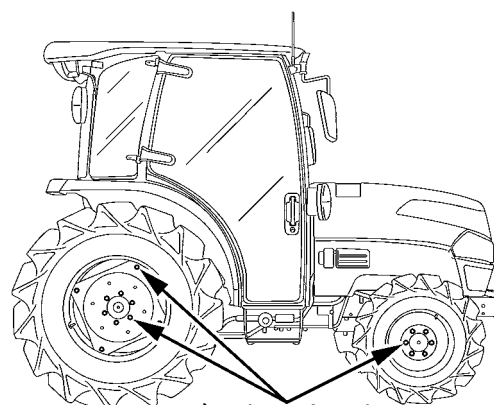
＊ 点検中，トラクタに人を近づけないようにしてください。
＊ 装置に異常があれば必ず整備をした後，ご使用ください。

◆ 点検

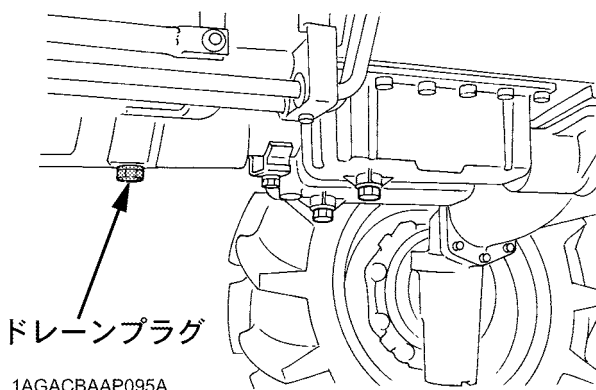
1. 運転席に座り，主変速，シャトル及びPTO変速レバーを **［中立］（N）** 又はPTOスイッチを **［切］**（**N仕様**）にします。
2. 駐車ブレーキを掛け，エンジンを停止します。
3. アクセルレバーを **［最低速］** 位置にします。
4. クラッチペダルを一杯踏込み，キースイッチを瞬時 **［始動］** 位置に回します。
このとき，エンジンが回れば正常です。
5. 次に，クラッチペダルを一杯踏込んだままシャトルレバーを **［前進］** 又は **［後進］** に入れ，PTO変速レバーを **［各変速段］**（**一方が中立（N）の場合も含む**）又はあんしんPTOスイッチを **［入］**（**N仕様**）に入れ，キースイッチを瞬時 **［始動］** 位置に回します。
このとき，エンジンが回らなければ正常です。
6. もし，不良の場合は，購入先へご相談ください。

1AGACCOAP027B

■タイヤ取付けボルトの点検

＊ タイヤ取付けボルトやナットがゆるんだ状態でトラクタを運転しないでください。ゆるんだまま走行すると，傷害事故を引起こすおそれがあります。

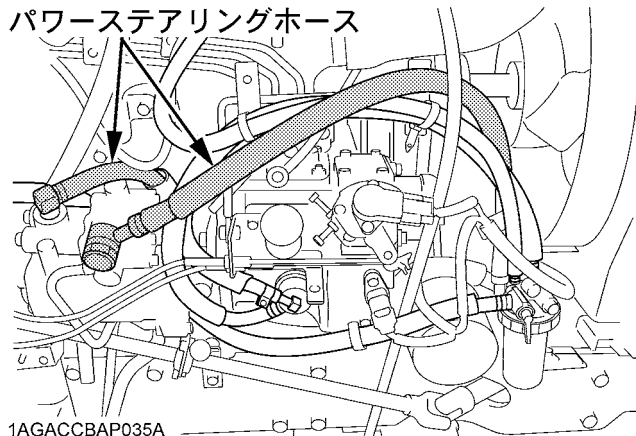
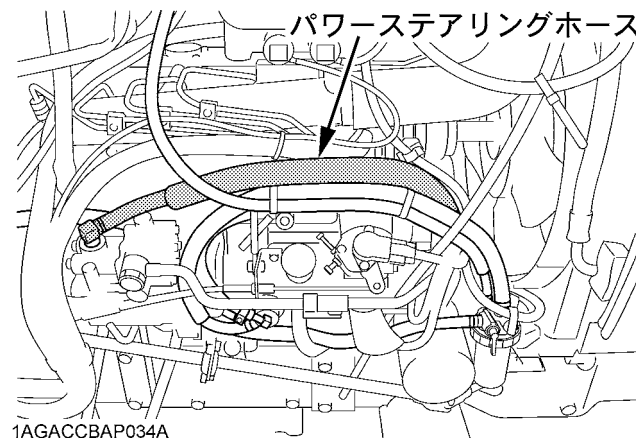
1AGACCHAP007B

■クラッチハウジングの水抜き

代かき作業・洗車・雨降りなどで，クラッチハウジングに多量の水がかかった場合，又は50時間使用ごとにクラッチハウジング底のドレーンプラグを外して，水の浸入がないことを確認してください。もし水が入っていれば，完全に抜いて，内部をよく乾燥してください。

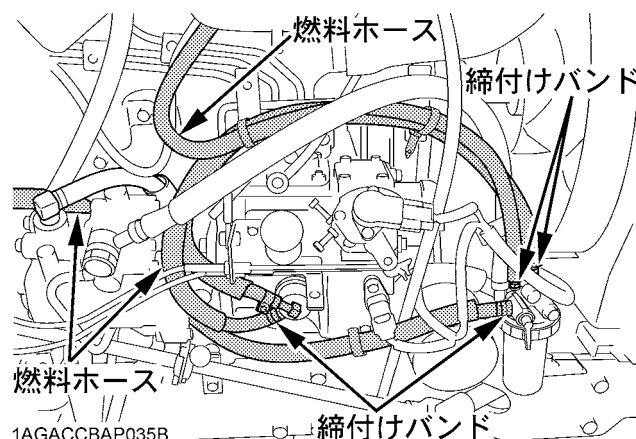
1AGACBAAP095A

■パワーステアリングホースの点検

> **注 意**
>
> **＊ ホースの傷みは，必ず点検しましょう。ホースが破損しハンドル操作ができなくなり，傷害事故を引起こすおそれがあります。**

パワーステアリングホースは，使わなくても劣化する消耗品です。２年ごとに又はいたんだときには新品と交換する必要があります。
ホースがいたんでいないか常に注意してください。
交換する場合は，購入先で交換及び点検をしてもらってください。

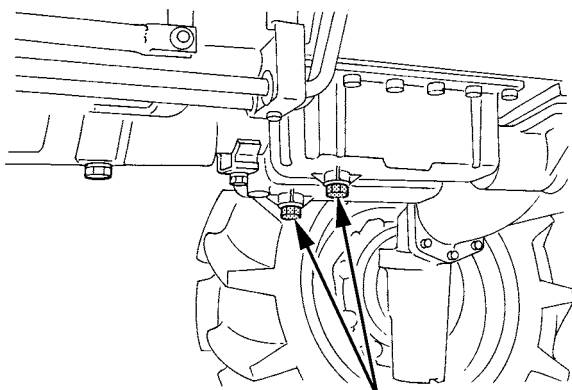
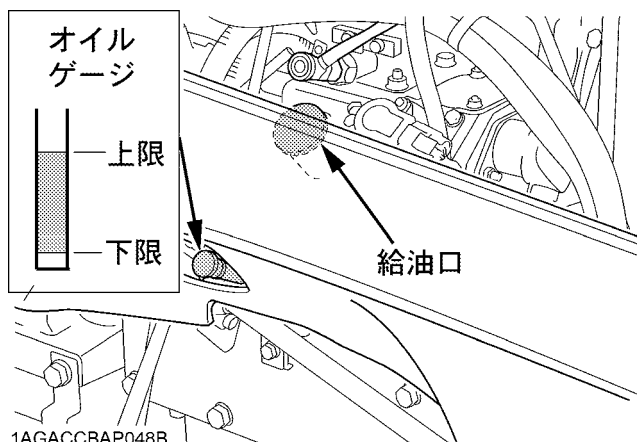
［KL24R・27R・31R・34R マニュアルシフト仕様］

［KL24R (H)・27R (H)・31R (H)・34R (H)・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R (H) -PC U シフト仕様］

■燃料ホースの点検

> **注 意**
>
> **＊ ホース類の傷みや締付けバンドのゆるみは，必ず点検してください。異常があれば交換・整備を行なってください。燃料もれなどによる火災や傷害事故などの原因になります。**

燃料ホースなどのゴム製品は，使わなくても劣化する消耗品です。締付けバンドと共に２年ごとに又はいたんだときには新品と交換する必要があります。
ホース類や締付けバンドがゆるんだり，いたんでいないか常に注意してください。
交換する場合は，購入先で交換及び点検をしてもらってください。

100 時間ごとの点検・整備

■エンジンオイルの交換

＊ 交換をするときは，必ずエンジンを止めてじゅうぶん冷えてから行なってください。ヤケドのおそれがあります。

1. ドレーンプラグ（左右共）を外してオイルを排出します。このときオイルが暖まっている方が排出しやすくなります。ただしヤケドに注意してください。

2. ドレーンプラグ（左右共）を締めます。
3. エンジンオイルを給油口から，規定量まで入れてください。このときオイルをこぼさないように注意してください。オイルゲージを外しておくと給油がしやすくなります。

重 要

＊ 今まで使用していたオイルと異なるメーカ，あるいは粘度 No. の異なるものを使用する場合は，オイルを全部排出してから，新しいオイルと交換してください。注ぎ足し使用は絶対しないでください。
＊ オイルはクボタ純オイルを使用してください。

D10W-30 又はスーパー CD D10W-30 又は スーパー CF D10W-30

＊ D30 は 15 ℃以下では使用しないでください。
＊ 点検するときは，トラクタを水平な場所に置いてください。傾いていると正確な量が示されません。
＊ オイル量はエンジン始動前か，エンジンを止めてから約５分以上たってから点検してください。そうでないと，オイルがまだエンジン各部に残っており正確なオイル量は測れません。

■エンジンの排気の状態

エンジンを始動し，排気色に異常がないか確認してください。
（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［エンジンの不調と処置］**の項を参照）

■エキゾーストパイプ及びマフラの状態

エキゾーストパイプ，マフラに破損，取付ボルトのゆるみなどがないか確認してください。
排気音に異常がないか確認してください。

■バッテリ電解液の点検

危険

バッテリには補水不要な MF（メンテナンスフリー）バッテリと補水が必要な開放型バッテリの２種類があります。補水が必要なバッテリについては，以下の事を守ってください。

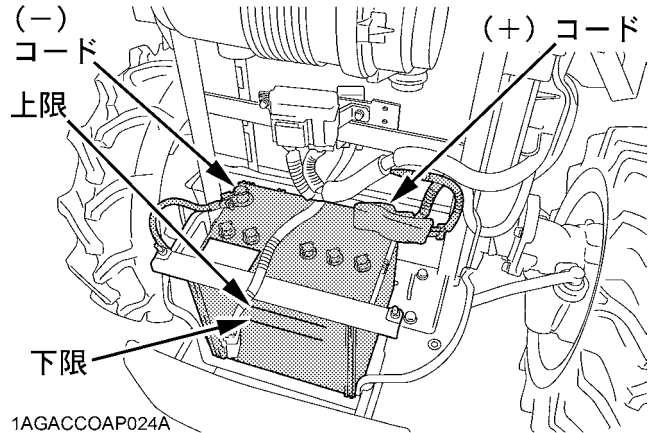
- **＊ バッテリは液面が LOWER（最低液面線）以下になったままで使用や充電をしないでください。LOWER 以下で使用を続けると電池内部の部位の劣化が促進され，バッテリの寿命を縮めるばかりでなく，爆発の原因になることがあります。すぐに UPPER LEVEL と LOWER LEVEL の間に補水してください。**

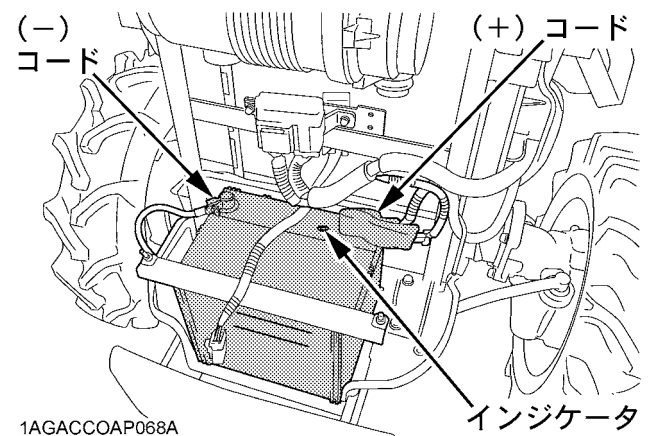
警告

- **＊ バッテリ液は希硫酸なので扱いには十分注意し，身体や衣服に付けないようにしてください。もし付着した場合は，すぐに水で洗い流してください。状況により医師の診断を受けてください。**
- **＊ バッテリの点検及び取外し時は，エンジンを必ず停止し，キースイッチを［切］位置にしておいてください。**
- **＊ バッテリを取外すときは，短絡（ショート）事故を防ぐため，最初にバッテリ（－）コードを外し，接続するときは，最後にバッテリ（－）コードを接続してください。**
- **＊ バッテリを充電しているときは，タバコを吸ったり火を近づけないでください。バッテリは充電中，可燃性ガスが発生し，引火爆発のおそれがあります。**

◆ バッテリ液の点検

［開放型バッテリ］

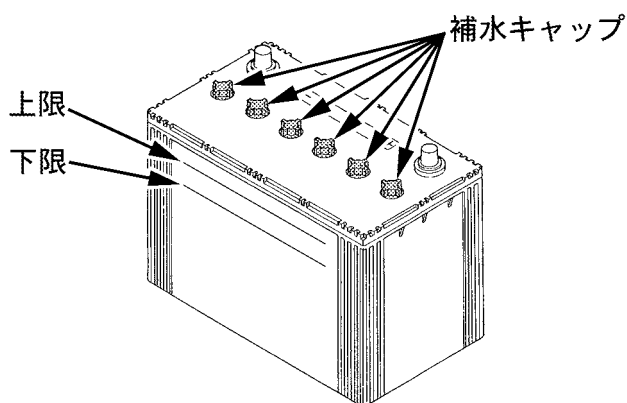
バッテリ側面の２本線間（レベル）に液面があるか点検してください。少ないときは上限の線（レベル）まで蒸留水を補給してください。

［MF（メンテナンスフリー）バッテリ］

MF（メンテナンスフリー）バッテリは，開放型バッテリに比べ，液の減り具合がきわめて少なくなっています。上面にインジケータがあり，その表示状態により補充電又は，交換してください。

◆ インジケータの見方

インジケータ表示状態	緑	電解液比重，電解液量共に良好です。
	黒	要充電です。 6 ～ 7A の普通充電電流で補充充電を行なってください。
	白	交換が必要です。

◆ **補水のしかた**

[開放型バッテリ]

1. バッテリ上ふたの補水キャップを外します。
2. ６個の補水穴から蒸留水を均一に上限の線（レベル）まで補水します。
3. キャップを元の穴にねじ込みます。

◆ **バッテリの取付け，取外し**

＊ バッテリを取外すときは，バッテリ（－）コードを最初に外し，次に（＋）コードを外してください。

＊ 取付けるときは，必ず（＋）側から取付けます。逆にすると，工具が当たった場合にショートします。

重　要

＊ バッテリ液が不足するとバッテリをいため，多過ぎると液がこぼれて車体の金属部を腐食させます。

＊ 新品のバッテリと交換する場合には必ず指定した型式のバッテリを使用してください。

トラクタ	バッテリ型式
KL24R(H)・27R(H)・26R-PC・28R-PC	75D23R
KL31R(H)・34R(H)・31R-PC・34R(H)-PC	80D26R 又は 85D26R

＊ バッテリを外し，再度取付けるときにはバッテリの（＋），（－）のコードを元どおりに配線し，まわりに接触しないように締付けてください。

◆ **補充電のしかた**

＊ バッテリを充電しているときは，タバコを吸ったり火を近づけないでください。バッテリは充電中，可燃性ガスが発生し，引火爆発のおそれがあります。

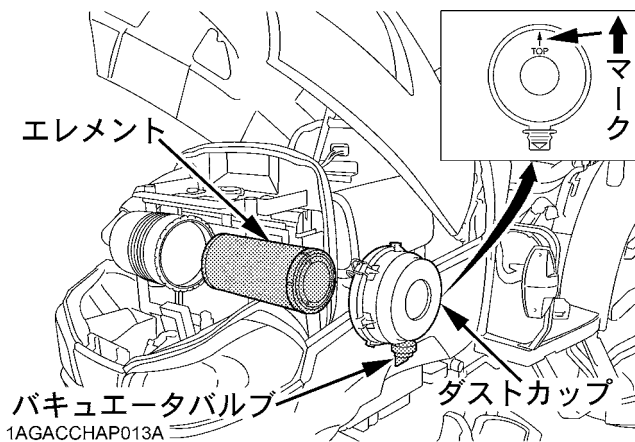
1. バッテリは必ず車体から取外して充電してください。電装品の損傷のほかに配線などをいためることがあります。なお急速充電は行なわないでください。
2. バッテリコードを接続するときは，（＋）と（－）をまちがえないようにしてください。まちがえるとバッテリと電気系統が故障します。
3. 充電は，バッテリの（＋）を充電器の（＋）に，バッテリの（－）を充電器の（－）にそれぞれ接続して，普通の充電法で行なってください。コードの接続をまちがえないように注意してください。

■エアクリーナエレメントの清掃

◆ エレメントの清掃

乾いたちりやほこりの場合は，エレメントをいためないように注意しながら，エアで吹き飛ばしてください。（エアの圧力は 205kPa（2.1kgf/㎠）を越えないように注意し，ノズルとエレメントの間は適当にあけてください。）
エレメントがカーボンや油分で汚れている場合は，中性洗浄剤をご使用ください。

◆ エレメントの交換

エレメントの交換は１年間使用後，又は６回掃除ごとに交換が必要です。

重　要

＊ エレメントは，清掃・交換以外は不必要にさわらないでください。
＊ 乾式エレメントを使用していますので，オイルを使用しないでください。
＊ 清掃時，エレメントをたたいて変形させないでください。変形するとほこりがエンジンに侵入し，エンジンを損傷することがあります。変形したときは，すぐに新しいエレメントと交換してください。
＊ ダストカップの（⬆ マーク）を必ず上向きになるように取付けてください。

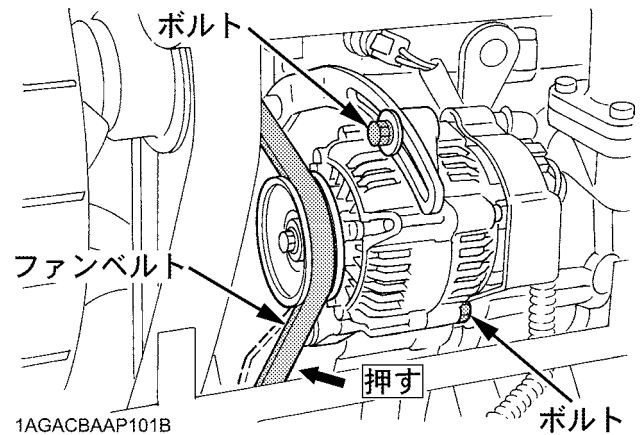
◆ バキュエータバルブの清掃

バキュエータバルブを開き，大きなごみを取除いてください。

■ファンベルトの点検・調整

適正張り強さ	ベルトの中央部を指先で約 69N（７ kgf）の力で押さえて，約 12mm たわむ程度

◆ 調整方法

1. オルタネータを取付けているボルトをゆるめて，オルタネータを動かして調整します。
2. 調整後はボルトを確実に締付けてください。

重　要

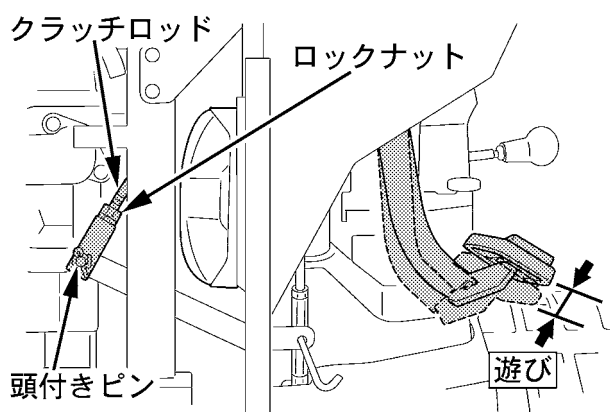
＊ ベルトの張りがゆるいと，オーバヒートや充電不足の原因になります。
＊ き裂やはがれがあれば交換してください。

■クラッチペダルの点検・調整

適正遊び量	ペダルで 20 ～ 30mm

◆ **調整方法**

1. ロックナットをゆるめ頭付きピンを外してクラッチロッドで，ペダルの遊びを調整します。
2. 調整後はロックナットを確実に締付け，更に割ピンは確実に折り曲げてください。

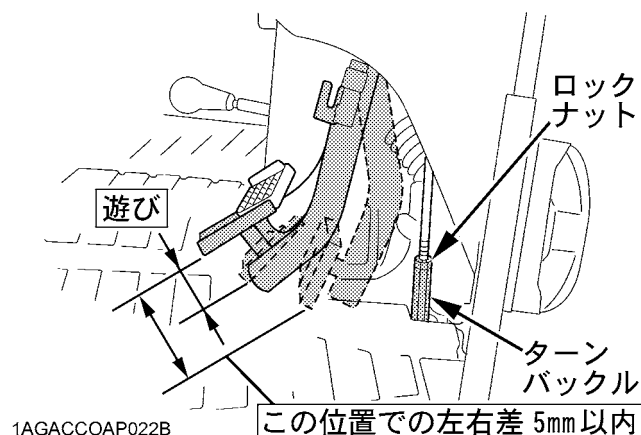
重　要

＊ クラッチの調整が悪いと，クラッチ切れ不良，スリップを起こし損傷につながります。

■ブレーキペダルの点検・調整

＊ 点検・調整をするときは，必ずエンジンを止めて行なってください。
＊ ブレーキの調整が悪いと，人身事故にもつながります。常に作動状態に注意してください。
＊ 調整時左右のペダルの踏込み量の差を必ず［5 mm 以内］にしてください。差が大きいとブレーキが片ぎきになります。ブレーキが片ぎきになると，傷害事故を引起こすおそれがあります。

適正遊び量	ペダルで 15 ～ 20mm

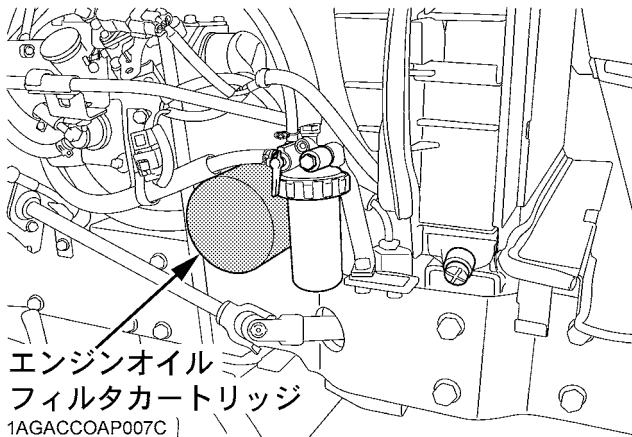
◆ **調整方法**

1. 駐車ブレーキを解除します。
2. ロックナットをゆるめターンバックルを回して，ペダルの遊びを調整します。調整後はロックナットを確実に締付けてください。
3. ブレーキペダルを踏込んだとき，駐車ブレーキレバーが確実に作動するか確認してください。

200 時間ごとの点検・整備

■エンジンオイルフィルタカートリッジの交換

注 意

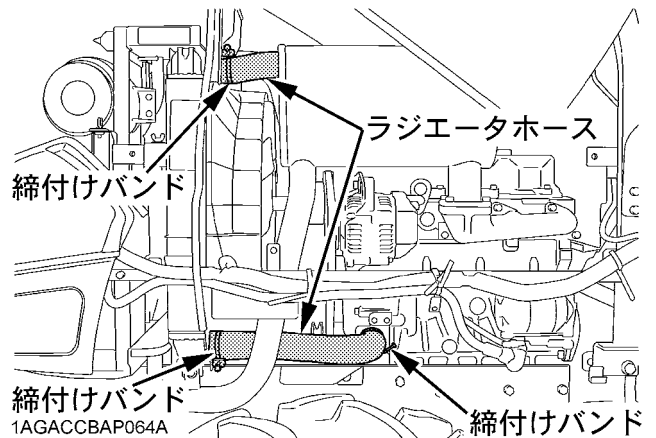
＊ 交換をするときは，必ずエンジンを止めてじゅうぶん冷えてから行なってください。ヤケドのおそれがあります。

1. フィルタレンチでフィルタを取外します。
2. 新しいカートリッジのＯリングにオイルを薄く塗布してから，フィルタレンチを使用せず手で確実に締付けます。
3. エンジンオイルを規定量まで補給します。
4. 約５分間運転し，オイルランプの作動に異常がないか又，油もれがないか確認してからエンジンを止めます。
5. 再びオイルゲージで油量を確認し，不足していれば補給してください。

補 足

＊ オイルフィルタは，カートリッジタイプです。このオイルフィルタが詰まると，バイパスバルブが作動して，オイル系統からこのオイルフィルタを通らずに送油されるので，ろ過されないオイルで潤滑が行なわれます。これを防ぐため，オイルフィルタの詰まりがないように，規定時間で，新しい純正部品のカートリッジと交換してください。

■ラジエータホースの点検

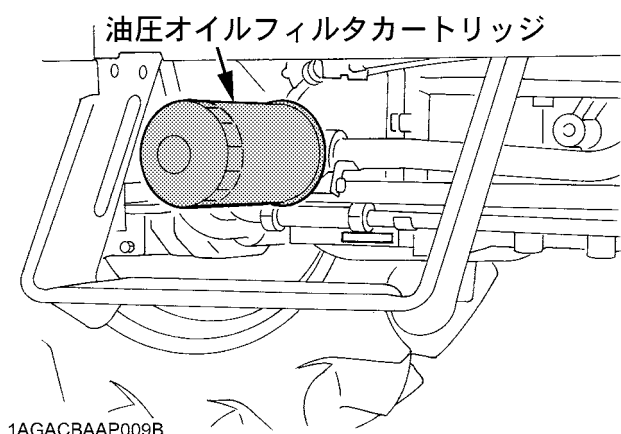
＊ ラジエータホースの傷みや締付けバンドのゆるみがないか点検してください。異常があれば交換・整備を行なってください。熱湯もれによるヤケドなどの原因になります。

ラジエータホースなどのゴム製品は，使わなくても劣化する消耗品です。締付けバンドと共に２年ごとに又はいたんだときには新品と交換する必要があります。
交換する場合は，購入先で交換及び点検をしてもらってください。

■油圧オイルフィルタカートリッジの交換

＊ 交換するときは，必ずエンジンを止めて十分冷えてから行なってください。ヤケドのおそれがあります。

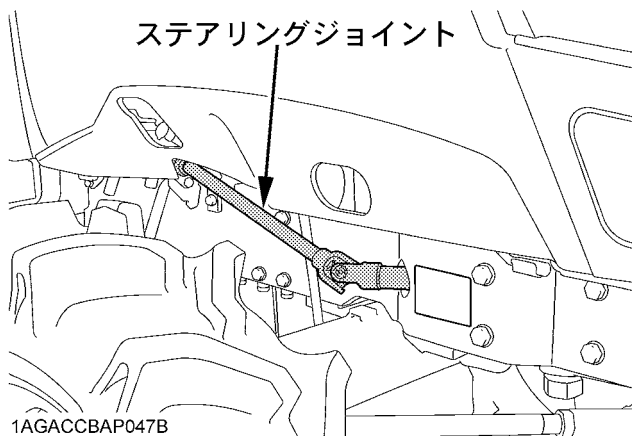
目次
困ったときには
安全
サービスと保証
小特の取扱い
運転のしかた
作業のしかた
安全キャブ装備品の取扱い
トラクタの簡単な手入れと処置
付表
索引

純正部品のカートリッジと交換してください。

1AGACBAAP009B

1. ミッションオイルを抜きます。
2. フィルタレンチでフィルタを取外します。
3. 新しいカートリッジのＯリングにオイルを薄く塗布してから，フィルタレンチを使用せず手で確実に締付けます。
4. ミッションオイルを規定量まで補給します。
5. 約２分間運転し，作業機の昇降に異常がないか確認し，作業機（ロータリなど）を下げてからエンジンを止めます。
6. 再びオイルゲージで油面を確認し，不足していれば補給してください。
（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［400 時間ごとの点検・整備］**の**［ミッションオイルの交換］**の項を参照）

■ステアリングジョイント部の点検

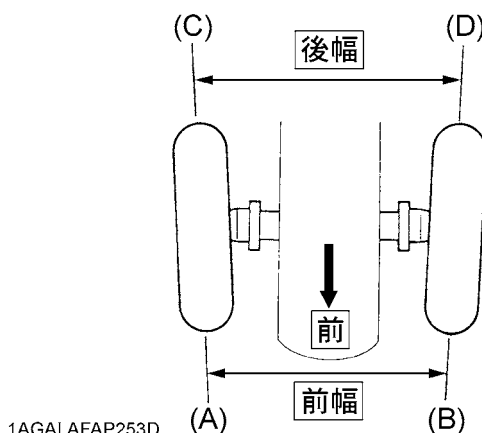
エンジンを停止して，ステアリングジョイントを手でさわって，ステアリングジョイントにガタや変形がないか点検してください。
もし，異常があれば購入先へ点検整備依頼してください。

1AGACCBAP047B

■トーイン調整・タイロッドの点検

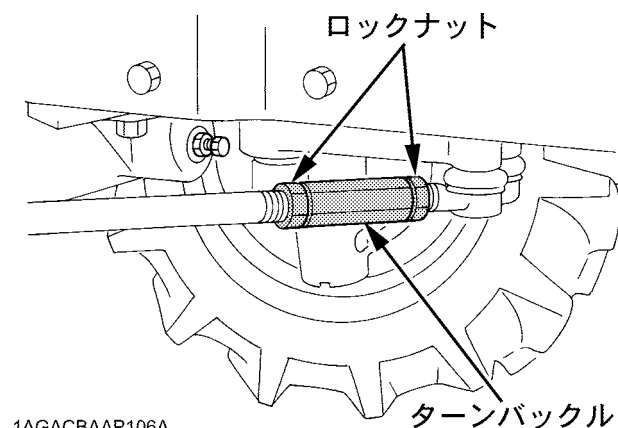
＊ **トーインの調整が悪いと，ハンドルを取られたり，異常に振れることがあります。**

◆ 点検

前輪の前幅（A）（B）と後幅（C）（D）を測り，
（C）（D）－（A）（B）＝２～８ mm
になっているかを調べます。

1AGALAFAP253D

◆ 調整方法

1. ロックナットをゆるめ，ターンバックルを回して（C）（D）－（A）（B）＝２～８ mm
になるように調整します。
2. 調整後はロックナットを確実に締付けてください。

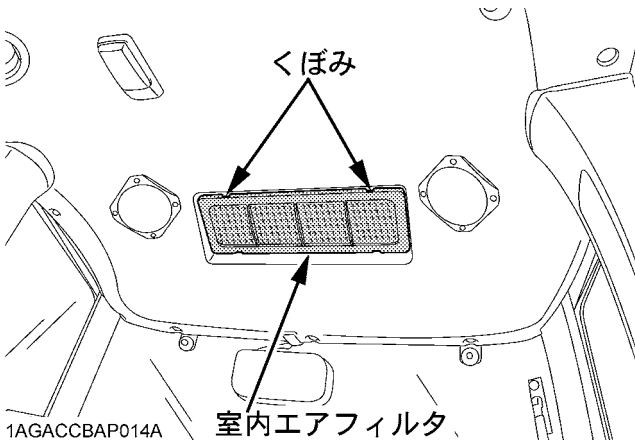
1AGACBAAP106A

補　足

＊ トーインの点検・調整時，タイロッドエンド（関節球）やリンクに摩耗や変形がないか調べてください。
＊ 標準空気圧で，トーインの点検・調整を行なってください。

以下は安全キャブ仕様のみの点検項目です。

■室内エアフィルタの清掃

フィルタが目詰まりするとエアコンの効率が低下します。フィルタの網目を損傷させないように清掃をしてください。

1AGACCBAP014A

◆ 室内エアフィルタの取付け，取外し

● **「外し方」**

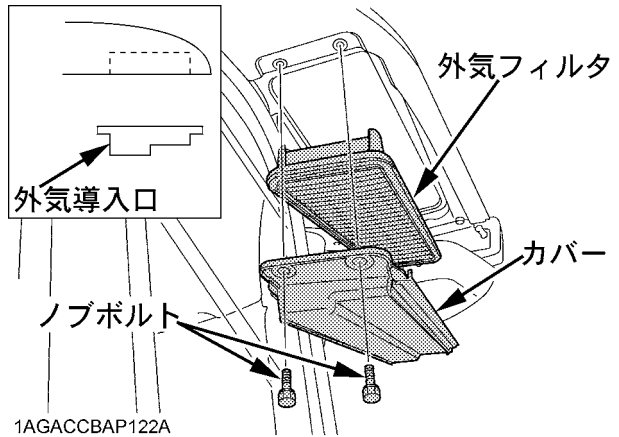
室内エアフィルタのくぼみを矢印方向に押さえながら外します。

● **「取付け方」**

差込むとワンタッチで取付けできます。

■外気フィルタの清掃

ノブボルトを外し，カバーとフィルタをいっしょに外します。

1AGACCBAP122A

補　足

＊ カバーの空気導入口を内側に向けて組付けてください。

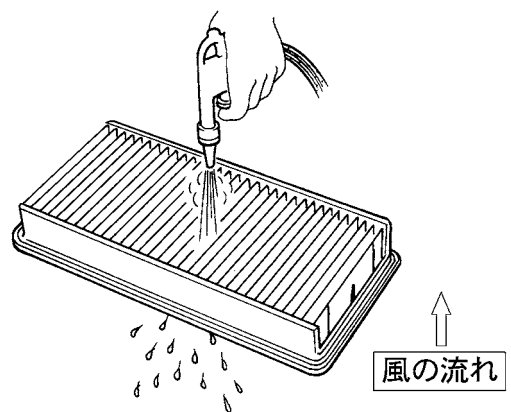
◆ 清掃法

● **「通常」**

風の流れ方向の逆方向よりエアブローしてください。

重　要

＊ エレメントをたたかないでください。
エレメントが変形すると，エアコンユニットにほこりが浸入し，エアコンを損傷する場合があります。

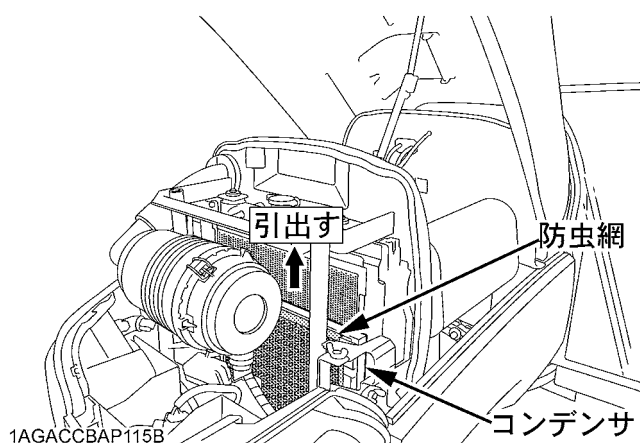
1AGALAFAP314B

● 「汚れが著しいとき」
家庭用中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて上下左右に動かしながら洗浄し，清水でよくすすいだ後，完全に自然乾燥させてください。

重　要
＊ 洗浄にガソリン，シンナなどを使用しないでください。

■エアコンコンデンサの詰まり

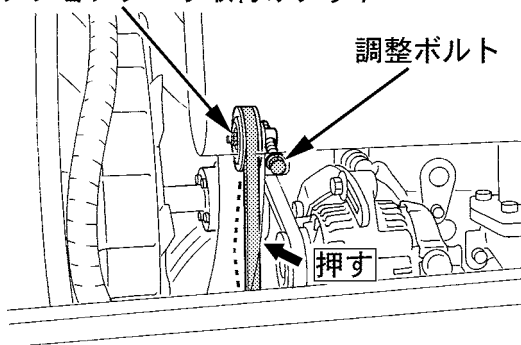
＊ 点検をするときは，必ずエンジンを止めてから行なってください。

防虫網を引出してコンデンサフィンにごみが詰まっていればエアブロー又は水道水などで取除いてください。

1AGACCBAP115B

■エアコンベルトの張り

＊ 点検をするときは，必ずエンジンを止めてから行なってください。

適正張り強さ	ベルトの中央部を指先で約98N(10kgf) の力で押さえて，約10～12mm たわむ程度

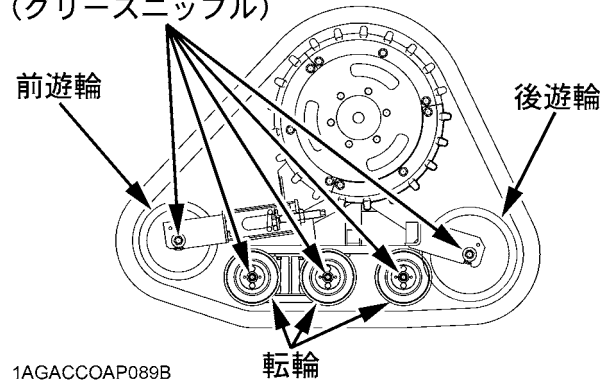
◆ **調整方法**
テンションプーリ取付けナットをゆるめ，調整ボルトで張ります。

1AGACBAAP111A

■転輪・遊輪のオイルシール点検

[パワクロ仕様]

クローラの転輪・遊輪のオイルシールは，200時間ごとに点検・チェックの上，異常があれば交換してください。

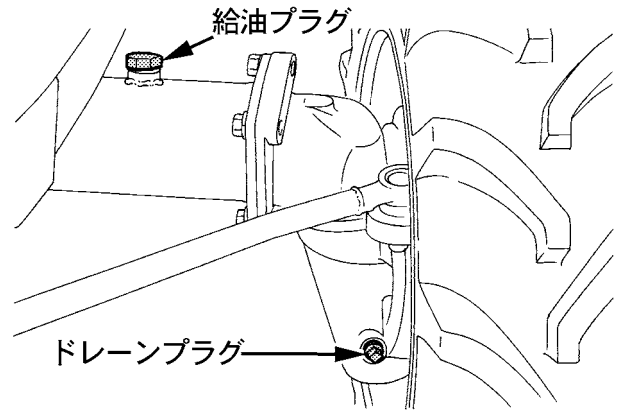
転輪・遊輪部のグリース注入は，フクロナットを外すとグリースニップルがあります。パイプとフレームあるいは，パイプとザガネのすきまからグリースが出るまで行なってください。

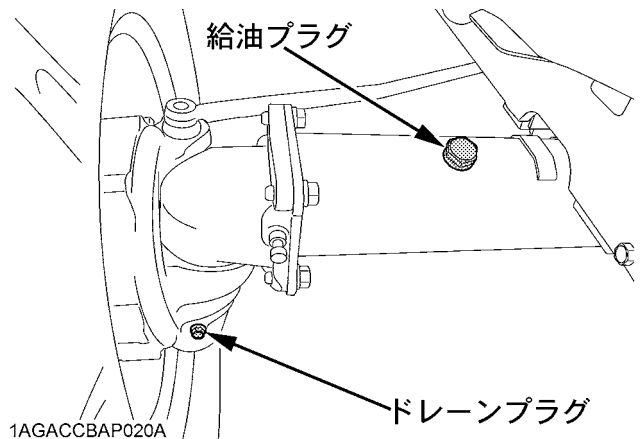
（**[トラクタの簡単な手入れと処置]** の章の **[給油（水）一覧表]** の項を参照）

1AGACCOAP089B

300 時間ごとの点検・整備

■前車軸ケースオイルの交換

1. 給油プラグとドレーンプラグを外してオイルを排出します。

[KL24R (H)]

1AGACBAAP112F

[KL27R (H) ・31R (H) ・34R (H) ・26R-PC・28R-PC・31R-PC ・ 34R (H) -PC]

1AGACCBAP020A

2. ドレーンプラグを締めます。
3. ミッションオイルを給油口から，規定量入れてください。

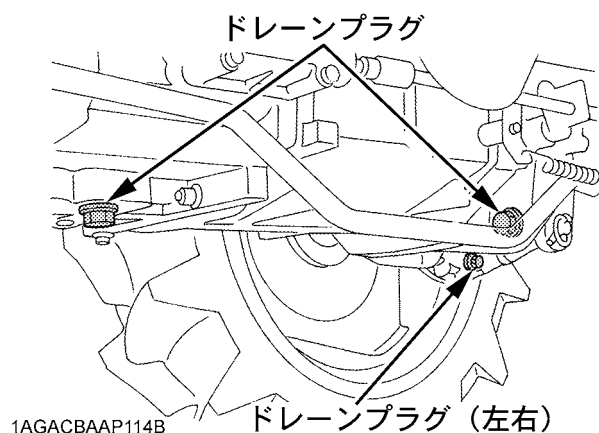
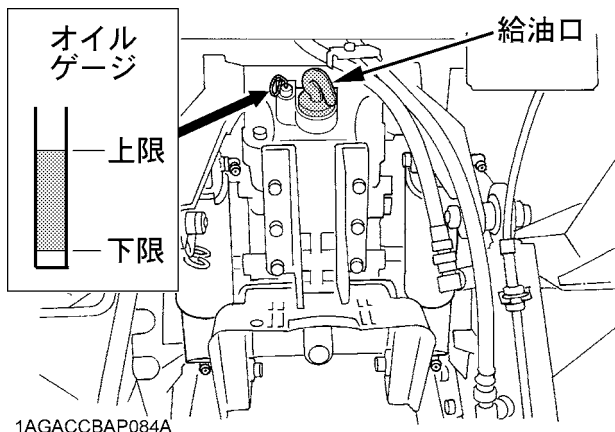
補　足

＊ 給油プラグを外さないと空気が入らないので，オイルの排出に時間がかかります。

400時間ごとの点検・整備

■ミッションオイルの交換

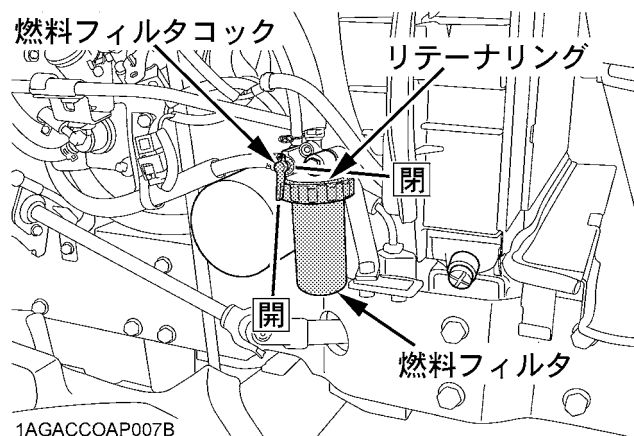
＊ 交換をするときは，必ずエンジンを止めてじゅうぶん冷えてから行なってください。ヤケドのおそれがあります。

1. 給油プラグとドレーンプラグを外してオイルを抜きます。

2. ドレーンプラグを締めます。
3. ミッションオイルを給油口から，規定量入れてください。

4. エンジンを始動して２～３分運転してから止め，再度油量を点検して規定量まで補給してください。
5. 一度オイルゲージの油をふき取り再びオイルゲージで油面を確認し，不足していれば補給します。作業機（ロータリ）付の場合は，作業機（ロータリ）を下げて確認してください。

■燃料フィルタエレメントの清掃・交換

1. 燃料フィルタコックを**［閉］**にしてください。
2. カップ上部のリテーナリングをゆるめてカップを外し，内部を軽油で洗浄します。
3. 新しいフィルタエレメントと交換します。

重　要

＊ 組付けるときは，チリやホコリが付着しないように注意しましょう。
＊ エレメント交換後は，必ず空気抜きをしてください。（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［燃料の空気抜きのしかた］**の項を参照）

600 時間ごとの点検・整備

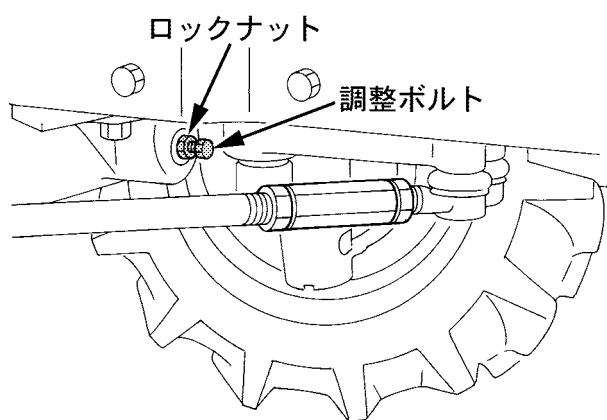
■前部デフケース前後遊びの調整

前部デフケース支持部の調整が悪いと，前輪が著しく振れたり，ハンドルに振動が伝わってきます。

◆ 点検

前後方向のガタを点検し，ガタがあれば調整します。

◆ 調整

前輪タイヤ（両輪）を持上げて，ロックナットをゆるめ，調整ボルトを締込みガタを調整します。

800 時間ごとの点検・整備

■エンジンバルブクリアランスの点検

購入先で点検及び調整をしてもらってください。

1 年ごとの点検・整備

■エアクリーナエレメントの交換

エレメントの交換は 1 年間使用後，又は 6 回掃除ごとに交換が必要です。
（**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［100 時間ごとの点検・整備］**の**［エアクリーナエレメントの清掃］**の項を参照。）

■ヒータ配管，ウォータホースの点検

各配管及びホースの損傷を点検してください。
損傷があれば，購入先で交換してください。

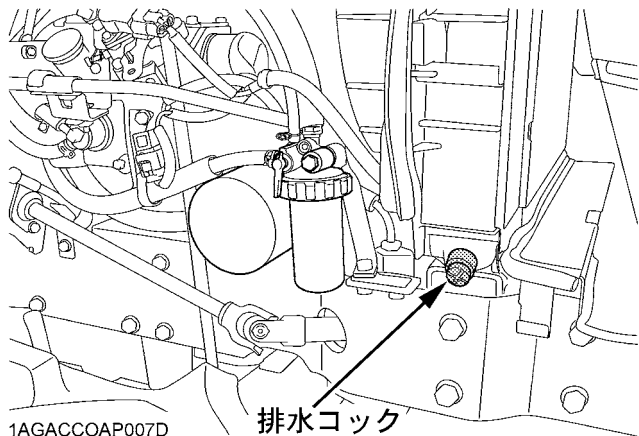
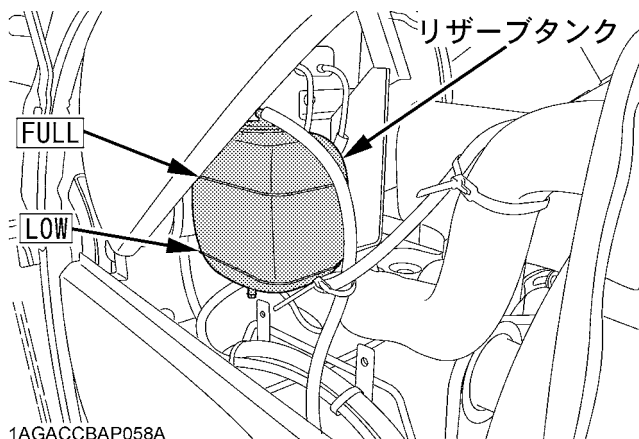
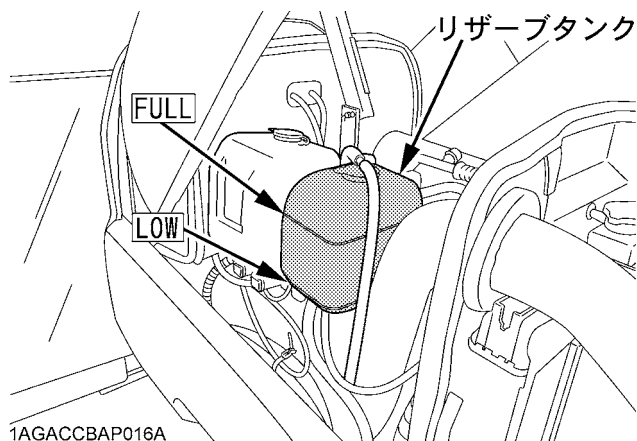
■エアコン配管，ホースの点検

各配管及びホースの損傷を点検してください。
損傷があれば，購入先で交換してください。

2年ごとの点検・整備

■冷却水の交換

＊ ラジエータキャップは，エンジン運転中及び停止直後に開けると，熱湯が噴出しヤケドをすることがあります。停止後 30 分以上たって，冷えてから最初のストップ位置までキャップをゆっくり回し，余圧を抜いてからキャップを外してください。

1. ラジエータ下側の排水コックとラジエータキャップを開き，冷却水を全部出します。
2. リザーブタンクの排水は，ラジエータキャップのオーバフローパイプを外し排水します。

[安全フレーム仕様]

[安全キャブ仕様]

3. 水道の水でラジエータ内を洗浄し，排水コックを締めオーバフローパイプを取付けます。
4. ラジエータ及びリザーブタンクに冷却水を注入したのち，ラジエータキャップを確実に締めてください。
5. 安全キャブ仕様はヒータに冷却水が循環するため，冷却水が約 1L 多く必要となります。
   冷却水を交換した場合，冷却水をリザーブタンクの注入口まで一杯にし，ヒータ **[ON]**（温度コントロールつまみを右に回す）にして，しばらくエンジンを回し，冷却水を暖め，エンジンを止めてください。
   冷却水が冷えると，リザーブタンクの冷却水が吸いこまれ，リザーブタンクの冷却水が適量になります。

◆ **不凍液の使い方**

不凍液は水の凍結温度を下げる効果をもっており，冷却水凍結によるシリンダやラジエータの損傷を防ぎます。冬期気温が０℃以下になるようなときは，必ず不凍液（ロングライフクーラント）を清水と混合しラジエータ及びリザーブタンクに補給するか又は，冷却水を完全に排水してください。〔工場出荷時は，不凍液（ロングライフクーラント）が入っています。〕

重　要

＊ 冷却水には，不凍液（ロングライフクーラント）を 50% 入れ，よく水と混ぜ合せてからお使いください。
＊ 不凍液の混合比を誤ると，冬期には冷却水の凍結，夏期にはオーバヒートの原因になります。
＊ 不凍液を使用する場合は，ラジエータ保浄剤を投入しないでください。不凍液には防錆剤が入っていますので，保浄剤を混入すると沈積物が生成することがあり，エンジン部品に悪影響を与えます。
＊ クボタ不凍液（ロングライフクーラント）の有効使用期間は２年間です。必ず２年で交換してください。

不凍液の保証不凍結温度

原液混合比％	15	20	25	30	35	40	45	50	55
保証不凍結温度℃	-5	-8	-11.5	-15	-20	-25	-30	-35	-43

■ラジエータの洗浄

洗浄には，ラジエータ洗浄剤を使用すれば，水アカなどきれいに洗浄できます。
＊ ２年使用ごと
＊ 不凍液を混入するとき
＊ 不凍液混入から水だけに変えるときなどに使用してください。

■ラジエータホースの交換

■パワーステアリングホースの交換

■燃料ホースの交換

■メインシリンダホースの交換

■モンローシリンダホースの交換

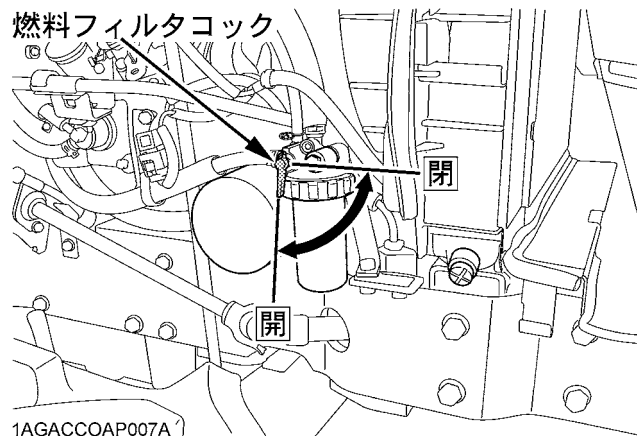
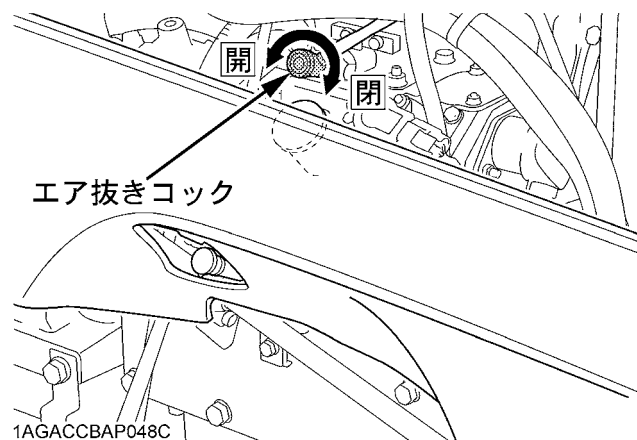
購入先で点検及び交換をしてもらってください。

必要に応じた点検・整備

■燃料の空気抜きのしかた

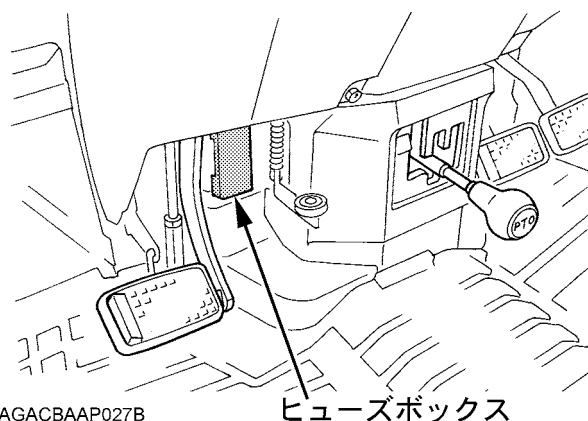
燃料の空気抜きは，次のようなときに行なう必要があります。

- 燃料フィルタ及び配管を取外したとき
- 燃料切れが起きたとき
- トラクタを長時間使用しなかったとき

1. 燃料フィルタコックを［開］にする。

2. 燃料噴射ポンプ上のコックを［開］く。

3. タンクに燃料を満たす。
4. エンジンを始動し，約１分間運転後停止する。
5. 燃料噴射ポンプのコックを閉じる。

補　足

＊ 空気抜きするときのほかは燃料噴射ポンプのコックは，必ず閉じておいてください。エンストの原因になります。

■ヒューズの交換

1. ヒューズボックスのふたを外す。
2. ヒューズを外す。
3. 切れたものと同容量のヒューズと交換する。

重　要

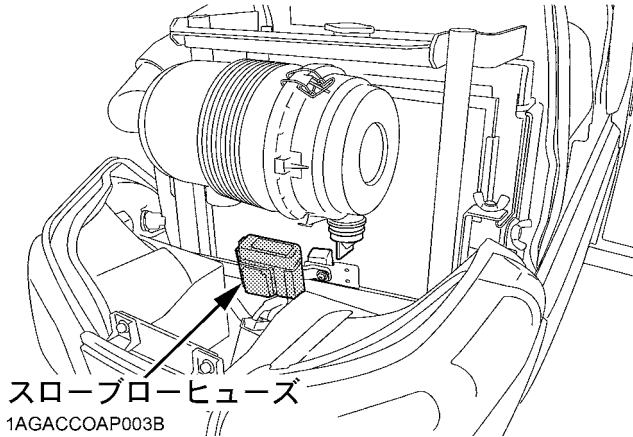
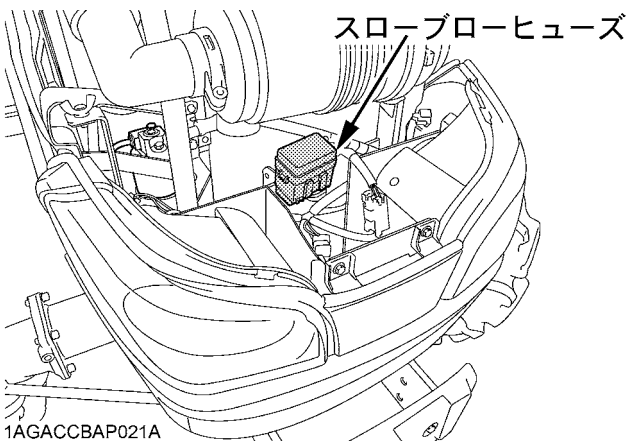
＊ ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は，針金や銀紙などで代用せず，購入先で点検，修理してください。

補　足

＊ トラクタに作業灯などを取付けるときの電源取出しは，購入先にご相談ください。

■スローブローヒューズの交換

スローブローヒューズは，配線を保護するためのものです。もし切れた場合は，購入先で点検，修理してください。

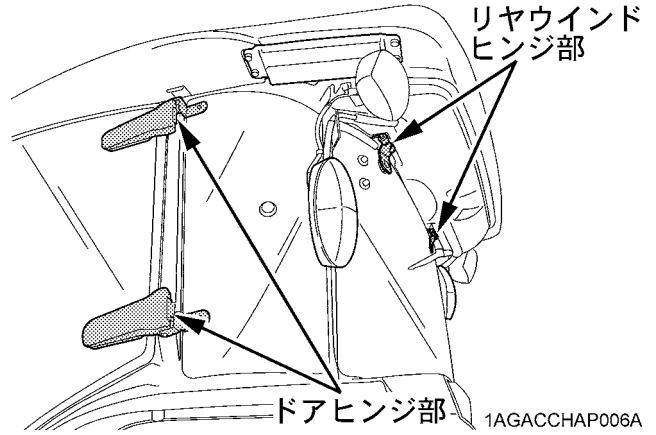
[安全フレーム仕様]

[安全キャブ仕様]

■ランプ類の交換

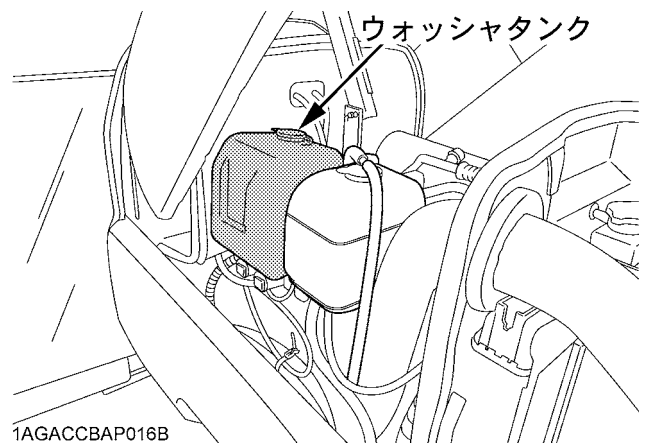
1. ヘッドライトは，ライトのボディ後部からバルブを取出して交換します。
   交換後はゴムカバーを確実に取付けしてください。
2. その他のランプはレンズを外し，バルブを交換します。

■ホーン接点のグリース塗布

ハンドルのホーン接点用グリースが切れると，ハンドルを回したときに音が鳴ります。もし音が鳴っている場合は，購入先で点検及びグリースを塗布してもらってください。

以下は安全キャブ仕様のみの点検項目です。

■注油

■ウォッシャ液の補充

自動車用ウォッシャ液を適量補充してください。

重　要

＊ 凍結を避けるため，清水のみの使用はしないでください。
＊ 空回しはポンプを損傷させる原因になりますので空運転をしないでください。
＊ ウォッシャノズルの詰まりを防ぐために，ごみが入らないようにしてください。

■冷媒（ガス）量の点検

冷媒が不足するとエアコンの冷えが悪くなります。
下記要領で点検し，冷媒が不足しているときは，購入先で点検及び充てんをしてもらってください。

◆ 点検方法

1. エアコンを以下の条件で運転します。

＊ ドアの全開
＊ 周囲の空気温度　　　　：30 ～ 35 ℃
＊ エンジン回転数　　　　：約 1500rpm
＊ 温度コントロールつまみ：最強冷位置（左端）
＊ ファンスイッチ　　　　：最強風（右端）
＊ 内外気切換えスイッチ　：内気循環（ランプ点灯）
＊ エアコンスイッチ　　　：入（ランプ点灯）

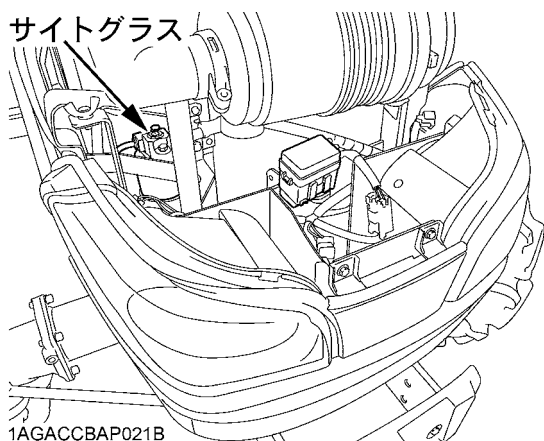
2. サイトグラスにより，冷凍サイクルを流れている冷媒の状態を確認する。

1AGACCBAP021B

適正…流れの中にほとんど気泡が含まれていない。

不足…流れの中に気泡が含まれている。
（気泡が連続的に通過）

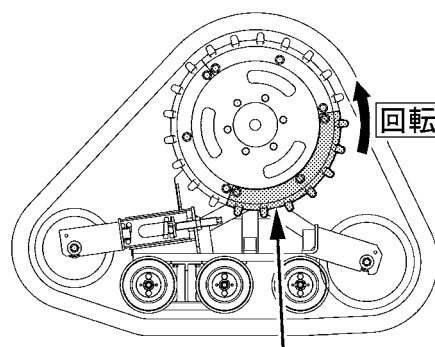
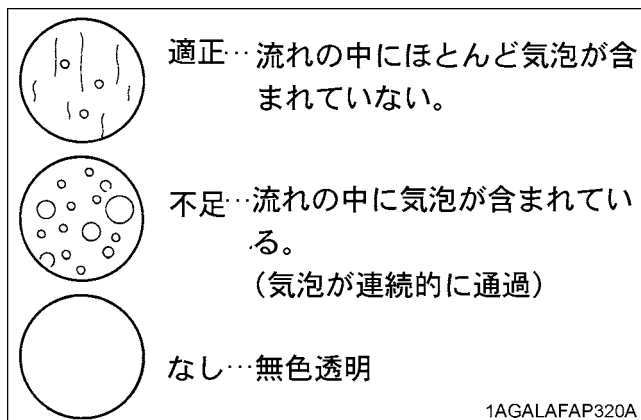
なし…無色透明

1AGALAFAP320A

以下はパワクロ仕様のみの項目です。

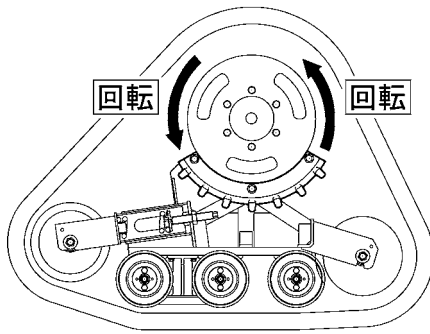
■スプロケットの交換手順

スプロケットは 3 枚で構成されています。

1. まず　部で示した下側のスプロケットを新しいスプロケットに交換します。（図 1）
2. 次に車軸をゆっくり回転させ，順次下側に来たスプロケットを新しいものに交換していきます。
3. 3 枚のスプロケットを交換した後，ゴムクローラの張り調整を行なってください。

（図１）

1AGACCOAP089A

■ゴムクローラの交換手順

1. 調整ボルトのロックナットを緩め，次に調整ボルトを回転させ，クローラの張りを緩めます。(**[日常点検（パワクロ仕様のみ）]**の**[ゴムクローラの張り調整]**の項を参照)
2. 図１の部に示した下側のスプロケットから順次２枚のスプロケットを外します。
3. 一枚のスプロケットを残したまま図２に示す位置まで車軸をゆっくり回転させ，古いゴムクローラを外します。
4. 新しいゴムクローラに置き換えた後，車軸を回転させ，スプロケットにゴムクローラを掛けます。
5. 外した２枚のスプロケットを取付けた後，最後にゴムクローラの張り調整を行なってください。

（図２）

1AGACCOAP090A

格納

■長期格納時の手入れ

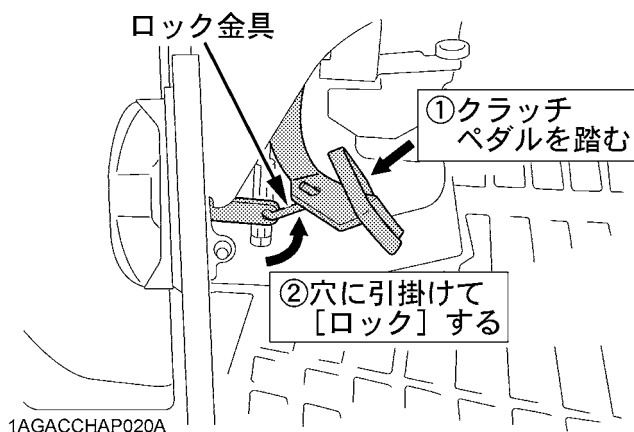
＊ 長期格納時は，クラッチ固着防止のため，クラッチ［切］に固定してください。クラッチが固着するとエンジン始動と同時に車体が動くことがあります。

＊ シートをかける場合は，マフラやエンジン自体の冷却状態を確認してからにしてください。火災を起こす原因になります。

トラクタを長い間使用しない場合は，次の要領で整備してから格納しましょう。

1. 不具合箇所は整備してください。
2. エンジンオイルを交換し，2000rpm 以上で 10 ～ 15 分間の防錆運転をし，各部にオイルをゆきわたらせてください。
その後も１～２カ月ごとに同様に防錆運転をしてください。
3. 定期点検一覧表の項目を確認するようにしてください。
4. 車体のさびやすい部分には，グリースかオイルを塗っておいてください。
5. 周囲の安全を確認した後エンジンを始動させ，各油圧シリンダの防錆運転を１～２ヶ月ごとに行なってください。
(1) 油圧（ポジション）レバーで三点リンク（作業機）を最上昇位置まで１～２回上下させる。
(2) モンロ手動スイッチ又は角度調節ダイヤルで，リフトシリンダ（右）を１～２回全ストローク伸縮させる。(作業機が装着されているときは作業機を上げてから行なってください)
6. 燃料フィルタコックを**［閉］**にしておいてください。
7. 冷却水は抜いておいてください。但し，オールシーズンタイプのクーラントであれば抜かなくても構いません。
8. クラッチペダルは，クラッチ板のさび付きによりクラッチが切れなくなる場合がありますので，クラッチを踏込んだ状態で必ずロックしてください。

◆ **クラッチ［切］保持の方法**

(1) クラッチペダルをいっぱい踏込み，**［ロック］**します。
(2) ロックしたまま，クラッチペダルから足を離します。これでクラッチは，**［切］**の状態で保持されます。
(3) 使用するときは，クラッチペダルをいっぱい踏込めば，**［ロック］**が外れ，**［切］**保持の状態が解除されます。

重　要

＊ クラッチペダルをロックせずに長期保管した場合，クラッチ板のさび付きにより，クラッチが切れなくなるだけでなくクラッチが損傷する場合があります。

9. クラッチハウジング底のドレーンプラグを外して，水が浸入していないことを確認してください。
10. タイヤの空気圧は，標準より少し多めにしてください。
11. バッテリを本機から取外し風通しの良い冷暗所に保管してください。またトラクタに取付けたまま保管するときは必ずアース側（－側）を外してください。
12. ウエイトは取外し，作業機は，外すか地面に降ろした状態にしてください。
13. 後輪の前後に車止めをしておいてください。
14. 各部の配線・バッテリコード・燃料配管などのキレツ・被覆の破れ・コードクランプの外れは，確実に点検・整備してください。
15. 格納中バッテリは，１カ月に一回充電器で完全充電するようにしましょう。
16. 格納場所は，周囲にわらなど燃えやすいものがない雨のかからない乾燥した場所を選定し，シートをかけるようにしましょう。
17. 燃料は満タンにしてください。空にしておくと水滴ができ，燃料系統の故障の原因になります。

重　要

＊ 洗車するときは，以下の点に注意して行なってください。
  (1) エンジンを止めてから行なってください。もしエンジンをかけて行なうときはエアクリーナの吸入口から水が入らないよう注意してください、もし水が入ると故障の原因となります。
  (2) 灯火類は消灯した状態で洗車してください。もし点灯した灯火類に直接水がかかるとランプのバルブが切れるおそれがあります。
  (3) 高圧洗車機を使用するときは，ノズルの先端をドア，リヤウインドなどに近づけすぎないでください。近づけすぎると水圧が高いため，室内に水が入るおそれがあります。**［安全キャブ仕様］**

＊ 格納時は，必ず**［切］**の位置でキーを抜いておいてください。

＊ バッテリの取付けの際には，（＋）と（－）をよく確認し，絶対に逆に接続しないでください。逆に接続すると，トラクタの電子機器類が破損する場合があります。

不調と処置

■エンジンの不調と処置

もしエンジンの調子が悪い場合があれば，次の表により診断し，適切な処置をしてください。

現　象	原　因	処　置
始動困難な場合	1. 燃料が流れない。	● 燃料タンクを点検し，沈殿している不純物や水分を除く。 ● 燃料フィルタを点検し，汚れていれば交換する。 ● 冬期は冬期用燃料に交換する。
	2. 燃料送油系統に，空気や水が混入している。	● ホース・プラグ・袋ナット及び締付けバンドを点検し，ゆるみがあれば締め，損傷があれば新品と交換又は補修しておく。 ● 燃料フィルタ内に沈殿した水・ごみなどを取除く。 ● 空気抜きをする。 （**［トラクタの簡単な手入れと処置］**の章の**［燃料の空気抜きのしかた］**の項を参照）
	3. 寒冷時にオイル粘度が高く，エンジン自体の回転が重い	● D30 は 15 ℃以下では使用しない。 ● バッテリを充電，又は新品に交換する。 ● オイル量を点検し，上限を越えていれば正規のオイル量にする。
出力不足の場合	1. 燃料不足	● 燃料を補給する。 ● 燃料系統を調べる。（特に空気混入に注意）
	2. 燃料の流れ不足	● 燃料フィルタの清掃をする。
	3. エアクリーナの目詰まり	● エレメントを清掃，又は交換する。
突然停止した場合	1. 燃料不足	● 燃料を補給する。 ● 燃料系統を調べる。（特に空気混入に注意）
	2. 燃料が流れない	● 燃料フィルタを点検し，汚れていれば交換する。
排気色が異常に黒い場合	1. 燃料が悪い。	● 良質の燃料に交換する。
	2. エンジンオイルの入り過ぎ	● 正規のオイル量にする。
	3. エアクリーナの目詰まり	● エレメントを清掃，又は交換する。
水温計がH付近を示すとき	1. 冷却水が 125 ℃付近になったため。	● 冷却水の量（不足）及び水もれの点検 ● ファンベルトの張り（ゆるみ）の点検 ● フロントグリル，ラジエータの防虫網にごみの詰まりがないか点検する。
始動時青白煙が消えない。	1. 前の作業が長時間にわたるアイドリング運転で終わっている場合，又は冷機時アイドリング運転の繰返しであった場合，マフラ内部に湿りが残っている。	● 負荷をかけてマフラを十分に加熱する。冷機時アイドリング運転の繰返し，及び，長時間にわたるアイドリング運転は極力避ける。
	2. 燃料不良	● 良質の燃料に交換する。

☆わからない場合，又は上記対応で解決しない場合は，購入先にご相談ください。

■モンローオート（ドラフト）・AD 倍速・U シフト (F) 仕様の故障と処置

モンローオート（ドラフト）・AD 倍速や U シフト（F）仕様に異常が生じた場合，電子メータに下記のメッセージが表示されます。故障箇所と，一部の使用を制限した緊急処置的な運転操作を表示します。「購入先に連絡して下さい」と表示した場合は，すぐ購入先に連絡して点検・整備を受けてください。

[モンローオート（ドラフト）]

電子メータメッセージの表示	原　因	処　置
スイッチボックス確認 購入先へ連絡して下さい	MA スイッチボックス信号の異常	購入先に連絡。
リフトアームセンサ確認 3P 手動モードで操作できます	リフトアームセンサの異常	高さ規制ダイヤルを **[3P 手動]** にし，モンロ手動スイッチで作業機を操作する。
ポジションセンサ確認 3P 手動モードで操作できます	ポジションセンサの異常	
ストロークセンサ確認 モンロー手動スイッチで操作できます	ストロークセンサの異常	モンロスイッチを **[切]** にし，モンロ手動スイッチで作業機を平行にする。
ローリングセンサ確認 モンロー手動スイッチで操作できます ＊ 1	ローリングセンサの異常	
ドラフトセンサ確認 油圧レバーで操作できます	ドラフトセンサの異常	オートスイッチを **[切]** にし，油圧レバーで作業機を操作する。
カバーセンサ確認 E オートで使用できます	カバーセンサの異常	オートスイッチを **[E オート]** に切換えて使用する。
オートソレノイド確認 購入先へ連絡して下さい	3P ソレノイドの異常	購入先に連絡。 （作業機が昇降できない）
モンローソレノイド確認 購入先へ連絡して下さい	モンローソレノイドの異常	モンロスイッチを **[切]** にして使用する。
耕深調節確認 油圧レバーで操作できます	耕深調節の異常	オートスイッチを **[切]** にし，油圧レバーで作業機を操作する。
モンロー角度調節確認 モンロー手動スイッチで操作できます	モンロ角度調節の異常	モンロスイッチを **[切]** にし，モンロ手動スイッチで作業機を平行にする。
ST センサ確認 購入先へ連絡して下さい	ST センサの異常	モンロスイッチを **[切]** にし，モンロ手動スイッチで作業機を平行にする。
高さ規制確認 購入先へ連絡して下さい	高さ規制の異常	購入先に連絡。
ポンパスイッチ確認 油圧レバーで操作できます	ポンパの異常	油圧レバーで作業機を操作する。
シャトルスイッチ確認 購入先へ連絡して下さい	シャトルの異常	購入先に連絡。
PTO スイッチ確認 購入先へ連絡して下さい	PTO スイッチの異常	購入先に連絡。

電子メータメッセージの表示	原　因	処　置
アクセルセンサ確認 オートで使用できます ＊２	アクセルセンサの異常	オートスイッチを **［標準又は敏感］** に切換えて使用する。
エンジン回転センサ確認 オートで使用できます ＊２	エンジン回転センサの異常	

＊１　安全フレーム仕様のみ
＊２　Ｅオート使用時

［Uシフト（前進16段仕様）］

電子メータメッセージの表示	原　因	処　置
主変速レバーセンサ確認 購入先へ連絡して下さい	変速レバーセンサの異常	エンジン停止までは変速を保持します。すみやかに停車し，購入先に連絡してください。
シフトソレノイド１確認 １，５速不可	ソレノイド１の異常	シフトソレノイド異常が発生すると，変速レバー位置はそのままでも自動的に使用可能な変速段，あるいはニュートラルに変速します。自動的に変速した変速段を表示しますので，変速段表示に注意して使用し，すみやかに購入先に連絡してください。
シフトソレノイド２確認 ２，６速不可	ソレノイド２の異常	
シフトソレノイド３確認 ３，７速不可	ソレノイド３の異常	
シフトソレノイド４確認 ４，８速不可	ソレノイド４の異常	
副変速ソレノイド確認 １～４速不可	副変速ソレノイドの異常	
バルブ（GST，PRO）確認 購入先へ連絡して下さい	Uシフト圧力バルブの異常	購入先に連絡。

[U シフト（前進 24 段仕様）]

電子メータメッセージの表示	原　因	処　置
主変速レバーセンサ確認 購入先へ連絡して下さい	変速レバーセンサの異常	エンジン停止までは変速を保持します。すみやかに停車し，購入先に連絡してください。
シフトソレノイド１確認 １，２，９速不可	ソレノイド１の異常	シフトソレノイド異常が発生すると，変速レバー位置はそのままでも自動的に使用可能な変速段，あるいはニュートラルに変速します。自動的に変速した変速段を表示しますので，変速段表示に注意して使用し，すみやかに購入先に連絡してください。
シフトソレノイド２確認 ３，４，10 速不可	ソレノイド２の異常	
シフトソレノイド３確認 ５，６，11 速不可	ソレノイド３の異常	
シフトソレノイド４確認 ７，８，12 速不可	ソレノイド４の異常	
副変速ソレノイド確認 １～８速不可	副変速ソレノイドの異常	
H/L ソレノイド確認 １，３，５，７速不可	Hi-Lo ソレノイドの異常	
バルブ（GST，PRO）確認 購入先へ連絡して下さい	U シフト圧力バルブの異常	購入先に連絡。

[U シフト（前進 20 段仕様）]

電子メータメッセージの表示	原　因	処　置
主変速レバーセンサ確認 購入先へ連絡して下さい	変速レバーセンサの異常	エンジン停止までは変速を保持します。すみやかに停車し，購入先に連絡してください。
シフトソレノイド１確認 １，５速不可	ソレノイド１の異常	シフトソレノイド異常が発生すると，変速レバー位置はそのままでも自動的に使用可能な変速段，あるいはニュートラルに変速します。自動的に変速した変速段を表示しますので，変速段表示に注意して使用し，すみやかに購入先に連絡してください。
シフトソレノイド２確認 ２，６速不可	ソレノイド２の異常	
シフトソレノイド３確認 ３，７速不可	ソレノイド３の異常	
シフトソレノイド４確認 ４，８速不可	ソレノイド４の異常	
副変速ソレノイド確認 １～４速不可	副変速ソレノイドの異常	
OD ソレノイド確認 5 ～ 8 速不可	OD ソレノイドの異常	
シフトソレノイド１確認 １速不可	ソレノイド１の異常	
シフトソレノイド２確認 ２速不可	ソレノイド２の異常	
シフトソレノイド３確認 ３速不可	ソレノイド３の異常	
シフトソレノイド４確認 ４速不可	ソレノイド４の異常	
バルブ（GST，PRO）確認 購入先へ連絡して下さい	U シフト圧力バルブの異常	購入先に連絡。

[U シフト（前進 30 段仕様）]

<table>
<tr><th>電子メータメッセージの表示</th><th>原　因</th><th>処　置</th></tr>
<tr><td>主変速レバーセンサ確認
購入先へ連絡して下さい</td><td>変速レバーセンサの異常</td><td>エンジン停止までは変速を保持します。すみやかに停車し，購入先に連絡してください。</td></tr>
<tr><td>シフトソレノイド１確認
１，２，９速不可</td><td>ソレノイド１の異常</td><td rowspan="13">シフトソレノイド異常が発生すると，変速レバー位置はそのままでも自動的に使用可能な変速段，あるいはニュートラルに変速します。自動的に変速した変速段を表示しますので，変速段表示に注意して使用し，すみやかに購入先に連絡してください。</td></tr>
<tr><td>シフトソレノイド２確認
３，４，10 速不可</td><td>ソレノイド２の異常</td></tr>
<tr><td>シフトソレノイド３確認
５，６，11 速不可</td><td>ソレノイド３の異常</td></tr>
<tr><td>シフトソレノイド４確認
７，８，12 速不可</td><td>ソレノイド４の異常</td></tr>
<tr><td>副変速ソレノイド確認
１～８速不可</td><td>副変速ソレノイドの異常</td></tr>
<tr><td>H/L ソレノイド確認
１，３，５，７速不可</td><td>Hi-Lo ソレノイドの異常</td></tr>
<tr><td>OD ソレノイド確認
９～ 12 速不可</td><td>OD ソレノイドの異常</td></tr>
<tr><td>H/L ソレノイド確認
３，５速不可</td><td>Hi-Lo ソレノイドの異常</td></tr>
<tr><td>シフトソレノイド１確認
１速不可</td><td>ソレノイド１の異常</td></tr>
<tr><td>シフトソレノイド２確認
２速不可</td><td>ソレノイド２の異常</td></tr>
<tr><td>シフトソレノイド３確認
３，４速不可</td><td>ソレノイド３の異常</td></tr>
<tr><td>シフトソレノイド４確認
５，６速不可</td><td>ソレノイド４の異常</td></tr>
<tr><td>バルブ（GST，PRO）確認
購入先へ連絡して下さい</td><td>U シフト圧力バルブの異常</td><td>購入先に連絡。</td></tr>
</table>

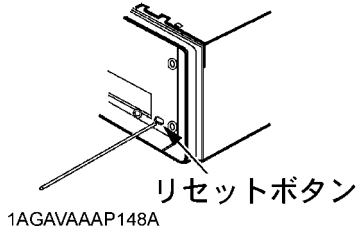
[N 仕様]

電子メータメッセージの表示	原　因	処　置
PTO ソレノイド確認 購入先へ連絡して下さい	PTO 圧力バルブの異常	購入先に連絡。

［AD 倍速］

電子メータメッセージの表示	原　因	処　置
切れ角センサ確認 **AD倍速･オートアップが使用できません**	切れ角センサの異常	走行モード切換スイッチを**［2WD 又は 4WD］**に切換える。オートアップスイッチを**［切］**にする。
2WD ソレノイド確認 **2WD・倍速が使用できません**	2WD ソレノイドの異常	走行モード切換スイッチを**［4WD］**に切換える。
倍速ソレノイド確認 **倍速が使用できません**	倍速ソレノイドの異常	走行モード切換スイッチを**［2WD 又は 4WD］**に切換える。
AD ソレノイド（右）確認 **AD（右）が使用できません**	AD ソレノイド（R）の異常	走行モード切換スイッチを**［2WD，4WD 又は倍速］**に切換える。
AD ソレノイド（左）確認 **AD（左）が使用できません**	AD ソレノイド（L）の異常	

［その他］

電子メータメッセージの表示	原　因	処　置
通信確認 **購入先へ連絡して下さい**	通信回線の異常	表示切換スイッチで表示モードを切換える。購入先に連絡。
スイッチボックス確認 **購入先へ連絡して下さい**	MA スイッチボックス信号の異常	購入先に連絡。
ハーネス（赤白線）確認 **購入先へ連絡して下さい**	センサ電源ラインの異常	
ECU 確認 **購入先へ連絡して下さい**	ECU の異常	

■ AM / FM ラジオ付き CD プレーヤの不調と処置

次のような症状は，故障ではないことがあります。修理を依頼される前に，もう一度次のことをお調べください。

現　　象	原　　因	処　　置
電源が入らない （音が出ない）	ヒューズが切れている。	入っていたものと同じ容量のヒューズと交換する。 再度切れる場合は，購入先にご相談ください。
CD がすぐ出てしまう	CD を裏表逆に入れている。	CD の印刷面を上にして入れる。
音飛びする ノイズなどが入る	CD が汚れている。	CD をやわらかい布でふく。
	CD に大きい傷やソリがある。	CD を無傷なものに交換する。
電源を入れた直後 音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると，内部のレンズに水滴が付くことがあるため。	電源を入れた状態にして１時間乾燥させる。
ボタンを押しても動作しない ディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で，マイコンが誤動作している。	リセットボタンを，細い棒などで約２秒間押す。リセットボタンを押したときは，設定したプリセットメモリーなどが全て消えるので，もう一度設定し直す。 リセットボタン 1AGAVAAAP148A

◆ エラー表示について

異常が生じたときには，各種のエラーが表示されますので，対処方法にしたがって障害を取除いてください。

表示エラーコード	原　　因	対処方法
ER 2	本機の CD デッキ内の CD が引っかかってイジェクトされないとき	引っかかる要素を取除く。CD がイジェクトされない場合は，機器の故障と思われるので，購入先にご相談ください。
ER 3	本機の CD デッキ内の CD に傷などがあり，演奏できないとき	傷やソリのない CD と交換する。

※上記対処を行なっても復帰しない場合は，本体の電源を切り，購入先にご相談ください。

付表

主要諸元

■トラクタの主要諸元

区分	項目	KL24R	KL27R	KL31R	KL34R
型式名		KL24R	KL27R	KL31R	KL34R
駆動方式		4輪駆動			
機体寸法	全長 mm	2965［3015］	3090	3180	
機体寸法	全幅 mm	1245［1350］	1350［1375］	1420	1460
機体寸法	全高 mm	1990［2045］	1980［2155］	1980［2155］	
機体寸法	軸距 mm	1550［1600］	1670	1745	
機体寸法	輪距 前輪 mm	1020	1080	1130	
機体寸法	輪距 後輪 mm	1010，1130	1050，1165	1090，1360	1110，1300
機体寸法	最低地上高 mm	350	345	360	
質量（重量） kg		1160［1375］	1260［1460］	1330［1535］	1340［1545］
エンジン	機関型式	D1503-M-E3-KL3 ［D1503-M-E3-KL2］	D1703-M-E3-KL3 ［D1703-M-E3-KL4］	D1803-M-E3-KL7 ［D1803-M-E3-KL1］	D1803-M-E3-KL8 ［D1803-M-E3-KL2］
エンジン	形式	水冷４サイクル３気筒立形ディーゼル			
エンジン	総排気量 L	1.499	1.647	1.826	
エンジン	出力／回転速度 kW(PS)/rpm	17.6(24) /2700	19.8(27) /2700	22.8(31) /2600	25.0(34) /2700
エンジン	使用燃料	ディーゼル軽油			
エンジン	燃料タンク容量 L	27	36	40	
エンジン	始動方式	セルモータ式（グロープラグ式）			
エンジン	バッテリ	75D23R		80D26R 又は 85D26R	
タイヤ	前輪	7-14-4PR	7-16-4PR	8-16-4PR	
タイヤ	後輪	9.5-24-4PR	11.2-24-4PR	12.4-26-4PR	13.6-24-4PR
車体	クラッチ方式	乾式単板			
車体	制動装置	一系統左右独立（連結装置付），湿式ディスクブレーキ（機械式）			
車体	かじ取り方式	ボールスクリュ式（インテグラルパワーステアリング）			
車体	差動方式	２ピニオンかさ歯車式（デフロック付）		４ピニオンかさ歯車式（デフロック付）	
車体	変速方式	コンスタントメッシュ／Uシフト			
変速段数（段）	マニュアルシフト仕様	前進16段，後進16段			
変速段数（段）	Uシフト仕様	前進16段，後進16段 ［前進24段，後進16段］	前進24段，後進16段		
走行速度（km/h）	前進16段仕様 前進	0.19～14.60	0.21～14.73	0.20～14.90	
走行速度（km/h）	前進16段仕様 後進	0.17～13.08	0.19～13.20	0.17～13.41	0.18～13.36
走行速度（km/h）	前進24段仕様 前進	0.16～14.60	0.17～14.73	0.16～14.90	0.17～14.90
走行速度（km/h）	前進24段仕様 後進	0.17～13.08	0.19～13.20	0.17～13.41	0.18～13.36
最小旋回半径（ブレーキ使用時） m		1.9	2.0	2.2	
PTO	回転速度／エンジン回転速度 rpm 正転	541，763 945，1260 /2700	561，791 980，1307 /2700	540，762 944，1258 /2600	561，791 980，1307 /2700
PTO	回転速度／エンジン回転速度 rpm 逆転	945/2700	980/2700	944/2600	980/2700
PTO	軸寸法 mm	JIS 35			
作業機昇降装置	制御方式	ポジションコントロール			
作業機昇降装置	装着方式	三点リンク　JIS　1形			

［　］はキャブ仕様

※この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

<table>
<tr><th>型式名</th><th>KL24RH</th><th>KL27RH</th><th>KL31RH</th><th>KL34RH</th></tr>
<tr><td>駆動方式</td><td colspan="4">4輪駆動</td></tr>
<tr><td>機体寸法 全長 mm</td><td>2965 [3015]</td><td>3090</td><td colspan="2">3180</td></tr>
<tr><td>機体寸法 全幅 mm</td><td>1245 [1350]</td><td>1350 [1375]</td><td>1420</td><td>1460</td></tr>
<tr><td>機体寸法 全高 mm</td><td>1990 [2045]</td><td>1980 [2155]</td><td colspan="2">1980 [2155]</td></tr>
<tr><td>機体寸法 軸距 mm</td><td>1550 [1600]</td><td>1670</td><td colspan="2">1745</td></tr>
<tr><td>機体寸法 輪距 前輪 mm</td><td>1020</td><td>1080</td><td colspan="2">1130</td></tr>
<tr><td>機体寸法 輪距 後輪 mm</td><td>1010, 1130</td><td>1050, 1165</td><td>1090, 1360</td><td>1110, 1330</td></tr>
<tr><td>機体寸法 最低地上高 mm</td><td>350</td><td>345</td><td colspan="2">360</td></tr>
<tr><td>質量（重量） kg</td><td>1190 [1380]</td><td>1265 [1465]</td><td>1335 [1540]</td><td>1345 [1550]</td></tr>
<tr><td>エンジン 機関型式</td><td>D1503-M-E3-KL3
[D1503-M-E3-KL2]</td><td>D1703-M-E3-KL3
[D1703-M-E3-KL4]</td><td>D1803-M-E3-KL7
[D1803-M-E3-KL1]</td><td>D1803-M-E3-KL8
[D1803-M-E3-KL2]</td></tr>
<tr><td>エンジン 形式</td><td colspan="4">水冷4サイクル3気筒立形ディーゼル</td></tr>
<tr><td>エンジン 総排気量 L</td><td>1.499</td><td>1.647</td><td colspan="2">1.826</td></tr>
<tr><td>エンジン 出力／回転速度 kW(PS)/rpm</td><td>17.6(24)
/2700</td><td>19.8(27)
/2700</td><td>22.8(31)
/2600</td><td>25.0(34)
/2700</td></tr>
<tr><td>エンジン 使用燃料</td><td colspan="4">ディーゼル軽油</td></tr>
<tr><td>エンジン 燃料タンク容量 L</td><td>27</td><td>36</td><td colspan="2">40</td></tr>
<tr><td>エンジン 始動方式</td><td colspan="4">セルモータ式（グロープラグ式）</td></tr>
<tr><td>エンジン バッテリ</td><td colspan="2">75D23R</td><td colspan="2">80D26R 又は 85D26R</td></tr>
<tr><td>タイヤ 前輪</td><td>7-14-4PR</td><td>7-16-4PR</td><td colspan="2">8-16-4PR</td></tr>
<tr><td>タイヤ 後輪</td><td>9.5-24-4PR</td><td>11.2-24-4PR</td><td>12.4-26-4PR</td><td>13.6-24-4PR</td></tr>
<tr><td>車体 クラッチ方式</td><td colspan="4">乾式単板</td></tr>
<tr><td>車体 制動装置</td><td colspan="4">一系統左右独立（連結装置付），湿式ディスクブレーキ（機械式）</td></tr>
<tr><td>車体 かじ取り方式</td><td colspan="4">ボールスクリュ式（インテグラルパワーステアリング）</td></tr>
<tr><td>車体 差動方式</td><td colspan="2">2ピニオンかさ歯車式（デフロック付）</td><td colspan="2">4ピニオンかさ歯車式（デフロック付）</td></tr>
<tr><td>車体 変速方式</td><td colspan="4">コンスタントメッシュ／Uシフト</td></tr>
<tr><td>変速段数（段） Uシフト仕様</td><td>前進20段，後進20段
［前進30段，後進20段］</td><td colspan="3">前進30段，後進20段</td></tr>
<tr><td>走行速度（km/h） 前進20段仕様 前進</td><td>0.19～25.16</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>走行速度（km/h） 前進20段仕様 後進</td><td>0.17～22.55</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>走行速度（km/h） 前進30段仕様 前進</td><td>0.16～25.16</td><td>0.17～27.36</td><td>0.16～28.10</td><td>0.17～29.21</td></tr>
<tr><td>走行速度（km/h） 前進30段仕様 後進</td><td>0.17～22.55</td><td>0.19～24.52</td><td>0.17～25.18</td><td>0.18～26.17</td></tr>
<tr><td>最小旋回半径（ブレーキ使用時） m</td><td>1.9</td><td>2.0</td><td colspan="2">2.2</td></tr>
<tr><td>PTO 回転速度／エンジン回転速度 rpm 正転</td><td>541, 763
945, 1260
/2700</td><td>561, 791
980, 1307
/2700</td><td>540, 762
944, 1258
/2600</td><td>561, 791
980, 1307
/2700</td></tr>
<tr><td>PTO 回転速度／エンジン回転速度 rpm 逆転</td><td>945/2700</td><td>980/2700</td><td>944/2600</td><td>980/2700</td></tr>
<tr><td>PTO 軸寸法 mm</td><td colspan="4">JIS 35</td></tr>
<tr><td>作業機昇降装置 制御方式</td><td colspan="4">ポジションコントロール</td></tr>
<tr><td>作業機昇降装置 装着方式</td><td colspan="4">三点リンク　JIS　1形</td></tr>
</table>

［　］はキャブ仕様

※この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

<table>
<tr><th colspan="2">型式名</th><th>KL26R-PC</th><th>KL28R-PC</th><th>KL31R-PC</th><th>KL34R-PC</th><th>KL34RH-PC</th></tr>
<tr><td colspan="2">駆動方式</td><td colspan="5">半装軌式（パワクロ）</td></tr>
<tr><td rowspan="7">機体寸法</td><td>全長 mm</td><td colspan="3">3130</td><td colspan="2">3200</td></tr>
<tr><td>全幅 mm</td><td colspan="5">{1550}〈1400/1540〉</td></tr>
<tr><td>全高 mm</td><td colspan="3">2025［2195］</td><td colspan="2">2040［2210］</td></tr>
<tr><td>軸距 mm</td><td colspan="3">1700</td><td colspan="2">1730</td></tr>
<tr><td>輪距 前輪 mm</td><td colspan="3">1085</td><td colspan="2">1170</td></tr>
<tr><td>輪距 クローラ mm</td><td colspan="5">{1150}〈1150/1290〉</td></tr>
<tr><td>最低地上高 mm</td><td colspan="3">395</td><td colspan="2">410</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量(重量) kg</td><td colspan="3">1550［1760］</td><td>1610［1800］</td><td>1615［1810］</td></tr>
<tr><td rowspan="8">エンジン</td><td>機関型式</td><td>D1703-M-E3-KL9
[D1703-M-E3-KL8]</td><td>D1703-M-E3-KL5
[D1703-M-E3-KL2]</td><td>D1803-M-E3-KL9
[D1803-M-E3-KL4]</td><td colspan="2">D1803-M-E3-KL8
[D1803-M-E3-KL2]</td></tr>
<tr><td>形式</td><td colspan="5">水冷４サイクル３気筒立形ディーゼル</td></tr>
<tr><td>総排気量 L</td><td colspan="2">1.647</td><td colspan="3">1.826</td></tr>
<tr><td>出力／回転速度 kW(PS)/rpm</td><td>19.1(26)
/2600</td><td>20.6(28)
/2700</td><td>22.8(31)
/2600</td><td colspan="2">25.0(34)
/2700</td></tr>
<tr><td>使用燃料</td><td colspan="5">ディーゼル軽油</td></tr>
<tr><td>燃料タンク容量 L</td><td colspan="3">36</td><td colspan="2">40</td></tr>
<tr><td>始動方式</td><td colspan="5">セルモータ式（グロープラグ式）</td></tr>
<tr><td>バッテリ</td><td colspan="2">75D23R</td><td colspan="3">80D26R 又は 85D26R</td></tr>
<tr><td rowspan="2">タイヤ</td><td>前輪</td><td colspan="3">8-16</td><td colspan="2">8-18</td></tr>
<tr><td>後輪</td><td colspan="5">クローラタイプ</td></tr>
<tr><td rowspan="5">車体</td><td>クラッチ方式</td><td colspan="5">乾式単板</td></tr>
<tr><td>制動装置</td><td colspan="5">一系統左右独立（連結装置付），湿式ディスクブレーキ（機械式）</td></tr>
<tr><td>かじ取り方式</td><td colspan="5">ボールスクリュ式（インテグラルパワーステアリング）</td></tr>
<tr><td>差動方式</td><td colspan="5">４ピニオンかさ歯車式（デフロック付）</td></tr>
<tr><td>変速方式</td><td colspan="5">コンスタントメッシュ／Uシフト</td></tr>
<tr><td>変速段数（段）</td><td>Uシフト仕様</td><td colspan="4">前進 24 段，後進 16 段</td><td>前進 30 段，
後進 20 段</td></tr>
<tr><td rowspan="2">走行速度 (km/h)</td><td>前進</td><td>0.16 ～ 14.59</td><td>0.16 ～ 14.50</td><td>0.16 ～ 14.59</td><td>0.16 ～ 14.50</td><td>0.16 ～ 21.42</td></tr>
<tr><td>後進</td><td>0.17 ～ 13.07</td><td>0.18 ～ 12.99</td><td>0.17 ～ 13.07</td><td>0.18 ～ 12.99</td><td>0.18 ～ 19.19</td></tr>
<tr><td rowspan="6">クローラ</td><td>幅×接地長 mm</td><td colspan="3">{400 × 878}〈250 × 878〉</td><td colspan="2">{400 × 910}〈250 × 910〉</td></tr>
<tr><td>リンク数×ピッチ mm</td><td colspan="3">37 × 90</td><td colspan="2">38 × 90</td></tr>
<tr><td>接地面積 cm²</td><td colspan="3">{7024}〈4390〉</td><td colspan="2">{7280}〈4550〉</td></tr>
<tr><td>接地圧 kPa(kgf/cm²)</td><td colspan="3">{12.8 (0.13)}〈20.5 (0.21)〉
[{14.5 (0.15)}〈23.2 (0.24)〉]</td><td colspan="2">{12.5 (0.13)}〈20.0 (0.20)〉
[{14.1 (0.14)}〈22.6 (0.23)〉]</td></tr>
<tr><td>緩衝方式</td><td colspan="5">揺動式（±９°）</td></tr>
<tr><td>遊輪／転輪</td><td colspan="5">2 / 3</td></tr>
<tr><td rowspan="3">PTO</td><td>回転速度／エンジン回転速度 rpm 正転</td><td>540, 762, 944,
1258/2600</td><td>561, 791, 980,
1307/2700</td><td>540, 762, 944,
1258/2600</td><td colspan="2">561, 791, 980,
1307/2700</td></tr>
<tr><td>回転速度／エンジン回転速度 rpm 逆転</td><td>944/2600</td><td>980/2700</td><td>944/2600</td><td colspan="2">980/2700</td></tr>
<tr><td>軸寸法 mm</td><td colspan="5">JIS 35</td></tr>
<tr><td rowspan="2">作業機昇降装置</td><td>制御方式</td><td colspan="3">ポジションコントロール</td><td colspan="2">ポジションコントロール
(MAD：ドラフトコントロール)</td></tr>
<tr><td>装着方式</td><td colspan="5">三点リンク　JIS　１形</td></tr>
</table>

［　］は安全キャブ仕様，｛　｝は PC2 仕様，〈　〉は PC3 仕様
1. 接地面積＝接地長（前遊輪と後遊輪の中心間距離）×ゴムクローラ幅とする。
2. 後輪距はゴムクローラ中心間距離とする。
3. 揺動角度は車体に対する揺動角度とする。（車体の左側から見て時計回り方向を＋，反時計回り方向を－）

※この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

■走行速度表

◆ KL24R，27R，31R，34R　マニュアルシフト仕様
KL24R　安全フレーム付きＵシフト仕様

(km/h)

Ｕシフト仕様		マニュアルシフト仕様			KL24R		KL27R		KL31R		KL34R	
主変速レバー	クリープレバー	主変速レバー	副変速レバー	クリープレバー	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進
1	低	1	低	低	0.19	0.17	0.21	0.19	0.20	0.17	0.20	0.18
2		2			0.27	0.24	0.29	0.26	0.28	0.25	0.29	0.26
3		3			0.33	0.30	0.36	0.32	0.34	0.31	0.35	0.32
4		4			0.44	0.40	0.48	0.43	0.45	0.41	0.47	0.42
5		1	高		0.65	0.58	0.66	0.59	0.66	0.59	0.66	0.59
6		2			0.92	0.82	0.92	0.83	0.94	0.84	0.94	0.84
7		3			1.13	1.02	1.14	1.03	1.16	1.04	1.16	1.04
8		4			1.51	1.36	1.53	1.37	1.55	1.39	1.55	1.39
1	高	1	低	高	1.70	1.52	1.85	1.66	1.74	1.56	1.81	1.62
2		2			2.40	2.15	2.61	2.34	2.45	2.20	2.55	2.29
3		3			2.97	2.66	3.23	2.89	3.04	2.72	3.16	2.83
4		4			3.96	3.55	4.30	3.86	4.05	3.63	4.21	3.78
5		1	高		5.78	5.18	5.84	5.23	5.91	5.30	5.91	5.30
6		2			8.16	7.31	8.23	7.37	8.34	7.47	8.33	7.47
7		3			10.10	9.06	10.20	9.14	10.33	9.26	10.33	9.25
8		4			14.60	13.08	14.73	13.20	14.90	13.41	14.90	13.36

※上記速度の値は，トラクタ単体状態における基準値であり，作業機の装着状態やほ場条件により，変化いたします。

◆ **KL24R　安全キャブ付きＵシフト仕様，
KL27R，31R，34R　Ｕシフト仕様**

(km/h)

Ｕシフト仕様		KL24R		KL27R		KL31R		KL34R	
主変速レバー	クリープレバー	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進
1	低	0.16	0.17	0.17	0.19	0.16	0.17	0.17	0.18
2		0.19	0.24	0.21	0.26	0.20	0.25	0.20	0.26
3		0.23	0.30	0.24	0.32	0.23	0.31	0.24	0.32
4		0.27	0.40	0.29	0.43	0.28	0.41	0.29	0.42
5		0.28	0.58	0.30	0.59	0.29	0.59	0.30	0.59
6		0.33	0.82	0.36	0.83	0.34	0.84	0.35	0.84
7		0.37	1.02	0.40	1.03	0.38	1.04	0.40	1.04
8		0.44	1.36	0.48	1.37	0.45	1.39	0.47	1.39
9		0.65	—	0.66	—	0.66	—	0.66	—
10		0.92	—	0.92	—	0.94	—	0.94	—
11		1.13	—	1.14	—	1.16	—	1.16	—
12		1.51	—	1.53	—	1.55	—	1.55	—
1	高	1.42	1.52	1.55	1.66	1.45	1.56	1.51	1.62
2		1.70	2.15	1.85	2.34	1.74	2.20	1.81	2.29
3		2.00	2.66	2.18	2.89	2.05	2.72	2.13	2.83
4		2.40	3.55	2.61	3.86	2.45	3.63	2.55	3.78
5		2.48	5.18	2.70	5.23	2.54	5.30	2.64	5.30
6		2.97	7.31	3.23	7.37	3.04	7.47	3.16	7.47
7		3.31	9.06	3.60	9.14	3.39	9.26	3.52	9.25
8		3.96	13.08	4.30	13.20	4.05	13.41	4.21	13.36
9		5.78	—	5.84	—	5.91	—	5.91	—
10		8.16	—	8.23	—	8.34	—	8.33	—
11		10.10	—	10.20	—	10.33	—	10.33	—
12		14.60	—	14.73	—	14.90	—	14.90	—

※上記速度の値は，トラクタ単体状態における基準値であり，作業機の装着状態やほ場条件により，変化いたします。

◆ KL24RH　安全フレーム付きＵシフト仕様

(km/h)

Ｕシフト仕様		KL24RH	
主変速レバー	クリープレバー	前進	後進
1	低	0.19	0.17
2		0.27	0.24
3		0.33	0.30
4		0.44	0.40
5		0.65	0.58
6		0.92	0.82
7		1.13	1.02
8		1.51	1.36
1	高	1.70	1.52
2		2.40	2.15
3		2.97	2.66
4		3.96	3.55
5		5.78	5.18
6		8.16	7.31
7		10.10	9.06
8		13.47	12.07
1	高速走行	10.34	9.27
2		14.59	13.07
3		18.07	16.19
4		25.16	22.55

※上記速度の値は，トラクタ単体状態における基準値であり，作業機の装着状態やほ場条件により，変化いたします。

◆ KL24RH　安全キャブ付きＵシフト仕様，KL27RH，31RH，34RH　Ｕシフト仕様

(km/h)

Ｕシフト仕様		KL24RH		KL27RH		KL31RH		KL34RH	
主変速レバー	クリープレバー	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進
1	低	0.16	0.17	0.17	0.19	0.16	0.17	0.17	0.18
2		0.19	0.24	0.21	0.26	0.20	0.25	0.20	0.26
3		0.23	0.30	0.24	0.32	0.23	0.31	0.24	0.32
4		0.27	0.40	0.29	0.43	0.28	0.41	0.29	0.42
5		0.28	0.58	0.30	0.59	0.29	0.59	0.30	0.59
6		0.33	0.82	0.36	0.83	0.34	0.84	0.35	0.84
7		0.37	1.02	0.40	1.03	0.38	1.04	0.40	1.04
8		0.44	1.36	0.48	1.37	0.45	1.39	0.47	1.39
9		0.65	—	0.66	—	0.66	—	0.66	—
10		0.92	—	0.92	—	0.94	—	0.94	—
11		1.13	—	1.14	—	1.16	—	1.16	—
12		1.51	—	1.53	—	1.55	—	1.55	—
1	高	1.42	1.52	1.55	1.66	1.45	1.56	1.51	1.62
2		1.70	2.15	1.85	2.34	1.74	2.20	1.81	2.29
3		2.00	2.66	2.18	2.89	2.05	2.72	2.13	2.83
4		2.40	3.55	2.61	3.86	2.45	3.63	2.55	3.78
5		2.48	5.18	2.70	5.23	2.54	5.30	2.64	5.30
6		2.97	7.31	3.23	7.37	3.04	7.47	3.16	7.47
7		3.31	9.06	3.60	9.14	3.39	9.26	3.52	9.25
8		3.96	12.07	4.30	12.18	4.05	12.34	4.21	12.34
9		5.78	—	5.84	—	5.91	—	5.91	—
10		8.16	—	8.23	—	8.34	—	8.33	—
11		10.10	—	10.20	—	10.33	—	10.33	—
12		13.47	—	13.59	—	13.77	—	13.77	—
1	高速走行	10.34	9.27	11.24	10.08	11.53	10.33	12.00	10.76
2		14.59	13.07	15.86	14.21	16.26	14.57	16.93	15.17
3		15.11	16.19	16.43	17.60	16.85	18.05	17.54	18.79
4		18.07	22.55	19.65	24.52	20.14	25.18	20.97	26.17
5		20.15	—	21.91	—	22.46	—	23.39	—
6		25.16	—	27.36	—	28.10	—	29.21	—

※上記速度の値は，トラクタ単体状態における基準値であり，作業機の装着状態やほ場条件により，変化いたします。

◆ KL26R-PC，28R-PC，31R-PC，34R-PC，34RH-PC　Uシフト仕様

(km/h)

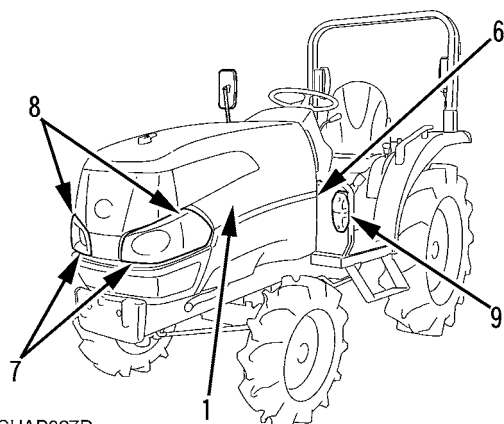
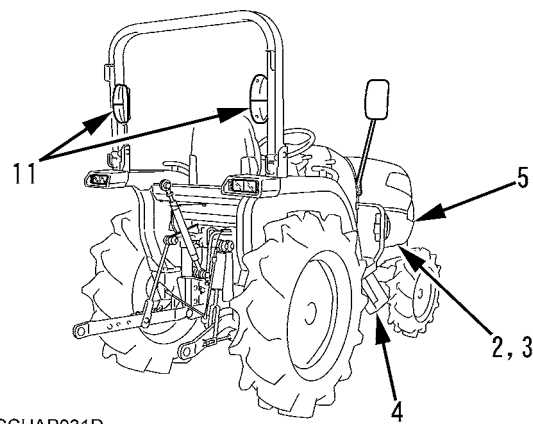
Uシフト仕様		KL26R-PC		KL28R-PC		KL31R-PC		KL34R-PC		KL34RH-PC	
主変速レバー	クリープレバー	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進
1	低	0.16	0.17	0.16	0.18	0.16	0.17	0.16	0.18	0.16	0.18
2		0.19	0.24	0.20	0.25	0.19	0.24	0.20	0.25	0.20	0.25
3		0.22	0.30	0.23	0.31	0.22	0.30	0.23	0.31	0.23	0.31
4		0.27	0.40	0.28	0.41	0.27	0.40	0.28	0.41	0.28	0.41
5		0.28	0.58	0.29	0.58	0.28	0.58	0.29	0.58	0.29	0.58
6		0.33	0.82	0.34	0.81	0.33	0.82	0.34	0.81	0.34	0.81
7		0.37	1.01	0.38	1.01	0.37	1.01	0.38	1.01	0.38	1.01
8		0.44	1.35	0.46	1.34	0.44	1.35	0.46	1.34	0.46	1.34
9		0.65	—	0.64	—	0.65	—	0.64	—	0.64	—
10		0.91	—	0.91	—	0.91	—	0.91	—	0.91	—
11		1.13	—	1.12	—	1.13	—	1.12	—	1.12	—
12		1.50	—	1.50	—	1.50	—	1.50	—	1.50	—
1	高	1.41	1.51	1.47	1.57	1.41	1.51	1.47	1.57	1.47	1.57
2		1.69	2.14	1.76	2.22	1.69	2.14	1.76	2.22	1.76	2.22
3		1.99	2.65	2.07	2.75	1.99	2.65	2.07	2.75	2.07	2.75
4		2.38	3.53	2.48	3.66	2.38	3.53	2.48	3.66	2.48	3.66
5		2.47	5.15	2.57	5.14	2.47	5.15	2.57	5.14	2.57	5.14
6		2.95	7.27	3.07	7.25	2.95	7.27	3.07	7.25	3.07	7.25
7		3.29	9.01	3.42	8.98	3.29	9.01	3.42	8.98	3.42	8.98
8		3.94	13.07	4.09	12.99	3.94	13.07	4.09	12.99	4.09	11.97
9		5.75	—	5.73	—	5.75	—	5.73	—	5.73	—
10		8.11	—	8.09	—	8.11	—	8.09	—	8.09	—
11		10.05	—	10.02	—	10.05	—	10.02	—	10.02	—
12		14.59	—	14.50	—	14.59	—	14.50	—	13.36	—
1	高速走行	—	—	—	—	—	—	—	—	8.80	7.89
2		—	—	—	—	—	—	—	—	12.42	11.13
3		—	—	—	—	—	—	—	—	12.86	13.78
4		—	—	—	—	—	—	—	—	15.38	19.19
5		—	—	—	—	—	—	—	—	17.15	—
6		—	—	—	—	—	—	—	—	21.42	—

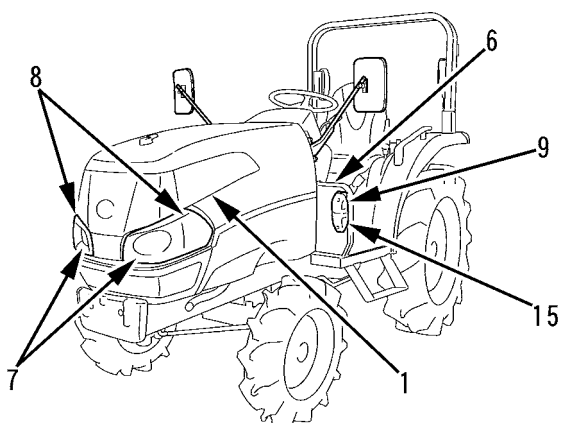
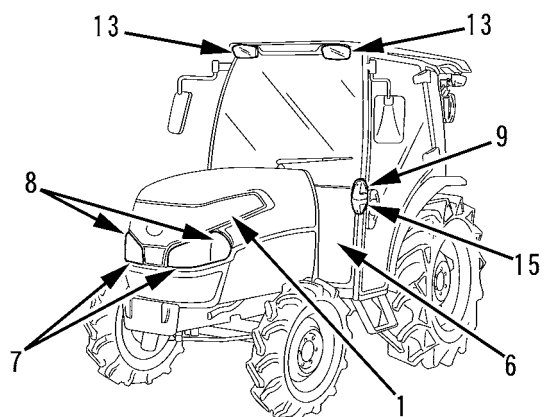
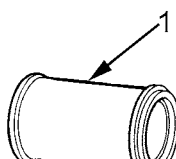
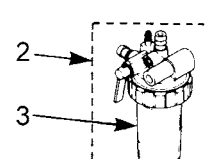
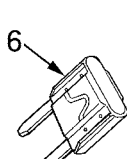
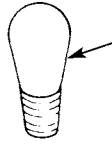
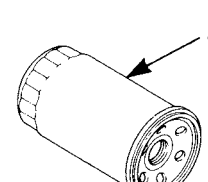
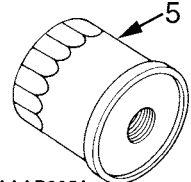
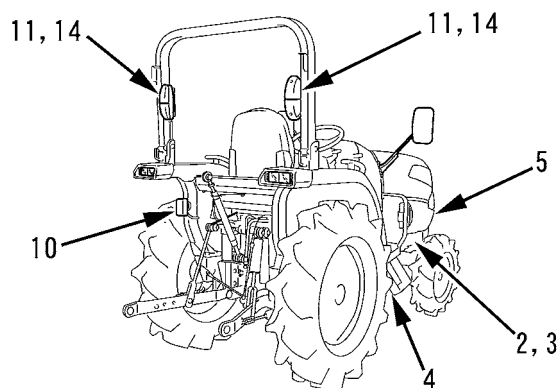
※上記速度の値は，トラクタ単体状態における基準値であり，作業機の装着状態やほ場条件により，変化いたします。

■標準付属品

品　　名	数量 / 台	備　考
メインスイッチキーアッシ	1	
取扱説明書	1	
保証書	1	
メンテナンスブック	1	
取扱説明確認カード	1	
PTO 軸キャップ	1	
ボルト	1	PTO 軸キャップ用
取扱いのポイント	1	
省エネ運転ガイド	1	
CD プレーヤ取外し金具	1	安全キャブ仕様のみ（使用方法は 100 ページ参照）
ロータリ爪固定工具セット	1	工具２個，説明書１枚（N 仕様のみ）
パワクロメンテナンスシート	1	パワクロ仕様のみ
インプルメント操作ボックス固定用金具セット	1	金具上下各１個，取付ネジ４個（安全キャブ仕様のみ）

主な消耗部品一覧表

[KL24R・27R・31R・34R 安全フレーム仕様]

1AGACCHAP027D

1AGACCHAP031D

[KL24R・27R・31R・34R 安全キャブ仕様]
[KL24RH・27RH・31RH・34RH・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R(H)-PC]

1AGACCHAP008D

1AGACCHAP004E

1AGACCHAP009C

1AGACCHAP005E

フィルタコンプ（エアクリーナ）	燃料フィルタ	ヒューズ	電球
1 1AQAAAAAP028A	2 3 1AQAAAAAP029A	6 1AQAAAAAP033A	7 ヘッドライト 8 フロントサイド作業灯 9 ウインカ（前） 10 バックランプ 11 ウインカ（後） 12 ルームランプ 13 作業灯（前，後） 14 尾灯，制動灯 15 車幅灯 1AQAAAAAP030J
油圧オイルフィルタカートリッジ	**エンジンオイルフィルタカートリッジ**		
4 1AQAAAAAP032A	5 1AQAAAAAP035A		

図番	品　名	品　番	図番	品　名	品　番
1	フィルタコンプ（エアクリーナ）	T0270-1632-0	9	デンキュウ 21W	T1880-9911-0
2	フューエルフィルタアッシ	16271-4301-3	10	バルブ（12V21W）	T2255-9912-0
3	フィルタエレメント	16271-4356-0	11	デンキュウ 21W	T1880-9911-0
4	オイルフィルタカートリッジ	T0070-3771-0	12	バルブ（12V5W）	3C581-5422-0
5	オイルフィルタカートリッジ	16414-3243-0	13	バルブ（12V35W ハロゲン）	T1275-9106-0
6	ヒューズ（ミニ 5A）	T1065-3043-0	14	デンキュウ 21/5W ［KL24R・27R・31R・34R 安全キャブ仕様］ ［KL24RH・27RH・31RH・34RH・ 26R-PC・28R-PC・31R-PC・ 34R(H)-PC］	T1880-9912-0
	ヒューズ（ミニ 7.5A）	T1065-3048-0			
	ヒューズ（ミニ 10A）	5H050-4162-0			
	ヒューズ（ミニ 15A）	5H050-4163-0			
	ヒューズ（ミニ 20A）	5H050-4164-0	15	デンキュウ 21/5W ［KL24R・27R・31R・34R 安全キャブ仕様］ ［KL24RH・27RH・31RH・34RH・ 26R-PC・28R-PC・31R-PC・ 34R(H)-PC］	T1880-9914-0
	ヒューズ（ミニ 30A）	5H050-4166-0			
7	バルブ（H4，12V 60/55W）	3C081-7581-0			
8	バルブ（W21W，12V21W）	3C081-7582-0			

パワクロ仕様足回り交換部品一覧表

品　番	品　名	適応型式	用途・仕様	併用アタッチメント
クローラ				
T3512-8467-0	クローラ (ゴム 400*37*90WX)	KL26R-PC KL28R-PC KL31R-PC	PC2 仕様（ハイラグ) 37 リンク	
T3513-8467-0	クローラ (ゴム 250*37*90WX)		PC3 仕様（幅狭クローラ) 37 リンク	
T3633-8467-0	クローラ (ゴム 250*38*90WX)	KL34R(H)-PC	PC3 仕様（幅狭クローラ) 38 リンク	
T3632-8467-0	クローラ (ゴム 400*38*90WX)		PC2 仕様（ハイラグ) 38 リンク	
転輪				
T3632-8402-0	トラックローラ, アッシ（F, S)	全型式	中転輪	
T3632-8403-0	トラックローラ, アッシ（R, ヒダリ)		前・右転輪 後・左転輪	
T3632-8503-0	トラックローラ, アッシ（R, ミギ)		前・左転輪 後・右転輪	
遊輪				
T1680-8406-0	アイドラ，アッシ (300, グリースアップ)	KL34R(H)-PC	後遊輪	
T1680-8405-0	アイドラ，アッシ (250, グリースアップ)	全型式	KL26R-PC,28R-PC,31R-PC…前後遊輪 KL34R(H)-PC…前遊輪	
スプロケット				
T3632-8407-0	スプロケット	全型式		
ガイド				
T3632-8458-0	ガイド（クローラ)	全型式		

アタッチメント一覧表

品　番	品　名	適応型式	用途・仕様	併用アタッチメント
補助車輪				
98351-5013-0	9.5-24 ストレーク取付台	KL24R(H)	● 片側にストレーク６枚取付け用 ● 9.5-24 用	P20, P25, P30, P38 のいずれかを６組／台
98351-5014-0	11.2-24 ストレーク取付台	KL27R(H)	● 片側にストレーク７枚取付け用 ● 11.2-24 用	P20, P25, P30, P38 のいずれかを７組／台
98352-8560-0	ストレーク取付台 アッシ	KL34R(H)	● 片側にストレーク７枚取付け用 ● 13.6-24 用	P20, P25, P30, P38 のいずれかを７組／台
98352-8666-0	水田車輪 取付台アッシ	KL31R(H)	● 片側にストレーク７枚取付け用 ● 12.4-26 用	G20, G35 のいずれか反転ストレークアッシ１組／台
98351-5002-0	P20 反転 ストレークアッシ	KL24R(H) KL27R(H) KL31R(H) KL34R(H)	シュー幅　20cm ピン式 構成は R, L 各１個	前記の取付台アッシ
99576-2690-0	P25 反転 ストレークアッシ		シュー幅　25cm プレート式 構成は R, L 各１個	
99516-2790-0	P30 反転 ストレークアッシ		シュー幅　30cm プレート式 構成は R, L 各１個	
99516-2890-0	P38 反転 ストレークアッシ		シュー幅　38cm プレート式 構成は R, L 各１個	前記の取付台アッシ
三点リンク				
T0030-3910-0	トップリンクアッシ	KL24R(H)	一般作業機用	
T0050-3910-0	トップリンクアッシ	KL27R(H) KL26R-PC KL28R-PC KL31R-PC KL34R(H)-PC (MAD 仕様)	一般作業機用	
T0070-3910-0	トップリンクアッシ	KL31R(H) KL34R(H) KL34R(H)-PC（MAD 仕様除く）	一般作業機用	

品　番	品　名	適応型式	用途・仕様	併用アタッチメント
ウエイト				
T1230-4980-0	ウエイト （ホジョ，10）	KL24R(H)	10kg 前車軸フレームの前部内側に取付け	01133-51230…4 コ （ボルト）
T1230-4981-0	ウエイト （ホジョ，20）		20kg 前車軸フレームの前部内側に取付け	01133-51230…4 コ （ボルト）
T0070-4980-0	ウエイト（ホジョ）	KL27R(H) KL31R(H) KL34R(H)	10kg ×２個 前車軸フレームの前部内側に取付け	01133-51230…4 コ （ボルト）
99261-1100-2	前部ウエイト （25kg）	全型式	前部フック式ウエイト	取付台アッシ６，10 必要
99431-1700-0	ウエイト取付台 アッシ６		25kg ウエイト６枚まで	99261-1100-2 前部ウエイト（25kg）
99591-1700-0	ウエイト取付台 アッシ 10		25kg ウエイト 10 枚まで	99261-1100-2 前部ウエイト（25kg）
99221-1200-2	前部ウエイトアッシ	KL24R(H) KL27R(H) KL31R(H) KL34R(H)	28kg バンパの前部に取付け	
T1770-4974-0	バンパ（15）		15kg，20kg，30kg，40kg 前車軸フレーム前部に取付けているバンパを取外して装着するウエイトです。	30400-44891…２コ （ボルト） 02771-50100…２コ （ナット）
T2250-4977-0	バンパ（20）			
T2250-4978-0	バンパ（30）			34070-49731…２コ （ボルト） 02174-50120…２コ （ナット） 04512-50120…２コ （バネザガネ）
T1770-4980-0	バンパ（40）			01774-51275…２コ （ボルト） 02174-50120…２コ （ナット） 04512-50120…２コ （バネザガネ）
99831-1500-0	後輪ウエイトアッシ	KL31R(H)	33kg ×６個	
99831-1511-0	後輪ウエイト		33kg（12.4-26，13.6-26 用） 99831-15001 に必要に応じて追加	
T3632-4976-0	バンパ（20）	KL27R KL31R KL34R KL26R-PC KL28R-PC KL31R-PC KL34R-PC	20kg バンパの前部に取付け	KL24R には 装着できません。 ホイール仕様に装着する場合は，前車軸フレーム前部に取付けているバンパを取外して装着します。
99891-1100-0	ウエイト，キット	KL27R KL31R KL34R KL26R-PC KL28R-PC KL31R-PC KL34R-PC	25kg ウエイト４枚まで	KL27R,31R,34R ホイール仕様には バンパ（20） （T3632-4976-0）が 必要です。
99891-1700-0	ウエイト取付台 アッシ（PC6）	全型式	25kg ウエイト６枚まで	99891-1100-0 ウエイト，キット（25kg）
99911-1700-0	ウエイト取付台 アッシ（PC10）	全型式	25kg ウエイト 10 枚まで	99891-1100-0 ウエイト，キット（25kg）

品　番	品　名	適応型式	用途・仕様	併用アタッチメント
その他				
99563-8100-2	キャノピ（簡易型）	全型式	ホロ製日よけ。 安全キャブ仕様には装着できません。	
99571-9100-0	作業灯アッシ		12V27W　１個口 安全キャブ仕様には装着できません。	
96397-1510-0	洗車ポンプ		後部 PTO に取付け スーパージョイント付には取付けできません。	
99563-8500-0	キャノピアッシ		樹脂製折りたたみ日よけ。 安全キャブ仕様には装着できません。	
99233-7500-2	ヒッチアッシ		けん引作業時に使用	

インプルメント一覧表

＊ トラクタ後部用作業機を装着したとき，かじ取り車輪（前輪）にかかる荷重が総重量の 20%以上になるようにバランスウエイトを装着し，使用してください。
＊ 装着可能な最大ウエイトを装着してもかじ取り車輪（前輪）にかかる荷重が総重量の 20%以上を確保できない作業機は装着しないでください。
＊ フロントローダを使用するときは，安定性を高めるためトラクタ後部に作業機や適切なウエイトを装備してください。（詳細は購入先にご相談ください。）

◆ ロータリ・補助ユニット

品 番	品 名	適 応 型 式			
		KL24R(H)	KL27R(H)	KL31R(H)	KL34R(H)
7C114-02044	RL140R	○	○		
7C114-00044	RL140R-B	○	○		
7C114-05044	RL140R-C	○	○		
7C114-02054	RL140R-V	○	○		
7C114-00054	RL140R-VB	○	○		
7C114-05054	RL140R-VC	○	○		
7C115-02044	RL150R	○	○		
7C115-00044	RL150R-B	○	○		
7C115-05044	RL150R-C	○	○		
7C115-02054	RL150R-V	○	○		
7C115-00054	RL150R-VB	○	○		
7C115-05054	RL150R-VC	○	○		
7C115-00654	RL150FR-VB	○	○		
7C116-02044	RL160R	○	○	○	○
7C116-00044	RL160R-B	○	○	○	○
7C116-05044	RL160R-C	○	○	○	○
7C116-02054	RL160R-V	○	○	○	○
7C116-00054	RL160R-VB	○	○	○	○
7C116-05054	RL160R-VC	○	○	○	○
7C116-00654	RL160FR-VB	○	○	○	○
7C117-02044	RL170R		○	○	○
7C117-00044	RL170R-B		○	○	○
7C117-05044	RL170R-C		○	○	○
7C117-02054	RL170R-V		○	○	○
7C117-00054	RL170R-VB		○	○	○
7C117-05054	RL170R-VC		○	○	○
7C165-00624	RL150XFR-VB	○	○		

品　番	品　　　名	適　　応　　型　　式			
		KL24R(H)	KL27R(H)	KL31R(H)	KL34R(H)
7C166-00624	RL160XFR-VB			○	○
7C185-02044	R150R	○	○		
7C185-00044	R150R-B	○	○		
7C185-02054	R150R-V	○	○		
7C185-00054	R150R-VB	○	○		
7C186-02044	R160R			○	○
7C186-00044	R160R-B			○	○
7C186-02054	R160R-V			○	○
7C186-00054	R160R-VB			○	○
7C100-02000	U240Q-12RF 補助ユニット	○			
7C100-04000	U270Q-12RF 補助ユニット		○		
7C100-06000	U310Q-12RF 補助ユニット			○	○
7C100-07000	WU240Q-12RF 補助ユニット	○			
7C100-08000	WU270Q-12RF 補助ユニット		○	○	○

品　番	品　　名	適　応　型　式			
		KL26R-PC	KL28R-PC	KL31R-PC	KL34R(H)-PC
7C117-02044	RL170R	○	○	○	
7C117-00044	RL170R-B	○	○	○	
7C117-05044	RL170R-C	○	○	○	
7C117-02054	RL170R-V	○	○	○	
7C117-00054	RL170R-VB	○	○	○	
7C117-05054	RL170R-VC	○	○	○	
7C118-02044	RL180R	○	○	○	○
7C118-05044	RL180R-C	○	○	○	○
7C118-02054	RL180R-V	○	○	○	○
7C118-05054	RL180R-VC	○	○	○	○
7C119-02044	RL190R				○
7C119-05044	RL190R-C				○
7C100-03000	U260PCQ-12RF 補助ユニット	○	○	○	
7C100-01000	U340PCQ-12RF 補助ユニット				○
7C100-05000	U341PCQ-12RF 補助ユニット（※1）				○
7C100-09000	WU260PCQ-12RF 補助ユニット	○			
7C100-08500	WU280PCQ-12RF 補助ユニット		○	○	
7C100-09500	WU340PCQ-12RF 補助ユニット				○

補　足

＊ RL,RM:サイドドライブロータリ,R:センタドライブロータリ,X:正逆転ロータリ,K:シリーズ記号,
　F：細土用，B：後２輪付，C：４輪キャスタ付，V：Vカットカバー付，W2：200mm 延長付
＊ U：特殊 3P 式補助ユニット，WU：W3P 式補助ユニット
※１：トラクタ　ドラフト仕様用補助ユニット

センサリンク取付要領

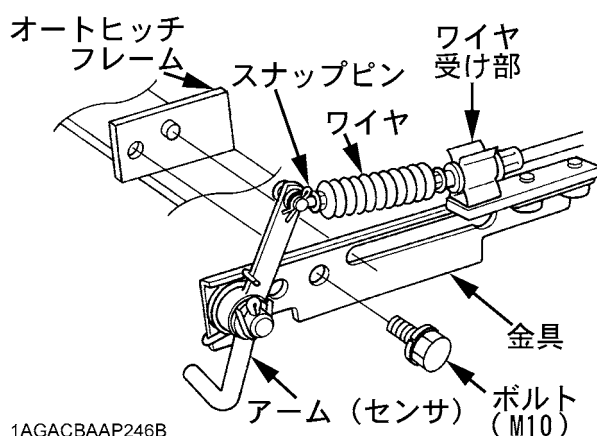
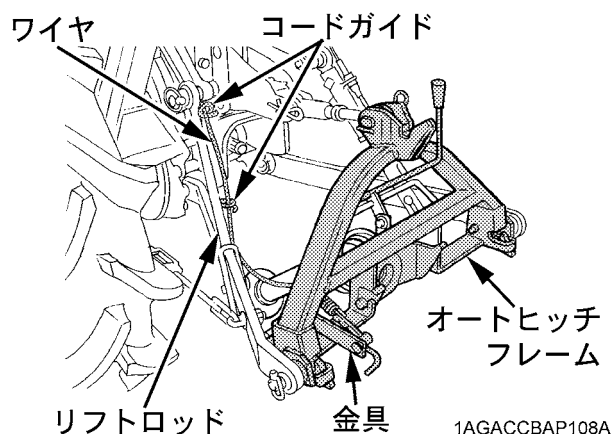
トラクタの出荷部品に入っているセンサリンクをオートヒッチフレーム及びロータリに取付ける場合は，以下の要領で行なってください。
また，作業機を取付けない時は，オートワイヤを収納してください。(**[作業のしかた]**の章の**[オートワイヤ]**の項を参照)

◆ オートヒッチフレーム側

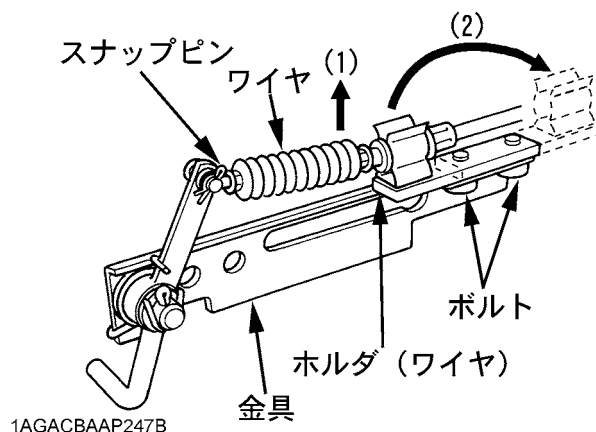
[特殊 3P 仕様]

1. リフトロッドの上下にあるコードガイドにワイヤを通します。
2. 金具をオートヒッチフレームにボルト（M10）で取付けます。
3. 仮付けしてあるスナップピンを外し，ワイヤをアーム（センサ）に取付け，スナップピンでセットします。
4. ワイヤを金具のワイヤ受け部に取付けます。

1AGACCBAP108A

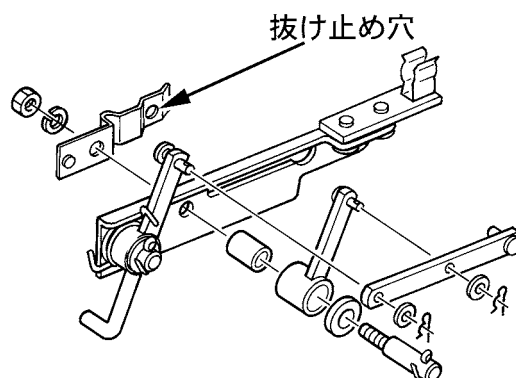
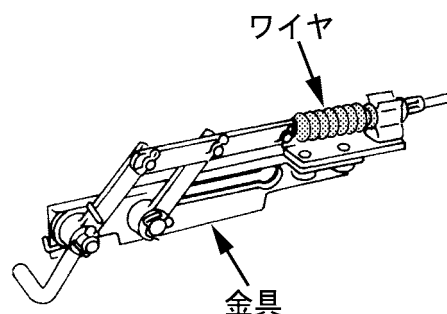
1AGACBAAP246B

[W3P 仕様]

1. 特殊 3P 仕様の金具を組替えてください。
   (1) スナップピンを外し，金具とホルダ（ワイヤ）からワイヤを取外します。
   (2) ボルトを外しホルダ（ワイヤ）を逆向きに組替えます。

1AGACBAAP247B

2. 付属の部品を下図の様に取付けてください。(付属の部品は「W3P」用補助ユニットに入っています。)

1AHACAEAP034B

3. ワイヤを金具に組付けます。

1AGACBAAP249A

作業ごとの一般的な調整要領

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">作業内容</th><th colspan="6">操作調整箇所
1AGACCOAP029N</th></tr>
<tr><th>耕深調節
ダイヤル</th><th>オート
スイッチ</th><th>３Ｐ切換
スイッチ</th><th>モンロ
スイッチ</th><th>モンロ角度
ダイヤル</th><th>モンロ手動
スイッチ</th></tr>
<tr><td rowspan="6">モンロー
マチック・
オート

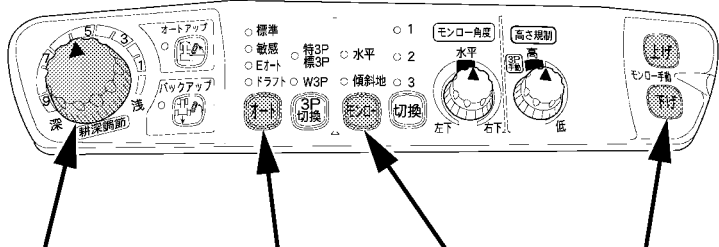
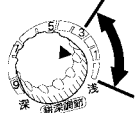
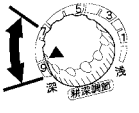
［入］

（MA・MAD仕様）</td><td>浅起こし
（5～8cm）</td><td rowspan="6">希望耕深に
なるよう
調節</td><td rowspan="3">標　準
又は
敏　感</td><td rowspan="6">特３Ｐ仕様
は，特３Ｐ
標３Ｐ

Ｗ３Ｐ仕様
は，Ｗ３Ｐ</td><td rowspan="5">水平</td><td rowspan="6">水平</td><td rowspan="5">－</td></tr>
<tr><td>一般耕うん
（8～15cm）</td></tr>
<tr><td>深起こし
（15cm以上）</td></tr>
<tr><td>代かき
湿　田</td><td>敏　感
又は
標　準</td></tr>
<tr><td>カバーを
上げての
耕うん</td><td>Ｅオート</td></tr>
<tr><td>傾斜地の
耕うん</td><td>標　準
又は
敏　感</td><td>傾斜地</td><td>タイヤ沈下
量に応じ
調整</td></tr>
<tr><td rowspan="6">モンロー
マチック・
オート

［切］

（ポジション
仕様）</td><td>浅起こし
（5～8cm）</td><td rowspan="6">－</td><td rowspan="6">切
（全ランプ
消灯）</td><td rowspan="6">－</td><td rowspan="6">切
（全ランプ
消灯）</td><td rowspan="6">－</td><td rowspan="6">－</td></tr>
<tr><td>一般耕うん
（8～15cm）</td></tr>
<tr><td>深起こし
（15cm以上）</td></tr>
<tr><td>代かき</td></tr>
<tr><td>うね立て</td></tr>
<tr><td>傾斜地の
耕うん</td></tr>
</table>

補　足

＊ ワンタッチ耕うんモードスイッチを **［入］** にすると，モンロ水平，オート標準，AD倍速，オートアップ，バックアップが **［入］** になります。（ **［作業のしかた］** の章の **［ワンタッチ耕うんモードスイッチ］** の項を参照）

操作調整箇所				
1AGACCOAP085A	(A) (B) (C) (D) 1AHACAGAP016C	1AHAEABAP057C	スプリングロック 1AHADACAP018D	(B) (A) 1AHACAGAP008B
油圧（ポジション）レバー	後２輪上下調節	後２輪ハンドル	スプリングロック	フラップカバー
最下位置	後２輪を外す	－	ロータリカバー２を下げる スプリングロックを接地圧条件に合せてセット	(B)の位置
				(A)の位置
				(B)の位置
				任意調整
				耕うん深さに応じ任意調整
最下位置	(A)又は(B)の位置	希望耕深になるよう調整 （うね立て時は後２輪ハンドルで，うね高さを調整する）	ロータリカバー２を下げる スプリングロックを接地圧条件に合せてセット	(B)の位置
	(B)の位置 （必要に応じて(C)の位置）			(A)の位置
	(D)の位置			
	(A)の位置			(B)の位置
	後２輪を外す			フラップカバーを外す
	耕うん深さに応じ任意調整			耕うん深さに応じ任意調整

補　足

＊ 主な作業ごとの一般的な調整要領を記載しています。土質など作業条件にあわせ適宜調整してください。

＊ 高さ規制・オートアップ・バックアップスイッチなどは，作業に応じて使用してください。

オートドラフトコントロールによる作業要領［MAD 仕様］

<table>
<tr><th rowspan="2" colspan="2">作業内容</th><th colspan="5">操 作 調 整 箇 所</th></tr>
<tr><th>耕深調節
ダイヤル</th><th>オート
スイッチ</th><th>モンロ
スイッチ</th><th>モンロ手動
スイッチ</th><th>油圧(ポジション)レバー</th></tr>
<tr><td rowspan="4">オート
ドラフト
［入］</td><td>浅起こし</td><td></td><td rowspan="4">［ドラフト］用
スイッチ
ランプ
点灯位置</td><td rowspan="4">操作不要</td><td rowspan="4">任意の角度に
作業機を傾斜
させる</td><td rowspan="3">［最下位置］</td></tr>
<tr><td>一般耕うん</td><td></td></tr>
<tr><td>深起こし</td><td></td></tr>
<tr><td>ミックス
コントロール
(軟弱他)</td><td>任意の位置</td><td>作業機の最下位置を
油圧(ポジション)
レバーで決める</td></tr>
<tr><td rowspan="3">オート
ドラフト
［切］</td><td>浅起こし</td><td rowspan="3">操作不要</td><td rowspan="3">［ドラフト］用
スイッチ
ランプ
消灯位置</td><td rowspan="3">［水平, 傾斜地］
用スイッチ
ランプ
消灯位置</td><td rowspan="3">任意の角度に
作業機を傾斜
させる</td><td rowspan="3">［最下位置］
耕深はトップリンク
と作業機のゲージ輪
で調節する
(作業機の機構に
よっては油圧レバーで
耕深を調節する
ものもあります。)</td></tr>
<tr><td>一般耕うん</td></tr>
<tr><td>深起こし</td></tr>
</table>

補　足

＊ トップリンク取付位置により，ドラフト感度を調整することができ，トップリンクブラケットの上穴を使用するほど感度が敏感となります。

インプルメントの大きさの上限について

＊ トラクタの後部にインプルメントを装着する場合，必要に応じトラクタ前部に適正なウエイトを取付けてください。前車軸にかかる重量は総重量の 20％以上になるようにしてください。それ以下になると，前輪のステアリング操作が難しくなったり，前が浮いて転倒事故につながる場合があります。

トラクタに装着するインプルメントは適正な大きさのものを使用してください。大きすぎるインプルメントの使用はトラクタの故障につながります。特にトレーラについては下表にもとづいて適正なインプルメントを選択してください。

インプルメントの大きさの上限

	けん引ヒッチ又はドローバにかけることができる最大の重量 W1	使用可能なトレーラの最大積載荷重 W2
KL24R(H)	350kg	1000kg
KL27R(H)・31R(H)・34R(H)・26R-PC・28R-PC・31R-PC・34R(H)-PC	500kg	1500kg

1AGACBAAP291A

目次
困ったときには
安全
サービスと保証小特の取扱い
運転のしかた
作業のしかた
安全キャブ装備品の取扱い
トラクタの簡単な手入れと処置
付表
索引

検査成績表

平成22年度 農業・食品産業技術総合研究機構

農用トラクター（乗用型）用安全キャブ及び安全フレーム検査成績表

型式名：クボタ KSQ245

合格番号：210004

種　類：安全キャブ

依頼者名：株式会社 クボタ
住　所：大阪府大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

Ⅰ　装着可能トラクター

1．型式名

クボタ KL24RH　クボタ KL2450H　クボタ KL24R　クボタ KL2450
クボタ KL245H　クボタ KL245　クボタ KL225

2．主要諸元（最大トラクター）

- ■型式名：クボタ KL24RH
- ■種類：4輪駆動
- ■質量（キャブ付き）kg：1380
- ■軸距 mm：1600
- ■機関出力/回転速度 kW(PS)/rpm：17.7 {24}/2700

Ⅱ　構造の概要

1．構造及び装着法

供試キャブは，鋼管及び鋼板を主材とした溶接による一体構造であり，防振ゴム・取付金具を介してクラッチハウジング部，ブレーキケース部及び後車軸ケース部にボルトで装着。

ウインドスクリーン，ドア（両側），側窓，後窓を装備。

2．主な装備

シートベルト（2点式），暖冷房装置，電動ワイパー（前・後）

3．主要寸法　※

- ■座席基準点から屋根部材（内張下面）までの高さ：95.0 cm
- ■フートプレートから屋根部材（内張下面）までの高さ：136.0 cm
- ■座席基準点上方76cmの高さにおけるキャブの内幅：89.0 cm
- ■ステアリングホイールの中心高さにおける座席基準点上方のキャブの内幅：96.0 cm
- ■戸口の幅（上部）：66.0 cm
　（中部）：87.5 cm
　（下部）：32.0 cm
- ■戸口の高さ（フートプレートから）：128.5 cm
- ■最低位ステップの高さ：38.0 cm
- ■キャブ装着時のトラクターの全高（キャブ上端まで）：204.5 cm
- ■キャブの全幅：124.5 cm
- ■座席基準点上方76cmの高さにおける座席基準点からキャブ後部までの水平距離：33.0 cm

※1．クボタ KL24RH（タイヤサイズ：前輪 7-14 4PR 後輪 9.5-24 4PR）に装着時。
2．トラクターシートの銘柄型式：しげる工業，T3630-47711(B)
3．ステアリングホイールのチルトは中央位置に調節。

4．主要材料

- ■主フレーム：STKM 11 A, STKR 400, SS 400, SPHC, SPLY, SPCE, SPHE, SPCC, SPMY
- ■装着ブラケット：SS 400
- ■組立・装着ボルト：S 40 C～S 45 C

Ⅲ　検査成績

1．強度試験

1）水平負荷試験は，キャブの後部左側，側部右側に対して実施。

- ■基準質量：1370 kg
- ■所要吸収エネルギー：後部負荷 2.21 kJ {225 kgf・m}
　：側部負荷 3.02 kJ {308 kgf・m}
- ■圧壊力：20.14 kN {2054 kgf}

2）試験後のキャブの永久変位

- ■後部（前方へ）：右側 0.5 cm　左側 5.0 cm
- ■前部（前方へ）：右側 1.0 cm　左側 5.0 cm
- ■側部（左側方へ）：前側 16.0 cm　後側 14.0 cm
- ■上部（下方へ）：前部 右側 0.0 cm　左側 2.0 cm
　：後部 右側 −0.5 cm　左側 2.5 cm

3）側部負荷試験時のキャブの最大変位と残留変位との差：11.0 cm

2．騒音　※

- ■77.0 dB(A)［クボタ KL24RH］

※7.5km/hに近い速度段で，けん引負荷をかけた時のキャブ内騒音（運転者の耳もと）

Ⅳ　付記

本キャブは，既合格機（合格番号 209008）であり，装着トラクター2型式（クボタ KL24RH，クボタ KL24R）の追加にともなって受検したものである。強度試験については，元の型式検査の試験成績を転用した。

平成22年度 農業・食品産業技術総合研究機構

農用トラクター（乗用型）用安全キャブ及び安全フレーム検査成績表

型式名：クボタ KSQ345D

合格番号：210005

種　類：安全キャブ

依頼者名：株式会社 クボタ
住　所：大阪府大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

Ⅰ　装着可能トラクター

1．型式名

クボタ L345D　クボタ L315D　クボタ KL27RH　クボタ KL2750H
クボタ KL27R　クボタ KL2750

2．主要諸元（最大トラクター）

- ■型式名：クボタ L345D
- ■種類：4輪駆動
- ■質量（キャブ付き）kg：1460
- ■軸距 mm：1670
- ■機関出力/回転速度 kW(PS)/rpm：25.0{34}/2700

Ⅱ　構造の概要

1．構造及び装着法

供試キャブは，鋼管及び鋼板を主材とした溶接による一体構造であり，防振ゴム・取付金具を介してクラッチハウジング部，ブレーキケース部及び後車軸ケース部にボルトで装着。

ウインドスクリーン，ドア（両側），側窓，後窓を装備。

2．主な装備

シートベルト（2点式），暖冷房装置，電動ワイパー（前・後）

3．主要寸法　※

- ■座席基準点から屋根部材（内張下面）までの高さ：109.5 cm
- ■フートプレートから屋根部材（内張下面）までの高さ：147.0 cm
- ■座席基準点上方90cmの高さにおけるキャブの内幅：89.0 cm
- ■ステアリングホイールの中心高さにおける座席基準点上方のキャブの内幅：84.0 cm
- ■戸口の幅（上部）：66.0 cm
　（中部）：87.5 cm
　（下部）：32.0 cm
- ■戸口の高さ（フートプレートから）：138.5 cm
- ■最低位ステップの高さ：37.5 cm
- ■キャブ装着時のトラクターの全高（キャブ上端まで）：214.5 cm
- ■キャブの全幅：124.5 cm
- ■座席基準点上方90cmの高さにおける座席基準点からキャブ後部までの水平距離：31.0 cm

※1．クボタ L345D（タイヤサイズ：前輪 7-16 4PR 後輪 11.2-24 4PR）に装着時。
2．トラクターシートの銘柄型式：しげる工業，T1060-47712
3．ステアリングホイールのチルトは中央位置に調節。

4．主要材料

- ■主フレーム：STKM 11 A, STKR 400, SGD 400-D, SS 400, SPHC, SPHE, SPLY, SPCC, SPCE
- ■装着ブラケット：SS 400, SPHC
- ■組立・装着ボルト：S 40 C～S 45 C

Ⅲ　検査成績

1．強度試験

1）水平負荷試験は，キャブの後部左側，前部右側，側部右側に対して実施。

- ■基準質量：1465 kg
- ■基準軸距：1670 mm
- ■所要吸収エネルギー：後部負荷 0.89 kJ {91 kgf・m}
　前部負荷 1.23 kJ {125 kgf・m}
　側部負荷 2.56 kJ {261 kgf・m}
- ■圧壊力：29.30 kN {2988 kgf}

2）試験後のキャブの永久変位

- ■後部（前方へ）：右側 −1.5 cm　左側 1.0 cm
- ■前部（前方へ）：右側 −1.0 cm　左側 1.0 cm
- ■側部（左側方へ）：前部 15.0 cm　後部 13.5 cm
- ■上部（下方へ）：前部 右側 0.5 cm　左側 2.0 cm
　：後部 右側 0.0 cm　左側 1.0 cm

3）側部負荷試験時のキャブの最大変位と残留変位との差：10.5 cm

2．騒音　※

- ■79.5 dB(A)［クボタ L345D］

※7.5km/hに近い速度段で，けん引負荷をかけた時のキャブ内騒音（運転者の耳もと）

Ⅳ　付記

本キャブは，既合格機（合格番号 209010）であり，装着トラクター2型式（クボタ KL27RH，クボタ KL27R）の追加にともなって受検したものである。強度試験については，元の型式検査の試験成績を転用した。

農用トラクター（乗用型）用安全キャブ及び安全フレーム検査成績表

平成22年度 農業・食品産業技術総合研究機構

型式名：クボタ KSQ345

合格番号：210006

種類：安全キャブ

依頼者名：株式会社 クボタ
住所：大阪府大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

Ⅰ 装着可能トラクター

1．型式名

クボタ KL34RH	クボタ KL3450H	クボタ KL345H	クボタ KL34R
クボタ KL3450	クボタ KL345	クボタ KL31RH	クボタ KL3150H
クボタ KL315H	クボタ KL31R	クボタ KL3150	クボタ KL315
クボタ KL285H	クボタ KL285		

2．主要諸元（最大トラクター）
- ■型式名 ： クボタ KL34RH
- ■種類 ： 4輪駆動
- ■質量（キャブ付き） kg ： 1545
- ■軸距 mm ： 1745
- ■機関出力/回転速度 kW(PS)/rpm ： 25.0{34}/2700

Ⅱ 構造の概要

1．構造及び装着法

供試キャブは，鋼管及び鋼板を主材とした溶接による一体構造であり，防振ゴム・取付金具を介してクラッチハウジング部，ブレーキケース部及び後車軸ケース部にボルトで装着。
ウインドスクリーン，ドア（両側），側窓，後窓を装備。

2．主な装備

シートベルト（2点式），暖冷房装置，電動ワイパー（前・後）

3．主要寸法 ※

項目		値
■座席基準点から屋根部材（内張下面）までの高さ		106.5 cm
■フートプレートから屋根部材（内張下面）までの高さ		145.0 cm
■座席基準点上方90cmの高さにおけるキャブの内幅		87.5 cm
■ステアリングホイールの中心高さにおける座席基準点上方のキャブの内幅		84.5 cm
■戸口の幅	（上部）	66.0 cm
	（中部）	88.0 cm
	（下部）	32.0 cm
■戸口の高さ	（フートプレートから）	138.0 cm
■最低位ステップの高さ		38.5 cm
■キャブ装着時のトラクターの全高	（キャブ上端まで）	215.0 cm
■キャブの全幅		124.0 cm
■座席基準点上方90cmの高さにおける座席基準点からキャブ後部までの水平距離		24.5 cm

※1．クボタ KL34RH（タイヤサイズ ： 前輪 8-16 4PR 後輪 13.6-24 4PR）に装着時。
2．トラクターシートの銘柄型式 ： しげる工業，T3630-47711(A)
3．ステアリングホイールのチルトは中央位置に調節。

4．主要材料
- ■主フレーム ： STKM 11 A, STKR 400, SS 400, SPHC, SPLY, SPCE, SPHE, SPCC
- ■装着ブラケット ： SS 400
- ■組立・装着ボルト ： S 40 C～S 45 C

Ⅲ 検査成績

1．強度試験

1）水平負荷試験は，キャブの後部左側，前部右側，側部右側に対して実施。
- ■基準質量 ： 1550 kg
- ■基準軸距 ： 1745 mm
- ■所要吸収エネルギー ： 後部負荷 1.02 kJ {104 kgf·m}
  前部負荷 1.28 kJ {131 kgf·m}
  側部負荷 2.71 kJ {276 kgf·m}
- ■圧壊力 ： 31.00 kN {3161 kgf}

2）試験後のキャブの永久変位
- ■後部（前方へ） ： 右側 -2.5 cm 左側 1.0 cm
- ■前部（前方へ） ： 右側 -2.0 cm 左側 1.5 cm
- ■側部（左側方へ） ： 前部 15.5 cm 後部 14.5 cm
- ■上部（下方へ） ： 前部 右側 0.5 cm 左側 1.5 cm
  ： 後部 右側 -0.5 cm 左側 1.5 cm

3）側部負荷試験時のキャブの最大変位と残留変位との差 ： 11.0 cm

2．騒音 ※
- ■ 78.0 dB(A) ［クボタ KL34RH］

※ 7.5km/h に近い速度段で，けん引負荷をかけた時のキャブ内騒音（運転者の耳もと）

Ⅳ 付記

本キャブは，既合格機（合格番号 209009）であり，装着トラクター4型式（クボタ KL34RH，クボタ KL34R，クボタ KL31RH，クボタ KL31R）の追加にともなって受検したものである。強度試験については，元の型式検査の試験成績を転用した。

農用トラクター（乗用型）用安全キャブ及び安全フレーム検査成績表

平成22年度 農業・食品産業技術総合研究機構

型式名：クボタ KSQ34R−PC

合格番号：210007

種類：安全キャブ

依頼者名：株式会社 クボタ
住所：大阪府大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

Ⅰ 装着可能トラクター

1．型式名

クボタ KL34RH-PC	クボタ KL34R-PC	クボタ KL31R-PC	クボタ KL28R-PC
クボタ KL26R-PC			

2．主要諸元（最大トラクター）
- ■型式名 ： クボタ KL34RH-PC
- ■種類 ： 半装軌式
- ■質量（キャブ付き） kg ： 1810
- ■軸距 mm ： 1730
- ■機関出力/回転速度 kW(PS)/rpm ： 25.0{34}/2700

Ⅱ 構造の概要

1．構造及び装着法

供試キャブは，鋼管及び鋼板を主材とした溶接による一体構造であり，防振ゴム・取付金具を介してクラッチハウジング部，ブレーキケース部及び後車軸ケース部にボルトで装着。
ウインドスクリーン，ドア（両側），側窓，後窓を装備。

2．主な装備

シートベルト（2点式），暖冷房装置，電動ワイパー（前・後）

3．主要寸法 ※

項目		値
■座席基準点から屋根部材（内張下面）までの高さ		98.5 cm
■フートプレートから屋根部材（内張下面）までの高さ		146.5 cm
■座席基準点上方81cmの高さにおけるキャブの内幅		89.0 cm
■ステアリングホイールの中心高さにおける座席基準点上方のキャブの内幅		84.0 cm
■戸口の幅	（上部）	66.5 cm
	（中部）	87.5 cm
	（下部）	32.0 cm
■戸口の高さ	（フートプレートから）	138.5 cm
■最低位ステップの高さ		44.0 cm
■キャブ装着時のトラクターの全高	（キャブ上端まで）	220.5 cm
■キャブの全幅		124.0 cm
■座席基準点上方81cmの高さにおける座席基準点からキャブ後部までの水平距離		36.0 cm

※1．クボタ KL34RH-PC（タイヤサイズ ： 前輪 8-16 4PR 履帯 400W×38L×90P）に装着時。
2．トラクターシートの銘柄型式 ： しげる工業，T3630-47711(A)
3．ステアリングホイールのチルトは中央位置に調節。

4．主要材料
- ■主フレーム ： STKM 11 A, STKR 400, SGD 400-D, SS 400, SPHC, SPLY, SPCE, SPHE, SPCC
- ■装着ブラケット ： SS 400
- ■組立・装着ボルト ： S 40 C～S 45 C

Ⅲ 検査成績

1．強度試験

1）水平負荷試験は，キャブの後部左側，前部右側，側部右側に対して実施。
- ■基準質量 ： 1813 kg
- ■基準軸距 ： 1730 mm
- ■所要吸収エネルギー ： 後部負荷 1.18 kJ {120 kgf·m}
  前部負荷 1.41 kJ {144 kgf·m}
  側部負荷 3.17 kJ {323 kgf·m}
- ■圧壊力 ： 36.26 kN {3698 kgf}

2）試験後のキャブの永久変位
- ■後部（前方へ） ： 右側 -1.5 cm 左側 1.5 cm
- ■前部（前方へ） ： 右側 -1.5 cm 左側 1.5 cm
- ■側部（左側方へ） ： 前部 20.0 cm 後部 17.0 cm
- ■上部（下方へ） ： 前部 右側 2.0 cm 左側 2.5 cm
  ： 後部 右側 0.0 cm 左側 1.5 cm

3）側部負荷試験時のキャブの最大変位と残留変位との差 ： 11.0 cm

2．騒音 ※
- ■ 76.0 dB(A) ［クボタ KL34RH-PC］

※ 7.5km/h に近い速度段で，けん引負荷をかけた時のキャブ内騒音（運転者の耳もと）

Ⅳ 付記

本キャブは，任意鑑定受験機（平21任鑑36号，コードⅡ）であり，強度試験については，任意鑑定の試験成績を転用した。
本成績表のⅡの3．主要寸法における座席基準点は，平成22年度の「農用トラクター（乗用型）用安全キャブ及び安全フレームの型式検査の主要な実施方法及び基準」の改正により変更されたものであり，従来の座席基準点とは位置が異なる。

農用トラクター（乗用型）用安全キャブ
及び安全フレーム検査成績表

平成22年度
農業・食品産業技術
総合研究機構

型式名：クボタ KSF25

合格番号：210008

種　類：安全フレーム（2柱式）

依頼者名：株式会社 クボタ
住　所：大阪府大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

Ⅰ　装着可能トラクター

1．型 式 名

クボタ KL25	日立 NTX245	クボタ KL24RH	クボタ KL2450H
クボタ KL245H	クボタ KL24R	クボタ KL2450	クボタ KL245
クボタ KL230H	クボタ KL230	クボタ KL23	クボタ KL225
クボタ KL210H	クボタ KL210	クボタ KL21	

2．主要諸元（最大トラクター）

■ 型　式　名　：　クボタ KL25
■ 種　類　：　4輪駆動
■ 質量（フレーム付き）　kg　：　1150
■ 軸　距　mm　：　1550
■ 機関出力/回転速度　kW{PS}/rpm　：　18.4{25}/2600

（注）最大質量トラクターはクボタ KL24RH 及びクボタ KL2450H で，質量は 1190kg である。

Ⅱ　構造の概要

1．構造及び装着法

供試フレームは，鋼管及び鋼板を主材としたボルト締めによる組立構造の2柱式であり，防振ゴム・取付金具を介してクラッチハウジング部，ブレーキケース部及び後車軸ケース部にボルトで装着。
なお，格納等のためにフレーム上部を折曲げることができる。

2．主な装備

シートベルト（2点式）

3．主要寸法　※

■ 座席基準点から屋根部材（下面）までの高さ　：　88.0 cm
■ フートプレートから屋根部材（下面）までの高さ　：　131.0 cm
■ 座席基準点上方 76cm の高さにおけるフレームの内幅　：　97.0 cm
■ ステアリングホイールの中心高さにおける座席基準点上方のフレームの内幅　：　— cm
■ 戸口の幅　（上部）　：　— cm
（中部）　：　— cm
（下部）　：　— cm
■ 戸口の高さ　（フートプレートから）　：　— cm
■ 最低位ステップの高さ　：　41.0 cm
■ フレーム装着時のトラクターの全高　（屋根部材上面まで）　：　198.5 cm
■ フレームの全幅　（フェンダーを含む）　：　119.0 cm
■ 座席基準点上方 76cm の高さにおける座席基準点からフレーム後部までの水平距離　：　31.5 cm

※1．クボタ KL25（タイヤサイズ：前輪 6-14 4PR 後輪 9.5-24 4PR）に装着時。
2．トラクターシートの銘柄型式：しげる工業，T1060-4770
3．ステアリングホイールのチルトは中央位置に調節。

4．主要材料

■ 主 フ レ ー ム　：　STK 400，STKR 400，SS 400，SPHC，SPHE，SPCC，SPCE，SPLY
■ 装着ブラケット　：　SS 400
■ 組立・装着ボルト　：　S 40 C～S 45 C，SGD 400-D

Ⅲ　検査成績

1．強度試験

1）水平負荷試験は，フレームの後部右側，側部左側に対して実施。
■ 基 準 質 量　：　1170 kg
■ 所要吸収エネルギー　：　後部負荷　1.88 kJ {192 kgf·m}
側部負荷　2.74 kJ {279 kgf·m}
■ 圧　壊　力　：　17.21 kN {1755 kgf}

2）試験後のフレームの永久変位
■ 後 部（前方へ）　：　右側　18.0 cm　左側　15.0 cm
■ 側 部（右側方へ）　：　20.0 cm
■ 上 部（下 方 へ）　：　右側　6.0 cm　左側　2.5 cm

3）側部負荷試験時のフレームの最大変位と残留変位との差　：　12.0 cm

2．騒　音　※

■ 86.0 dB(A)　［クボタ KL25］

※ 7.5km/h に近い速度段で，けん引負荷をかけた時のフレーム内騒音（運転者の耳もと）

Ⅳ　付　記

本フレームは，既合格機（合格番号 209015）であり，装着トラクター2型式（クボタ KL24RH，クボタ KL24R）の追加にともなって受検したものである。強度試験については，元の型式検査の試験成績を転用した。

農用トラクター（乗用型）用安全キャブ
及び安全フレーム検査成績表

平成22年度
農業・食品産業技術
総合研究機構

型式名：クボタ KSF27

合格番号：210009

種　類：安全フレーム（2柱式）

依頼者名：株式会社 クボタ
住　所：大阪府大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

Ⅰ　装着可能トラクター

1．型 式 名

クボタ L345D	クボタ L315D	クボタ L300D	クボタ KL27RH
クボタ KL2750H	クボタ KL27R	クボタ KL2750	クボタ KL27
クボタ KL25			

2．主要諸元（最大トラクター）

■ 型　式　名　：　クボタ L345D
■ 種　類　：　4輪駆動
■ 質量（フレーム付き）　kg　：　1260
■ 軸　距　mm　：　1670
■ 機関出力/回転速度　kW{PS}/rpm　：　25.0{34}/2700

Ⅱ　構造の概要

1．構造及び装着法

供試フレームは，鋼管及び鋼板を主材としたボルト締めによる組立構造の2柱式であり，防振ゴム・取付金具を介してクラッチハウジング部，ブレーキケース部及び後車軸ケース部にボルトで装着。
なお，格納等のためにフレーム上部を折曲げることができる。

2．主な装備

シートベルト（2点式）

3．主要寸法　※

■ 座席基準点から屋根部材（下面）までの高さ　：　88.0 cm
■ フートプレートから屋根部材（下面）までの高さ　：　131.5 cm
■ 座席基準点上方 76cm の高さにおけるフレームの内幅　：　97.5 cm
■ ステアリングホイールの中心高さにおける座席基準点上方のフレームの内幅　：　— cm
■ 戸口の幅　（上部）　：　— cm
（中部）　：　— cm
（下部）　：　— cm
■ 戸口の高さ　（フートプレートから）　：　— cm
■ 最低位ステップの高さ　：　40.5 cm
■ フレーム装着時のトラクターの全高　（屋根部材上面まで）　：　198.5 cm
■ フレームの全幅　（フェンダーを含む）　：　119.5 cm
■ 座席基準点上方 76cm の高さにおける座席基準点からフレーム後部までの水平距離　：　33.0 cm

※1．クボタ L345D（タイヤサイズ：前輪 7-16 4PR 後輪 11.2-24 4PR）に装着時。
2．トラクターシートの銘柄型式：しげる工業，T1060-47712
3．ステアリングホイールのチルトは中央位置に調節。

4．主要材料

■ 主 フ レ ー ム　：　STKR 400，STK 400，SS 400，SPHC，SPHE，SPLY，SPCC，SPCE
■ 装着ブラケット　：　STK 400，SS 400
■ 組立・装着ボルト　：　S 40 C～S 45 C，SGD 400-D

Ⅲ　検査成績

1．強度試験

1）水平負荷試験は，フレームの後部右側，側部左側に対して実施。
■ 基 準 質 量　：　1240 kg
■ 所要吸収エネルギー　：　後部負荷　2.00 kJ {204 kgf·m}
：　側部負荷　2.84 kJ {290 kgf·m}
■ 圧　壊　力　：　18.24kN {1860 kgf}

2）試験後のフレームの永久変位
■ 後 部（前 方 へ）　：　右側　17.5 cm　左側　15.0 cm
■ 側 部（右側方へ）　：　21.0 cm
■ 上 部（下 方 へ）　：　右側　6.5 cm　左側　3.0 cm

3）側部負荷試験時のフレームの最大変位と残留変位との差　：　12.0 cm

2．騒　音　※

■ 86.0 dB(A)　［クボタ L345D］

※ 7.5km/h に近い速度段で，けん引負荷をかけた時のフレーム内騒音（運転者の耳もと）

Ⅳ　付　記

本フレームは，既合格機（合格番号 209016）であり，装着トラクター2型式（クボタ KL27RH，クボタ KL27R）の追加にともなって受検したものである。強度試験については，元の型式検査の試験成績を転用した。

農用トラクター（乗用型）用安全キャブ及び安全フレーム検査成績表

平成22年度
農業・食品産業技術総合研究機構

型式名：クボタ KSF33

合格番号：210010

種　類：安全フレーム（2柱式）

依頼者名：株式会社 クボタ
住　所：大阪府大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

Ⅰ　装着可能トラクター

1．型 式 名

クボタ KL34RH	クボタ KL3450H	クボタ KL34R	クボタ KL3450
クボタ KL345H	クボタ KL345	クボタ KL330D	クボタ KL330
クボタ KL33	クボタ L330D	クボタ KL31RH	クボタ KL3150H
クボタ KL315H	クボタ KL31R	クボタ KL3150	クボタ KL315
クボタ KL300	クボタ KL300D	クボタ KL30	クボタ KL285H
クボタ KL285	クボタ KL27	クボタ KL270H	クボタ KL270

※クボタ KL27 については，大径タイヤ仕様（タイヤサイズ：前輪 7-16 後輪 12.4-24）のみ装着可能。

2．主要諸元（最大トラクター）
- ■型　式　名　：　クボタ KL34RH
- ■種　類　：　4輪駆動
- ■質量（フレーム付き）　kg　：　1345
- ■軸　距　mm　：　1745
- ■機関出力/回転速度　kW{PS}/rpm　：　25.0{34}/2700

Ⅱ　構造の概要

1．構造及び装着法

供試フレームは，鋼管及び鋼板を主材としたボルト締めによる組立構造であり，防振ゴム・取付金具を介してクラッチハウジング部，ブレーキケース部及び後車軸ケース部にボルトで装着。

なお，格納等のためにフレーム上部を折曲げることができる。

2．主な装備

シートベルト（2点式）

3．主要寸法　※
- ■座席基準点から屋根部材（下面）までの高さ　：　87.5 cm
- ■フートプレートから屋根部材（下面）までの高さ　：　130.0 cm
- ■座席基準点上方 76cm の高さにおけるフレームの内幅　：　98.0 cm
- ■ステアリングホイールの中心高さにおける座席基準点上方のフレームの内幅　：　— cm
- ■戸口の幅　（上部）　：　— cm
　（中部）　：　— cm
　（下部）　：　— cm
- ■戸口の高さ　（フートプレートから）　：　— cm
- ■最低位ステップの高さ　：　41.5 cm
- ■フレーム装着時のトラクターの全高　（屋根部材上面まで）　：　198.5 cm
- ■フレームの全幅　（フェンダーを含む）　：　119.0 cm
- ■座席基準点上方 76cm の高さにおける座席基準点からフレーム後部までの水平距離　：　35.0 cm

※1．クボタ KL34RH（タイヤサイズ：前輪 8-16 4PR　後輪 13.6-24 4PR）に装着時。
　2．トラクターシートの銘柄型式：しげる工業，T3630-47711(B)
　3．ステアリングホイールのチルトは中央位置に調節。

4．主要材料
- ■主 フ レ ー ム　：　STK 400, STKR 400, SS 400, SPHC, SPHE, SPCE, SPCC, SPLY
- ■装着ブラケット　：　STK 400, SS 400
- ■組立・装着ボルト　：　S 40 C～S 45 C, SGD 400-D

Ⅲ　検査成績

1．強度試験

1）水平負荷試験は，フレームの後部右側，側部左側に対して実施。
- ■基　準　質　量　：　1330 kg
- ■所要吸収エネルギー　：　後部負荷　2.14 kJ {218 kgf･m}
　側部負荷　2.96 kJ {302 kgf･m}
- ■圧　壊　力　：　19.56 kN {1995 kgf}

2）試験後のフレームの永久変位
- ■後　部（前 方 へ）　：　右側　13.5 cm　左側　12.0 cm
- ■側　部（右側方へ）　：　18.0 cm
- ■上　部（下 方 へ）　：　右側　5.5 cm　左側　1.5 cm

3）側部負荷試験時のフレームの最大変位と残留変位との差　：　12.5 cm

2．騒　音 ※
- ■ 85.0 dB(A)　［クボタ KL34RH］

※ 7.5km/h に近い速度段で，けん引負荷をかけた時のフレーム内騒音（運転者の耳もと）

Ⅳ　付　記

本フレームは，既合格機（合格番号 209017）であり，装着トラクター4型式（クボタ KL34RH，クボタ KL34R，クボタ KL31RH，クボタ KL31R）の追加にともなって受検したものである。強度試験については，元の型式検査の試験成績を転用した。

農用トラクター（乗用型）用安全キャブ及び安全フレーム検査成績表

平成22年度
農業・食品産業技術総合研究機構

型式名：クボタKSF34R−PC

合格番号：210011

種　類：安全フレーム（2柱式）

依頼者名：株式会社クボタ
住　所：大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号

Ⅰ　装着可能トラクター

1．型 式 名

クボタ KL34RH-PC	クボタ KL34R-PC	クボタ KL31R-PC	クボタ KL28R-PC
クボタ KL26R-PC			

2．主要諸元（最大トラクター）
- ■型　式　名　：　クボタ KL34RH-PC
- ■種　類　：　半装軌式
- ■質　量（フレーム付き）　kg　：　1615
- ■軸　距　mm　：　1730
- ■機関出力/回転速度　kW{PS}/rpm　：　25.0{34}/2700

Ⅱ　構造の概要

1．構造及び装着法

供試フレームは，鋼管及び鋼板を主材としたボルト締めによる組立構造であり，防振ゴム・取付金具を介してクラッチハウジング部，ブレーキケース部及び後車軸ケース部にボルトで装着。

なお，格納等のためにフレーム上部を折曲げることができる。

2．主な装備

シートベルト（2点式）

3．主要寸法　※
- ■座席基準点から屋根部材（下面）までの高さ　：　87.5 cm
- ■フートプレートから屋根部材（下面）までの高さ　：　131.0 cm
- ■座席基準点上方 76cm の高さにおけるフレームの内幅　：　97.5 cm
- ■ステアリングホイールの中心高さにおける座席基準点上方のフレームの内幅　：　— cm
- ■戸口の幅　（上部）　：　— cm
　（中部）　：　— cm
　（下部）　：　— cm
- ■戸口の高さ　（フートプレートから）　：　— cm
- ■最低位ステップの高さ　（フートプレートの高さ）　：　46.5 cm
- ■フレーム装着時のトラクターの全高　（屋根部材上面まで）　：　204.0 cm
- ■フレームの全幅　（フェンダーを含む）　：　119.0 cm
- ■座席基準点上方 76cm の高さにおける座席基準点からフレーム後部までの水平距離　：　34.0 cm

※1．クボタ KL34RH-PC（タイヤサイズ：前輪 8-18 4PR　履帯 400W×38L×90P）に装着時。
　2．トラクターシートの銘柄型式：しげる工業，T3630-47711(3)
　3．ステアリングホイールのチルトは中央位置に調節。

4．主要材料
- ■主 フ レ ー ム　：　STK 400, STKR 400, SS 400, SPHC, SPHE, SPLY, SPCC, SPCE
- ■装着ブラケット　：　SS 400
- ■組立・装着ボルト　：　SGD 400-D, S 40 C～S 45 C

Ⅲ　検査成績

1．強度試験

1）水平負荷試験は，フレームの後部左側，側部右側に対して実施。
- ■基　準　質　量　：　1618 kg
- ■所要吸収エネルギー　：　後部負荷　2.61 kJ {266 kgf･m}
　側部負荷　3.36 kJ {343 kgf･m}
- ■圧　壊　力　：　23.78 kN {2425 kgf}

2）試験後のフレームの永久変位
- ■後　部（前 方 へ）　：　右側　11.0 cm　左側　12.0 cm
- ■側　部（左側方へ）　：　16.0 cm
- ■上　部（下 方 へ）　：　右側　0.0 cm　左側　4.5 cm

3）側部負荷試験時のフレームの最大変位と残留変位との差　：10.5 cm

2．騒　音 ※
- ■ 84.0 dB(A)　［クボタ KL34RH-PC］

※ 7.5km/h に近い速度段で，けん引負荷をかけた時のフレーム内騒音（運転者の耳もと）

Ⅳ　付　記

本フレームは，任意鑑定受験機（平21任鑑35号，コードⅢ）であり，強度試験については，任意鑑定の試験成績を転用した。

索引

英数字

100時間ごとの点検・整備 122
１年ごとの点検・整備 133
200時間ごとの点検・整備 127
２年ごとの点検・整備 134
30時間ごとの点検・整備 118
300時間ごとの点検・整備 131
3P切換スイッチ[MA・MAD仕様]............. 71
3P切換スイッチ[MAD仕様]................. 81
400時間ごとの点検・整備 132
50時間ごとの点検・整備 119
600時間ごとの点検・整備 133
800時間ごとの点検・整備 133
AM／FMラジオ付きCDプレーヤの取扱い 95
AM／FMラジオ付きCDプレーヤの不調と処置.. 148
AM／FMラジオ付きCDプレーヤ本体の外し方.. 100
CDを聴くには 98
PTO..................................... 64
PTO軸カバー,PTO軸キャップ 64
PTO変速レバー 64
Uシフト(F)仕様.......................... 27

あ行

アクセルレバーとアクセルペダル 33
アタッチメント一覧表 161
あんしんPTOスイッチ[N仕様]............. 65
安全キャブ・安全フレームと
シートベルトについて 15
アンテナ 101
一般的な耕うん要領 87
インプルメント一覧表 164
インプルメントの大きさの上限について 171
インプルメントの装着 101
インプルメント用操作ボックスの取付 101
ウインカスイッチ 17
ウエイト（オプション）................... 86
ウォッシャ液の補充 137
運転席周りの調節 14
運転前の点検 5
エアクリーナエレメントの交換 133
エアクリーナエレメントの清掃 125
エアコンコンデンサの詰まり 130
エアコン配管，ホースの点検 133
エアコンベルトの張り 130
エキゾーストパイプ及びマフラの状態 122
エンジンオイルの交換 122
エンジンオイルの量及び汚れ 109
エンジンオイルフィルタカートリッジの交換 127
エンジンオイル・ミッションオイル 107
エンジン回転数 40
エンジン始動システムの点検 120
エンジンの始動確認 117
エンジンの始動と停止 6
エンジンの排気の状態 122
エンジンの不調と処置 141
エンジンバルブクリアランスの点検 133
オートアップスイッチ 56
オートエアコン 92
オートスイッチ 80
オートスイッチ[MAD仕様]................. 76
オートスイッチ[MA仕様].................. 75
オートドラフトコントロールによる作業要領
[MAD仕様]............................ 170
オートワイヤの収納 62
お問合わせ(AM/FMラジオ付CDプレーヤ)..... 100
主な消耗部品一覧表 158

か行

外気フィルタの清掃 129
外部電源・信号取出端子 19
格納 139
各部の名称[MA・MAD仕様]................. 68
各部の名称[MAD仕様]..................... 79
各変速レバーの取扱い 24
カンタン給油台の使い方 34
寒冷時の暖機運転 12
寒冷時のワイパの使用 90
キースイッチ 11
機能選択表示 41
機能選択表示方法 42
給油（水）一覧表 106
共通部の操作のしかた
(AM/FMラジオ付CDプレーヤ)............. 95
切換スイッチ[MA・MAD仕様]............... 74
切換スイッチ[MAD仕様]................... 82
空気の流れ 92
クォータウインド 89
クラッチハウジングの水抜き 120
クラッチペダル 24
クラッチペダルの遊び・点検 114
クラッチペダルの点検・調整 126
グリース 107
グリースの注入(30時間ごと)............. 118
グリースの注入(50時間ごと)............. 119
クリープレバー 25
けん引ヒッチ（別売）..................... 63
けん引フック 63
検査成績表 172
耕深調節ダイヤル[MA・MAD仕様]........... 77
耕深調節ダイヤル[MAD仕様]............... 81
小型特殊自動車としての取扱い 3
ゴムクローラの交換手順 139
ゴムクローラの張り調整 118

コンデンサ用防虫網の清掃 117
コントロールパネル 93

さ行

サービスと保証 1
サイドカバーの取り外し 108
坂道での運転 46
作業機昇降装置 53
作業機の取扱い 78
作業機落下速度の調整 58
作業機を取付けないときの注意 62
作業ごとの一般的な調整要領 168
作業条件メモ 43
作業灯 90
作業灯スイッチ 90
三点リンク 59
三点リンク高さ規制ダイヤル 53
サンバイザ 91
シート 14
シートベルトホルダ 14
時刻合わせ設定と表示・非表示 44
室内エアフィルタの清掃 129
始動のしかた 6
車幅灯・尾灯 19
主要諸元 149
状況に応じた操作 46
水温計 40
推奨オイル・グリース一覧表 107
ステアリングジョイント部の点検 128
スプロケットの交換手順 138
スローブローヒューズの交換 137
旋回のしかた 46
センサリンク取付要領 167
前車軸ケースオイルの交換 131
洗車時の注意 102
前部デフケース前後遊びの調整 133
走行装置の取扱い 21
走行速度表 152
走行モード切換スイッチ 31

た行

タイヤ・ウエイト 83
タイヤ取付けボルトの点検 120
タイヤの空気圧 83
タイヤの空気圧，及び摩耗，損傷 112
チェックチェーン 62
駐車ブレーキ 33
駐車ブレーキの作動点検 114
注油 137
長期格納時の手入れ 139
チルトステアリングハンドル 16
定期点検箇所一覧表 104
停止のしかた 10
停車・駐車 22
デフロックの使い方 46
電子メータ 35
電子メータパネルの取扱い 35
電子メータメッセージのリセット法 41
転輪・遊輪のオイルシール点検 131
ドア 88
ドア・窓の開閉とロック 88
灯火類の操作 17
道路走行中の注意 48
トーイン調整・タイロッドの点検 128
トップリンク 61
トラクタの給油（水） 106
トラクタの主要諸元 149
トラクタの方向転換のしかた 87
トラクタの周りを歩いて 109
トラックへの積み・降ろし 49
ドラフトストッパピン 80
取扱い上の注意（AM/FM ラジオ付 CD プレーヤ). 99

な行

ならし運転 13
日常点検 109
日常点検（パワクロ仕様のみ） 117
燃費表示 45
燃料給油時の便利な機能と装置 33
燃料計 40
燃料の空気抜きのしかた 136
燃料の補給 116
燃料フィルタエレメントの清掃・交換 132
燃料フィルタの水，沈殿物の点検 112
燃料ホースの交換 135
燃料ホースの点検 121

は行

廃棄物の処理について 102
バキュエータバルブの清掃 111
ハザードスイッチ 18
バックアップスイッチ 57
バックミラー 16
バックランプ 19
発進・走行 21
バッテリあがりの処置 13
バッテリ電解液の点検 123
パワーステアリングの取扱い 50
パワーステアリングホースの交換 135
パワーステアリングホースの点検 121
パワクロ仕様足回り交換部品一覧表 160
パワクロ仕様の運転のしかた 51
ヒータ使用上の注意 94
ヒータ配管，ウォータホースの点検 133
必要に応じた点検・整備 136
一うねおき耕うんのしかた 87

ヒューズの交換 136
表示の切換え（液晶表示部）............... 36
標準付属品 157
ファンベルトの点検・調整 125
風向調整 93
不調と処置 141
ブレーキペダル 23
ブレーキペダルの遊び・点検 113
ブレーキペダルの点検・調整 126
ブレーキランプ 19
フロントカバーの取り外し 108
フロントサイド作業灯 18
フロントワイパ・ウォッシャスイッチ 90
ヘッドライトスイッチ 17
防虫網の清掃 113
ホーン接点のグリース塗布 137
ホーンボタン 18
ほ場への出入り時の注意 47
ボンネットの開閉 108
ボンネットの開閉及びサイドカバーの外し方 108
ポンパレバー 54

ま行

マニュアルシフト仕様 26
満タンお知らせブザーの取扱い 33
ミッションオイルの交換 132
ミッションオイルの量及び汚れ 110
メインシリンダホースの交換 135
メータ・ランプ類の作動 114
メンテナンス表示 42
モンローオート（ドラフト）・AD倍速・
U シフト(F)仕様の故障と処置 142
モンローシリンダホースの交換 135
モンローマチックオートの取扱い
[MA・MAD仕様]......................... 68
モンロ角度調節ダイヤル[MA・MAD仕様]...... 75
モンロ角度調節ダイヤル[MAD仕様]......... 82
モンロ手動スイッチ[MA・MAD仕様].......... 78
モンロ手動スイッチ[MAD仕様]............. 80
モンロスイッチ[MA・MAD仕様].............. 71
モンロスイッチ[MAD仕様]................. 81

や行

油圧オイルフィルタカートリッジの交換 127
油圧（ポジションコントロール）レバー...... 53

ら行

ラジエータの洗浄 135
ラジエータホースの交換 135
ラジエータホースの点検 127
ラジオを聴くには 97
ランプ類の交換 137
リヤウインド 89
リヤワイパ・ウォッシャスイッチ 90
輪距の調整 83
隣接耕うんのしかた 87
ルームミラー 92
ルームランプ 89
冷却水の交換 134
冷却水の量 110
冷媒（ガス）量の点検 138
ロアーリンク取付け穴の選択 60
ローダ作業 52

わ行

ワイパ 90
ワイヤハーネス，バッテリ (+) コードの
点検・交換 111
ワンタッチ耕うんモードスイッチ
[MA・MAD仕様]......................... 69
ワンタッチ耕うんモードスイッチ[MAD仕様]. 82

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点は まず，購入先へ ご相談ください

おぼえのため，該当する項目に記入されると便利です

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">購入先名

担当

電話番号（　　　）　　－</td><td>型式名</td></tr>
<tr><td>区分</td></tr>
<tr><td>車台番号（製造番号）</td></tr>
<tr><td>エンジン型式

エンジン番号</td></tr>
<tr><td>ご購入日</td><td>キーナンバー</td><td rowspan="2">その他装着型式

機械番号</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
</table>

※ご記入の際には、サービスと保証のページをご参照ください。
なお、型式により該当しない記入項目もあります。

ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

クボタアグリサービス株式会社

秋田事務所：電(018)845-1601　〒011-0901　秋田市寺内字大小路207-54
仙台事務所：電(022)384-5162　〒981-1221　宮城県名取市田高字原182-1
東京事務所：電(048)862-1124　〒338-0832　さいたま市桜区西堀5-2-36
新潟事務所：電(025)285-1261　〒950-0992　新潟市中央区上所上1-14-15
金沢事務所：電(076)275-1121　〒924-0038　石川県白山市下柏野町956-1
名古屋事務所：電(0586)24-5111　〒491-0031　愛知県一宮市観音町1-1
大阪事務所：電(06)6470-5850　〒661-8567　兵庫県尼崎市浜1-1-1
岡山事務所：電(086)279-4511　〒703-8216　岡山市東区宍甘275
米子事務所：電(0859)39-3181　〒689-3547　鳥取県米子市流通町430-12
福岡事務所：電(092)606-3161　〒811-0213　福岡市東区和白丘1-7-3
熊本事務所：電(096)357-6181　〒861-4147　熊本市南区富合町廻江846-1
株式会社北海道クボタ本社：電(011)661-2491　〒063-0061　北海道札幌市西区西町北16-1-1
株式会社四国クボタ本社：電(087)874-8500　〒769-0102　香川県高松市国分寺町国分字向647-3

株式会社クボタ

国内農機カスタマーセンター：電(072)241-1375　〒590-0823　大阪府堺市堺区石津北町64

KLシリーズ
AT. G. 11-11. 19. K

Kubota

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が
一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

株式会社クボタ

〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

品番　T3630-1920-4